

新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード 資料集

第13回（2020年11月11日）

目次

1. 議事概要	2
2. 感染状況等に関するデータ	17
3. 押谷先生提出資料：全国・県別エピカーブ（2020/06/01-2020/11/08）	37
4. 鈴木先生提出資料：国内の COVID-19 流行状況の評価：11月8日時点	64
5. 西浦先生提出資料：最終観察日11月10日/最新推定日10月24日	68
6. 前田先生提出資料：在日外国人対策の課題	84
7. 黒田先生提出資料：新型コロナウイルス SARS-CoV-2 のゲノム分子疫学調査	89
8. 新型コロナウイルス感染症対策分科会緊急提言「最近の感染状況を踏まえたより一層の対策強化について」	95
9. 新型コロナウイルス感染症対策分科会緊急提言 「最近の感染状況を踏まえたより一層の対策強化について」への政府の具体的なアクションについて	101
10. 直近の感染状況の評価等	107
11. 今後の感染拡大に備えた医療提供体制について	122
12. 新型コロナウイルス感染症対策に関する各地域の取組について（概要）	125

新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード（第13回）

議事概要

1 日時

令和2年11月11日（木）15:00～17:00

2 場所

厚生労働省専用第21会議室

3 出席者

座長	脇田 隆宇	国立感染症研究所長
構成員	今村 顕史	東京都立駒込病院感染症科部長
	太田 圭洋	日本医療法人協会副会長
	岡部 信彦	川崎市健康安全研究所長
	押谷 仁	東北大学大学院医学系研究科微生物学分野教授
	尾身 茂	独立行政法人地域医療機能推進機構理事長
	釜范 敏	公益社団法人日本医師会 常任理事
	河岡 義裕	東京大学医科学研究所感染症国際研究センター長
	川名 明彦	防衛医科大学校教授
	鈴木 基	国立感染症研究所感染症疫学センター長
	舘田 一博	東邦大学微生物・感染症学講座教授
	田中 幹人	早稲田大学大学院政治学研究科准教授
	武藤 香織	東京大学医科学研究所公共政策研究分野教授
	吉田 正樹	東京慈恵会医科大学感染制御科教授

座長が出席を求める関係者

大曲 貴夫	国立国際医療研究センター病院国際感染症センター長
齋藤 智也	国立保健医療科学院健康危機管理研究部長
中澤 よう子	全国衛生部長会会長
中島 一敏	大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科教授
西浦 博	京都大学大学院医学研究科教授
前田 秀雄	東京都北区保健所長
和田 耕治	国際医療福祉大学医学部公衆衛生学医学研究科教授
黒田 誠	国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター長

厚生労働省 大隈 和英 厚生労働大臣政務官

樽見 秀樹	厚生労働事務次官
福島 靖正	医務技監
正林 督章	健康局長
迫井 正深	医政局長
中村 博治	内閣審議官
佐々木 健	内閣審議官
佐々木 裕介	地域保健福祉施策特別分析官
江浪 武志	健康局結核感染症課長
鈴木 健彦	医政局地域医療計画課長
安田 正人	医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全企画課企画官

4 議題

1. 現時点における感染状況等の分析・評価について
2. 医療提供体制の状況について
3. 自治体における好事例について
4. その他

5 議事概要

<議題1 現時点における感染状況の評価・分析について>

※事務局より資料1に基づき説明。押谷構成員より資料2-1、鈴木構成員より資料2-2、西浦構成員より資料2-3に基づき、それぞれ現在の感染状況の評価・分析について説明。前田構成員より資料2-4、黒田構成員より資料2-5に基づき説明。事務局より、資料3、4に基づき説明。

(押谷構成員)

- 外国人の感染者増加の問題については、2つの可能性を考えていて、日本国内で地域の中にじわじわ広がったものが最終的に辺縁部にいる外国人コミュニティに伝わっていったという可能性と、新たな流入という可能性、その両方が考えられると思うが、現状はそのどちらなのか。新宿・歌舞伎町でそうであったように、外国人コミュニティにおいて、しばらく見つからないようなゲノムが潜伏しており、今後見つかる可能性についても教えていただきたい。

(黒田構成員)

- その両方の可能性が考えられると思う。コミュニティ内での感染拡大については、私ができることではないが、想像するなら、病院に行かないという、分科会提言にも書かれているとおりの形だと思う。今の外国籍の感染者は、日本の株で感染しているリスクのほうが高いのではないかと思う。

(尾身構成員)

- 資料4について、3月の頃にはいわゆる夜の街、接待を伴う飲食店というのが一つの大きな焦点で、様々なチャレンジがあったが、今ここに来て、それと全く同じではないが、我々のチャレンジの一つになっているのが日本滞在の外国人。黒田先生の話でも全部はまだ分かっていないとのことだが、今の遺伝子の解析なんかを聞くと、どうも一部はイントロダクションもあり得るということで、ここまで来ると、これが3月、4月の夜の街と同じぐらい、もう一つの重要な位置を占めてきている。この点は感染状況のほうに少し書いていただいて、対応のほうには、地域の感染対策と水際対策は連携をしなければいけないことを書いてほしい。片方だけにフォーカスしてオール・オア・ナッシングでは、後でまた3月のようなことになりかねない。
- 資料4の今後の対応の3ポツの「②基本的な感染予防対策の徹底が求められる」という記載について、例の3密とかは国民がもう聞き飽きている。表現の問題だが、むしろここには特にいつの場面ということを入れてほしい。
- 最後に、今日のアセスメントのコンセンサスは、感染状況がここまで来て、このままではもっと広がる可能性が高いという点。明日の分科会でも多分出ると思うが、今は必要な対応として、最近分科会で出した「5つのアクション」を言っているが、5つのアクションがしっかりと実行されない場合にはさらに感染が拡大しいわゆるステージが進むことになるので、そうなった場合にはかなり強い対応が求められるということ。強い対応というのは、今やっている「5つのアクション」ではなくて、フィジカルディスタンスをもっと取るとか、人の動きを多少、場合によっては一部の店の休業要請なども含め、全体像を見せてあげることが必要。そういうことを避けたいが、ステージが進むような場合にはこのような点も考えなければならない点は、我々の評価として重要だと思うので、書いていただければと思う。

(前田構成員)

- 外国人の関係については、今地域で見ていると、母国の罹患率が非常に高くなっているときに、結局そこから漏れ出してきているという状況がある。入国時は検疫での検査が陰性であった者が入国後に数日で発症して陽性化しているということを見ると、母国の罹患率が高まれば、必然的に日本国内にそのようにすり抜けて入ってくる方々がどんどん増えてくるという状況になる。その辺はこれから検疫からもいろいろな情報をいただきたいと思うし、我々は母国がどういう状況かということも注意しながら、その国籍の方々に対応していくことが恐らく必要になってくると思う。
- 資料4、直近の状況のところに、外国人のクラスターのことについて留意するのを書くのはよいが、またここで変な偏見・差別が起こってくることを非常に危惧する。基本的には、資料2-4に、課題・方策を書いたが、やはり日本がもう少ししっかりと外国人を受け止める体制を整備することが必要。外国人の方が危険だというような話にならないような書きぶりになるよう留意すべき。

(脇田座長)

- その点是对応の4つ目のポツのところに、外国人コミュニティへの支援という形では書かれているが、もう少し配慮が感じられるような書きぶりということかと思う。

(今村構成員)

- 僕も前田先生と同じことを考えていたのだが、在留外国人の人たちは雇用されていても非正規雇用や技能実習で一時的に働いている人が非常に多い現状があるので、書き方によって、外国人が危ないという形に直結されてしまうと解雇につながり、解雇されると今度は違う職種に入ったり水面下に潜ったりして、むしろ把握しにくくなってしまふ可能性も出てくると思う。軽く症状が出て怖くて病院に行かなくなるなど、思わないところに行く可能性もあるので、偏見・差別の部分に十分な配慮をお願いしたい。

(大曲構成員)

- 外国人支援に関しては、今までの話の流れに逆行するのかもしれないが、対策に当たる人間の間だけでも、どの地域に、どの県にでもいいが、どの国籍の陽性者がいらっしやるぐらいのところは分かったほうがいいのではないかと思う。東京にいても正直全く分からず手の打ちようがない。僕はもともと国際診療もしており、スタッフ等知っているので、それぞれ医療通訳をされ、どういうコミュニティで感染が出ているといった形で現場から上がってくる情報ぐらいしか持っていない。広域でどうかということは全く見えなくて、東京はどうも問題がありそうだということは分かっても、具体的な問いかけにもつながらない。どこのコミュニティに問題があるかということが分かれば、それぞれ外国人診療とか医療通訳のネットワークとか、NGOとかに、問いかけをして、お手伝いをするこゝも、お願いをするこゝも可能だと思うが、ここに至らないということがある。差別・偏見には決してつながってはいけないと僕も思うが、ある程度情報は要るだろうと思う。
- もう一つは、丸1年前はオリンピック前だったので、外国人診療対策は東京都でものすごくやっていた。ただ、これだけ海外から入ってこられる方が減ってしまったので、全くやらなくなっているというぐらいの状況。医療機関の対応力は大幅落ちているのではないかという気がする。なので、今こそやるべきだというぐらいのところを強く言ったほうがいいのではないかと思う。

(太田構成員)

- ちょっと話題が変わるが、病院の病床占有率について、北海道の先生から、北海道・札幌の状況を聞く限りでは、厚労省が把握している11月3日時点よりも、実際のところは、保健所も非常に大変な状況になっているというのと同時に、病院での受け入れもかなり厳しい状況になってきていると聞いている。自宅療養というか、自宅待機が200人規模を超えるという状況まで来ているという話もあり、ホテルをつくるとか、いろいろな動きが直近で出ているが、表現としては、「一部地域では相対的に高い水準になっており留意が必要」というよりも、「一部の地域ではかなり厳しい状況になっ

ている」という点を指摘すべきではないかと思う。

- もう一個上のポツで、「感染の減少要因を早急に強めなければ、急速な感染拡大に至る可能性が高い」という点は、全国的にはこの表現だが、一部の地域では、本日の時点では急速な感染拡大に至っている地域がもうあるといった形の評価ではないだろうか。専門家の現状分析が、前回の評価と比べてあまり変わっていないというふうに捉えられると、まだ余裕があるのかという形で捉えられかねないので、より厳しめの表現にいただいたほうがいいのではないか。

(脇田座長)

- 最近の状況については、確かに我々のところにも札幌の状況が非常に厳しいという情報がある。

(中村審議官)

- 病床の状況については、夏の段階で各都道府県につくってもらった病床、宿泊療養施設を段階的に確保する計画に基づいて、実際に今どこまで確保が進んでいるかを、毎週水曜日の時点で各都道府県に状況をお伺いし、金曜日に公表している。北海道の場合には、11月3日時点で最終フェーズの病床の確保目標1,181床に対して215人が入院されており、病床利用率は12%というのが先週金曜日に公表した資料だが、手元にある直近のデータでは、既にその後急激に感染者の方が増え、今はもう20数%まで使用率が上がっているという状況。このように感染者が急増する地域については、毎週の調査とは別に、個別に情報をいただき、日々情報を更新しながら対応を御相談している。

(太田構成員)

- もう一点だけ。前回の7月の感染拡大期も述べたが、病床を拡大させるのにも結構時間がかかる。一般的に病院の中で病床をこれだけ増やしてくださいと言われてから、実際にそれが稼働できるようになるのに1週間では結構厳しくて、働いている人の勤務表ももう全部できている中で、中に入っている患者さんを動かしてという形で、2週間とか平気にかかる。また病床占有率の計算は、マックスの病床で割り算をした結果だが、先ほどの北海道のエピカーブでも分かるとおり、かなり急激に、2週間で10倍まで実際の感染者が増えているような状況というのは、見た目以上にとにかく厳しい状況が起こるのだということは御認識いただきたい。

(押谷構成員)

- 資料4、今後の対応の2ポツ目のところに「クラスター発生の要因を分析し」と書かれているが、今までの議論でも、場所によって、都道府県によってパターンが異なっている。6月、7月のときには大都市圏の繁華街を中心に起きているクラスターを何とかしなければいけないという割とシンプルな対策だったが、この局面は、場所によって起きていることが違う。どういうことをすれば本当に有効な対策になるのかということがよく分からない。よって、大曲先生が言われたような外国人の問題というのがどういう場所で起きていて、どのくらいのインパクトがあって、それ以外にどんな

要因があるのかという点は、それぞれの自治体がきちんとリスクアセスメントをして、それに基づいたリスクベースのアプローチをしていくことが求められていると思う。

- さらに、最後のところに検疫での対応のことが書いてあるが、これも前田先生も言われていたように、アジアでも日本に入国して日本の中に大きなコミュニティがある国で感染が拡大した場合のリスクはどのくらいあって、そのリスクを分析するためにどんなデータが必要かといった整理をきちんとしていかないと、これからも同様のことが起きてくるということなのかなと思う。月曜日に尾身先生たちが分科会に出した緊急提言の中にも検疫のデータといったことも書かれているが、その辺をもう少しここに具体的に書き込んでおくべきかと思う。

(脇田座長)

- そうすると、日本へ入国してきている人がいる国のリスクの評価を、今よりもちゃんとやるということだろうか。

(押谷構成員)

- 日本に大きなコミュニティがある国からそれなりの数の感染者が入ってくると、それは結構なインパクトがあることになってしまうので、そういう国は絶対に入国させないという話ではないが、そこに対するサポート体制が十分にできていない中で入国させてしまうと、きちんとリスクベースのアプローチができていないということになるので、その点を整理する必要があるのかなと。

(中島構成員)

- 今、押谷先生がおっしゃったことはすごく大事だと思う。これまでとまた様相が変わって多様化しており地域ごとにより発生状況が違う。北海道の状況を見ても、急速に状況が悪化する可能性がある。その状況の分析と地域ごとの対策が非常に大事で、そのためには都道府県、自治体がリスクアセスメントに基づいた対応をやっていくと。
- ただ、そこには人的なリソースであったり、技術的なことだったり、自治体がたくさん課題を抱えていると思う。技術的な支援、人的な支援を含めて、国の役割としてそこをサポートする必要性があるという点をどこかに書き込む必要があるのではないかと。

(前田構成員)

- 今、押谷先生、中島先生が言われたように、地域でのリスクアセスメントは重要だが、一方で、今、中島先生が言われたように、なかなかマンパワー的についていけないとなると、そういった体制を整備する一方で、少し割り切ってこういう方法はどうかという提案もしていかなければいけないと思う。今の状況を見ると、東京、大阪等といった大都市は複合的な同時多発テロ的な状況だが、地方に飛んでそこで大発生するのは、やはり歓楽街が中心。そういう意味では、東京ほど多く発生しない地方であれば、まず歓楽街のところはすぐ要注意ということを入れるべきだし、恐らくこれからは外国人の問題も含め、歓楽街や外国人の方が受診を希望したら積極的に受けるといったことぐらいを、どういう言いぶりにするか難しいが、まず決め打ちでそこだけはしっか

り対応して欲しいというのは言っておいたほうがいいと思う。

(尾身構成員)

- 資料4を修文する必要はないが、一つ北海道の状況は、今、国民の関心が高いところ。3月も北海道から始まったが、今度は寒くなって、北海道の感染状況がこのまま行ってしまうのか、からくも下げられるのかということで、北海道がなぜこうなったのかということや、これからの対応が恐らく日本の対策につながる。マジョリティーの感染の拡大防止は一体何だったのかという評価をして、前田さんもおっしゃったように、クラスターごとのスペシフィックな対応が必要。今の状況は地域によって対応が変わるとい、地域ごとのリスクアセスメントの必要性はそのとおりだが、一体なぜこうなったのかという原因はあるはずで、これは恐らくほかの地域にも当てはまる。そこがないと対応が総花的にショッピングリストを書くことに終わってしまうが、常に感染拡大の急所はある。これは2つあるか、3つあるか分からないが、普通は10も20もあるわけではないので、そこを押さえるべき。そこはみんなで、鈴木さんのデータや、FETPの人のレコメンデーションなどもまたこれから集めて、オンゴーイングでやるのが大事。

(鈴木構成員)

- 今は非常にクリティカルな状況で、FETPは、現場対応で手いっぱいになってしまう。全体像を見渡して何が問題なのか、疫学的な問題だけではなくて、ポリシーメイキングのレベルまで何が問題なのかということ、それ専任のワーキンググループというか、何かチームをつくってやらないと、FETPだけではなかなか難しいのかなと思う。

(脇田座長)

- 今いただいた御意見で大事なところは、太田先生からもう少し厳しめの表現で、地域によってはかなり厳しい状況にあるという点をもう少し加えるということ。それから、地域での対応をきちんとやれる体制、支援が必要だという点。外国人対応。一番はやはり歓楽街はしっかりと対応してもらいが必要があり、地域によってはそこが中心になって広がっているということ。そのようなところを修文させていただく。

<議題2. 医療提供体制の状況について>

※事務局より資料5に基づき説明。

(今村構成員)

- 計画として病床を空けておくということをしてもらうのは非常に重要だと思うので、ここに関しては全然異論はないが、現場で今、例えば僕が東京のところでモニタリングで病床分析をずっと追いかけている中で感じていることを注意点として少しお話ししたい。
- 1点は、重症病床の余力というのは予想以上に小さいということ。実際には重症例を診るためにはそれなりの人員の確保が必要であり、それが常に確保されているかとい

うと、箱と合わない可能性は十分ある。コロナ以外の重症例も常に存在しているので、そこも含めての運用になるということ。

- あとは、見かけ上の重症者数というのは、そのまま見てはいけないことがある。例えば東京の重症者数が前週と前々週で例えば30何人という形で同じぐらいに見えたりするが、例えば前の1週間では、15人に人工呼吸器が新たについて新規に挿管している。一方で、10人抜管していて、ほかに亡くなる人もいるので、見かけ上はたまたま横ばいに見えている状況。これは、抜管される人のタイミングが遅かったり、亡くなる方の人数によって、あつという間に病床を圧迫してくることになってしまうので、見かけ上の数だけではなく、実際にどういう動きになっているのかを把握しなくてはならないと思う。
- もう一つは中等症と軽症について、たとえ軽症でも柔軟に運用できない症例がそれなりにいるということにも留意が必要。例えば認知症や精神疾患のある人、ADLのよくない人、先ほどの外国人の例も当てはまるが、仮に宿泊療養をたくさんつくったとしても、そこに動かせない人たちがそれなりに出てくる。そういう人たちが増えてくれば、当然入院のベッドを圧迫していく形になる。また、そのような中等症、軽症の人たちはかなりの病院から断られるケースが多く、特に日曜やこれから迎える年末年始には、かなり転送に苦労することが想像されるので、自治体ごとの状況に応じて、しっかり準備しておくよう言っておいたほうがいいかなと思う。

(太田構成員)

- 実際に、各都道府県がフェーズに応じた病床確保計画を立てていたのは聞いている。ただ愛知県の例でいえば、4月のときには、私の病院はもともとフェーズに応じて段階的に病床を確保するという約束だったものが、いきなり7月の終わりのある一日にフェーズ4だ、全病床を確保しろというのが突然来たそうで、結局、感染の拡大のスピードが速いときは、このフェーズを踏んでいる暇はなく、とにかく一気にベッドをつくるしかないのだが、それには時間がかかる。愛知県の場合は感染が急拡大した後、止まって減ったので、その後の2週間を何とか耐えてしのいだというのが実感だが、北海道の状況も、もし新規感染者が減らないとすると、かなり厳しい局面に行くのではないかなと思う。
- もう一つ、先ほど今村先生からもマンパワーの話が出たが、感染が急拡大するときというのは、やはりスタッフにも感染者が出る。またそれに伴う濃厚接触者も出るので、基本的に計画どおりに病床は動かない。感染が一般の社会で広まるのと同じように、病院の中でもある一定程度の割合でスタッフが感染する影響で、感染が蔓延しているときは計画の何割掛けというような形でしか、実際の病床というのは動かないということは御認識いただきたい。
- このような理由で、計画上は病床が確保されているにもかかわらず、なかなか入院できず病床が逼迫しているという現場からの意見がマスコミや何かに出てくるというこ

とになるが、思っている以上に病床というのは危うい状況の中で対応されているというのを御認識いただけたらと思う。

(医政局長)

- 本来、事務方からコメントする話ではないが、私どもの悩みを共有しておきたい。中村審議官が資料5で説明したとおり、今後こういう体制をしばらくは続けていく中で、今のお二方のお話で非常に重要なのは、急にフェーズを変えていけない、現場のオペレーションに一定の時間がかかるという点。そして、ただそれを避けるべくさらに病床を確保するのだという方向にかじを切れれば何が起きるかという点、病床を空けて待っておいてくださいという状況になっていく。私たちも悩みながら、今、資料5のようなオペレーションを考えているが、ウイズコロナというのは、経済と感染拡大防止だけではなくて、医療の世界で言うと一般医療とコロナ医療のバランス、医療機関の経営問題も含めて考えれば、病床を上手に使っていただくということが非常に重要。したがって病床の活用状況全体をみて逼迫と取るのか、あるいはきっちり上手に運用されていると取るのか、そのバランスや数字の情報の出し方が問題なのだが、やはりある程度時間がかかるという前提でオペレーションをしなければいけないという点は、すごく重要な御指摘。
- 逆に言うと、それをうまくオペレーションするためには、結局、最初の話に戻って、感染拡大をいかにゆっくり制御していただくのかということであり、アクセル・ブレーキのようなバランスで、感染拡大防止のお力添えと病床確保のお力添えは、これは実は両輪なので、ある程度感染が拡大していく中でも、ゆっくり拡大させることが非常に重要な点という点をぜひ世の中の方にも分かっていたいただきたい。それをどう発信していくのかというのは日々医政局としては悩んでいるが、その点は共有させていただきたいと思う。

(脇田座長)

- ありがとうございます。今日アドバイザリーボードの委員から出た意見も踏まえていただきながら取組を進めていただきたい。

<議題3. 自治体における好事例について>

※事務局より資料6に基づき説明。

(尾身構成員)

- すばらしい概要をつくってくれて、ありがたい。
- 2つだけ質問というか確認であるが、このような好事例を各都道府県で共有するのは大事で、内閣官房でもこういう努力をされているというので、この厚労省の動きは内閣府と連携しながらオールジャパンで進めていただきたい。
- もう一点、ここに書いてあるのに加えて、例えば私が聞いた某県での取組は、早くクラスター対策を打つと早く収束するというのがポイントであった。今後も継続してや

と書いてあるので、これ以外の取組もさらに追加をしていただければと思う。

(佐々木特別分析官)

- 内閣官房とも十分連携をして取り組んでいく。また2点目について、クラスターの収束事例はたくさんの好事例があるので、先生が御指摘のような、福祉施設あるいは医療機関でのクラスターに早期介入をして、その体制を速やかに整えるということが非常に重要なポイントでございますので、ほかの事例もできるだけ多くの好事例を横展開していきたい。

(和田構成員)

- このようにまとめていただきありがたい。
- 今回、都道府県のような事例が出ているが、私の勘違いもあるかもしれないが、特に予防に関して、感染が広がりにくいまちづくりといった点に関しては市町村の役割が大きいのではないかと思う。都道府県という主語での対策はいろいろ出てくるわけだが、市町村はなかなか出てこない。かつての新型インフルエンザの時も、市町村が主語になったものは少なかったが、予防の取組については現場に非常に近いところにあるのではないかとも思うので、もし今後、市町村でのこういった取組があるようであれば、ぜひ好事例として共有していただければ、とてもありがたい。

(中島構成員)

- このような地域の活動を御紹介いただきありがたい。これはとても大事な点だと思うので、続けていただきたい。またこれは概要版で、詳細版としてももう少し詳しい情報もあると思うが、その中でも分かりやすい、例えばパワーポイントのポンチ絵などを活用して、一見して分かるようなものを、ぜひお願いしたい。
- それから、先ほどもお話があった高齢者施設の1事例について。今日は全体を通して外国人のコミュニティの問題、歓楽街・夜の街の問題など出てきたが、並んで高齢者施設の対策は大事。一つ御紹介として、名古屋市さんの事例だが、早期介入をして早期探知をして早く抑えるという積極的な活動を7月頭から随分取り組んでおられる。その中で、2か月間で92事例の高齢者施設での発生を確認したが、そのうちの4分の3は1人発生で終わらせている。つまり、1人の段階で見つけて対応することでクラスター化を防いでいるということ。こういった高齢者施設での好事例というものもぜひ集めて、御紹介いただければありがたい。

(武藤構成員)

- 私もこの資料6の取組はすばらしいと思って拝見した。実は、リスクコミュニケーションの好事例も結構ぽつぽつ地域で出ており、自治体と一緒に勉強会をしたり、歓楽街対策として進められたりしているところもあるので、そういう自治体を交えた、お互いに知識を血肉化するような取組もぜひ御紹介いただけたらと思う。

(佐々木特別分析官)

- いろいろ御意見をいただいているが、一生懸命やっていきたい。

(脇田座長)

- 今日いろいろ御意見がありましたので、ぜひ取組を進めていただければ。用意した議題は以上だが、そのほかで委員の皆さんから。

(齋藤構成員)

- 1点話題提供だが、今、私は世界健康安全保障イニシアチブ、GHSIのバイオワーキンググループの議長をやっており、そのラボレスポンスネットワークという検査施設のG7、メキシコ、WHO、EGなどのネットワークの会議をやっているのだが、先日、デンマークで発生した、人からミンクに移って、ミンクからまた人に移った、そのときに生じた変異株についての議論があった。
- その際、ミンクからまた人に戻ってきて変異ができた株は中和抗体価が落ちている、これまでの中和抗体との反応が悪くなっているということで懸念しているということだった。デンマークにはミンクファームが多く、日本にはミンクファームはなさそうなので、それほど日本にとって喫緊の問題というわけではないと思うが、いわゆる人獣共通感染症として動物での発生状況なども併せてリスク評価を行っていく必要が今後あるのではないかというのが問題提起。
- もう一つ、発生した地域で人での変異株の感染者が見られたということで、地域の一斉検査や移動制限というも行われているようだ。
- このような変な変異株が国内でも発生した場合に、即座にこういった割りどりと厳しめの対応をしっかりと取れるようにというのが国際的に見ても重要だと思うので、そういった頭の体操もしておく必要があるのかなと思う。

(川名構成員)

- 今日、公衆衛生的な話を伺って、やはり全体的に少しずつ感染が増えてきている中で、これは必ず抑えていかなければいけないということも分かったし、今回の流行の中には外国の方のコミュニティのクラスターも大きく関与していて、そういったところへのいろいろなリソースの投入が必要だということもよく分かった。
- 今日議論されなかった点で、全体を通じてちょっとコメントしておきたいのは、Go Toキャンペーンがどういう影響を及ぼしているのかというのは一般の人の目線からもぜひ知りたいところだろうと思う。例えば、今日の患者さんの増加している地域を見ても、北海道とか、奈良、京都、岡山といったところが最近急に増えてきていることや、例えばゲノムの分析でも日本中にばらばらにいろいろなタイプのものが広がっているといった点を見ても、もしかすると何らかの影響があるのかなという気は素人的には思うところ。
- 決してGo Toをやるべきだとか、やめたほうが良いということではないのだが、こういった患者の増加に対して影響を及ぼしているのかというところの分析ができていようであれば、例えば先ほどの情報提供、分析のところなどにも少し加えていけるとよいなと思った。

(岡部構成員)

- 情報提供だが、今日の午前中、WHOとのポリオ会議があって、そのときにCOVIDの話や周辺の話も出た。西太平洋地域事務局では、御存じのように南半球のオーストラリア、ニュージーランドではインフルエンザは向こうの冬シーズンにはほとんどなかったということに加え、インフルエンザサーベイランスをかなりかっちりやっているアジアの西太平洋地域事務局に入っている国々でも、やはりインフルエンザの発生はないとのこと。そのほかの感染症についてもモニターしている限りはあまり発生しておらず、香港でライノウイルスの子供たちでの集団発生があった程度だといったような話があった。
- それから、ポリオに関しては感染研のほうでも十分応援しているわけだが、国境を越えて検査を依頼しているところがある中、例えば日本もラオス、カンボジアから引き受けているわけだが、空路が途絶えているために検体が運ばれずいろいろな国の検査が滞っているといったような事情もあった。
- もう一つは、日本は比較的落ち着いているのだが、どこでも予防接種に関してはかなり落ち込んでいる。つまり、予防接種を受けに行けなくなってしまっている状況については注意が必要。以上、情報提供。

(尾身構成員)

- 今、川名先生からコメントのあったGo Toのインパクトをしっかりと評価するという点には大賛成。恐らくこれから国民の関心はGo Toキャンペーンを延期するかどうかという話だと思う。今日たまたま国会に呼ばれたので、一応情報共有だが、私はこんなふうに思って発言した。
- 今の状況は、非常に注意が必要な状況で、下手をすると「5つのアクション」がうまく実現されないところまですぐ行ってしまいかねない状況。もちろん北海道でも、もう1週間前からかなり強い対策を始めて、また国の支援を受けるなど、感染拡大を抑えるために今やっているわけだが、当然、危機管理として最悪の場合も考えたときに、今、我々が言っているのはステージⅢ相当であると国や自治体が判断したところに対して、今は緊急事態宣言とちょうど半分ぐらいの状況において、個別のことはともかく今よりも強い対策を打つ必要がある点。そのときにどういう言い回しをするかを考える上で、私は、感染の上昇要因に間違いなくGo Toも含まれるが、Go Toだけではなくて社会経済が活発化する中で、人々の気持ちがそうになっていたのだと思う。
- もうここまで来ると、このままある程度抑え込んでいけるか、延々と東京都の新規感染者数が300、400といくか、道は2つしかない。そのときにGo Toの分析はするにせよ、同時にどこかで決断をしなければならないので、そのときに私はGo Toだけを分離してやめるといえることはないと思う。なぜなら、感染拡大のプレッシャーはGo Toも含めて全体なので。私はこのように考えて今日国会で発言したが、これについてどう回答するかというのは必ず聞かれるので、そんなこともこれから皆さんと考えたい。今日は

参考までに共有。

(和田構成員)

- 検査体制はできているのですけれども、どのように受療してほしいかという点について。かつては受診の目安ということで、3日、4日待つという話もあったが、その後、いろいろ方針も変わった。冬に向けて、今、インフルエンザは少し少ないという話もあるが、資料4の直近の感染状況を見る中でも、クラスターの発生要因を分析して対応する中で、こういう人は早めに受診をして欲しいとか、場合によって、北海道のように本当に大変になれば、一時期の沖縄のように軽症の人は家にいてくださいといった形で、受療に関しても自治体からの積極的な発信が必要ではないか。後でもし他の先生にもお尋ねできればと思うが、そういった受診の仕方に関して、今、国民の皆さんは曖昧になっているのではないかという懸念があって、もう一度まとめてもいいのではないかなと思う。

(釜范構成員)

- これからは、発熱等の体調の変化があった場合には、もう速やかに医療機関にまず電話で相談をして、医療機関から受診を進められた場合には速やかに受診をしていただくという流れが必要で、そのための体制を今一生懸命取って構築しているところ。今日お示しいただいた資料からも、ある程度その体制が整いつつあると思う。まだ完全ではないので、さらに拡充しなければならないが、国民の皆さんには調子が悪いときに家でじっとしててくださいということでは決してなくて、しっかり電話で相談をした上で医療機関を受診し、医師が検査が必要かどうかをしっかりと判断するという流れをつくるのが大事だと思う。

(太田構成員)

- 私もぜひ国民に啓発いただきたいと思っているのは、最近冬が近づくにつれて風邪薬のテレビCMが増えてきた中で、基本的に風邪薬のCMというのは、こういう症状になったらこれを飲んで、何となく症状が軽くなって、すぐ仕事に行けますみたいな感じで、おそらく今年用にはつくり直していないのではないかな。実際に熱が出て体調が悪いときには、ちゃんとかかりつけ医にかかってくださいという点もしっかりと伝えないといけないと思う。

(大隈政務官)

- 大変貴重な御意見をいただいた。ただ、物理的に間に合わないとなれば、何かテロップを入れていただくなど製薬メーカーに協力が得られないかも考えたい。

(前田構成員)

- 今の太田先生の関連だが、確かに外国人の事例でも売薬ですと様子を見て受診が遅れ、家族全員に感染が拡大した事例もあったので、できれば多言語で発信をしていただきたい。あと、受診の傾向に関して、次回にでもまとめて紹介できればと思っているが、現場の保健師等が言うには、発症から受診までの時間が長くなってきてい

るような気がする。特に若い人は症状があっても受診していないようなところがあって、結果として発見が遅れるような傾向が見られるのではないかと。我々北区だけの事例なので、例が少数なのでなかなか有意なことが出ないが、確かに比べると、20歳、30歳代の発症から診断までの日数が延びてきている。この辺の要因が慣れなのか何なのかは分からないが、提言の中にあるように、もう少し若い世代の方々に対する普及啓発を強めないとまずいのかなという気がする。

(田中構成員)

- 今の話に関して、若者は、電話をかけにくいというか、電話をすることに対する心理的な障壁が我々の世代よりもはるかに高いので、電話で医療機関に相談してくださいと言われても、恐らく検索行動だけして電話をかけない可能性がある。チャットボットといったものも想定する必要があるのかもしれない。とにかく彼らは電話をかけたことがないので、怖くて仕方がない。しかも、調子が悪いときに電話をかけるなど、さらにはかけづらいので、それは若者が相談しにくい理由として考慮する必要はあるのかもしれない。

(脇田座長)

- 大事なポイントだと思う。まさに世代間のジェネレーションギャップ。

(武藤構成員)

- 今の話にも関連するが、明日、田中先生たちと分析した東京都の調査のデータを発表する予定があるのだが、やはり20代の方々は自分はコロナに感染しないと思っている人や重症化もしないと思っている人もすごく増えていて、その傾向には明らかな年代差がある。コロナにならないから大丈夫、電話もかけたくないし、面倒くさいし、つながらないし、周りの子に聞いたら大丈夫だよ、重症化しないからと言われ、いろいろなイベントを急に休むことも非常に恐れている世代の人たちなので、そういった理由もあるのかなと思う。本当に啓発が難しいのだが、よろしく願いしたい。

(脇田座長)

- 一緒に頑張りましょう。

(大曲構成員)

- 今さら当たり前の話かもしれないが、最近、中等症以上の入院が増え、今日も人工呼吸器に一人乗せてきたが、先生方がおっしゃるとおりだと思った。やはり発症から診断までの時間が長くなっている気がする。70代だが10日目で受診した結果、そのときには人工呼吸が必要となり、このような重症例が増えていくということは医療機関の負担や、本人たちのリスクということを考えても、良いことではない。年齢も含めてハイリスクの方々に改めてリスクを伝えていくということは大事ではないかと思っている。

(押谷構成員)

- 以前、歌舞伎町とかの繁華街で一斉のPCR検査というのをやった。正確に言うと、クロ

スセクショナルサーベイというが、ある一時点でどんと調べて、どのくらい広がっているかというのを見た。いろいろな問題はあったが、繁華街の問題を解決するのにある一定の効果があった。だが今はどこで何が起きているか分からない。外国人の問題などもかなり深刻な可能性があるが、こういうポピュレーションに対してどのように協力してもらうかということが難しい。感染者が多いある一地域で、クロスセクショナルサーベイをすべきかということも考えないと、どういう要因で今流行が起きているかという点がつかめなくなってきたのではないかという気がする。

(中島構成員)

- 先ほど学生の話が出たが、n数は少ないが、僕の大学で学生と話すと、新型コロナは怖いと言う声を聞く。何が怖いかというと、周りの反応が怖いと言う。なので、先ほど電話をしないということも併せて、やはり阻害要因は周りの反応であるということも十分考慮した上で情報発信をしないと、うまくつながらないのではないかと思う。

(押谷構成員)

- 本当に若い人たちに何も伝わっていない。今週からうちの医学部の学生でディスカッションを中心の講義をやっているが、今問題になっているようなことが医学部の学生でさえ分かっていない。彼らには何も伝わっていないということを我々はもう一度認識する必要があるのかなと思う。

(脇田座長)

- 今、その他の議題としても本当にたくさんの御意見をいただいたので、その点も十分考慮して、また事務局と相談しながら進めていきたい。

以上

感染状況等に関するデータ

1. 感染状況等の推移に関するデータ

- ① 都道府県別の感染者数の推移 1
- ② 入院患者・重症者等の推移 3
 - (1) 入院者数、受入確保病床数に占める入院者数の割合 3
 - (2) 重症者数、重症患者受入確保病床数に占める重症者数の割合 5
 - (3) 宿泊療養者数、宿泊施設受入可能室数に占める宿泊療養者数の割合 8
 - (4) 自宅療養者数、社会福祉施設等療養者数、確認中の人数 11
- ③ 都道府県別 PCR 等検査実施状況の推移 14

2. 直近の感染状況等

- ① 全国の感染状況等 16
- ② 都道府県の医療提供体制等の状況 18

①都道府県別の感染者数の推移

	3月28日～4月3日		4月4日～4月10日		4月11日～4月17日		4月18日～4月24日		4月25日～5月1日		5月2日～5月8日		5月9日～5月15日		5月16日～5月22日		5月23日～5月29日		5月30日～6月5日		6月6日～6月12日		6月13日～6月19日		6月20日～6月26日		6月27日～7月3日		7月4日～7月10日		7月11日～7月17日		7月18日～7月24日		7月25日～7月31日		8月1日～8月7日			
	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク		
全国	1483		3233		3771		2954	40%	1701	33%	1089	35%	510	32%	260	32%	277	40%	277	43%	262	44%	372	39%	473	47%	1009	37%	1813	43%	2982	48%	4704	54%	7274	52%	9444	54%		
北海道	21		49		131		193	17%	228	17%	144	24%	65	32%	32	29%	50	14%	28	32%	45	29%	38	21%	29	14%	54	9%	14	50%	37	27%	51	39%	51	55%	100	35%		
青森	5		3		8		0	-	4	0%	1	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	100%	2	0%	0	-	1	100%	0	-		
岩手	0		0		0		0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3	75%	3	100%		
宮城	11		24		43		5	20%	4	25%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	100%	3	33%	5	60%	3	100%	29	17%	11	36%	20	50%	21	24%		
秋田	5		3		4		0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	50%	10	7%		
山形	1		26		27		8	13%	2	0%	1	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	0%	4	0%	0	-	1	0%	0	-		
福島	7		27		16		14	21%	8	13%	7	71%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	100%	0	-	0	-	1	0%	1	100%	2	50%	3	100%	6	17%		
茨城	44		28		47		26	31%	8	63%	3	33%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	100%	4	75%	10	60%	14	64%	19	74%	24	46%	50	44%	74	42%		
栃木	3		17		14		9	25%	2	100%	2	50%	4	50%	5	0%	1	0%	1	100%	0	-	0	-	0	-	20	10%	7	29%	25	12%	33	27%	44	36%	43	47%		
群馬	10		11		81		26	27%	6	17%	1	100%	0	-	2	50%	0	-	2	100%	0	-	0	-	1	100%	2	50%	1	100%	11	55%	11	27%	13	57%	24	70%		
埼玉	62		216		246		189	41%	95	31%	78	27%	34	21%	21	14%	6	43%	8	67%	14	69%	7	38%	64	35%	101	34%	205	39%	274	49%	332	57%	314	48%	426	44%		
千葉	138		198		244		157	51%	51	49%	27	48%	13	26%	15	33%	3	50%	5	50%	14	29%	5	67%	19	71%	45	35%	85	51%	167	44%	189	54%	224	52%	406	47%		
東京	495		1014		1141		962	64%	636	46%	490	61%	148	53%	53	44%	81	57%	126	46%	130	40%	238	42%	290	49%	527	39%	992	43%	1418	48%	1747	58%	2011	59%	2416	63%		
神奈川	86		261		274		203	42%	131	35%	110	13%	101	23%	71	34%	37	43%	28	46%	15	47%	26	35%	23	61%	94	38%	140	58%	233	60%	269	58%	297	65%	574	56%		
新潟	3		9		12		13	38%	12	33%	4	75%	1	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	0	-	0	-	2	0%	3	33%	3	33%	19	0%	15	7%		
富山	8		15		56		84	9%	42	3%	15	8%	6	17%	3	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	100%	2	50%	0	-	5	100%	3	80%	33	44%		
石川	16		68		68		62	15%	32	22%	21	4%	10	0%	9	11%	4	0%	1	0%	0	-	0	-	1	100%	0	-	0	-	1	67%	9	43%	11	25%	10	13%		
福井	31		36		28		16	0%	2	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	4	0%	1	0%	12	0%	14	7%
山梨	5		18		23		5	20%	2	100%	2	0%	1	100%	3	67%	4	100%	1	100%	4	71%	3	100%	2	50%	1	100%	1	100%	1	100%	9	56%	11	36%	30	40%		
長野	4		18		19		20	11%	2	0%	8	25%	2	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	1	100%	0	-	0	-	0	-	6	29%	4	75%	18	30%	22	31%		
岐阜	23		46		58		10	31%	0	-	1	0%	0	-	0	-	0	-	1	0%	2	100%	2	100%	1	0%	4	25%	2	100%	10	27%	44	52%	115	42%	104	47%		
静岡	4		26		17		9	30%	14	46%	0	-	0	-	1	0%	2	50%	0	-	2	50%	3	0%	0	-	6	17%	6	0%	10	7%	29	9%	138	9%	76	18%		
愛知	38		117		67		93	24%	15	53%	8	29%	9	75%	2	0%	1	0%	3	33%	5	60%	7	0%	1	100%	2	100%	4	0%	65	20%	344	59%	864	57%	1032	62%		
三重	3		3		17		13	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	0	-	0	-	1	0%	8	0%	8	0%	38	5%	111	23%		
滋賀	8		20		34		25	20%	3	50%	3	0%	1	100%	2	0%	1	100%	0	-	0	-	1	0%	0	-	2	0%	1	0%	5	40%	42	2%	20	35%	102	11%		
京都	57		77		67		51	43%	38	15%	25	22%	10	10%	0	-	1	-	0	-	2	100%	4	0%	6	63%	21	32%	39	20%	72	42%	138	33%	149	38%	155	48%		
大阪	170		350		379		372	28%	193	36%	82	34%	53	33%	23	77%	7	100%	4	100%	4	100%	15	36%	14	36%	48	69%	106	63%	278	62%	670	65%	1140	67%	1340	65%		
兵庫	50		144		168		124	26%	48	23%	29	9%	19	0%	4	25%	1	0%	0	-	0	-	1	0%	5	40%	4	100%	17	71%	74	72%	141	67%	279	32%	313	31%		
奈良	12		16		19		21	33%	9	56%	4	29%	1	0%	0	0%	1	100%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	15	13%	36	6%	52	17%	40	13%	67	36%		
和歌山	4		18		6		8	10%	10	25%	0	-	2	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	0	-	7	27%	16	14%	25	8%	38	4%	23	17%		
鳥取	0		1		0		2	50%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	100%	0	-	1	100%	0	-	10	20%	6	17%		
島根	0		2		13		1	0%	7	0%	1	100%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	3	33%	1	100%	0	-		
岡山	7		7		4		3	33%	2	0%	1	100%	1	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	100%	2	0%	0	-	6	67%	15	27%	30	20%	28	39%		
広島	4		17		100		20	10%	15	7%	6	20%	0	-	2	0%	0	0%	1	0%	0	-	0	-	0	-	1	100%	4	44%	32	45%	45	49%	79	49%	68	37%		
山口	1		10		13		1	0%	3	0%	3	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	4	0%	6	0%	6	0%	11	7%		
徳島	2		0		0		2	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	0	-	4	25%	0	-	0	0%	15	20%	30	27%		
香川	1		2		20		4	25%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	100%	14	43%	2	50%	1	100%	12	42%		
愛媛	7		17		13		6	33%	0	-	1	0%	22	5%	8	0%	4	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	50%	5	14%	11	25%		
高知	8		31		11		8	38%	3	33%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	50%	2	100%	2	0%	3	6		

	8月8日～8月14日		8月15日～8月21日		8月22日～8月28日		8月29日～9月4日		9月5日～9月11日		9月12日～9月18日		9月19日～9月25日		9月26日～10月2日		10月3日～10月9日		10月10日～10月16日		10月17日～10月23日		10月24日～10月30日		10月31日～11月6日		3週間前	3週間前	前々週	前々週	直近1週間	直近1週間	直近1週間	直近1週間	人口	
	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	感染者数	アンリンク	10/13-10/19	10万人対	10/20-10/26	10万人対	10/27-11/2	10万人対	直近1週間	直近1週間		直近1週間
全国	8024	52%	7071	51%	5554	51%	4314	48%	3696	49%	3460	48%	2948	50%	3660	49%	3442	54%	3747	49%	3789	47%	4551	44%	5618	3726	2.95	4045	3.21	4902	3.89	6674	5.29	126167		
北海道	77	49%	76	46%	79	44%	54	30%	52	46%	61	52%	105	34%	109	55%	182	40%	168	34%	212	38%	352	43%	626	169	3.22	295	5.62	447	8.51	920	17.52	5250		
青森	1	0%	0	-	2	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	2	0%	0	-	46	7%	75	4%	65	6%	47	83	6.66	68	5.46	55	4.41	30	2.41	1246		
岩手	2	100%	3	33%	8	13%	3	0%	1	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	2	50%	1	100%	0	-	2	2	0.16	1	0.08	0	0.00	3	0.24	1227		
宮城	3	67%	7	100%	7	56%	33	35%	59	36%	61	37%	34	21%	33	53%	56	13%	48	27%	43	33%	135	15%	135	38	1.65	81	3.51	162	7.03	101	4.38	2306		
秋田	10	0%	7	57%	3	33%	2	50%	0	-	1	100%	2	50%	0	-	5	0%	1	0%	2	50%	0	100%	6	0	0.00	2	0.21	3	0.31	3	0.31	966		
山形	0	-	1	100%	0	-	1	100%	0	-	0	-	0	-	0	-	3	33%	0	-	3	33%	2	0%	0	0	0.00	5	0.46	0	0.00	2	0.19	1078		
福島	7	71%	20	35%	29	24%	22	23%	27	56%	18	33%	24	38%	21	48%	32	51%	52	26%	32	35%	8	27%	23	52	2.82	17	0.92	3	0.16	29	1.57	1846		
茨城	75	33%	47	47%	48	38%	29	59%	39	44%	16	44%	10	80%	36	42%	32	44%	23	35%	14	43%	27	41%	32	18	0.63	15	0.52	30	1.05	52	1.82	2860		
栃木	31	39%	19	37%	14	50%	7	71%	19	32%	48	8%	49	33%	7	50%	10	27%	16	33%	18	53%	11	23%	9	22	1.14	11	0.57	13	0.67	9	0.47	1934		
群馬	59	54%	91	24%	71	46%	39	64%	46	49%	112	31%	67	28%	23	52%	28	54%	19	37%	73	63%	55	67%	24	24	1.24	85	4.38	32	1.65	25	1.29	1942		
埼玉	375	37%	350	61%	341	60%	274	63%	149	63%	166	60%	128	74%	194	44%	237	58%	335	40%	275	43%	265	34%	307	294	4.00	260	3.54	262	3.56	383	5.21	7350		
千葉	289	53%	343	51%	271	55%	199	53%	179	52%	217	44%	190	48%	221	43%	264	59%	241	54%	262	41%	263	40%	252	228	3.64	288	4.60	243	3.88	307	4.90	6259		
東京	1962	63%	1796	62%	1457	59%	1153	58%	1156	54%	1197	51%	1013	52%	1328	54%	1147	60%	1282	56%	1100	58%	1183	52%	1260	1255	9.02	1084	7.79	1172	8.42	1482	10.65	13921		
神奈川	580	51%	632	48%	471	53%	544	54%	538	46%	432	48%	334	50%	453	47%	368	53%	435	49%	402	38%	403	40%	488	428	4.65	424	4.61	413	4.49	586	6.37	9198		
新潟	3	0%	9	33%	4	20%	3	67%	3	0%	14	7%	7	29%	2	0%	6	14%	4	33%	0	-	3	0%	4	1	0.04	2	0.09	2	0.09	15	0.67	2223		
富山	30	27%	35	29%	34	47%	31	18%	9	33%	1	50%	1	50%	11	30%	1	-	0	-	1	-	1	0%	1	1	0.10	0	0.00	1	0.10	1	0.10	1044		
石川	94	21%	107	35%	81	29%	68	21%	43	34%	20	26%	27	35%	6	60%	3	33%	8	23%	10	50%	9	54%	10	15	1.32	5	0.44	13	1.14	11	0.97	1138		
福井	1	100%	3	0%	49	4%	35	0%	3	0%	0	-	0	-	0	-	5	20%	5	0%	2	0%	0	-	1	7	0.91	0	0.00	1	0.13	5	0.65	768		
山梨	12	42%	24	29%	9	78%	2	67%	5	50%	1	100%	1	100%	12	42%	3	67%	3	100%	4	50%	10	30%	16	2	0.25	7	0.86	12	1.48	25	3.08	811		
長野	18	80%	18	86%	56	15%	65	14%	12	60%	3	60%	4	50%	8	11%	7	13%	5	17%	7	60%	9	20%	12	6	0.29	8	0.39	10	0.49	40	1.95	2049		
岐阜	65	38%	33	34%	18	24%	13	67%	10	38%	22	18%	15	44%	16	38%	5	60%	10	33%	26	24%	13	43%	45	9	0.45	28	1.41	21	1.06	49	2.47	1987		
静岡	54	35%	34	39%	48	29%	9	36%	17	10%	15	20%	9	15%	25	19%	14	43%	10	62%	13	46%	58	17%	61	13	0.36	16	0.44	65	1.78	95	2.61	3644		
愛知	757	52%	484	47%	345	41%	226	40%	199	45%	204	36%	178	42%	186	35%	101	64%	132	42%	175	45%	319	43%	488	143	1.89	206	2.73	413	5.47	550	7.28	7552		
三重	63	35%	56	18%	34	18%	34	9%	56	2%	14	14%	20	25%	36	11%	10	20%	11	18%	9	67%	8	25%	24	8	0.45	5	0.28	13	0.73	29	1.63	1781		
滋賀	51	22%	50	12%	63	25%	25	39%	9	78%	8	63%	10	50%	17	59%	8	50%	9	56%	16	40%	12	50%	46	12	0.85	13	0.92	18	1.27	63	4.46	1414		
京都	149	52%	190	38%	141	35%	115	32%	73	33%	55	47%	51	28%	61	32%	48	37%	90	27%	53	47%	61	49%	98	68	2.63	51	1.97	87	3.37	106	4.10	2583		
大阪	1152	56%	1043	54%	760	59%	569	47%	547	54%	480	60%	415	66%	387	66%	342	62%	357	64%	466	52%	731	54%	875	375	4.26	534	6.06	862	9.79	944	10.72	8809		
兵庫	278	36%	261	66%	164	61%	95	62%	106	63%	114	54%	87	49%	132	66%	114	75%	96	68%	101	61%	146	45%	234	99	1.81	135	2.47	130	2.38	264	4.83	5466		
奈良	62	32%	109	19%	36	33%	23	35%	14	62%	7	0%	9	44%	15	40%	20	60%	15	40%	14	43%	16	40%	74	13	0.98	13	0.98	39	2.93	81	6.09	1330		
和歌山	17	16%	33	7%	5	43%	3	0%	5	0%	0	-	2	0%	4	0%	8	0%	5	0%	14	0%	6	20%	6	6	0.65	17	1.84	5	0.54	12	1.30	925		
鳥取	0	-	1	100%	0	-	0	-	1	100%	13	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3	33%	4	0	0.00	2	0.36	1	0.18	12	2.16	556		
島根	103	2%	2	0%	3	0%	0	-	0	-	0	-	3	67%	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	0	0	0.00	1	0.15	0	0.00	0	0.00	0	0.00	674
岡山	16	31%	10	50%	12	60%	1	0%	0	-	2	0%	2	25%	7	33%	6	20%	7	60%	24	24%	79	11%	50	10	0.53	33	1.75	85	4.50	49	2.59	1890		
広島	37	44%	14	71%	8	44%	3	50%	5	43%	11	22%	30	13%	83	22%	34	26%	25	21%	7	67%	5	29%	11	10	0.36	5	0.18	6	0.21	16	0.57	2804		
山口	18	8%	18	16%	51	16%	27	4%	16	8%	1	100%	0	100%	6	33%	7	0%	1	0%	4	0%	0	-	10	0	0.00	4	0.29	0	0.00	12	0.88	1358		
徳島	26	13%	23	28%	23	8%	18	25%	1	50%	1	-	0	-	1	-	1	0%	0	13%	15	0%	0	-	3	10	1.37	5	0.69	0	0.00	4	0.55	728		
香川	4	75%	9	22%	7	71%	7	29%	3	67%	6	50%	0	-	0	-	0	-	5	60%	3	33%	0	-	2	3	0.31	2	0.21	0	0.00	5	0.52	956		
愛媛	9	10%	3	33%	2	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	1	100%	0	-	0	-	1	1	0.07	0	0.00	0	0.00	1	0.07	1339		
高知	0	-	23	9%	13	23%	11	18%	7	0%	0	-	0	-	1	100%	0	-	2	100%	0	-	4	50%	0	1	0.14	2	0.29	2	0.29	0	0.00	698		
福岡	73																																			

②(1) 入院者数、受入確保病床数に占める入院者数の割合

	4月28日			5月7日			5月13日			5月21日			5月27日			6月3日			6月10日			6月17日			6月24日			7月1日			7月8日			7月15日			7月22日			7月29日			8月5日		
	入院者数	病床数 (5/1)	入院者数 /病床数	入院者数	病床数 (5/8)	入院者数 /病床数	入院者数	病床数 (5/15)	入院者数 /病床数	入院者数	病床数 (5/20)	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数																		
日本	5,514	16,081	34%	4,436	16,352	27%	3,423	17,290	20%	2,058	17,698	12%	1,369	18,346	7%	1,015	19,206	5%	781	19,474	4%	587	19,497	3%	559	19,532	3%	696	19,606	4%	1,039	19,503	5%	1,717	19,496	9%	2,744	19,558	14%	4,034	20,314	20%	5,112	22,190	23%
北海道	305	499	61%	306	499	61%	284	693	41%	215	693	31%	186	700	27%	159	700	23%	111	700	16%	95	700	14%	79	700	11%	99	700	14%	65	700	9%	54	700	8%	58	700	8%	55	700	8%	80	700	11%
青森県	9	99	9%	10	99	10%	6	126	5%	2	126	2%	2	128	2%	0	128	0%	0	128	0%	0	128	0%	0	144	0%	0	144	0%	0	144	0%	3	158	2%	4	158	3%	1	158	1%	2	158	1%
岩手県	0	38	0%	0	38	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	0	93	0%	3	205	1%
宮城県	26	388	7%	10	388	3%	5	388	1%	1	388	0%	1	388	0%	0	388	0%	1	388	0%	4	388	1%	4	388	1%	4	388	1%	4	388	1%	7	388	2%	13	388	3%	10	388	3%	20	388	5%
秋田県	6	105	6%	3	105	3%	1	105	1%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	0	105	0%	2	235	1%	2	235	1%
山形県	28	150	19%	15	150	10%	11	150	7%	6	150	4%	3	150	2%	3	150	2%	2	150	1%	1	150	1%	1	150	1%	1	150	1%	3	150	2%	4	150	3%	3	150	2%	1	150	1%	1	215	0%
福島県	48	229	21%	36	229	16%	24	229	10%	10	229	4%	7	229	3%	6	229	3%	3	229	1%	2	229	1%	2	229	1%	1	229	0%	1	229	0%	2	229	1%	2	229	1%	3	229	1%	4	229	2%
茨城県	68	151	45%	54	151	36%	33	151	22%	19	151	13%	12	151	8%	10	151	7%	7	151	5%	6	151	4%	11	151	7%	5	151	3%	12	151	8%	15	151	10%	17	166	10%	29	167	17%	50	171	29%
栃木県	37	130	28%	26	130	20%	19	130	15%	17	130	13%	18	271	7%	12	271	4%	4	271	1%	1	271	0%	1	271	0%	16	271	6%	17	271	6%	20	271	7%	45	271	17%	58	271	21%	74	311	24%
群馬県	105	152	69%	69	165	42%	51	170	30%	24	170	14%	16	170	9%	9	170	5%	7	170	4%	3	170	2%	2	170	1%	3	170	2%	3	170	2%	6	240	3%	15	240	6%	25	307	8%	33	302	11%
埼玉県	277	575	48%	262	575	46%	172	602	29%	102	602	17%	71	602	12%	46	602	8%	26	602	4%	20	602	3%	35	602	6%	81	602	13%	111	602	18%	182	602	30%	248	602	41%	243	602	40%	298	683	44%
千葉県	296	807	37%	245	807	30%	151	807	19%	79	819	10%	51	819	6%	29	819	4%	20	819	2%	20	819	2%	21	819	3%	40	819	5%	66	819	8%	126	819	15%	177	819	22%	179	819	22%	292	1,147	25%
東京都	1,832	3,300	56%	1,511	3,300	46%	1,320	3,300	40%	753	3,300	23%	424	3,300	13%	319	3,300	10%	271	3,300	8%	236	3,300	7%	238	3,300	7%	297	3,300	9%	453	3,300	14%	728	3,300	22%	992	3,300	30%	1,250	3,300	38%	1,416	3,300	43%
神奈川県	217	1,082	20%	214	1,082	20%	197	1,296	15%	163	1,346	12%	141	1,346	10%	109	2,018	5%	87	2,040	4%	56	2,050	3%	46	2,050	2%	51	2,050	2%	59	2,050	3%	92	1,979	5%	122	1,979	6%	145	1,979	7%	184	1,951	9%
新潟県	38	411	9%	29	411	7%	26	411	6%	12	411	3%	5	411	1%	1	411	0%	1	411	0%	1	411	0%	2	411	0%	0	411	0%	1	411	0%	3	411	1%	6	411	1%	8	411	2%	20	456	4%
富山県	104	500	21%	87	500	17%	64	500	13%	31	500	6%	21	500	4%	10	500	2%	4	500	1%	7	500	1%	0	500	0%	0	500	0%	2	500	0%	2	500	0%	5	500	1%	5	500	1%	20	500	4%
石川県	150	170	88%	113	233	48%	90	233	39%	69	233	30%	56	233	24%	41	233	18%	33	233	14%	29	233	12%	24	233	10%	16	233	7%	8	233	3%	4	254	2%	9	254	4%	15	254	6%	16	258	6%
福井県	48	122	39%	25	131	19%	16	165	10%	8	173	5%	5	176	3%	2	176	1%	1	176	1%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	2	176	1%	3	176	2%	4	176	2%	19	190	10%
山梨県	21	80	26%	10	80	13%	6	80	8%	7	80	9%	1	80	1%	4	80	5%	3	80	4%	2	80	3%	1	80	1%	1	80	1%	0	80	0%	1	80	1%	4	80	5%	10	170	6%	18	250	7%
長野県	50	300	17%	40	300	13%	26	300	9%	16	300	5%	10	300	3%	5	300	2%	4	300	1%	1	300	0%	2	300	1%	1	300	0%	1	300	0%	4	300	1%	9	300	3%	20	350	6%	35	350	10%
岐阜県	73	353	21%	37	353	10%	15	353	4%	6	373	2%	3	353	1%	4	351	1%	9	356	3%	10	357	3%	5	354	1%	2	362	1%	6	342	2%	9	325	3%	38	281	14%	97	387	25%	146	397	37%
静岡県	27	200	14%	29	200	15%	12	200	6%	3	200	2%	3	200	2%	3	200	2%	2	200	1%	4	200	2%	4	200	2%	4	200	2%	6	200	3%	11	200	6%	28	200	14%	63	200	32%	91	300	30%
愛知県	176	445	40%	122	445	27%	76	500	15%	31	500	6%	15	500	3%	10	500	2%	7	500	1%	7	500	1%	5	500	1%	3	500	1%	4	500	1%	13	500	3%	104	500	21%	195	500	39%	258	766	34%
三重県	25	171	15%	15	171	9%	10	175	6%	5	175	3%	3	175	2%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	1	176	1%	0	176	0%	0	176	0%	3	171	2%	9	171	5%	23	171	13%	69	358	19%
滋賀県	51	109	47%	31	113	27%	23	184	13%	16	242	7%	9	259	3%	8	278	3%	2	264	1%	1	264	0%	2	264	1%	2	245	1%	4	161	2%	5	141	4%	14	141	10%	52	141	37%	72	141	51%
京都府 <small>(1130内)</small>	252	-	-	75	252	30%	55	264	21%	34	264	13%	19	264	7%	10	264	4%	5	431	1%	5	431	1%	5	431	1%	16	431	4%	35	431	8%	53	431	12%	84	431	19%	118	431	27%	112	495	23%
大阪府	580	1,074	54%	466	1,112	42%	386	1,137	34%	252	1,151	22%	155	1,179	13%	82	1,203	7%	52	1,225	4%	26	1,225	2%	30	1,247	2%	26	1,252	2%	48	1,253	4%	97	1,254	8%	305	1,257	24%	534	1,257	42%	372	1,257	30%
兵庫県	258	509	51%	163	509	32%	108	515	21%	43	515	8%	34	515	7%	18	515	3%	4	515	1%	3	515	1%	7	515	1%	6	515	1%	12	515	2%	28	515	5%	72	515	14%	148	652	23%	239	652	37%
奈良県	42	240	18%	29	240	12%	18	240	8%	7	240	3%	3	318	1%	2	415	0%	1	422	0%	0	434	0%	0	434	0%	0	434	0%	9	434	2%	35	434	8%	44	434	10%	66	467	14%	69	467	15%
和歌山県	29	117	25%	17	117	15%	12	124	10%	9	124	7%	6	124	5%	3																													

	8月12日			8月19日			8月26日			9月2日			9月9日			9月16日			9月23日			9月30日			10月7日			10月14日			10月21日			10月28日			11月4日		
	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数																											
日本	6,009	22,457	27%	5,973	22,795	26%	5,576	22,781	24%	4,994	26,370	19%	4,174	26,330	16%	3,754	26,378	14%	3,630	26,498	14%	3,266	26,520	12%	2,979	26,551	11%	3,064	26,649	11%	2,982	26,729	11%	3,121	26,878	12%	3,592	26,901	13%
北海道	97	700	14%	95	700	14%	101	628	16%	93	1,767	5%	53	1,767	3%	40	1,767	2%	62	1,767	4%	86	1,767	5%	110	1,811	6%	121	1,811	7%	110	1,811	6%	151	1,811	8%	215	1,811	12%
青森県	2	158	1%	1	158	1%	0	158	0%	2	161	1%	2	161	1%	2	166	1%	0	165	0%	1	165	1%	1	187	1%	2	187	1%	46	187	25%	56	201	28%	55	201	27%
岩手県	6	205	3%	5	205	2%	6	205	3%	12	374	3%	5	374	1%	1	374	0%	0	374	0%	0	374	0%	1	374	0%	2	374	1%	3	374	1%	4	374	1%	4	374	1%
宮城県	14	388	4%	7	345	2%	3	345	1%	9	345	3%	34	345	10%	63	345	18%	45	345	13%	25	345	7%	34	345	10%	34	345	10%	31	345	9%	98	345	28%	131	345	38%
秋田県	15	231	6%	12	231	5%	5	231	2%	4	222	2%	2	222	1%	0	222	0%	0	222	0%	0	222	0%	1	222	0%	2	222	1%	1	222	0%	2	222	1%	4	222	2%
山形県	1	215	0%	0	215	0%	1	215	0%	2	215	1%	2	215	1%	2	215	1%	2	216	1%	2	216	1%	1	216	0%	3	216	1%	1	216	0%	5	216	2%	4	216	2%
福島県	11	229	5%	19	229	8%	36	229	16%	58	469	12%	50	469	11%	45	469	10%	38	469	8%	38	469	8%	49	469	10%	68	469	14%	77	469	16%	41	469	9%	28	469	6%
茨城県	59	171	35%	54	171	32%	36	171	21%	38	546	7%	36	546	7%	32	546	6%	22	546	4%	26	546	5%	40	546	7%	31	546	6%	18	546	3%	9	546	2%	22	546	4%
栃木県	57	311	18%	44	311	14%	31	311	10%	21	311	7%	21	311	7%	63	313	20%	92	313	29%	51	313	16%	25	313	8%	22	313	7%	29	313	9%	28	313	9%	26	313	8%
群馬県	53	302	18%	104	302	34%	93	302	31%	70	302	23%	71	302	24%	93	305	30%	127	305	42%	45	305	15%	36	305	12%	34	305	11%	36	305	12%	46	305	15%	31	305	10%
埼玉県	357	683	52%	323	967	33%	340	974	35%	303	1,078	28%	234	1,095	21%	212	1,095	19%	211	1,201	18%	154	1,201	13%	191	1,201	16%	202	1,206	17%	240	1,206	20%	231	1,206	19%	268	1,206	22%
千葉県	325	1,147	28%	281	1,147	24%	256	1,147	22%	242	1,147	21%	190	1,147	17%	198	1,147	17%	195	1,147	17%	168	1,147	15%	178	1,147	16%	178	1,147	16%	183	1,147	16%	193	1,147	17%	169	1,147	15%
東京都	1,725	3,300	52%	1,665	3,300	50%	1,588	3,300	48%	1,418	4,000	35%	1,255	4,000	31%	1,234	4,000	31%	1,250	4,000	31%	1,182	4,000	30%	996	4,000	25%	1,146	4,000	29%	1,008	4,000	25%	960	4,000	24%	1,042	4,000	26%
神奈川県	225	1,939	12%	300	1,939	15%	269	1,939	14%	265	1,939	14%	269	1,939	14%	286	1,939	15%	275	1,939	14%	289	1,939	15%	281	1,939	14%	257	1,939	13%	267	1,939	14%	261	1,939	13%	245	1,939	13%
新潟県	12	456	3%	11	456	2%	11	456	2%	8	456	2%	7	456	2%	7	456	2%	20	456	4%	9	456	2%	2	456	0%	6	456	1%	1	456	0%	3	456	1%	4	456	1%
富山県	41	500	8%	48	500	10%	43	500	9%	50	500	10%	22	500	4%	12	500	2%	5	500	1%	9	500	2%	9	500	2%	2	500	0%	0	500	0%	0	500	0%	0	500	0%
石川県	70	258	27%	125	258	48%	138	258	53%	131	258	51%	101	258	39%	65	258	25%	68	258	26%	40	258	16%	26	258	10%	20	258	8%	22	258	9%	9	258	3%	18	258	7%
福井県	18	190	9%	6	190	3%	18	190	9%	65	190	34%	53	215	25%	24	215	11%	9	215	4%	2	215	1%	2	215	1%	4	215	2%	8	215	4%	2	215	1%	1	215	0%
山梨県	27	250	11%	23	285	8%	35	285	12%	15	285	5%	10	285	4%	9	285	3%	4	285	1%	6	285	2%	7	285	2%	4	285	1%	1	285	0%	8	285	3%	14	285	5%
長野県	39	350	11%	29	350	8%	48	350	14%	86	350	25%	40	350	11%	18	350	5%	10	350	3%	5	350	1%	11	350	3%	5	350	1%	8	350	2%	8	350	2%	16	350	5%
岐阜県	134	397	34%	65	397	16%	45	397	11%	27	625	4%	18	625	3%	37	625	6%	19	625	3%	31	625	5%	17	625	3%	11	625	2%	17	625	3%	28	625	4%	42	625	7%
静岡県	68	300	23%	51	300	17%	37	300	12%	34	466	7%	27	384	7%	16	384	4%	9	384	2%	8	384	2%	17	384	4%	5	384	1%	9	384	2%	23	384	6%	34	384	9%
愛知県	318	766	42%	352	791	45%	369	791	47%	289	791	37%	219	791	28%	172	791	22%	174	791	22%	152	791	19%	108	791	14%	87	791	11%	82	860	10%	98	860	11%	148	860	17%
三重県	125	358	35%	82	358	23%	76	363	21%	46	363	13%	84	363	23%	78	363	21%	79	363	22%	83	363	23%	53	363	15%	23	363	6%	16	363	4%	10	349	3%	20	349	6%
滋賀県	116	154	75%	90	173	52%	89	175	51%	81	429	19%	47	429	11%	34	429	8%	20	429	5%	28	429	7%	16	429	4%	16	429	4%	14	429	3%	21	429	5%	22	429	5%
京都府	100	495	20%	108	495	22%	110	495	22%	78	515	15%	81	515	16%	54	515	10%	72	515	14%	40	530	8%	49	530	9%	75	530	14%	61	530	12%	48	569	8%	60	569	11%
大阪府	473	1,257	38%	561	1,257	45%	483	1,257	38%	488	1,282	38%	443	1,282	35%	375	1,324	28%	379	1,337	28%	318	1,337	24%	239	1,337	18%	217	1,361	16%	187	1,361	14%	266	1,377	19%	366	1,377	27%
兵庫県	226	652	35%	224	652	34%	189	652	29%	125	663	19%	99	663	15%	113	663	17%	89	663	13%	89	663	13%	96	663	14%	106	663	16%	104	663	16%	115	663	17%	149	663	22%
奈良県	76	467	16%	87	467	19%	86	467	18%	38	467	8%	34	467	7%	19	467	4%	18	467	4%	14	467	3%	17	467	4%	27	467	6%	21	467	4%	17	467	4%	49	467	10%
和歌山県	18	192	9%	33	210	16%	31	236	13%	7	400	2%	3	400	1%	5	400	1%	4	400	1%	6	400	2%	4	400	1%	10	400	3%	12	400	3%	12	400	3%	6	400	2%
鳥取県	15	313	5%	10	313	3%	3	313	1%	0	313	0%	0	313	0%	12	313	4%	13	313	4%	5	313	2%	4	313	1%	1	313	0%	0	313	0%	3	313	1%	2	313	1%
島根県	42	253	17%	25	253	10%	5	253	2%	2	253	1%	0	253	0%	0	253	0%	0	253	0%	3	253	1%	0	253	0%	0	253	0%	0	253	0%	1	253	0%	0	253	0%
岡山県	20	250	8%	16	250	6%	11	250	4%	4	250	2%	1	250	0%	1	250	0%	1	250	0%	8	257	3%	7	257	3%	10	257	4%	16	257	6%	44	257	17%	87	281	31%
広島県	82	553	15%	31	553	6%	22	553	4%	12	553	2%	12	553	2%	11	553	2%	15	553	3%	92	553	17%	70	553	13%												

	10月7日			10月14日			10月21日			10月28日			11月4日		
	重症者数	病床数	重症者数 /病床数	重症者数	病床数	重症者数 /病床数	重症者数	病床数	重症者数 /病床数	重症者数	病床数	重症者数 /病床数	重症者数	病床数	重症者数 /病床数
日本	296	3,388	9%	317	3,440	9%	279	3,439	8%	290	3,432	8%	319	3,467	9%
北海道	0	182	0%	1	182	1%	2	182	1%	2	182	1%	6	182	3%
青森県	0	31	0%	0	31	0%	2	31	6%	2	31	6%	3	31	10%
岩手県	0	59	0%	0	59	0%	0	59	0%	0	59	0%	0	59	0%
宮城県	1	43	2%	1	43	2%	1	43	2%	4	43	9%	5	43	12%
秋田県	0	22	0%	0	22	0%	0	22	0%	0	22	0%	1	22	5%
山形県	0	26	0%	0	26	0%	0	26	0%	0	26	0%	0	26	0%
福島県	3	42	7%	3	42	7%	3	42	7%	5	42	12%	3	42	7%
茨城県	5	72	7%	4	72	6%	2	72	3%	1	72	1%	0	72	0%
栃木県	0	41	0%	0	41	0%	0	41	0%	0	41	0%	0	41	0%
群馬県	3	23	13%	4	23	17%	5	23	22%	5	23	22%	4	23	17%
埼玉県	6	128	5%	10	128	8%	10	128	8%	9	128	7%	9	128	7%
千葉県	10	101	10%	12	101	12%	9	101	9%	11	101	11%	10	101	10%
東京都	128	500	26%	135	500	27%	116	500	23%	121	500	24%	128	500	26%
神奈川県	20	200	10%	23	200	12%	23	200	12%	24	200	12%	24	200	12%
新潟県	0	112	0%	0	112	0%	0	112	0%	0	112	0%	0	112	0%
富山県	1	36	3%	0	36	0%	0	36	0%	0	36	0%	0	36	0%
石川県	4	35	11%	4	35	11%	3	35	9%	1	35	3%	1	35	3%
福井県	0	24	0%	0	24	0%	0	24	0%	0	24	0%	1	24	4%
山梨県	1	24	4%	1	24	4%	0	24	0%	0	24	0%	0	24	0%
長野県	0	48	0%	0	48	0%	1	48	2%	1	48	2%	0	48	0%
岐阜県	2	51	4%	1	51	2%	1	51	2%	1	51	2%	1	51	2%
静岡県	2	34	6%	0	34	0%	0	34	0%	0	34	0%	0	34	0%
愛知県	12	70	17%	10	70	14%	10	70	14%	10	70	14%	11	70	16%
三重県	2	51	4%	0	51	0%	0	51	0%	2	53	4%	4	53	8%
滋賀県	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%
京都府	9	86	10%	12	86	14%	8	86	9%	7	86	8%	15	86	17%
大阪府	37	333	11%	45	355	13%	35	355	10%	39	355	11%	50	355	14%
兵庫県	11	110	10%	13	110	12%	17	110	15%	15	110	14%	16	110	15%
奈良県	0	25	0%	1	25	4%	2	27	7%	1	27	4%	0	27	0%
和歌山県	0	40	0%	0	40	0%	0	40	0%	0	40	0%	0	40	0%
鳥取県	0	47	0%	0	47	0%	0	47	0%	0	47	0%	0	47	0%
島根県	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%
岡山県	3	37	8%	2	37	5%	1	37	3%	0	37	0%	2	37	5%
広島県	1	72	1%	1	72	1%	1	72	1%	0	72	0%	0	72	0%
山口県	1	102	1%	1	102	1%	1	102	1%	1	102	1%	0	137	0%
徳島県	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%
香川県	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%	0	26	0%	0	26	0%
愛媛県	0	33	0%	0	33	0%	0	33	0%	0	33	0%	0	33	0%
高知県	0	57	0%	0	57	0%	0	58	0%	0	58	0%	0	58	0%
福岡県	6	60	10%	7	90	8%	5	90	6%	4	90	4%	4	90	4%
佐賀県	0	46	0%	0	46	0%	0	46	0%	0	46	0%	0	46	0%
長崎県	0	27	0%	0	27	0%	0	27	0%	0	27	0%	0	27	0%
熊本県	0	59	0%	1	59	2%	0	59	0%	0	59	0%	1	59	2%
大分県	0	41	0%	0	41	0%	0	41	0%	0	41	0%	0	41	0%
宮崎県	0	33	0%	0	33	0%	0	33	0%	0	33	0%	1	33	3%
鹿児島県	0	48	0%	0	48	0%	0	48	0%	0	38	0%	0	38	0%
沖縄県	28	57	49%	25	57	44%	21	53	40%	24	53	45%	19	53	36%

②(3) 宿泊療養者数、宿泊施設受入可能室数に占める宿泊療養者数の割合

	4月28日			5月7日			5月13日			5月21日			5月27日			6月3日			6月10日			6月17日			6月24日			7月1日					
	宿泊療養者数①	受入可能室数②	①/②																														
日本	906			863	16,113	5%	611	18,254	3%	289	19,430	1%	169	19,565	1%	105	19,680	1%	111	19,778	1%	95	19,711	0%	62	19,675	0%	111	20,010	1%			
北海道	49			111	260	43%	60	930	6%	22	930	2%	11	930	1%	9	930	1%	13	930	1%	14	930	2%	4	930	0%	4	930	0%			
青森県	0			0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%			
岩手県	0			0	-	-	0	-	-	0	85	0%	0	85	0%	0	85	0%	0	85	0%	0	85	0%	0	85	0%	0	85	0%			
宮城県	7			4	200	2%	1	200	1%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	1	200	1%	0	200	0%	2	200	1%	1	100	1%			
秋田県	0			0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%			
山形県	0			0	-	-	0	203	0%	0	203	0%	0	203	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%			
福島県	2			8	200	4%	4	200	2%	3	300	1%	2	300	1%	0	300	0%	0	300	0%	0	300	0%	0	300	0%	0	100	0%			
茨城県	33			14	175	8%	7	175	4%	0	175	0%	0	175	0%	0	34	0%	0	34	0%	0	34	0%	0	34	0%	0	34	0%			
栃木県	0			4	111	4%	0	111	0%	0	111	0%	0	111	0%	1	111	1%	0	111	0%	0	111	0%	0	111	0%	0	111	0%			
群馬県	0			11	150	7%	7	150	5%	1	150	1%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%			
埼玉県	53			61	1,055	6%	39	1,055	4%	25	1,055	2%	8	1,055	1%	3	1,055	0%	1	1,055	0%	0	1,055	0%	6	1,055	1%	10	1,055	1%			
千葉県	13			37	526	7%	36	666	5%	14	666	2%	8	666	1%	0	736	0%	1	736	0%	4	736	1%	0	736	0%	5	736	1%			
東京都	198			149	2,865	5%	117	2,865	4%	53	2,865	2%	25	2,865	1%	24	2,865	1%	48	2,865	2%	64	2,865	2%	45	2,865	2%	71	2,865	2%			
神奈川県	74			76	2,303	3%	51	2,323	2%	36	2,359	2%	40	2,395	2%	23	2,395	1%	16	2,431	1%	10	2,431	0%	3	2,431	0%	12	2,431	0%			
新潟県	0			3	50	6%	4	50	8%	2	50	4%	2	50	4%	0	50	0%	0	50	0%	0	50	0%	0	50	0%	0	50	0%			
富山県	10			10	100	10%	8	100	8%	1	100	1%	1	100	1%	0	100	0%	0	100	0%	1	100	1%	0	100	0%	0	100	0%			
石川県	50			37	170	22%	22	170	13%	4	340	1%	5	340	1%	5	340	1%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%			
福井県	1			0	115	0%	0	115	0%	1	115	1%	0	115	0%	0	115	0%	0	115	0%	0	115	0%	0	115	0%	0	35	0%	0	15	0%
山梨県	0			1	21	5%	0	21	0%	1	21	5%	1	21	5%	0	21	0%	0	21	0%	0	21	0%	0	21	0%	0	21	0%			
長野県	0			0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%			
岐阜県	0			0	265	0%	0	265	0%	0	317	0%	0	366	0%	0	366	0%	0	428	0%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%			
静岡県	0			0	-	-	0	155	0%	0	155	0%	0	155	0%	0	155	0%	0	155	0%	0	155	0%	0	155	0%	0	155	0%			
愛知県	28			15	1,300	1%	9	1,300	1%	3	1,300	0%	0	1,300	0%	0	1,300	0%	0	1,300	0%	0	1,300	0%	0	1,300	0%	0	1,300	0%			
三重県	0			0	64	0%	0	64	0%	0	64	0%	0	64	0%	0	64	0%	0	64	0%	0	64	0%	0	64	0%	0	64	0%			
滋賀県	10			9	62	15%	6	62	10%	3	62	5%	1	62	2%	0	62	0%	0	62	0%	0	62	0%	0	62	0%	0	62	0%			
京都府	24			21	338	6%	15	338	4%	6	338	2%	2	338	1%	0	338	0%	0	338	0%	0	338	0%	0	338	0%	0	338	0%			
大阪府	135			165	1,565	11%	146	1,565	9%	70	1,565	4%	37	1,565	2%	12	1,565	1%	0	1,565	0%	1	1,565	0%	2	1,565	0%	8	1,565	1%			
兵庫県	90			47	578	8%	30	578	5%	17	578	3%	7	578	1%	3	578	1%	0	578	0%	0	578	0%	0	578	0%	0	578	0%			
奈良県	3			3	108	3%	2	108	2%	1	108	1%	2	108	2%	0	108	0%	0	108	0%	0	108	0%	0	108	0%	0	108	0%			
和歌山県	0			0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%			
鳥取県	0			0	412	0%	0	412	0%	0	640	0%	0	640	0%	0	640	0%	0	640	0%	0	640	0%	0	640	0%	0	640	0%			
島根県	0			0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%	0	45	0%			
岡山県	0			0	-	-	0	78	0%	0	78	0%	0	78	0%	0	78	0%	0	78	0%	0	78	0%	0	78	0%	0	78	0%			
広島県	4			8	130	6%	10	130	8%	6	130	5%	4	130	3%	0	130	0%	0	130	0%	0	130	0%	0	130	0%	0	130	0%			
山口県	0			0	594	0%	0	594	0%	0	594	0%	0	594	0%	0	594	0%	0	594	0%	0	594	0%	0	594	0%	0	638	0%	0	638	0%
徳島県	0			0	200	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%			
香川県	0			0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%			
愛媛県	3			2	67	3%	1	67	1%	7	67	10%	7	67	10%	2	67	3%	1	67	1%	0	67	0%	0	67	0%	0	67	0%			
高知県	11			2	16	13%	1	16	6%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%			
福岡県	88			56	826	7%	30	826	4%	9	826	1%	3	826	0%	23	826	3%	30	826	4%	1	826	0%	0	826	0%	0	826	0%			
佐賀県	2			6	230	3%	5	230	2%	4	230	2%	3	230	1%	0	230	0%	0	230	0%	0	230	0%	0	230	0%	0	230	0%			
長崎県	0			0	-	-	0	-	-	0	6	0%	0	6	0%	0	6	0%	0	6	0%	0	163	0%	0	163	0%	0	163	0%			
熊本県	0			0	-	-	0	867	0%	0	1,366	0%	0	1,366	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%			
大分県	0			0	65	0%	0	65	0%	0	65	0%	0	65	0%	0	65	0%	0	65	0%	0	65	0%	0	65	0%	0	700	0%			
宮崎県	0			0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%			
鹿児島県	0			0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%			
沖縄県	18			3	262	1%	0	262	0%	0	262	0%	0	262	0%	0	262	0%	0	262	0%	0	0	-	0	0	-	0	0	-			

(資料) 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果」を基に作成

注: 「受入可能室数」は、受け入れが確実な宿泊施設の部屋として都道府県が判断し、厚生労働省に報告した室数。都道府県の運用によっては、事務職員の宿泊や物資の保管、医師・看護師の控え室のために使用する居室等として、一部使われる場合がある。(当該居室数が具体的に確認できた場合、数値を置き換えることにより、数値が減る場合がある。)

	7月8日			7月15日			7月22日			7月29日			8月5日			8月12日			8月19日			8月26日			9月2日			9月9日		
	宿泊療養者数①	受入可能室数②	①/②																											
日本	335	18,368	2%	343	16,762	2%	697	16,950	4%	984	16,996	6%	1,660	18,924	9%	1,592	18,102	9%	1,435	19,276	7%	1,437	19,734	7%	1,151	20,879	6%	800	22,151	4%
北海道	6	810	1%	9	930	1%	26	810	3%	25	810	3%	37	810	5%	50	810	6%	29	810	4%	32	810	4%	28	1,170	2%	28	1,170	2%
青森県	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%
岩手県	0	85	0%	0	85	0%	0	85	0%	0	85	0%	0	225	0%	0	225	0%	0	225	0%	0	225	0%	0	225	0%	0	225	0%
宮城県	2	100	2%	2	100	2%	9	100	9%	0	100	0%	3	100	3%	5	100	5%	0	100	0%	3	100	3%	9	160	6%	14	300	5%
秋田県	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	4	16	25%	5	16	31%	0	16	0%	0	16	0%	1	16	6%
山形県	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%
福島県	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%
茨城県	2	34	6%	7	34	21%	6	34	18%	5	34	15%	10	34	29%	7	34	21%	6	104	6%	17	104	16%	13	324	4%	9	324	3%
栃木県	0	111	0%	0	111	0%	1	111	1%	0	111	0%	0	111	0%	0	111	0%	0	111	0%	0	111	0%	0	111	0%	0	284	0%
群馬県	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	2	150	1%	4	150	3%	23	150	15%	8	363	2%	2	1,300	0%
埼玉県	44	1,055	4%	78	904	9%	100	904	11%	104	1,225	8%	76	1,225	6%	56	1,225	5%	65	1,225	5%	99	1,225	8%	94	1,225	8%	66	1,225	5%
千葉県	7	736	1%	15	736	2%	30	736	4%	42	736	6%	72	710	10%	103	710	15%	78	710	11%	80	710	11%	58	710	8%	42	710	6%
東京都	162	1,307	12%	118	371	32%	155	371	42%	213	670	32%	442	2,148	21%	417	2,148	19%	278	3,044	9%	279	3,044	9%	265	1,860	14%	179	1,860	10%
神奈川県	51	2,431	2%	49	2,431	2%	131	2,486	5%	106	2,486	4%	140	2,486	6%	148	749	20%	175	749	23%	143	545	26%	136	1,000	14%	131	545	24%
新潟県	0	50	0%	0	50	0%	0	50	0%	0	150	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%
富山県	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	150	0%	0	200	0%	3	200	2%	5	200	3%	8	100	8%	2	100	2%
石川県	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	2	340	1%	13	340	4%	16	340	5%	3	340	1%	10	340	3%
福井県	0	15	0%	0	42	0%	0	42	0%	0	65	0%	0	65	0%	0	75	0%	0	75	0%	0	75	0%	3	75	4%	0	75	0%
山梨県	0	21	0%	0	21	0%	0	21	0%	0	21	0%	3	21	14%	4	21	19%	1	21	5%	1	28	4%	0	100	0%	0	100	0%
長野県	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	200	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%
岐阜県	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%	5	381	1%	1	381	0%	3	379	1%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%
静岡県	0	155	0%	2	155	1%	2	155	1%	26	155	17%	20	155	13%	8	155	5%	7	155	5%	6	155	4%	4	450	1%	0	223	0%
愛知県	0	1,300	0%	0	1,300	0%	0	1,300	0%	5	1,300	0%	47	1,300	4%	47	1,300	4%	45	1,300	3%	57	1,300	4%	50	1,300	4%	34	1,300	3%
三重県	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	1	100	1%	1	100	1%	0	100	0%
滋賀県	0	62	0%	0	62	0%	0	62	0%	0	62	0%	6	62	10%	11	62	18%	15	62	24%	11	62	18%	10	250	4%	2	260	1%
京都府	3	338	1%	3	338	1%	29	338	9%	34	338	10%	45	338	13%	24	338	7%	22	338	7%	31	338	9%	34	338	10%	28	338	8%
大阪府	23	1,565	1%	40	712	6%	154	712	22%	233	712	33%	362	957	38%	273	1,229	22%	226	1,229	18%	203	1,517	13%	144	1,517	9%	128	1,517	8%
兵庫県	1	578	0%	2	500	0%	30	500	6%	55	500	11%	50	488	10%	50	488	10%	59	488	12%	43	488	9%	33	698	5%	19	698	3%
奈良県	0	108	0%	0	108	0%	3	108	3%	1	108	1%	4	108	4%	3	108	3%	35	108	32%	22	108	20%	1	108	1%	1	108	1%
和歌山県	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%
鳥取県	0	640	0%	0	640	0%	0	640	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%
島根県	0	65	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	57	163	35%	57	163	35%	0	98	0%	0	98	0%
岡山県	0	78	0%	0	78	0%	0	285	0%	2	285	1%	1	207	0%	3	207	1%	0	207	0%	3	207	1%	0	180	0%	0	207	0%
広島県	0	130	0%	0	130	0%	0	176	0%	0	150	0%	2	150	1%	7	150	5%	2	295	1%	0	295	0%	0	854	0%	0	854	0%
山口県	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%	0	638	0%
徳島県	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	0	208	0%	8	208	4%	2	208	1%	6	208	3%	6	150	4%	7	150	5%
香川県	0	101	0%	0	101	0%	1	101	1%	0	101	0%	1	101	1%	1	101	1%	1	101	1%	1	101	1%	1	101	1%	1	101	1%
愛媛県	0	67	0%	0	67	0%	0	67	0%	0	67	0%	0	67	0%	0	67	0%	0	67	0%	0	67	0%	0	117	0%	0	117	0%
高知県	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	16	0%	0	420	0%	0	361	0%
福岡県	0	826	0%	0	826	0%	12	826	1%	101	455	22%	182	455	40%	198	838	24%	183	838	22%	191	1,057	18%	154	1,057	15%	67	1,057	6%
佐賀県	0	230	0%	0	230	0%	0	230	0%	0	230	0%	4	230	2%	19	230	8%	8	230	3%	5	230	2%	3	253	1%	0	253	0%
長崎県	0	163	0%	3	163	2%	6	163	4%	7	163	4%	40	163	25%	36	163	22%	13	163	8%	6	224	3%	9	224	4%	5	224	2%
熊本県	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	5	1,430	0%	9	1,430	1%	2	1,430	0%
大分県	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	2	700	0%	4	700	1%	17	700	2%	5	170	3%	1	700	0%
宮崎県	0	200	0%	0	250	0%	0	250	0%	14	250	6%	43	250	17%	19	250	8%	18	250	7%	25	250	10%	2	250	1%	0	250	0%
鹿児島県	34	188	18%	15	370	4%	2	370	1%	11	370	3%	13	370	4%	3	370	1%	12	370	3%	3	370	1%	8	370	2%	3	370	

	9月16日			9月23日			9月30日			10月7日			10月14日			10月21日			10月28日			11月4日		
	宿泊療養者数①	受入可能室数②	①/②																					
日本	821	22,647	4%	814	22,647	4%	770	21,988	4%	896	22,269	4%	972	22,049	4%	1,025	22,941	4%	1,194	22,942	5%	1,575	23,042	7%
北海道	22	1,170	2%	47	1,170	4%	50	1,170	4%	64	1,170	5%	86	1,170	7%	106	1,170	9%	180	1,170	15%	355	1,170	30%
青森県	0	30	0%	0	30	0%	0	30	0%	0	130	0%	0	130	0%	14	130	11%	6	130	5%	6	230	3%
岩手県	0	381	0%	0	381	0%	0	381	0%	0	381	0%	0	381	0%	0	381	0%	0	381	0%	0	381	0%
宮城県	11	300	4%	16	300	5%	11	300	4%	9	300	3%	12	300	4%	9	300	3%	26	300	9%	88	300	29%
秋田県	1	16	6%	2	16	13%	0	16	0%	4	16	25%	3	58	5%	0	58	0%	0	58	0%	0	58	0%
山形県	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%	0	188	0%
福島県	0	160	0%	0	160	0%	0	160	0%	0	160	0%	2	160	1%	1	160	1%	1	160	1%	0	160	0%
茨城県	8	324	2%	6	324	2%	5	324	2%	7	324	2%	1	324	0%	13	324	4%	6	324	2%	10	324	3%
栃木県	0	284	0%	0	284	0%	0	284	0%	0	284	0%	0	284	0%	0	284	0%	0	284	0%	0	284	0%
群馬県	4	1,300	0%	9	1,300	1%	8	1,300	1%	0	1,300	0%	4	1,300	0%	12	1,300	1%	54	1,300	4%	16	1,300	1%
埼玉県	54	1,225	4%	46	1,225	4%	56	1,225	5%	80	1,225	7%	110	1,225	9%	106	1,225	9%	100	1,225	8%	78	1,225	6%
千葉県	47	710	7%	55	710	8%	52	710	7%	83	710	12%	66	710	9%	61	710	9%	107	710	15%	78	710	11%
東京都	261	1,860	14%	239	1,860	13%	249	1,860	13%	243	1,860	13%	308	1,910	16%	295	1,910	15%	261	1,910	14%	274	1,910	14%
神奈川県	112	825	14%	127	825	15%	118	811	15%	121	811	15%	121	811	15%	141	861	16%	108	862	13%	131	862	15%
新潟県	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%	0	176	0%
富山県	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	125	0%	0	125	0%	0	125	0%	0	125	0%	1	125	1%
石川県	7	340	2%	1	340	0%	6	340	2%	1	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	2	340	1%	1	340	0%
福井県	0	75	0%	0	75	0%	0	75	0%	0	75	0%	0	75	0%	0	75	0%	0	75	0%	0	75	0%
山梨県	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	6	100	6%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	2	100	2%
長野県	1	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	1	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%
岐阜県	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%	0	466	0%
静岡県	1	223	0%	5	223	2%	2	223	1%	9	379	2%	3	379	1%	5	379	1%	2	379	1%	21	379	6%
愛知県	37	1,300	3%	58	1,300	4%	41	1,300	3%	34	1,300	3%	26	1,300	2%	32	1,300	2%	50	1,300	4%	106	1,300	8%
三重県	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%	0	100	0%
滋賀県	0	260	0%	0	260	0%	0	260	0%	0	260	0%	0	260	0%	0	260	0%	0	260	0%	1	260	0%
京都府	5	338	1%	3	338	1%	5	338	1%	4	338	1%	15	338	4%	12	338	4%	4	338	1%	11	338	3%
大阪府	170	1,517	11%	136	1,517	9%	99	872	11%	89	872	10%	93	560	17%	106	1,517	7%	146	1,517	10%	247	1,517	16%
兵庫県	13	698	2%	17	698	2%	12	698	2%	26	698	4%	24	698	3%	15	698	2%	34	698	5%	29	698	4%
奈良県	0	108	0%	0	108	0%	1	108	1%	1	108	1%	0	108	0%	0	108	0%	1	108	1%	5	108	5%
和歌山県	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%
鳥取県	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%	0	340	0%
島根県	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%
岡山県	0	207	0%	0	207	0%	0	207	0%	1	207	0%	1	207	0%	2	207	1%	4	207	2%	21	207	10%
広島県	1	854	0%	5	854	1%	3	854	0%	13	854	2%	2	854	0%	0	709	0%	0	709	0%	0	709	0%
山口県	0	834	0%	0	834	0%	0	834	0%	0	834	0%	0	834	0%	0	834	0%	0	834	0%	0	834	0%
徳島県	5	150	3%	2	150	1%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%	0	150	0%
香川県	1	101	1%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%	1	101	1%	0	101	0%	0	101	0%	0	101	0%
愛媛県	0	117	0%	0	117	0%	0	117	0%	0	117	0%	0	117	0%	0	117	0%	0	117	0%	0	117	0%
高知県	0	361	0%	0	361	0%	0	361	0%	0	361	0%	0	361	0%	0	361	0%	0	361	0%	0	361	0%
福岡県	43	1,057	4%	15	1,057	1%	3	1,057	0%	11	1,057	1%	11	1,057	1%	9	1,057	1%	13	1,057	1%	22	1,057	2%
佐賀県	0	253	0%	0	253	0%	0	253	0%	1	253	0%	3	253	1%	3	253	1%	2	253	1%	4	253	2%
長崎県	2	224	1%	1	224	0%	1	224	0%	0	224	0%	2	224	1%	0	224	0%	1	224	0%	0	224	0%
熊本県	2	1,430	0%	0	1,430	0%	0	1,430	0%	6	1,430	0%	17	1,430	1%	8	1,430	1%	2	1,430	0%	6	1,430	0%
大分県	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%	0	700	0%
宮崎県	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%	0	250	0%
鹿児島県	1	370	0%	7	370	2%	25	370	7%	17	370	5%	13	370	4%	2	370	1%	0	370	0%	8	370	2%
沖縄県	12	340	4%	17	340	5%	23	340	7%	66	340	19%	47	340	14%	73	370	20%	84	370	23%	54	370	15%

	7月29日			8月5日			8月12日			8月19日			8月26日			9月2日			9月9日			9月16日			9月23日			9月30日			10月7日			10月14日					
	確認中の人数	自宅療養者数	社会福祉施設等療養者数																																				
日本	432	1,686	0	684	3,392	8	1,558	4,514	33	1,414	3,282	0	1,218	2,534	0	860	2,132	3	671	1,432	27	501	1,155	4	562	1,147	0	597	919	2	446	859	1	427	874	1	354	751	
北海道	0	2	0	0	6	0	0	6	0	0	4	0	0	3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	14	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	3	0	0	22	0	0	28	0	0	22	0	0	11	0	0	5	0	0	8	0	0	6	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0	7	0	0	0	0
栃木県	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	47	55	0	55	98	0	49	126	0	36	104	0	24	72	0	35	94	0	46	40	0	12	19	0	19	13	0	14	25	0	25	23	0	20	37	0	31	30	
千葉県	12	44	0	19	106	0	35	158	0	28	107	0	16	97	0	18	50	0	20	41	0	21	40	0	15	76	0	13	50	0	15	40	1	22	64	0	17	76	
東京都	372	542	0	520	556	0	838	663	3	888	690	0	705	538	0	490	466	3	413	405	9	353	417	2	371	475	0	385	455	2	296	415	0	280	390	1	169	234	
神奈川県	0	58	0	0	115	0	0	193	0	0	177	0	0	166	0	0	169	0	0	189	18	0	199	2	0	233	0	0	123	0	0	113	0	0	130	0	0	148	
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	1	0	0	32	0	0	23	0	0	8	0	0	7	0	0	9	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	6	0	0	4	0	0	1	0	
愛知県	0	512	0	58	1,139	0	120	1,314	0	67	782	0	57	417	0	43	321	0	24	180	0	11	141	0	21	151	0	9	129	0	28	133	0	14	95	0	24	101	
三重県	0	0	0	0	15	0	0	1	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
京都府	0	60	0	0	62	0	0	63	0	0	91	0	0	79	0	0	54	0	0	28	0	0	20	0	0	10	0	0	14	0	0	8	0	0	29	0	0	12	
大阪府	0	157	0	0	282	0	493	481	27	387	504	0	409	617	0	263	445	0	158	167	0	101	161	0	133	103	0	173	70	0	76	63	0	87	55	0	112	77	
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
広島県	0	1	0	0	5	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	226	0	0	563	0	0	775	0	0	430	0	0	403	0	0	417	0	0	333	0	0	131	0	0	45	0	0	15	0	0	12	0	0	19	0	0	10	
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	35	0	0	10	0	0	7	0	0	6	0	0	12	0	0	5	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	
熊本県	0	0	0	0	60	0	0	69	2	0	5	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	6	0			

	10月21日			10月28日			11月4日		
	社会福祉施設等療養者数	確認中の人数	自宅療養者数	社会福祉施設等療養者数	確認中の人数	自宅療養者数	社会福祉施設等療養者数	確認中の人数	
日本	0	381	784	0	473	1,017	0	700	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	
青森県	0	36	21	0	43	10	0	9	
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮城県	0	0	1	0	0	0	0	0	
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	
茨城県	0	0	0	0	0	3	0	0	
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	
埼玉県	0	33	27	0	29	21	0	30	
千葉県	0	17	65	0	16	68	0	13	
東京都	0	173	217	0	178	206	0	294	
神奈川県	0	0	163	0	0	169	0	0	
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	
静岡県	0	0	0	0	2	0	0	16	
愛知県	0	13	111	0	35	240	0	85	
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	
滋賀県	0	0	2	0	0	1	0	0	
京都府	0	0	11	0	0	27	0	0	
大阪府	0	106	107	0	164	198	0	249	
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山県	0	3	3	0	6	6	0	4	
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	
香川県	0	0	0	0	0	1	0	0	
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	
福岡県	0	0	11	0	0	13	0	0	
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	
長崎県	0	0	0	0	0	1	0	0	
熊本県	0	0	2	0	0	0	0	0	
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮崎県	0	0	0	0	0	2	0	0	
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	
沖縄県	0	0	43	0	0	51	0	0	

資料1-1 ③

③都道府県別のPCR等検査実施状況の推移

	3月30日～4月5日		4月6日～4月12日		4月13日～4月19日		4月20日～4月26日		4月27日～5月3日		5月4日～5月10日		5月11日～5月17日		5月18日～5月24日		5月25日～5月31日		6月1日～6月7日		6月8日～6月14日		6月15日～6月21日		6月22日～6月28日		6月29日～7月5日		7月6日～7月12日		7月13日～7月19日		7月20日～7月26日		7月27日～8月2日		8月3日～	
	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数
日本	28215	6.6%	42092	8.8%	51272	6.8%	53506	5.0%	51736	3.2%	40827	1.9%	47599	0.9%	36083	0.7%	33627	0.9%	37821	0.7%	40762	0.7%	38837	1.0%	41896	1.3%	48776	2.6%	70180	3.0%	93577	3.6%	86562	6.0%	127700	6.7%	166094	
北海道	496	3.6%	981	7.4%	1,309	12.8%	2088	8.7%	2073	11.2%	1730	6.1%	1625	3.7%	1336	3.1%	1889	1.9%	1390	2.2%	1567	3.1%	1654	1.6%	1260	3.3%	1352	2.8%	1523	1.1%	1844	2.9%	1687	2.5%	2540	2.5%	3402	
青森県	89	4.5%	202	5.4%	147	0.0%	92	0.0%	147	2.7%	79	1.3%	68	0.0%	32	0.0%	66	0.0%	34	0.0%	95	0.0%	17	0.0%	202	0.0%	84	0.0%	123	2.4%	230	0.4%	103	0.0%	48	2.1%	111	
岩手県	36	0.0%	66	0.0%	81	0.0%	66	0.0%	61	0.0%	51	0.0%	48	0.0%	45	0.0%	37	0.0%	36	0.0%	40	0.0%	35	0.0%	29	0.0%	20	0.0%	117	0.0%	36	0.0%	59	0.0%	132	3.0%	294	
宮城県	464	4.5%	533	5.4%	924	3.5%	604	0.3%	577	0.5%	382	0.0%	388	0.0%	256	0.0%	256	0.0%	350	0.0%	369	0.0%	555	0.2%	479	1.0%	443	0.9%	745	1.1%	822	3.2%	795	1.3%	1138	2.3%	1285	
秋田県	188	3.7%	115	3.5%	192	0.5%	91	0.0%	49	0.0%	31	0.0%	24	0.0%	17	0.0%	8	0.0%	12	0.0%	15	0.0%	10	0.0%	5	0.0%	9	0.0%	74	0.0%	28	0.0%	29	6.9%	89	0.0%	334	
山形県	262	3.8%	487	4.9%	669	3.4%	493	1.0%	337	0.6%	153	0.7%	172	0.0%	132	0.0%	112	0.0%	101	0.0%	92	0.0%	94	0.0%	164	0.0%	97	1.0%	211	0.5%	349	1.1%	153	0.0%	146	0.7%	236	
福島県	163	8.6%	357	6.2%	458	5.2%	459	1.5%	551	1.6%	637	0.5%	755	0.0%	713	0.0%	628	0.0%	626	0.0%	662	0.0%	532	0.2%	518	0.0%	644	0.0%	693	0.1%	767	0.1%	608	0.3%	948	0.3%	948	
茨城県	1046	4.6%	1070	4.2%	1,085	2.6%	1320	1.7%	1342	0.3%	1098	0.3%	1334	0.0%	1078	0.0%	944	0.0%	1067	0.0%	1111	0.0%	995	0.2%	1099	0.3%	1281	0.8%	1615	1.0%	1819	1.4%	1608	1.1%	2598	2.9%	4170	
栃木県	394	0.5%	378	5.6%	514	2.3%	456	2.0%	515	0.0%	451	0.4%	622	0.6%	458	1.1%	462	0.2%	591	0.2%	587	0.0%	494	0.0%	601	1.3%	901	1.4%	1154	0.7%	1113	3.4%	1202	2.5%	1581	2.3%	1597	
群馬県	910	0.9%	394	16.2%	495	6.9%	794	2.4%	706	0.7%	377	0.3%	441	0.0%	334	0.6%	296	0.0%	330	0.6%	387	0.0%	319	0.0%	392	0.3%	475	0.6%	706	0.0%	944	1.3%	793	1.5%	1055	1.2%	1191	
埼玉県	1175	8.4%	2169	10.7%	2,955	8.6%	3566	4.4%	4177	2.2%	3903	1.7%	4052	0.6%	3377	0.4%	3208	0.2%	3781	0.1%	3782	0.4%	3733	0.5%	4061	1.7%	4991	2.6%	7555	3.0%	8643	3.4%	8605	3.6%	9609	4.1%	11608	
千葉県	2413	3.9%	3229	6.9%	2,820	7.7%	2780	4.4%	2913	1.6%	2260	0.8%	2858	0.6%	2116	0.3%	1994	0.3%	1829	0.3%	1845	0.7%	1897	0.3%	2895	0.9%	4514	1.3%	4348	2.5%	6592	2.7%	4688	3.8%	6179	4.9%	6821	
東京都	4774	12.9%	9125	12.4%	10,617	10.0%	12004	7.2%	11451	5.9%	9631	3.1%	12311	0.9%	9969	0.5%	8772	1.0%	10925	1.3%	13243	1.2%	12409	1.9%	13561	2.5%	15195	4.3%	21350	5.4%	30666	4.8%	23525	7.7%	32065	7.0%	43887	
神奈川県	1836	6.6%	2299	14.0%	2,800	8.6%	3217	5.5%	3429	4.2%	2678	2.7%	3569	2.7%	2870	2.2%	2950	1.3%	3150	0.9%	3676	0.3%	3192	0.8%	3256	1.0%	3838	3.2%	4818	3.3%	6500	3.9%	5973	4.0%	7703	4.9%	11495	
新潟県	414	0.2%	419	2.4%	469	3.0%	642	2.2%	625	1.3%	376	1.1%	499	0.2%	373	0.0%	265	0.0%	253	0.0%	291	0.0%	284	0.4%	338	0.0%	310	0.3%	458	0.4%	506	0.6%	366	1.1%	845	2.6%	964	
富山県	230	4.3%	510	3.9%	416	14.9%	466	18.2%	400	9.3%	473	1.9%	439	0.9%	345	0.6%	330	0.0%	268	0.0%	292	0.0%	245	0.0%	184	0.0%	255	0.4%	386	0.5%	318	0.3%	304	1.3%	533	1.7%	866	
石川県	192	17.7%	369	19.0%	517	12.6%	720	7.1%	379	9.2%	330	4.2%	365	2.5%	210	3.8%	158	1.9%	120	0.8%	90	0.0%	81	0.0%	72	1.4%	68	0.0%	108	0.0%	209	1.4%	340	2.9%	375	2.7%	443	
福井県	197	19.3%	451	8.2%	429	5.6%	454	2.0%	504	0.2%	250	0.0%	221	0.0%	143	0.0%	109	0.0%	32	0.0%	112	0.0%	2	0.0%	1	0.0%	2	0.0%	339	0.3%	472	0.6%	435	0.7%	368	3.0%	825	
山梨県	594	1.5%	685	3.4%	983	1.7%	918	0.2%	1182	0.3%	1007	0.0%	979	0.1%	1020	0.3%	1003	0.4%	1133	0.3%	1226	0.3%	1156	0.1%	1031	0.2%	1072	0.1%	969	0.1%	1050	0.2%	1022	0.8%	1340	1.3%	1763	
長野県	321	1.2%	437	3.9%	420	5.5%	419	3.8%	377	1.3%	404	1.2%	356	0.3%	267	0.0%	229	0.0%	266	0.0%	229	0.0%	211	0.5%	256	0.0%	237	0.0%	432	0.2%	357	1.7%	589	1.4%	1329	1.9%	1223	
岐阜県	381	7.6%	646	9.6%	933	3.6%	585	1.2%	390	0.3%	253	0.0%	249	0.0%	223	0.0%	234	0.0%	268	0.4%	335	0.6%	480	0.6%	370	0.0%	175	2.3%	587	0.3%	1176	1.3%	1678	3.2%	1560	7.7%	2163	
静岡県	720	0.7%	729	4.3%	848	1.4%	752	1.5%	886	1.1%	557	0.0%	683	0.0%	549	0.4%	465	0.2%	511	0.0%	534	0.4%	553	0.5%	764	0.0%	993	0.6%	1271	0.6%	1125	1.2%	1545	5.0%	2811	4.3%	2792	
愛知県	971	6.3%	1543	6.4%	1,561	5.3%	1628	4.2%	1241	1.2%	1191	0.8%	1406	0.6%	908	0.1%	615	0.2%	739	0.4%	824	0.6%	899	0.8%	625	0.0%	651	0.3%	1506	0.4%	1663	6.6%	2946	15.5%	5661	18.5%	7663	
三重県	349	1.1%	266	1.5%	447	4.3%	430	2.1%	303	0.0%	185	0.0%	181	0.0%	99	0.0%	59	0.0%	49	0.0%	71	0.0%	130	0.8%	85	0.0%	91	0.0%	98	4.1%	359	1.9%	419	3.1%	1001	5.4%	1905	
滋賀県	156	7.7%	298	6.7%	451	7.3%	490	4.7%	340	0.6%	225	1.3%	282	0.7%	246	0.8%	233	0.0%	244	0.0%	238	0.0%	232	0.4%	233	0.0%	244	0.8%	366	0.8%	385	1.0%	192	22.4%	389	8.0%	363	
京都府	454	14.3%	751	10.9%	1,200	4.8%	1271	3.4%	1582	2.4%	1293	1.6%	1447	0.4%	889	0.0%	647	0.2%	728	0.1%	729	0.1%	651	0.8%	737	1.4%	1089	2.4%	1327	3.5%	1882	4.9%	1549	7.6%	2451	7.0%	3391	
大阪府	2585	7.7%	3267	12.3%	4,399	9.1%	4371	6.4%	4852	3.6%	3808	2.1%	4373	0.7%	3088	0.6%	2506	0.4%	2354	0.1%	2298	0.2%	2521	0.9%	2719	0.4%	2751	2.3%	4082	3.5%	6515	6.0%	7950	9.6%	11287	11.1%	14788	
兵庫県	839	7.5%	1422	12.7%	1,668	8.5%	1686	6.9%	1697	2.4%	1304	2.0%	1338	0.6%	922	0.3%	690	0.0%	955	0.0%	1061	0.0%	711	0.4%	771	0.4%	933	0.8%	1467	1.7%	2138	4.5%	1961	9.2%	3398	8.8%	4412	
奈良県	240	5.8%	311	5.1%	490	4.3%	496	3.0%	555	1.8%	356	1.1%	513	0.0%	307	0.0%	321	0.3%	334	0.0%	295	0.0%	294	0.0%	227	0.0%	275	1.1%	1646	1.5%	1919	1.8%	922	5.5%	986	6.0%	1651	
和歌山県	361	2.2%	708	2.1%	503	1.2%	882	1.5%	624	0.6%	419	0.0%	326	0.6%	205	0.0%	158	0.0%	137	0.0%	93	0.0%	67	0.0%	106	0.9%	128	0.0%	538	3.0%	640	1.4%	849	3.9%	969	4.6%	1026	
鳥取県	98	0.0%	155	0.6%	388	0.5%	314	0.0%	139	0.0%	86	0.0%	101	0.0%	146	0.0%	146	0.0%	177	0.0%	149	0.0%	118	0.0%	193	0.0%	460	0.2%	363	0.3%	372	0.0%	218	0.5				

	~8月9日		8月10日~8月16日		8月17日~8月23日		8月24日~8月30日		8月31日~9月6日		9月7日~9月13日		9月14日~9月20日		9月21日~9月27日		9月28日~10月4日		10月5日~10月11日		10月12日~10月18日		10月19日~10月25日		10月26日~11月1日		11月2日~11月8日	
	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数																										
日本	5.8%	125891	5.8%	152389	4.3%	133493	3.9%	136868	2.9%	126734	2.9%	124970	2.8%	101820	2.9%	133770	2.6%	129212	2.8%	131554	2.8%	131595	3.0%	138332	3.5%	146467	4.4%	
北海道	2.9%	2488	3.0%	2722	3.1%	3122	2.0%	3294	1.7%	2548	1.9%	3354	2.5%	2903	3.4%	4294	2.9%	5619	3.5%	5941	2.8%	6324	4.1%	5878	6.8%	7653	10.7%	
青森県	0.0%	72	1.4%	76	0.0%	78	2.6%	88	0.0%	37	0.0%	122	0.0%	216	0.0%	199	1.0%	152	0.0%	627	10.7%	909	8.3%	1369	4.2%	981	3.8%	
岩手県	1.0%	170	1.2%	364	0.5%	173	4.6%	217	1.8%	222	0.0%	216	0.0%	168	0.0%	218	0.5%	217	0.0%	261	0.8%	216	0.5%	223	0.0%	311	1.0%	
宮城県	1.1%	751	0.3%	910	0.9%	900	1.3%	1250	3.0%	1713	4.0%	1691	3.4%	1264	2.0%	1891	1.9%	1616	3.6%	1780	2.2%	1834	4.1%	2337	6.0%	2178	5.7%	
秋田県	5.1%	140	5.0%	224	1.3%	164	2.4%	103	1.0%	111	0.0%	358	0.8%	329	0.0%	196	2.6%	192	0.5%	161	0.0%	215	0.9%	196	1.0%	334	1.2%	
山形県	0.0%	131	0.0%	215	0.5%	182	0.5%	237	0.0%	185	0.0%	138	0.0%	140	0.0%	234	0.0%	130	2.3%	254	0.0%	212	1.4%	326	0.6%	210	0.5%	
福島県	0.7%	944	1.0%	1241	1.6%	1619	2.0%	1488	1.3%	1380	2.2%	1770	0.7%	1392	1.9%	1643	1.2%	1924	2.4%	2376	2.0%	2420	1.0%	1947	0.1%	3108	0.9%	
茨城県	1.8%	3780	1.5%	4075	1.3%	3844	1.1%	3482	1.1%	3952	0.7%	3567	0.3%	2677	0.5%	4127	0.9%	4177	0.8%	4601	0.4%	3978	0.3%	4087	0.7%	3964	1.2%	
栃木県	2.9%	1596	1.9%	1259	1.0%	1053	1.3%	1037	0.7%	1049	2.7%	1512	3.2%	1563	2.5%	1255	0.8%	1194	0.7%	1310	1.6%	1362	0.9%	1292	0.9%	1605	0.6%	
群馬県	3.1%	1121	6.4%	1649	5.0%	1673	3.4%	1593	2.8%	2001	3.2%	3625	3.2%	1583	2.3%	1779	1.6%	1929	1.6%	1973	0.8%	2446	3.8%	4155	0.8%	1763	1.4%	
埼玉県	3.6%	7230	4.7%	9201	3.7%	8214	4.2%	10108	2.2%	8896	1.8%	9150	1.6%	6942	2.1%	8721	2.5%	10004	2.8%	10098	2.9%	9667	2.6%	9589	2.8%	9301	3.8%	
千葉県	5.6%	4836	6.2%	6542	4.8%	5153	5.1%	6589	2.7%	6708	2.9%	6348	3.7%	5452	3.1%	7515	3.2%	7319	3.6%	6645	3.3%	6264	4.5%	7161	3.4%	6232	4.7%	
東京都	5.5%	28074	6.6%	39882	4.1%	36090	3.8%	37362	2.8%	37369	3.3%	34379	3.5%	28525	3.7%	38758	3.2%	36339	3.4%	35215	3.6%	35157	3.0%	35496	3.3%	35724	4.0%	
神奈川県	5.7%	8912	6.6%	12473	4.5%	10140	4.8%	12364	4.2%	13488	3.8%	12754	3.4%	10833	3.3%	13354	3.0%	12643	2.9%	12382	3.5%	12954	3.3%	12069	3.4%	15348	3.7%	
新潟県	1.2%	603	0.2%	902	1.2%	640	0.5%	865	0.3%	658	0.6%	924	1.7%	497	1.0%	669	0.0%	730	1.2%	894	0.1%	543	0.4%	552	0.4%	768	1.6%	
富山県	5.1%	833	2.3%	884	3.7%	876	4.9%	726	2.6%	650	1.2%	577	0.3%	348	0.6%	775	1.3%	500	0.0%	630	0.2%	535	0.0%	505	0.2%	573	0.2%	
石川県	9.3%	699	13.2%	1109	9.9%	1117	5.2%	1264	6.3%	861	3.0%	880	2.7%	787	2.8%	1014	0.1%	917	0.3%	959	1.6%	911	0.4%	1081	1.3%	1023	1.0%	
福井県	1.7%	427	0.2%	884	0.9%	1255	4.7%	1212	1.7%	499	0.2%	414	0.0%	301	0.0%	431	0.0%	416	1.2%	523	1.3%	680	0.0%	395	0.3%	365	0.5%	
山梨県	1.5%	1601	0.6%	1249	2.2%	1831	0.3%	1213	0.2%	1253	0.2%	1127	0.1%	1025	0.2%	1500	0.8%	1375	0.2%	1219	0.2%	1321	0.3%	1547	0.8%	3036	0.8%	
長野県	1.1%	837	2.0%	986	2.4%	1213	6.3%	1852	2.1%	836	1.1%	666	0.8%	537	0.7%	950	0.8%	839	0.8%	860	0.7%	1082	0.7%	851	1.1%	1001	2.7%	
岐阜県	5.3%	1372	3.4%	798	3.4%	1035	1.5%	869	1.0%	804	3.5%	959	0.5%	667	2.8%	711	2.0%	639	0.6%	601	1.3%	1027	2.9%	674	2.2%	913	5.3%	
静岡県	2.0%	2389	2.2%	2977	0.9%	2985	1.3%	1969	0.7%	1849	0.5%	2522	0.8%	1702	0.6%	2214	1.2%	1735	0.5%	1844	0.7%	1790	0.8%	2381	2.9%	2929	3.1%	
愛知県	13.0%	5535	10.9%	5359	8.4%	4707	6.5%	4110	5.0%	4315	4.6%	4204	4.9%	3861	4.8%	4265	3.4%	3479	2.9%	3998	3.7%	4429	4.2%	5532	7.3%	7246	7.4%	
三重県	6.0%	1041	4.4%	1293	4.5%	812	3.2%	937	6.0%	716	5.0%	601	1.8%	665	3.6%	1012	3.5%	751	1.1%	508	2.2%	484	1.2%	572	1.9%	779	3.9%	
滋賀県	29.5%	820	5.6%	871	6.3%	1597	3.4%	1091	1.7%	753	1.2%	547	1.3%	693	2.5%	623	1.6%	573	1.6%	750	1.3%	639	2.3%	581	2.6%	432	11.1%	
京都府	4.6%	2879	4.7%	4395	4.6%	2911	4.5%	2948	4.3%	2732	1.8%	2659	2.5%	2243	1.8%	2407	2.3%	2432	2.6%	2726	2.8%	2589	1.8%	2167	4.0%	2691	3.9%	
大阪府	9.0%	12718	8.5%	14090	7.1%	10634	6.2%	12294	4.5%	9986	5.7%	10057	4.6%	9280	4.2%	10353	3.5%	9131	3.8%	9972	3.6%	10358	5.1%	11049	7.5%	10821	8.7%	
兵庫県	7.3%	3573	7.4%	3679	6.2%	4172	3.4%	3414	2.5%	3090	3.8%	3025	3.5%	3000	3.3%	4350	2.9%	2896	3.7%	3297	3.1%	3269	4.1%	3328	3.8%	4054	6.3%	
奈良県	4.0%	1404	4.6%	1338	7.2%	1001	2.5%	1276	1.8%	796	1.0%	740	1.2%	743	1.1%	1052	1.8%	1005	1.8%	814	1.7%	755	1.6%	1033	3.4%	1140	6.8%	
和歌山県	1.2%	877	1.9%	1140	2.5%	461	1.1%	447	0.7%	329	0.9%	259	0.0%	345	1.2%	351	0.6%	532	1.5%	392	1.5%	513	3.3%	462	0.6%	478	2.7%	
鳥取県	0.3%	484	0.0%	512	0.2%	291	0.0%	242	0.0%	261	3.8%	465	0.9%	239	0.0%	414	0.0%	326	0.0%	330	0.0%	256	0.8%	436	0.2%	424	1.2%	
島根県	35.0%	918	1.1%	358	0.6%	184	1.6%	104	0.0%	88	0.0%	73	0.0%	154	1.9%	157	0.0%	91	0.0%	81	0.0%	90	1.1%	101	0.0%	41	0.0%	
岡山県	2.1%	1060	1.4%	945	1.3%	773	0.9%	736	0.1%	650	0.0%	655	0.3%	640	0.8%	1035	0.5%	887	0.6%	975	1.0%	1553	1.9%	2941	3.0%	2787	1.7%	
広島県	2.7%	1206	2.4%	1661	0.8%	1000	0.7%	695	0.1%	837	1.1%	910	0.9%	1234	4.5%	2227	3.2%	1772	1.5%	1372	1.5%	1085	0.6%	1088	0.6%	1069	1.3%	
山口県	7.9%	323	2.2%	380	7.4%	1300	4.1%	590	3.4%	667	1.5%	574	0.2%	510	0.6%	453	0.7%	748	1.1%	532	0.0%	437	0.9%	394	0.0%	316	3.8%	
徳島県	7.5%	1229	2.6%	1055	1.5%	1042	2.1%	530	3.2%	318	0.6%	174	0.0%	186	0.0%	225	0.9%	130	0.0%	232	3.9%	228	2.6%	139	0.0%	153	2.0%	
香川県	2.3%	764	0.7%	606	1.0%	537	1.3%	734	1.0%	742	0.7%	763	0.5%	334	0.0%	456	0.0%	394	0.8%	860	0.3%	553	0.4%	470	0.0%	535	0.9%	
愛媛県	6.5%	116	6.9%	155	2.6%	155	0.0%	105	0.0%	61	0.0%	91	0.0%	136	0.0%	150	0.7%	48	0.0%	138	0.7%	52	0.0%	59	0.0%	53	1.9%	
高知県	2.1%	267	7.1%	312	2.2%	327	4.9%	245	2.9%	147	3.4%	138	0.0%	122	0.8%	137	0.0%	122	0.8%	130	0.8%	108	1.9%	127	1.6%	106	0.0%	
福岡県	7.3%	10525	5.9%	10565	4.6%	8878	5.1%	8702	2.9%	6652	1.9%	6713	0.9%	3913	0.6%	5684	0.5%	5991	0.8%	5644	0.7%	5482	0.8%	5825	0.8%	4458	1.1%	
佐賀県	7.2%	736	5.6%	589	4.6%	391	3.8%	150	2.0%	151	2.6%	167	0.0%	194	0.5%	204	0.5%	196	1.0%	250	1.6%	154	1.3%	96	0.0%	490	2.9%	
長崎県	2.0%	1559	1.2%	3716	0.4%	2012	1.4%	1547	0.3%	960	0.1%	1275	0.1%	818	0.0%	1233	0.2%	1376	0.2%	989	0.1%	1197	0.2%	1355	0.1%	844	0.5%	
熊本県	4.1%	1477	3.6%	1749	3.7%	1389	2.9%	1214	2.8%	1274	1.9%	743	0.3%	548	0.2%	807	4.3%	1178	7.0%	1149	4.7%	1007	2.5%	1041	3.2%	3093	1.7%	
大分県	3.1%	924	1.7%	1594	2.2%	1402	0.5%	780	1.5%	397	0.3%	593	0.0%	307	0.0%	548	0.0%	302	0.0%	366	0.3%	318	0.0%	341	0.0%	312	0.6%	
宮崎県	6.1%	539	6.3%	596	9.1%	388	3.9%	212	1.4%	155	1.9%	180	1.1%	80	0.0%	231	0.0%	171	0.0%	266	0.4%	234	0.4%	374	0.0%	262	2.3%	
鹿児島県	1.5%	1143	4.0%	894	2.1%	1140	1.7%	1070	0.9%	334	0.3%	682	0.7%	560	6.1%	922	1.8%	1200	2.3%	1002	0.8%	677	0.0%	954	1.3%	1577	3.7%	
沖縄県	9.6%	4768	10.2%	3915	6.8%	2632	8.6%	3513	2.9%	3254	2.5%	1629	3.7%	1164	6.7%	2026	7.9%	2875	5.3%	3627	4.9%	3281	7.5%	3756	5.3%	2986	5.3%	

(1) 感染の状況 (疫学的状況)

(2) ①医療提供体制 (療養状況)

資料1-2 ①

Table with 14 columns (A-L) and 47 rows. Columns A-F show epidemiological data (population, cumulative cases, ratios, etc.). Columns G-L show healthcare provision data (hospitalizations, ICU cases, etc.). Rows list 47 prefectures and the national total.

※: 人口推計 第4表 都道府県, 男女別人口及び人口性比-総人口, 日本人人口 (2019年10月1日現在)
※: 累積陽性者数は、感染症法に基づく陽性者数の累積 (各都道府県の発表日ベース) を記載。自治体に確認を得てない暫定値であることに留意。
※: 入院患者・入院確定数、重症者数及び宿泊患者数 (G列~L列) は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとりまとめている。
※: 入院確定数は、一両日中に入院すること及び入院先が確定している者の数。
※: 重症者数は、集中治療室 (ICU) 等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助 (ECMO) による管理が必要な患者数。
※: 各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週の値が前週公表の値と一致しない場合がある。
※: 東京都、滋賀県、京都府、福岡県及び沖縄県の重症者数については、これまで都府県独自の基準に則って報告された数値を掲載していたが、8/21公表分からは、国の基準に則って、集中治療室 (ICU) 等での管理が必要な患者も含めた数値が報告されている。

(2) ②医療提供体制（病床確保等）

	M	N	O	P	Q	R
	新型コロナ対策協議会の設置状況	患者受入れ調整本部の設置状況	周産期医療の協議会開催状況	受入確保病床数	受入確保想定病床数	宿泊施設確保数
時点	5/1	5/1	5/19	11/3	11/3	11/3
単位				床	床	室
北海道	済	済	済	1,811	1,811	1,170
青森県	済	済	済	201	225	230
岩手県	済	済	済	374	350	381
宮城県	済	済	済	345	450	300
秋田県	済	済	済	222	235	58
山形県	済	済	予定	216	215	188
福島県	済	済	済	469	350	160
茨城県	済	済	済	546	500	324
栃木県	済	済	済	313	313	284
群馬県	済	済	済	305	330	1,300
埼玉県	済	済	済	1,206	1,400	1,225
千葉県	済	済	済	1,147	1,200	710
東京都	済	済	済	4,000	4,000	1,910
神奈川県	済	済	済	1,939	1,939	862
新潟県	済	済	済	456	456	176
富山県	済	済	済	500	500	125
石川県	済	済	済	258	254	340
福井県	済	済	済	215	215	75
山梨県	済	済	済	285	250	100
長野県	済	済	済	350	350	250
岐阜県	済	済	済	625	625	466
静岡県	済	済	済	384	450	379
愛知県	済	済	済	860	839	1,300
三重県	済	済	済	349	349	100
滋賀県	済	済	済	429	450	260
京都府	済	済	済	569	750	338
大阪府	済	済	済	1,377	1,615	1,517
兵庫県	済	済	予定	663	650	698
奈良県	済	済	済	467	500	108
和歌山県	済	済	済	400	400	137
鳥取県	済	済	済	313	300	340
島根県	済	済	済	253	253	98
岡山県	済	済	済	281	250	207
広島県	済	済	済	553	500	709
山口県	済	済	済	423	423	834
徳島県	済	済	済	200	200	150
香川県	済	済	済	196	196	101
愛媛県	済	済	済	229	223	117
高知県	済	済	済	200	200	361
福岡県	済	済	済	551	760	1,057
佐賀県	済	済	済	274	274	253
長崎県	済	済	済	395	395	224
熊本県	済	済	済	400	400	1,430
大分県	済	済	済	330	330	700
宮崎県	済	済	済	246	246	250
鹿児島県	済	済	済	342	300	370
沖縄県	済	済	済	434	425	370
全国	-	-	-	26,901	27,646	23,042

(3) 検査体制の構築

	S	T	U	V	W
	最近1週間のPCR検査件数	2週間前のPCR検査件数	変化率(S/T)	(参考)それぞれの週の陽性者数	
	~11/8(1W)	~11/1(1W)		~11/8(1W)	~11/1(1W)
	件	件		人	人
7,653	5,878	1.30	816	401	
981	1,369	0.72	37	58	
311	223	1.39	3	0	
2,178	2,337	0.93	124	140	
334	196	1.70	4	2	
210	326	0.64	1	2	
3,108	1,947	1.60	27	2	
3,964	4,087	0.97	48	29	
1,605	1,292	1.24	9	12	
1,763	4,155	0.42	24	34	
9,301	9,589	0.97	358	270	
6,232	7,161	0.87	296	247	
35,724	35,496	1.01	1,412	1,187	
15,348	12,069	1.27	573	412	
768	552	1.39	12	2	
573	505	1.13	1	1	
1,023	1,081	0.95	10	14	
365	395	0.92	2	1	
3,036	1,547	1.96	25	13	
1,001	851	1.18	27	9	
913	674	1.35	48	15	
2,929	2,381	1.23	90	68	
7,246	5,532	1.31	537	406	
779	572	1.36	30	11	
432	581	0.74	48	15	
2,691	2,167	1.24	105	87	
10,821	11,049	0.98	940	831	
4,054	3,328	1.22	254	126	
1,140	1,033	1.10	78	35	
478	462	1.03	13	3	
424	436	0.97	5	1	
41	101	0.41	0	0	
2,787	2,941	0.95	47	88	
1,069	1,088	0.98	14	6	
316	394	0.80	12	0	
153	139	1.10	3	0	
535	470	1.14	5	0	
53	59	0.90	1	0	
106	127	0.83	0	2	
4,458	5,825	0.77	50	46	
490	96	5.10	14	0	
844	1,355	0.62	4	1	
3,093	1,041	2.97	52	33	
312	341	0.91	2	0	
262	374	0.70	6	0	
1,577	954	1.65	59	12	
2,986	3,756	0.79	158	199	
146,467	138,332	1.06	6,384	4,821	

※：受入確保病床数、受入確保想定病床数、宿泊施設確保数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。
 受入確保想定病床数は、同調査における「最終フェーズにおける即応病床（計画）数」を用いている。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとりまとめている。
 ※：受入確保病床数は、ピーク時に新型コロナウイルス感染症患者が利用する病床として、各都道府県が医療機関と調整を行い、確保している病床数。実際には受入れ患者の重症度等により、変動する可能性がある。
 ※：受入確保想定病床数は、ピーク時に新型コロナウイルス感染症患者が利用する病床として、各都道府県が見込んでいる（想定している）病床数であり変動しうる点に特に留意が必要。また、実際には受入れ患者の重症度等により、変動する可能性がある。
 ※：宿泊施設確保数は、受け入れが確実な宿泊施設の部屋として都道府県が判断し、厚生労働省に報告した室数。都道府県の運用によっては、事務職員の宿泊や物資の保管、医師・看護師の控え室のために使用する居室等として、一部使われる場合がある。（居室数が具体的に確認できた場合、数値を置き換えることにより数値が減る場合がある。）数値を非公表としている県又は調整中の県は「-」で表示。
 ※：PCR検査件数は、①各都道府県から報告があった地方衛生研究所・保健所のPCR検査件数（PCR検査の体制整備にかかる国への報告について（依頼）（令和2年3月5日））、②厚生労働省から依頼した民間検査会社、大学、医療機関のPCR検査件数を計上。一部、未報告の検査機関があったとしても、現時点で得られている検査件数を計上している。
 ※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週の値が前週公表の値と一致しない場合がある。

		【 医療提供体制 】											
		A		B		C		D		E		F	
		①病床のひっ迫具合										②療養者数	
		全入院者				重症患者							
人口		確保病床使用率		確保想定病床使用率		確保病床使用率 【重症患者】		確保想定病床使用率 【重症患者】					
時点	2019.10	11/3		11/3		11/3		11/3		11/3		11/3	
単位	千人	%(前週差)		%(前週差)		%(前週差)		%(前週差)		%(前週差)		対人口10万人 (前週差)	
ステージⅢの指標		25%		20%		25%		20%		15			
ステージⅣの指標				50%				50%		25			
北海道	5,250	11.9%	(+3.5)	11.9%	(+3.5)	3.3%	(+2.2)	3.3%	(+2.2)	10.9	(+4.6)		
青森県	1,246	27.4%	(▲0.5)	24.4%	(▲0.4)	9.7%	(+3.2)	10.0%	(+3.3)	6.4	(▲3.7)		
岩手県	1,227	1.1%	(+0.0)	1.1%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.3	(+0.0)		
宮城県	2,306	38.0%	(+9.6)	29.1%	(+7.3)	11.6%	(+2.3)	7.7%	(+1.5)	9.5	(+4.1)		
秋田県	966	1.8%	(+0.9)	1.7%	(+0.9)	4.5%	(+4.5)	3.7%	(+3.7)	0.4	(+0.2)		
山形県	1,078	1.9%	(▲0.5)	1.9%	(▲0.5)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.4	(▲0.1)		
福島県	1,846	6.0%	(▲2.8)	8.0%	(▲3.7)	7.1%	(▲4.8)	6.0%	(▲4.0)	1.5	(▲0.8)		
茨城県	2,860	4.0%	(+2.4)	4.4%	(+2.6)	0.0%	(▲1.4)	0.0%	(▲1.4)	1.2	(+0.7)		
栃木県	1,934	8.3%	(▲0.6)	8.3%	(▲0.6)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	1.3	(▲0.1)		
群馬県	1,942	10.2%	(▲4.9)	9.4%	(▲4.5)	17.4%	(▲4.3)	8.0%	(▲2.0)	2.4	(▲2.7)		
埼玉県	7,350	22.2%	(+3.1)	19.1%	(+2.6)	7.0%	(+0.0)	4.5%	(+0.0)	5.4	(+0.1)		
千葉県	6,259	14.7%	(▲2.1)	14.1%	(▲2.0)	9.9%	(▲1.0)	5.6%	(▲0.6)	5.2	(▲0.8)		
東京都	13,921	26.1%	(+2.1)	26.1%	(+2.1)	25.6%	(+1.4)	25.6%	(+1.4)	13.0	(+1.4)		
神奈川県	9,198	12.6%	(▲0.8)	12.6%	(▲0.8)	12.0%	(+0.0)	12.0%	(+0.0)	5.9	(+0.1)		
新潟県	2,223	0.9%	(+0.2)	0.9%	(+0.2)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.2	(+0.0)		
富山県	1,044	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.1	(+0.1)		
石川県	1,138	7.0%	(+3.5)	7.1%	(+3.5)	2.9%	(+0.0)	2.9%	(+0.0)	1.7	(+0.7)		
福井県	768	0.5%	(▲0.5)	0.5%	(▲0.5)	4.2%	(+4.2)	4.2%	(+4.2)	0.1	(▲0.1)		
山梨県	811	4.9%	(+2.1)	5.6%	(+2.4)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	2.0	(+1.0)		
長野県	2,049	4.6%	(+2.3)	4.6%	(+2.3)	0.0%	(▲2.1)	0.0%	(▲2.1)	0.8	(+0.4)		
岐阜県	1,987	6.7%	(+2.2)	6.7%	(+2.2)	2.0%	(+0.0)	2.0%	(+0.0)	2.1	(+0.7)		
静岡県	3,644	8.9%	(+2.9)	7.6%	(+2.4)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	1.9	(+1.2)		
愛知県	7,552	17.2%	(+5.8)	17.6%	(+6.0)	15.7%	(+1.4)	9.1%	(+0.8)	7.7	(+3.8)		
三重県	1,781	5.7%	(+2.9)	5.7%	(+2.9)	7.5%	(+3.8)	7.5%	(+3.8)	1.1	(+0.6)		
滋賀県	1,414	5.1%	(+0.2)	4.9%	(+0.2)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	1.7	(+0.1)		
京都府	2,583	10.5%	(+2.1)	8.0%	(+1.6)	17.4%	(+9.3)	17.4%	(+9.3)	3.8	(+1.4)		
大阪府	8,809	26.6%	(+7.3)	22.7%	(+6.2)	14.1%	(+3.1)	23.3%	(+5.1)	12.0	(+4.3)		
兵庫県	5,466	22.5%	(+5.1)	22.9%	(+5.2)	14.5%	(+0.9)	13.3%	(+0.8)	3.3	(+0.5)		
奈良県	1,330	10.5%	(+6.9)	9.8%	(+6.4)	0.0%	(▲3.7)	0.0%	(▲4.0)	4.1	(+2.7)		
和歌山県	925	1.5%	(▲1.5)	1.5%	(▲1.5)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.6	(▲0.6)		
鳥取県	556	0.6%	(▲0.3)	0.7%	(▲0.3)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.4	(▲0.2)		
島根県	674	0.0%	(▲0.4)	0.0%	(▲0.4)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0	(▲0.1)		
岡山県	1,890	31.0%	(+13.8)	34.8%	(+17.2)	5.4%	(+5.4)	5.0%	(+5.0)	6.2	(+3.2)		
広島県	2,804	2.2%	(+0.0)	2.4%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.4	(+0.0)		
山口県	1,358	0.9%	(▲0.2)	0.9%	(▲0.2)	0.0%	(▲1.0)	0.0%	(▲1.0)	0.3	(▲0.1)		
徳島県	728	0.0%	(▲2.5)	0.0%	(▲2.5)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0	(▲0.7)		
香川県	956	1.0%	(▲1.0)	1.0%	(▲1.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.3	(▲0.1)		
愛媛県	1,339	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0	(+0.0)		
高知県	698	0.5%	(▲1.0)	0.5%	(▲1.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.1	(▲0.3)		
福岡県	5,104	7.1%	(▲0.7)	5.1%	(▲0.5)	4.4%	(+0.0)	3.6%	(+0.0)	1.4	(+0.1)		
佐賀県	815	2.2%	(+2.2)	2.2%	(+2.2)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	1.2	(+1.0)		
長崎県	1,327	0.0%	(▲0.3)	0.0%	(▲0.3)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.1	(▲0.1)		
熊本県	1,748	11.3%	(+2.5)	11.3%	(+2.5)	1.7%	(+1.7)	1.7%	(+1.7)	2.9	(+0.7)		
大分県	1,135	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.0	(+0.0)		
宮崎県	1,073	0.8%	(+0.8)	0.8%	(+0.8)	3.0%	(+3.0)	3.0%	(+3.0)	0.4	(+0.4)		
鹿児島県	1,602	3.5%	(+2.0)	4.0%	(+2.3)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	1.2	(+0.9)		
沖縄県	1,453	43.1%	(▲4.5)	44.0%	(▲4.7)	35.8%	(▲9.4)	37.3%	(▲9.8)	20.1	(▲2.9)		
全国	126,167	13.4%	(+1.7)	13.0%	(+1.7)	9.2%	(+0.8)	8.7%	(+0.7)	5.5	(+1.0)		

※：人口推計 第4表 都道府県，男女別人口及び人口性比－総人口，日本人人口（2019年10月1日現在）

※：確保病床使用率、確保想定病床使用率、療養者数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。確保想定病床使用率は、同調査における「最終フェーズにおける即応病床（計画）数」を用いて計算している。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとりまとめている。

※：重症者数は、集中治療室（ICU）等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者数。

※：東京都、滋賀県、京都府、福岡県及び沖縄県の重症者数については、これまで都府県独自の基準に則って報告された数値を掲載していたが、8/21公表からは、国の基準に則って、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者も含めた数値が報告されている。

※：都道府県によっては病床確保計画の即応病床（計画）数を超過して病床を確保しているため、現時点の確保病床の占有率が低くしている場合がある。

(参考) 都道府県の医療提供体制等の状況② (監視体制・感染の状況)

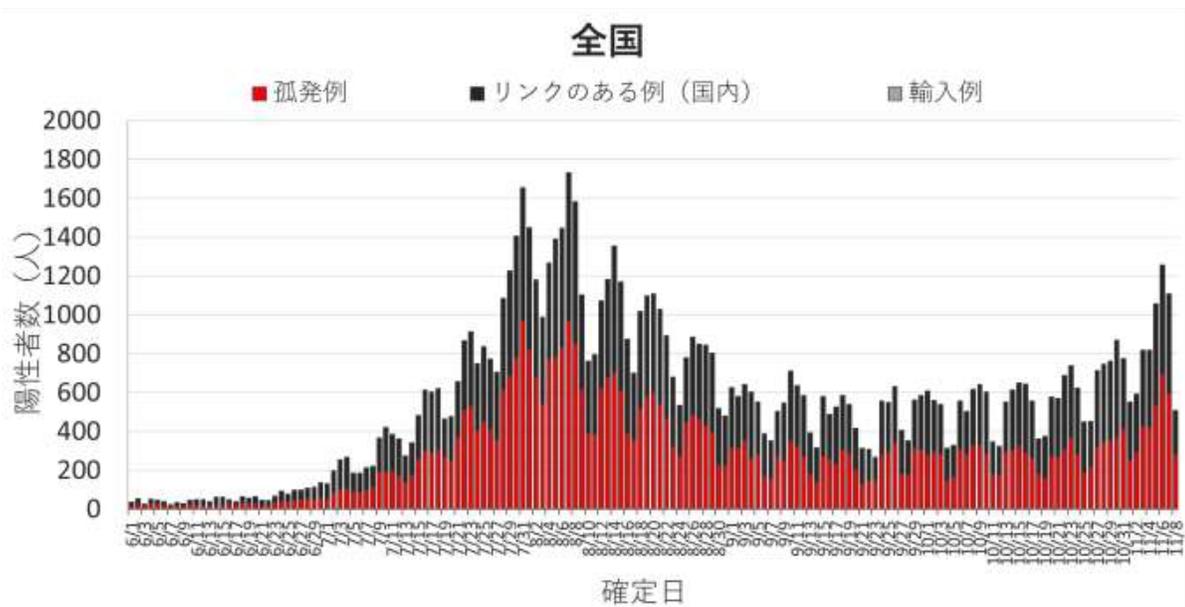
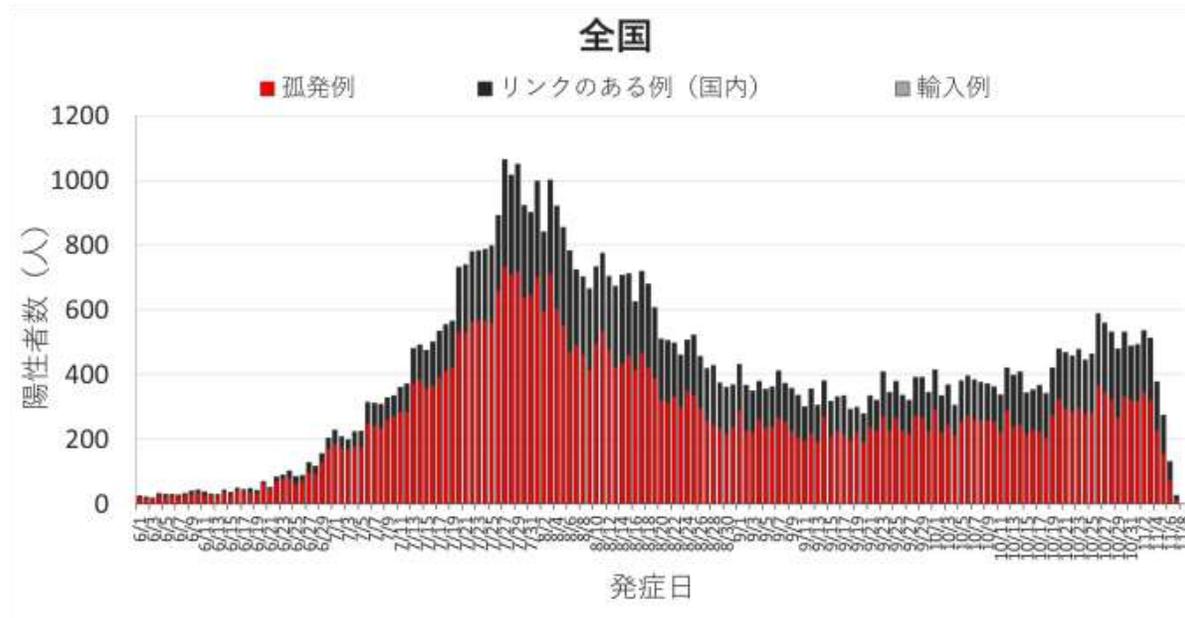
		【監視体制】		【感染の状況】			
A	G			H	I	J	
	人口	③陽性者数／PCR検査件数 (最近1週間)		④直近1週間の陽性者数	⑤直近1週間 とその前1週間の比		⑥感染経路 不明な者の 割合
時点	2019.10	~11/1(1W)		~11/5(1W)			~10/30(1W)
単位	千人	%(前週差)		対人口10万人 (前週差)	(前週差)		%(前週差)
ステージⅢの指標		10%		15	1		50%
ステージⅣの指標		10%		25	1		50%
北海道	5,250	6.8%	(+2.7)	11.05	(+4.7)	1.74	(▲0.00) 43.5% (+5.3)
青森県	1,246	4.2%	(▲4.0)	3.77	(▲1.8)	0.68	(▲0.07) 6.3% (+2.3)
岩手県	1,227	0.0%	(▲0.5)	0.16	(+0.1)	2.00	(+1.00) - -
宮城県	2,306	6.0%	(+1.8)	5.77	(▲0.5)	0.92	(▲2.97) 14.8% (▲17.7)
秋田県	966	1.0%	(+0.1)	0.62	(+0.6)	-	- 100.0% (+50.0)
山形県	1,078	0.6%	(▲0.8)	0.00	(▲0.4)	0.00	(▲4.00) 0.0% (▲33.3)
福島県	1,846	0.1%	(▲0.9)	1.19	(+0.7)	2.44	(+2.25) 26.9% (▲7.7)
茨城県	2,860	0.7%	(+0.4)	1.12	(+0.3)	1.45	(+0.08) 40.7% (▲2.1)
栃木県	1,934	0.9%	(+0.0)	0.52	(▲0.1)	0.91	(+0.36) 23.1% (▲29.9)
群馬県	1,942	0.8%	(▲3.0)	1.18	(▲2.4)	0.33	(▲0.92) 67.3% (+4.3)
埼玉県	7,350	2.8%	(+0.3)	3.46	(+0.1)	1.04	(+0.19) 34.0% (▲9.3)
千葉県	6,259	3.4%	(▲1.0)	3.90	(▲0.6)	0.86	(▲0.27) 40.3% (▲0.4)
東京都	13,921	3.3%	(+0.3)	8.78	(+0.4)	1.05	(▲0.01) 51.6% (▲6.9)
神奈川県	9,198	3.4%	(+0.1)	4.83	(+0.1)	1.03	(▲0.07) 39.9% (+2.2)
新潟県	2,223	0.4%	(▲0.0)	0.13	(+0.0)	1.00	- 0.0% -
富山県	1,044	0.2%	(+0.2)	0.10	(+0.1)	-	- 0.0% -
石川県	1,138	1.3%	(+0.9)	1.05	(+0.4)	1.50	(+0.61) 53.8% (+3.8)
福井県	768	0.3%	(+0.3)	0.13	(+0.1)	-	- - -
山梨県	811	0.8%	(+0.5)	1.60	(+0.4)	1.30	(▲2.03) 30.0% (▲20.0)
長野県	2,049	1.1%	(+0.3)	0.59	(+0.1)	1.33	(+0.33) 20.0% (▲40.0)
岐阜県	1,987	2.2%	(▲0.7)	1.66	(+0.8)	1.94	(+1.09) 42.9% (+18.7)
静岡県	3,644	2.9%	(+2.1)	1.48	(+0.1)	1.06	(▲2.86) 16.9% (▲29.2)
愛知県	7,552	7.3%	(+3.2)	6.05	(+1.9)	1.47	(▲0.56) 43.3% (▲1.9)
三重県	1,781	1.9%	(+0.7)	1.07	(+1.0)	9.50	(+9.30) 25.0% (▲41.7)
滋賀県	1,414	2.6%	(+0.2)	2.69	(+1.7)	2.71	(+1.64) 50.0% (+10.0)
京都府	2,583	4.0%	(+2.2)	3.37	(+1.2)	1.55	(+0.48) 49.3% (+2.5)
大阪府	8,809	7.5%	(+2.4)	9.57	(+1.7)	1.21	(▲0.44) 54.2% (+2.3)
兵庫県	5,466	3.8%	(▲0.3)	3.75	(+1.1)	1.39	(▲0.11) 44.8% (▲16.2)
奈良県	1,330	3.4%	(+1.8)	4.51	(+3.5)	4.29	(+3.29) 40.0% (▲2.9)
和歌山県	925	0.6%	(▲2.7)	0.76	(+0.0)	1.00	(+0.42) 20.0% (+20.0)
鳥取県	556	0.2%	(▲0.6)	0.00	(▲0.5)	0.00	- 33.3% -
島根県	674	0.0%	(▲1.1)	0.00	(▲0.1)	0.00	- 0.0% -
岡山県	1,890	3.0%	(+1.1)	2.86	(▲1.0)	0.74	(▲2.91) 11.4% (▲12.6)
広島県	2,804	0.6%	(▲0.0)	0.29	(+0.0)	1.14	(▲0.02) 28.6% (▲38.1)
山口県	1,358	0.0%	(▲0.9)	0.74	(+0.6)	5.00	(+4.00) - -
徳島県	728	0.0%	(▲2.6)	0.00	(+0.0)	-	- - -
香川県	956	0.0%	(▲0.4)	0.21	(+0.2)	-	- - -
愛媛県	1,339	0.0%	(+0.0)	0.00	(+0.0)	-	- - -
高知県	698	1.6%	(▲0.3)	0.00	(▲0.6)	0.00	- 50.0% -
福岡県	5,104	0.8%	(+0.0)	0.88	(+0.1)	1.18	(+0.26) 53.5% (+3.5)
佐賀県	815	0.0%	(▲1.3)	1.47	(+1.3)	12.00	(+11.75) 0.0% (+0.0)
長崎県	1,327	0.1%	(▲0.1)	0.15	(+0.0)	1.00	(▲1.00) 100.0% (+0.0)
熊本県	1,748	3.2%	(+0.7)	2.86	(+1.3)	1.85	(+1.03) 40.7% (▲4.1)
大分県	1,135	0.0%	(+0.0)	0.00	(+0.0)	-	- - -
宮崎県	1,073	0.0%	(▲0.4)	0.47	(+0.4)	5.00	- - -
鹿児島県	1,602	1.3%	(+1.3)	2.31	(+2.0)	7.40	(+2.40) 0.0% -
沖縄県	1,453	5.3%	(▲2.2)	11.08	(▲4.7)	0.70	(▲0.32) 44.5% (+4.9)
全国	126,167	3.5%	(+0.5)	4.16	(+0.6)	1.16	(▲0.07) 44.0% (▲3.1)

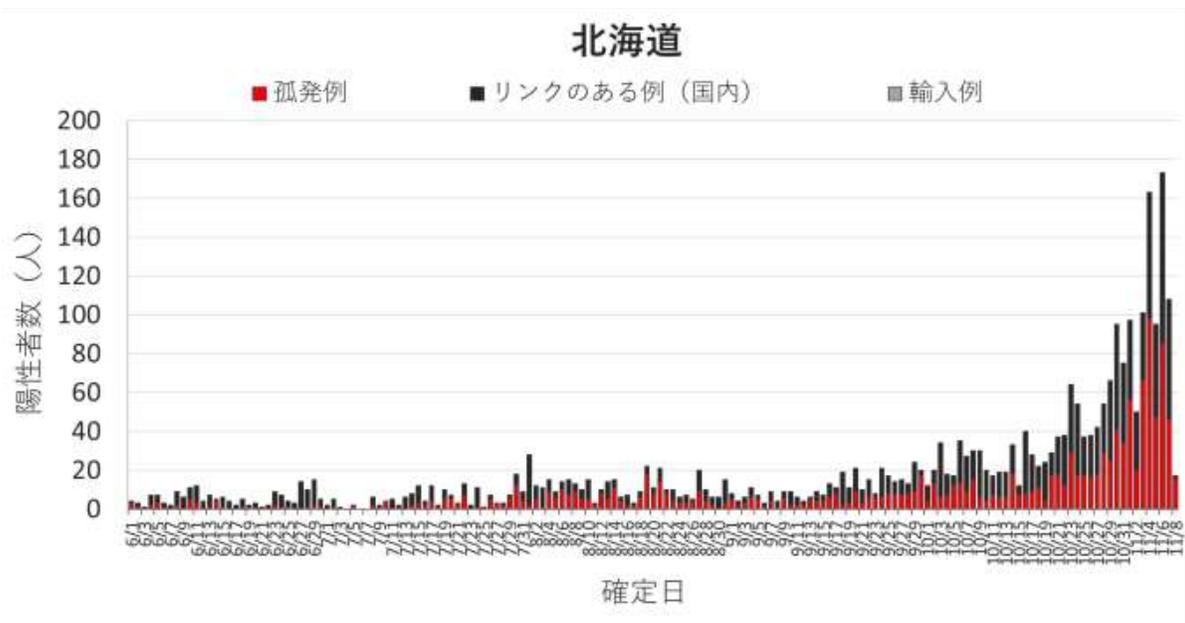
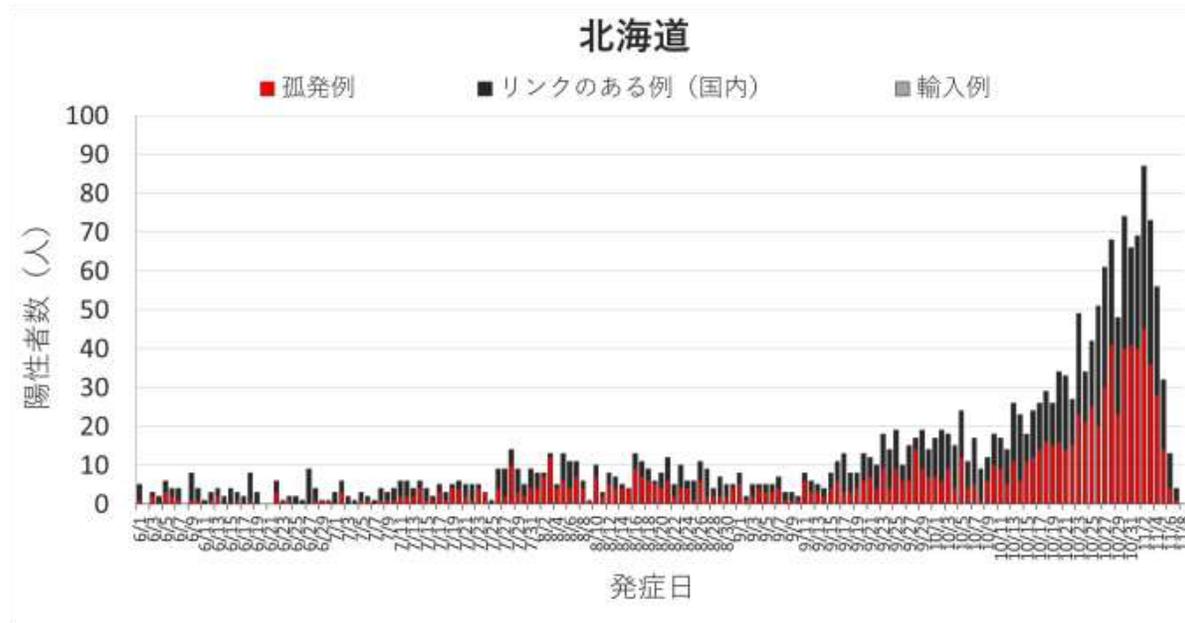
※：人口推計 第4表 都道府県，男女別人口及び人口性比－総人口，日本人人口（2019年10月1日現在）
 ※：陽性者数は、感染症法に基づく陽性者数の累積（各都道府県の発表日ベース）を記載。自治体に確認を得てない暫定値であることに留意。
 ※：PCR検査件数は、厚生労働省において把握した、地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等及び医療機関における検査件数の合計値。
 ※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。
 ※：⑤と⑥について、分母が0の場合は、「-」と記載している。

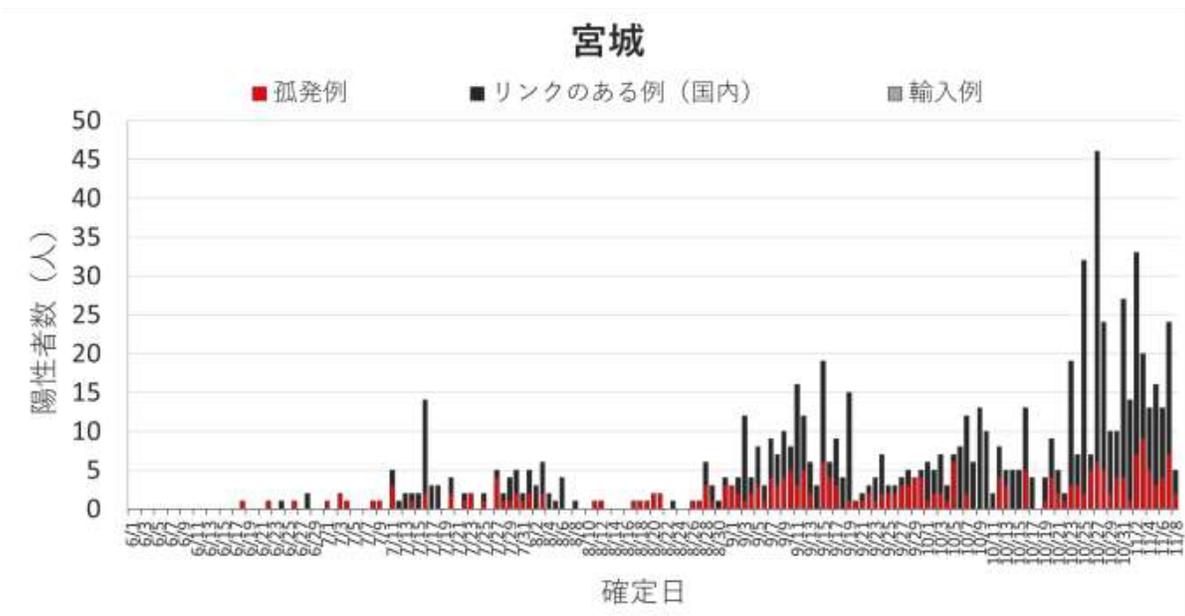
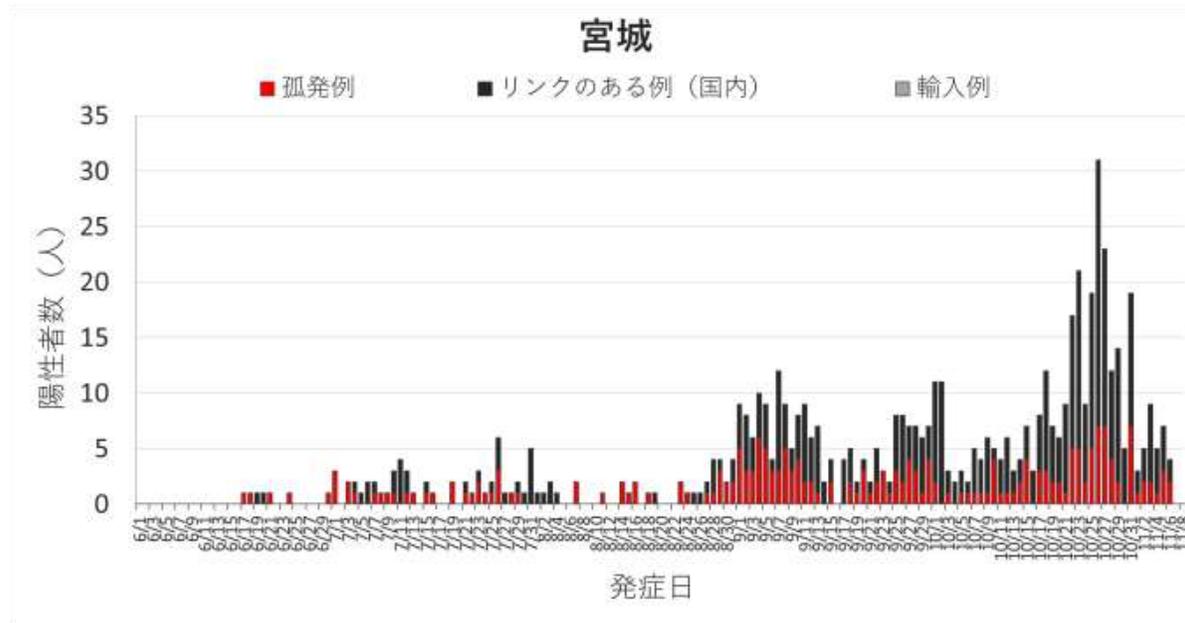
全国・県別エピカーブ

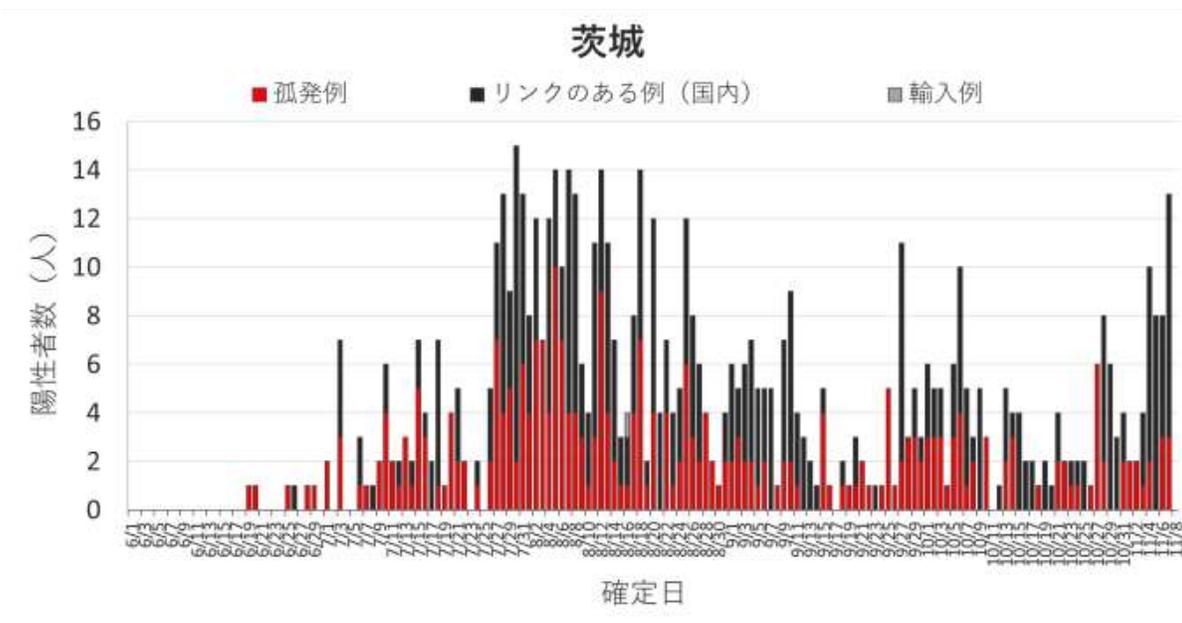
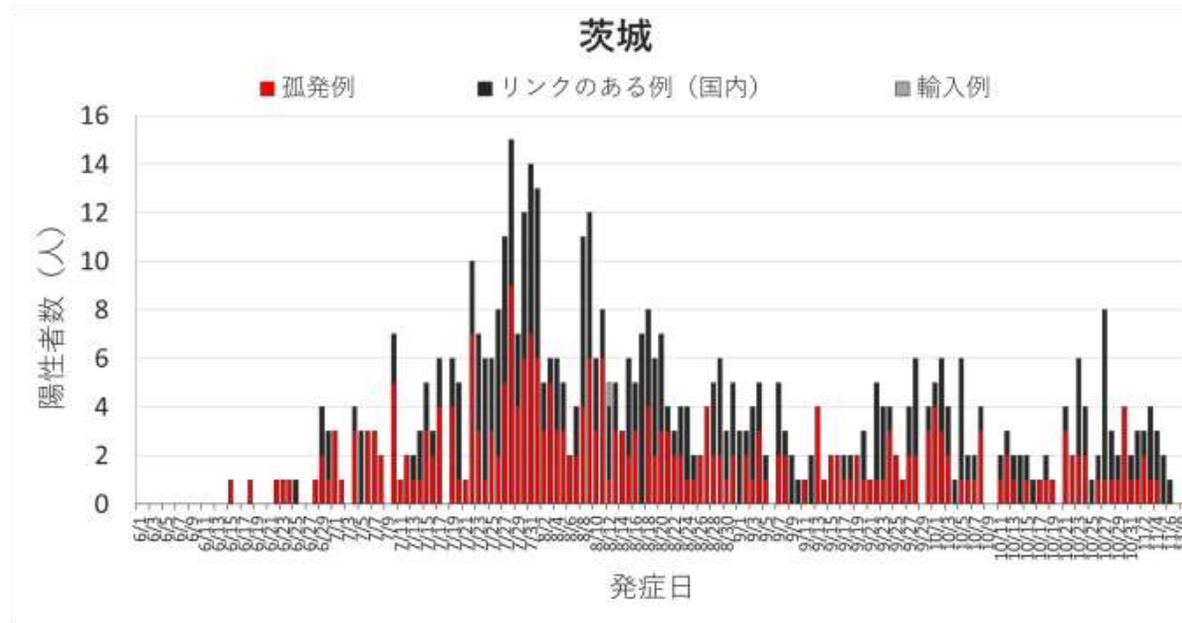
2020/06/01-2020/11/08 (11/09集計分まで)

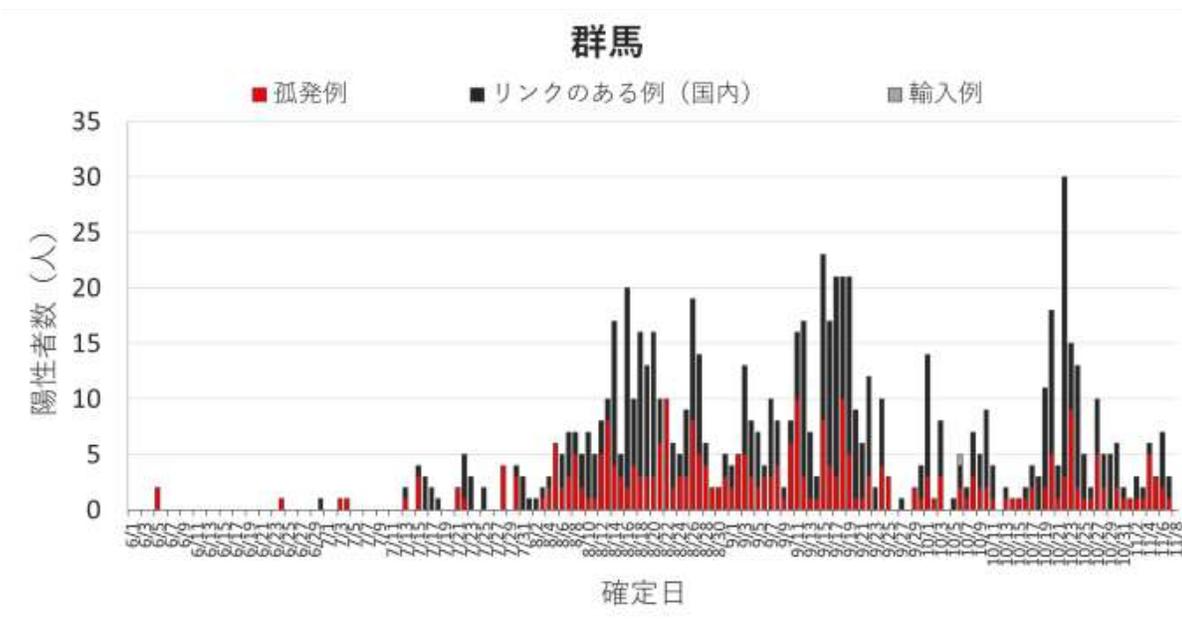
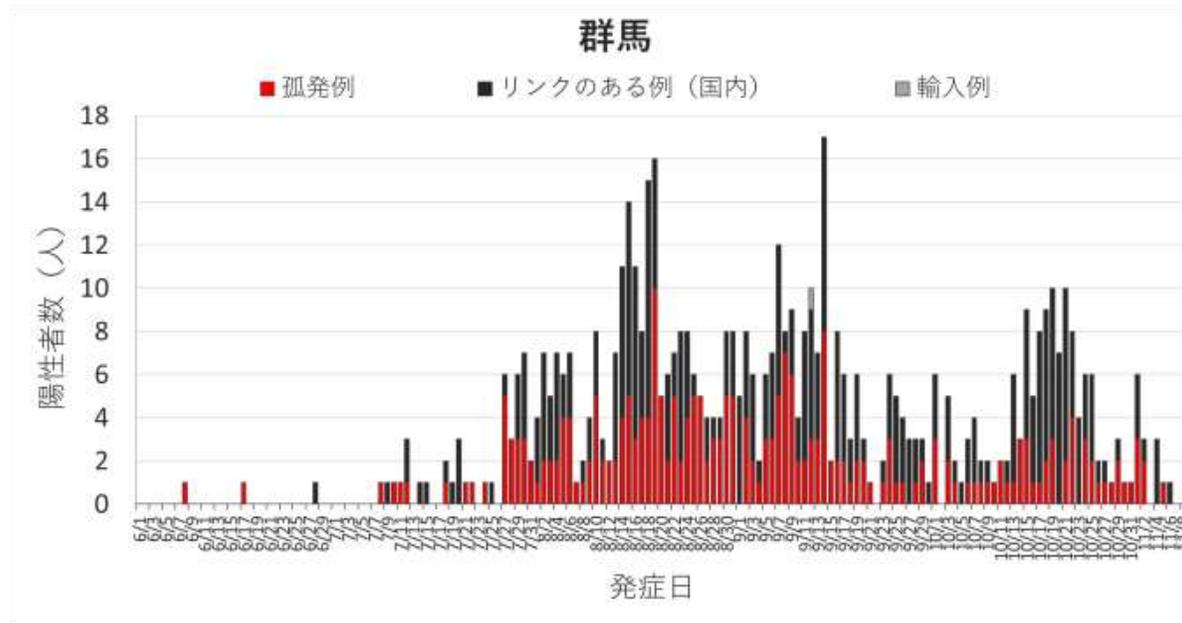
自治体の発表データに基づく

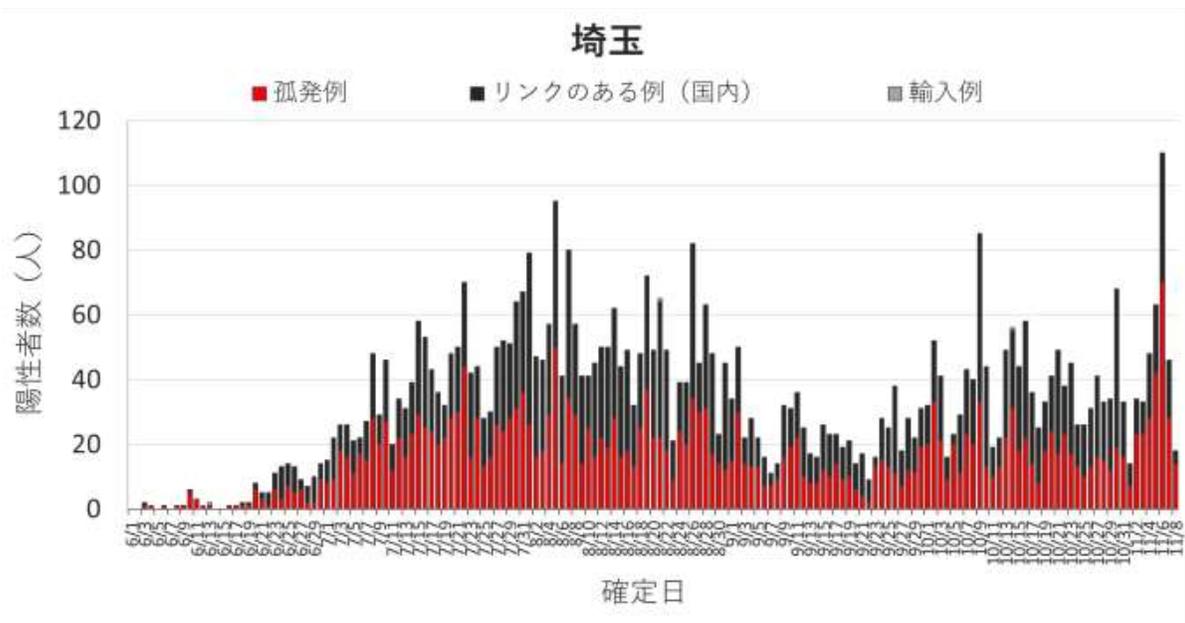
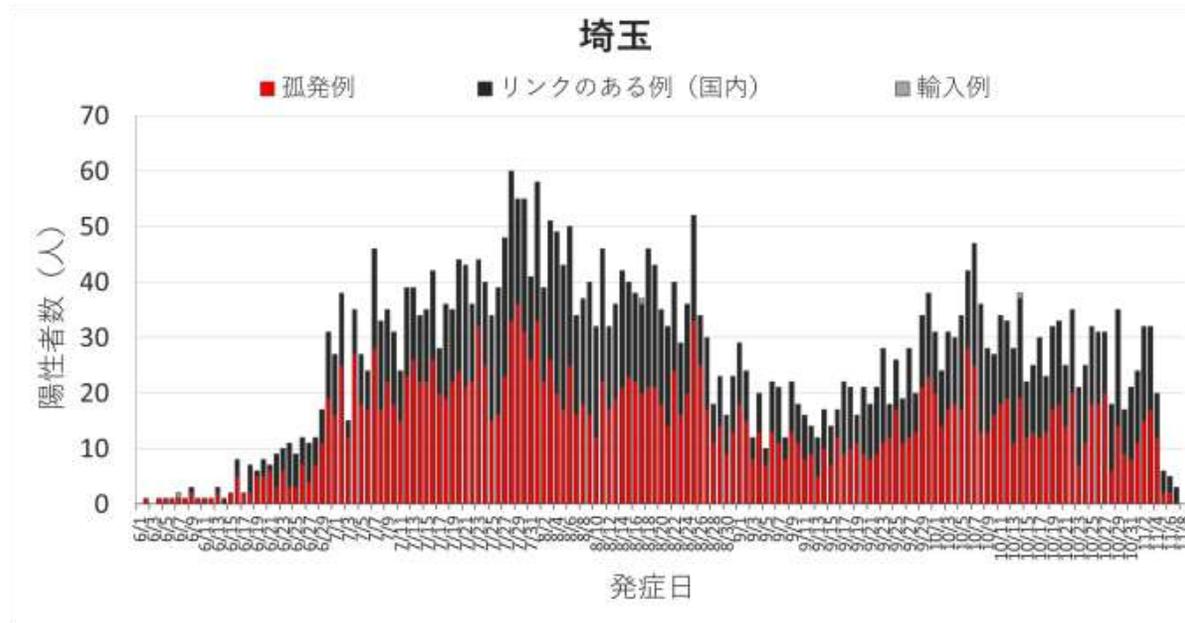


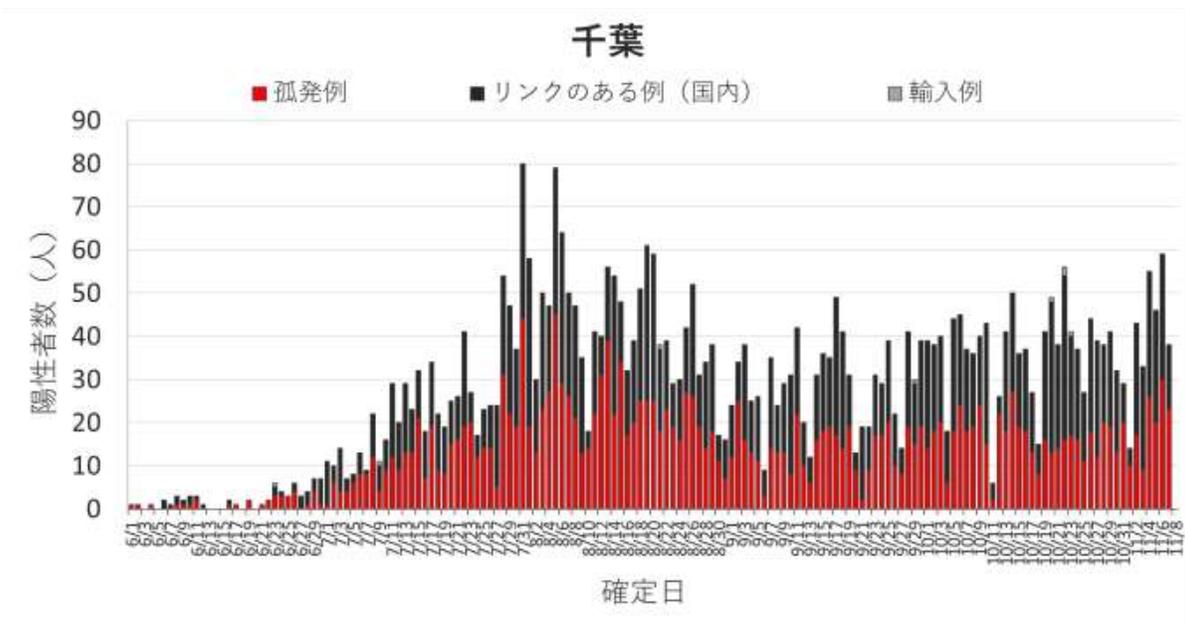
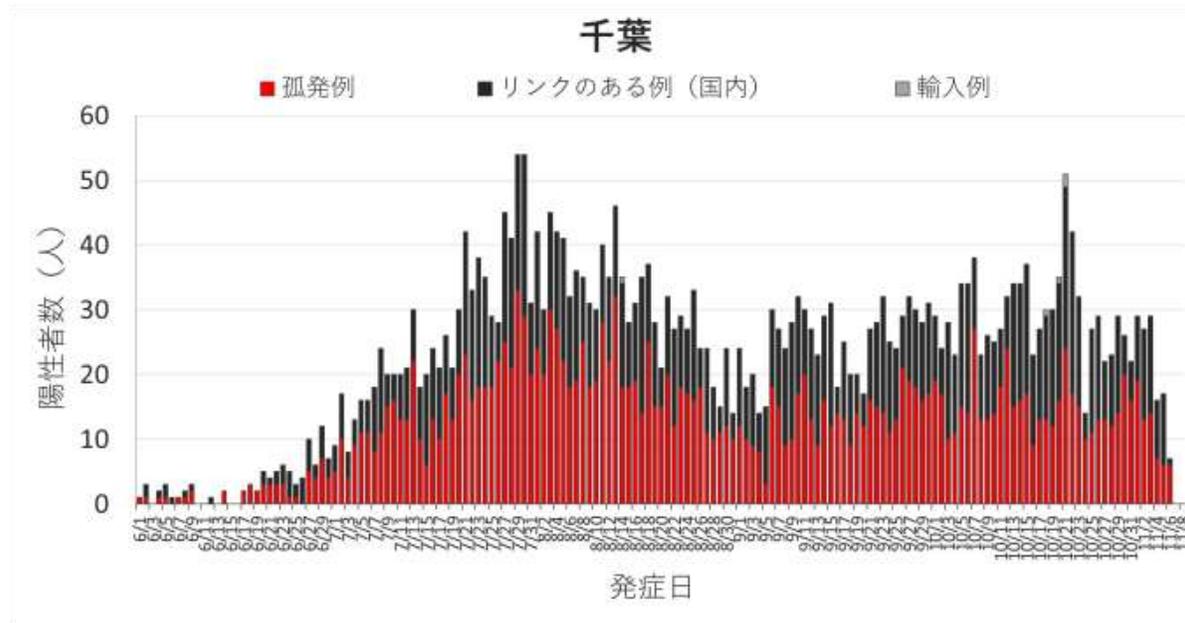


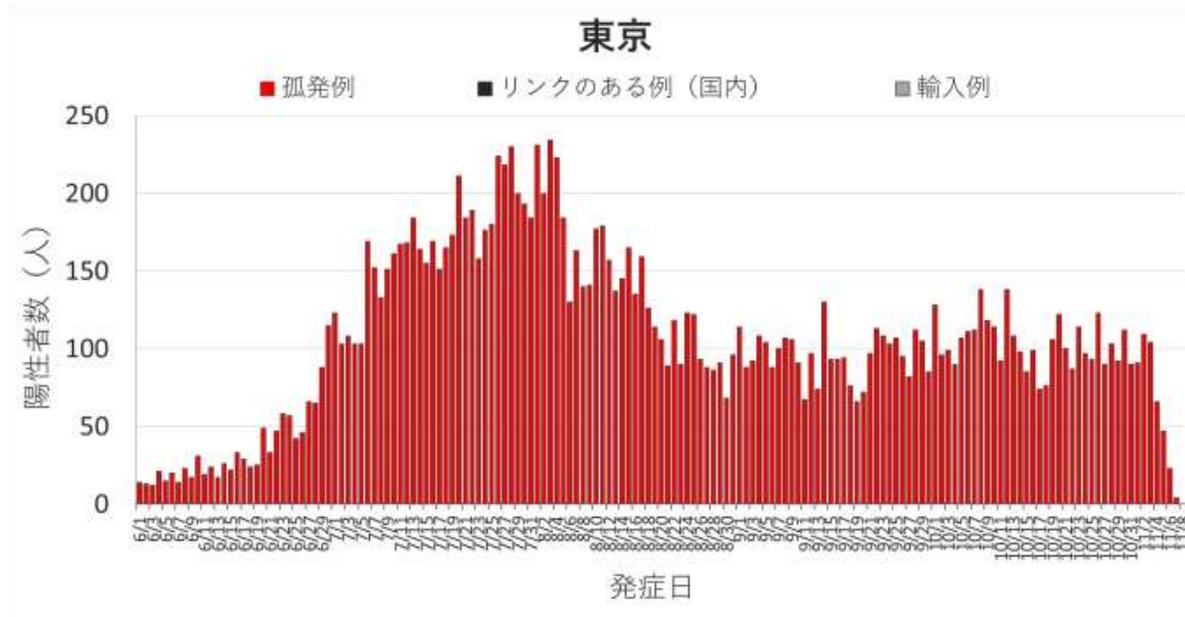




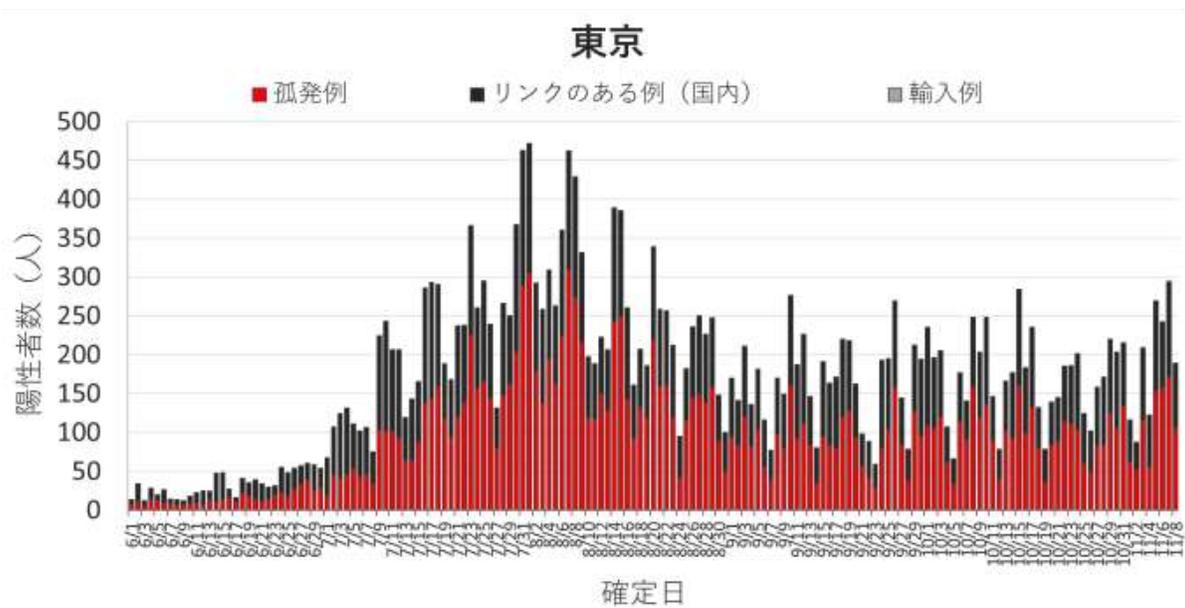


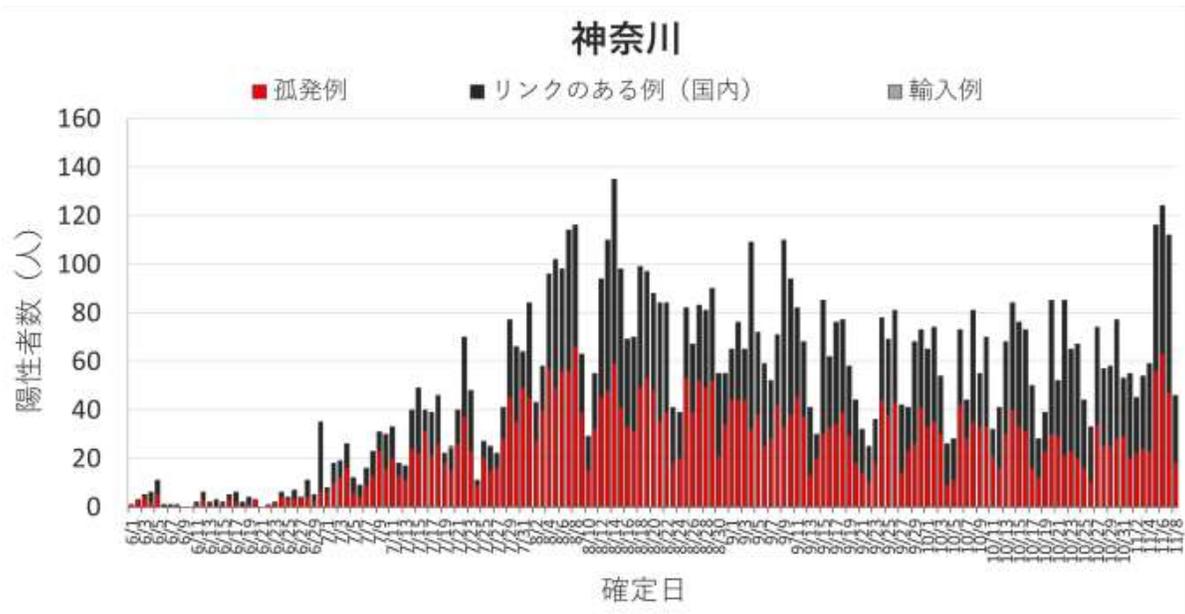


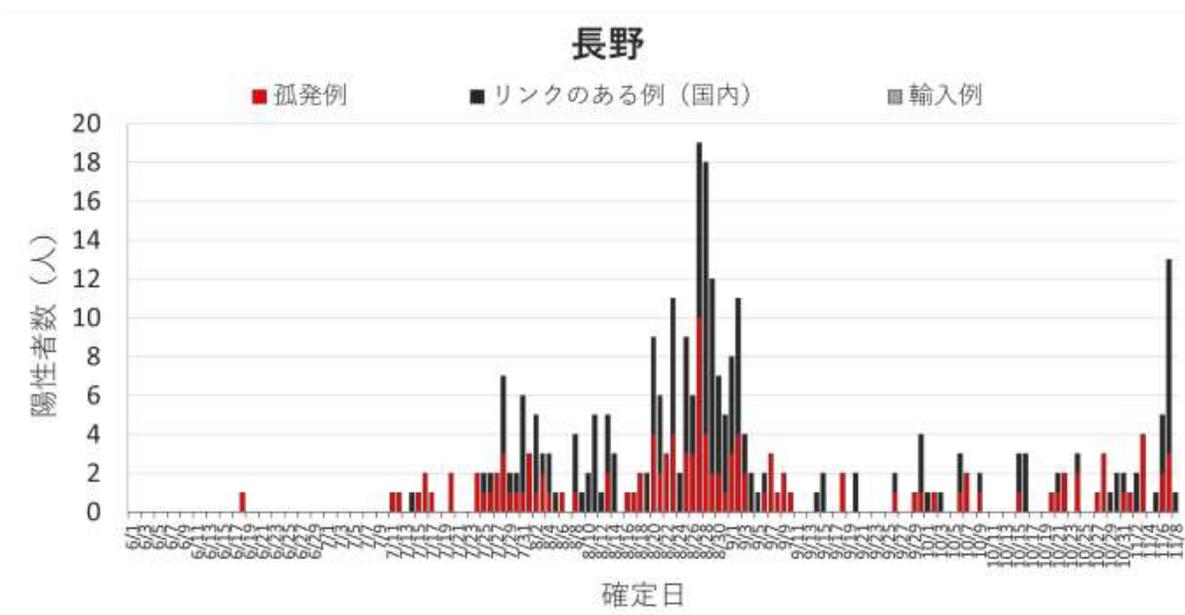
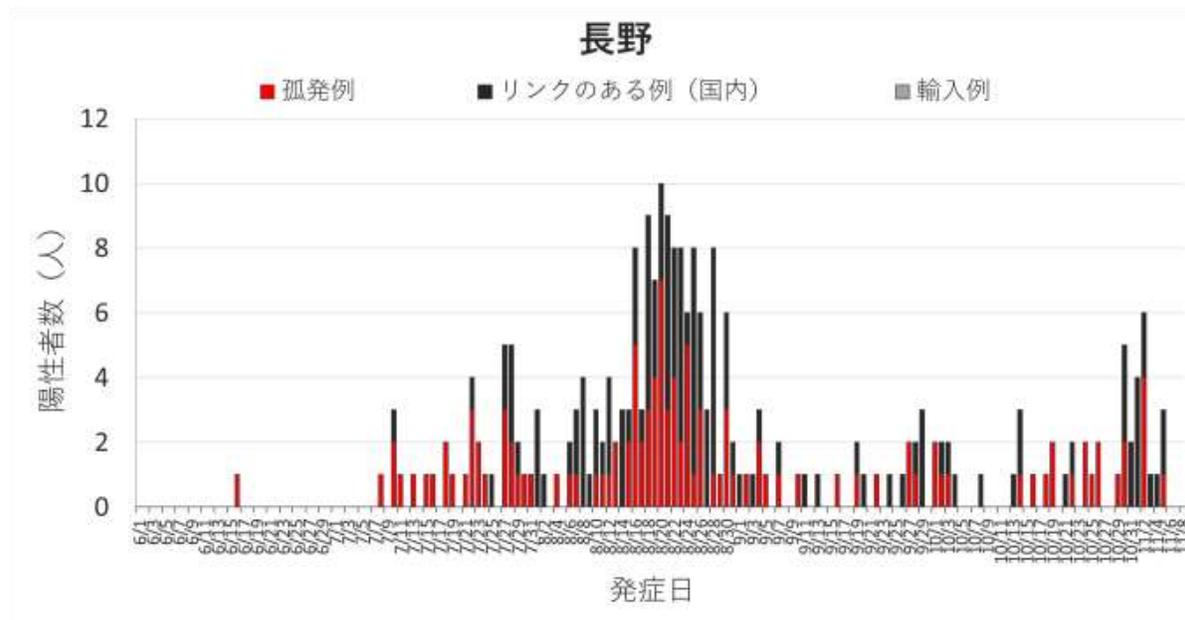


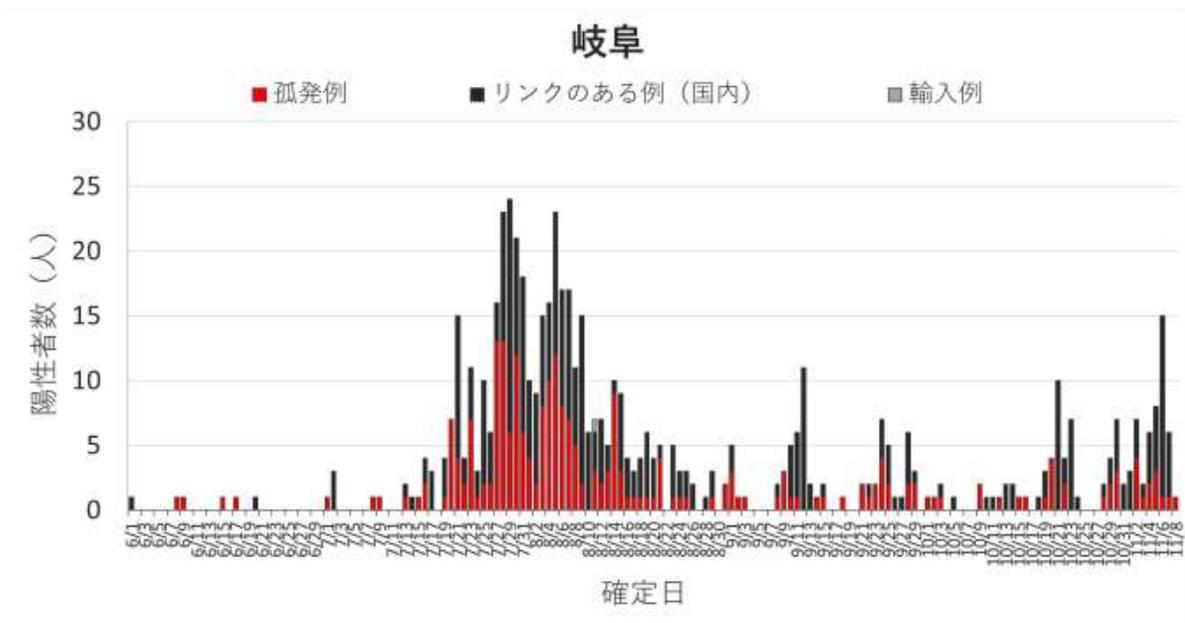
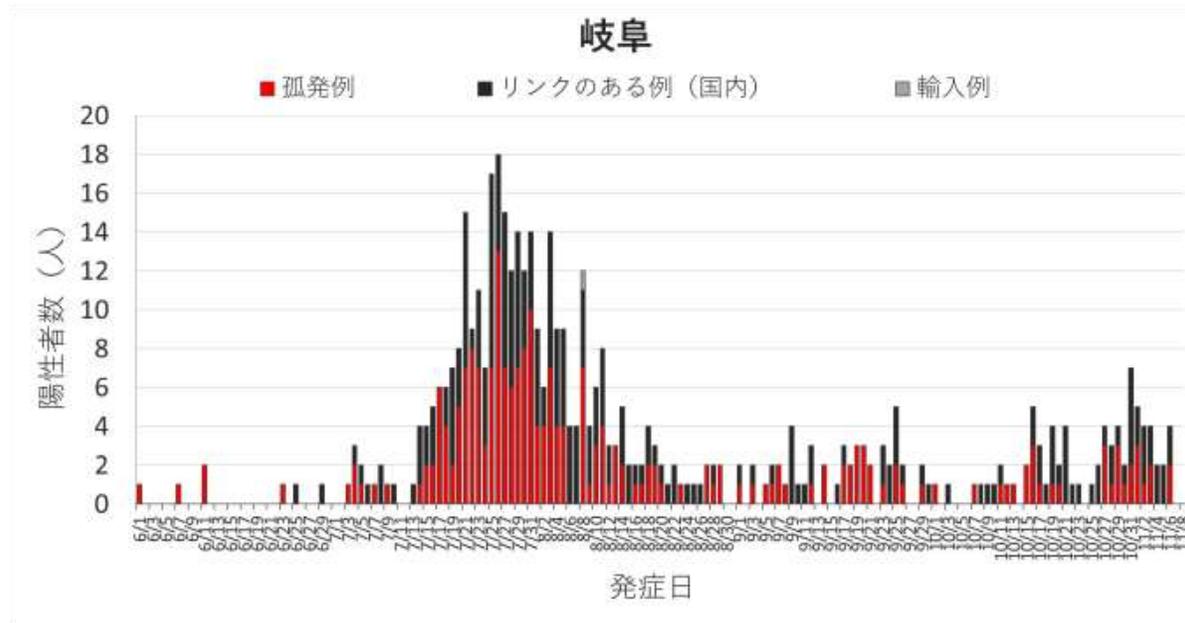


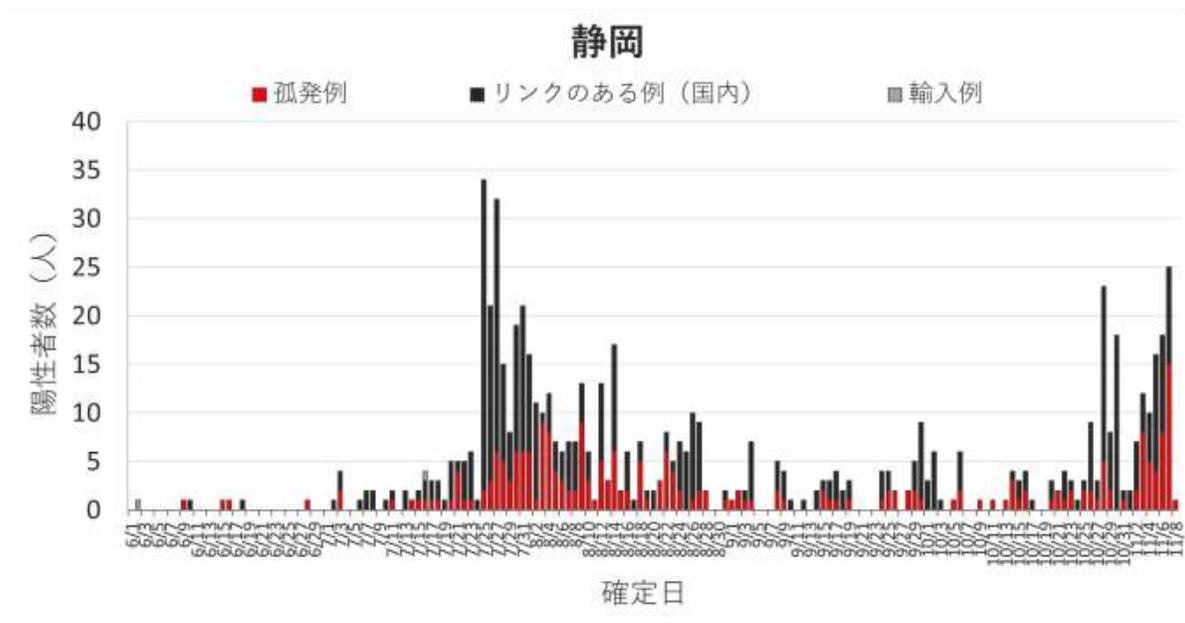
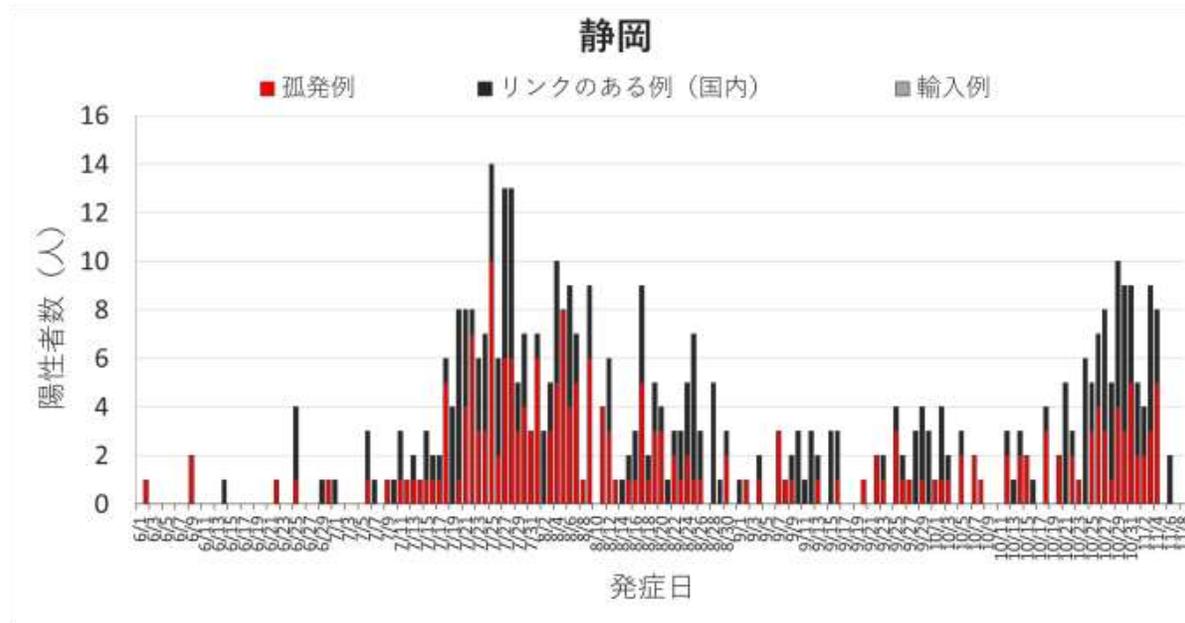
東京都は発症日別のリンクの有無を公開していないためすべて孤発例として計上

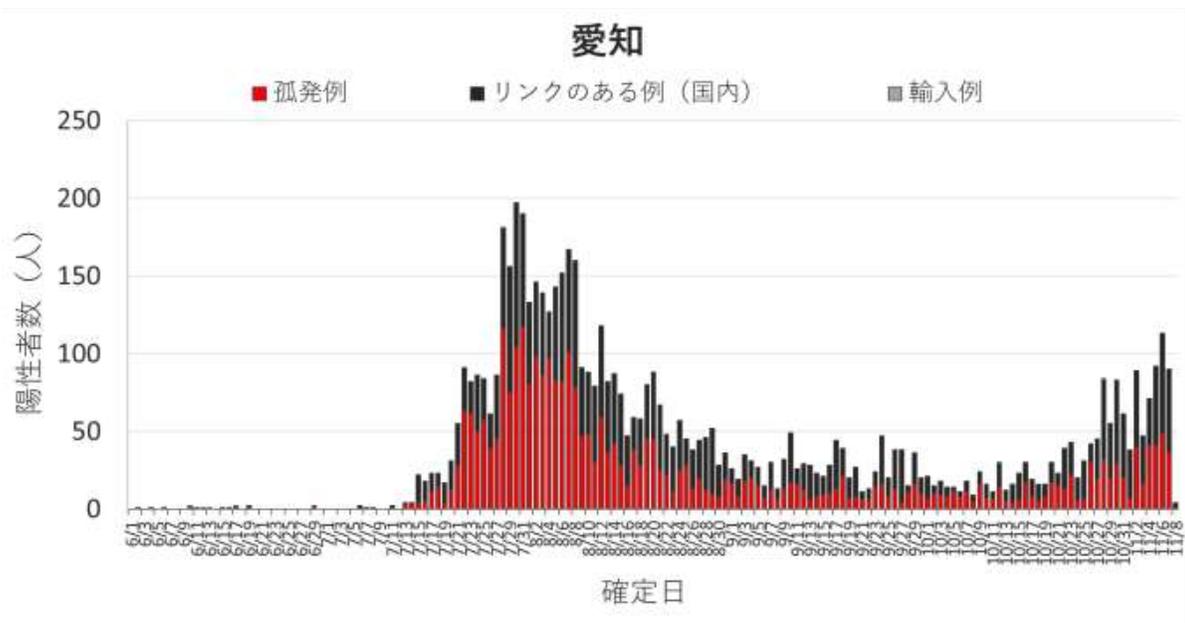
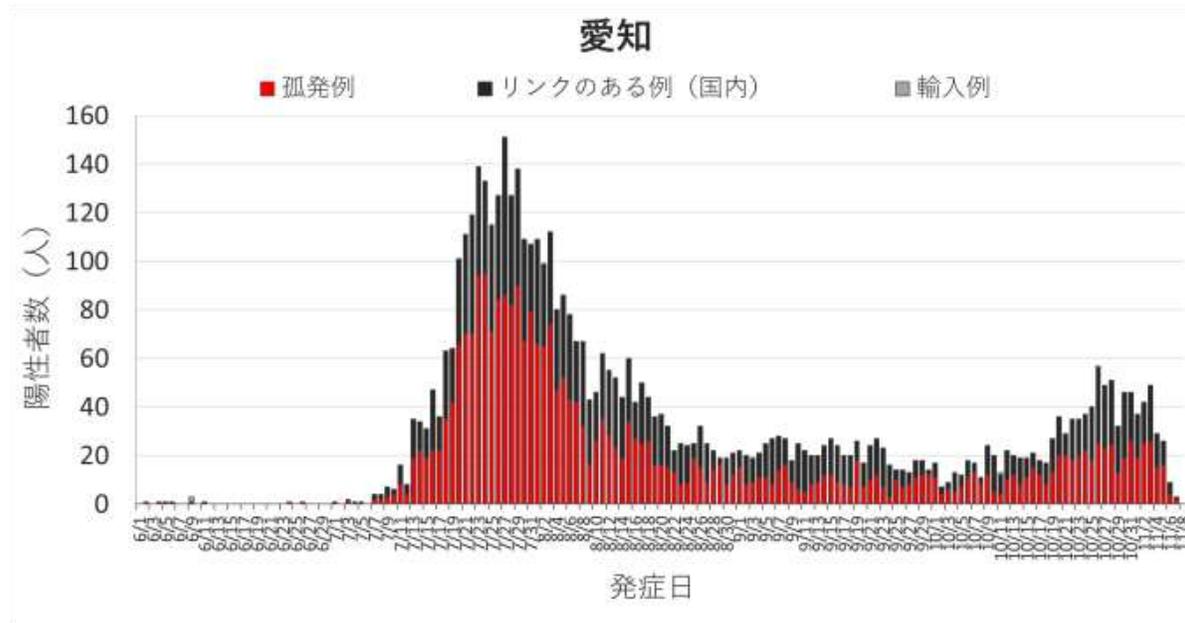


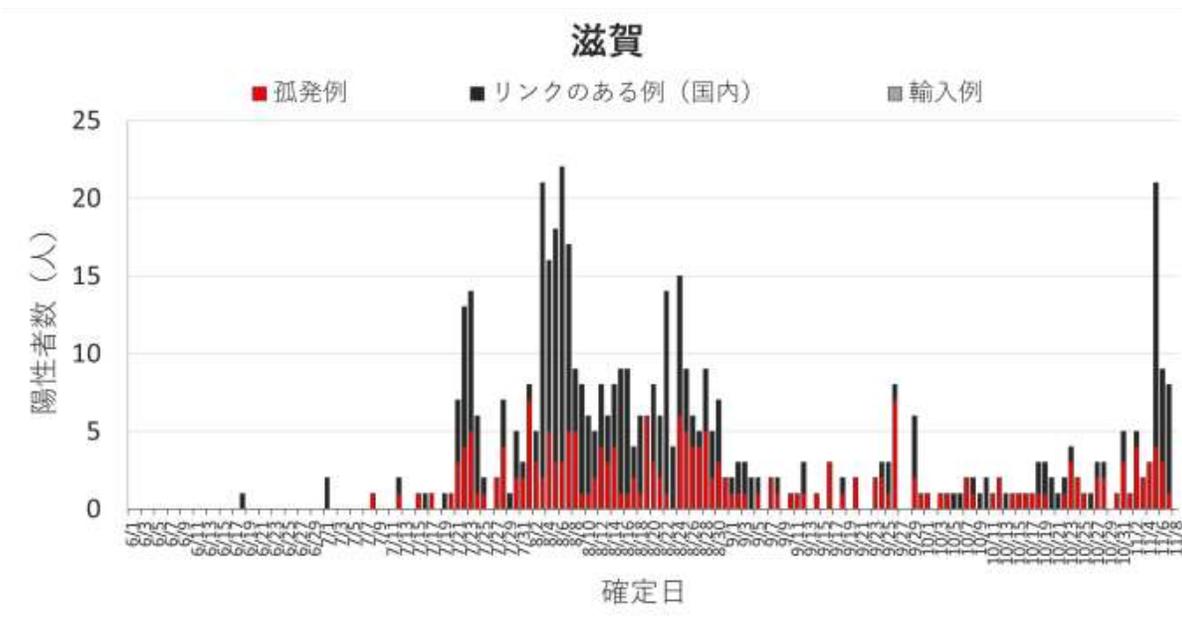
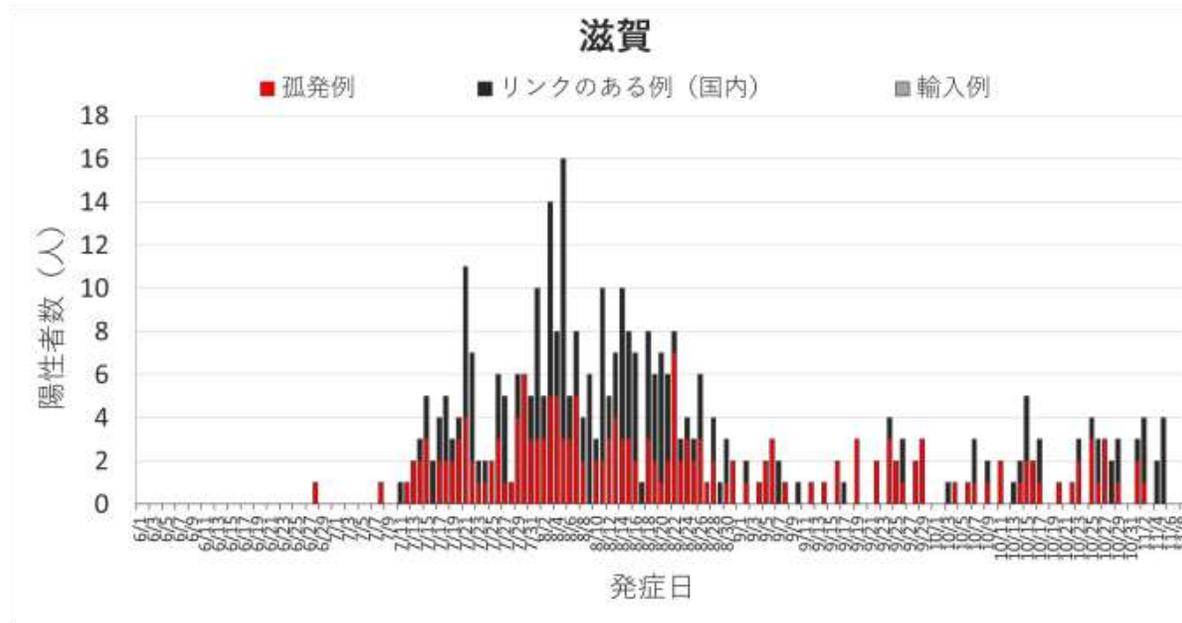


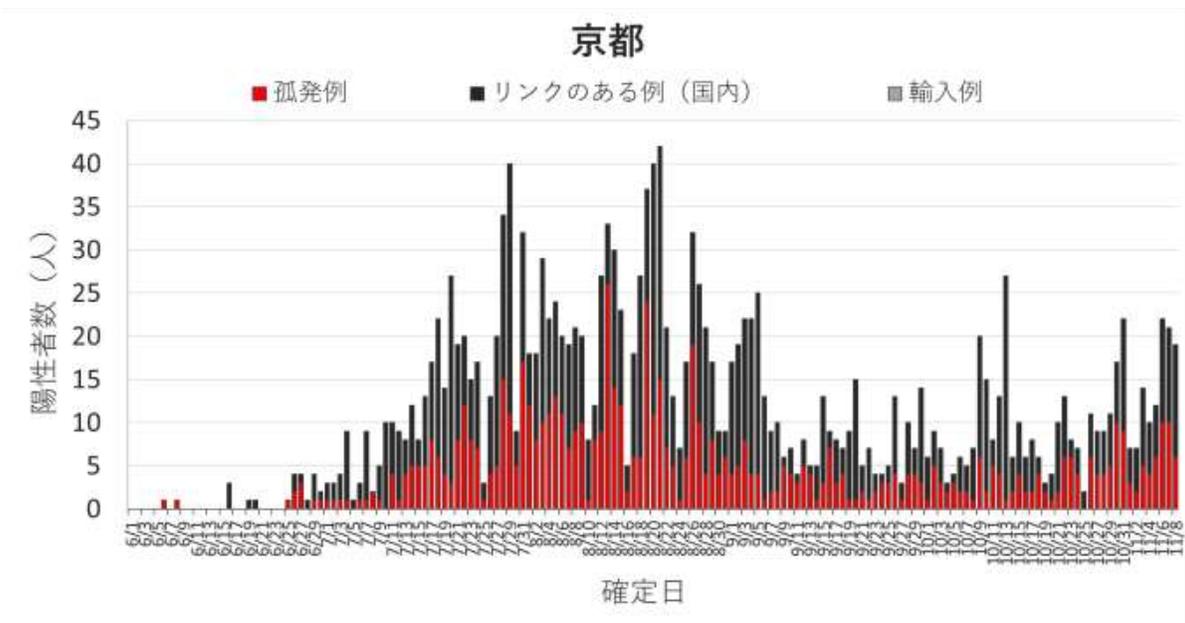
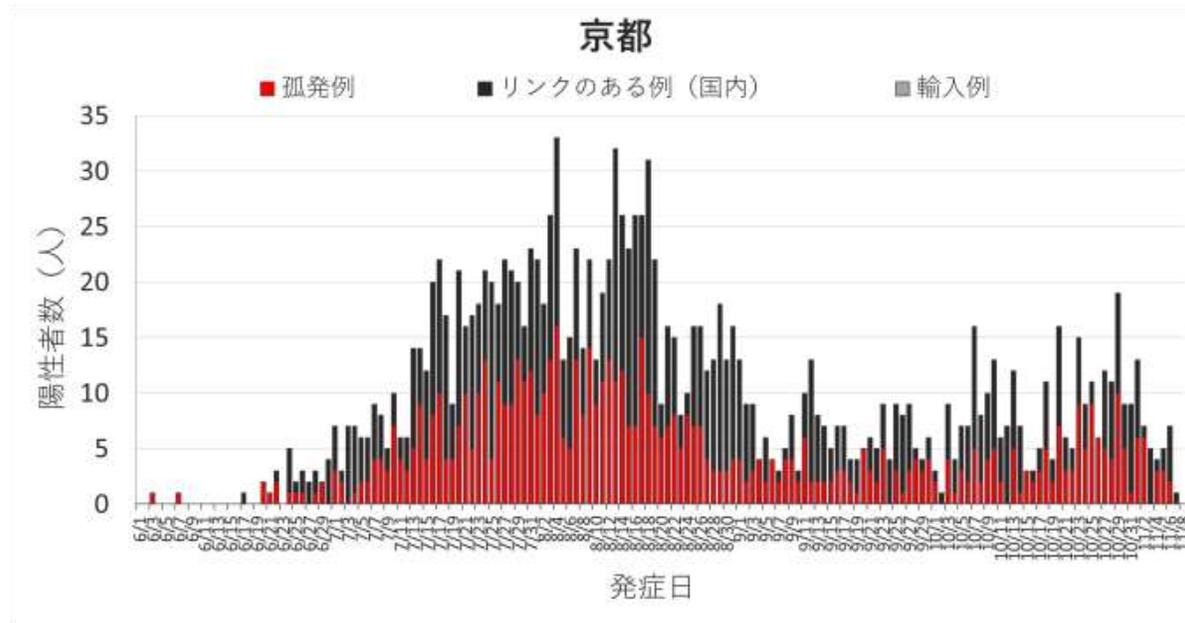


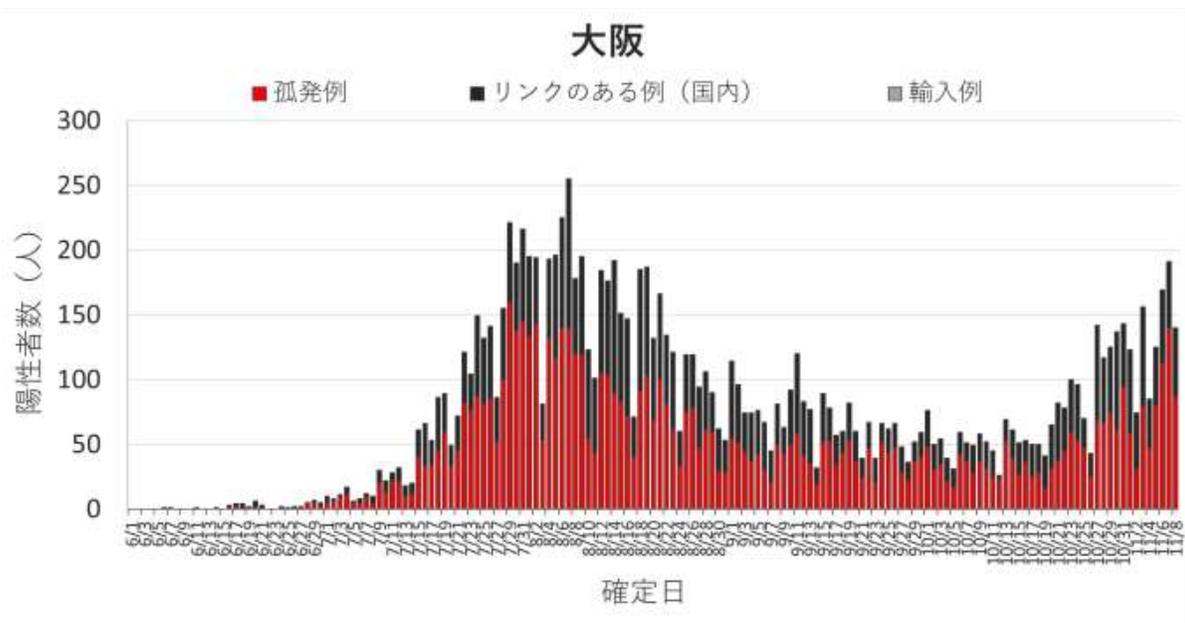
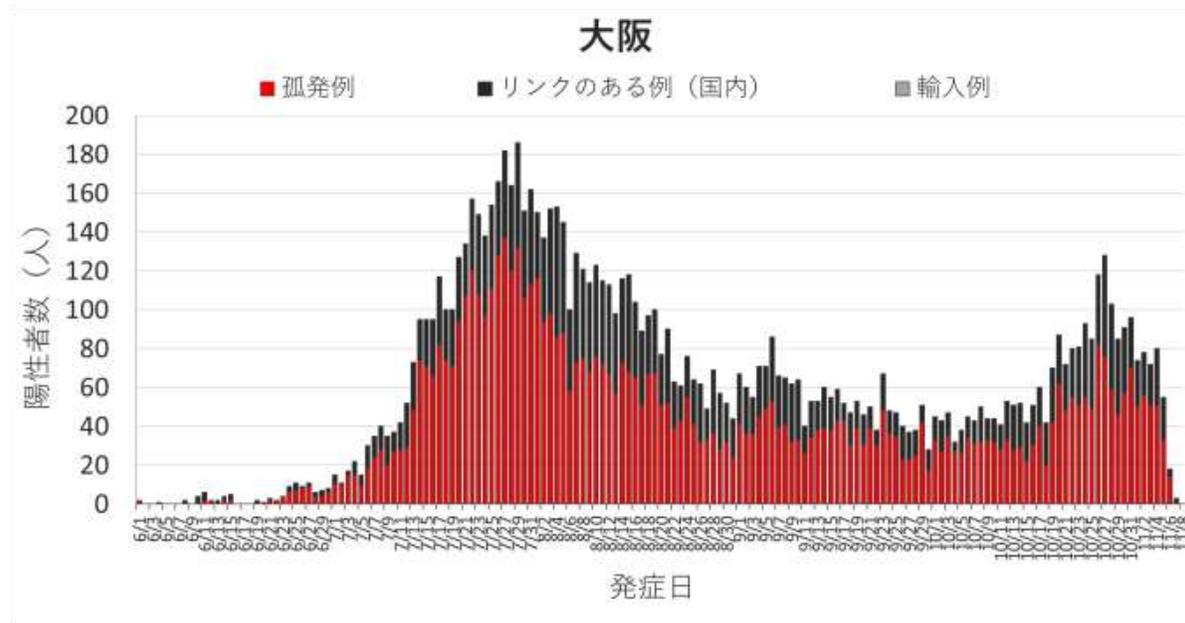


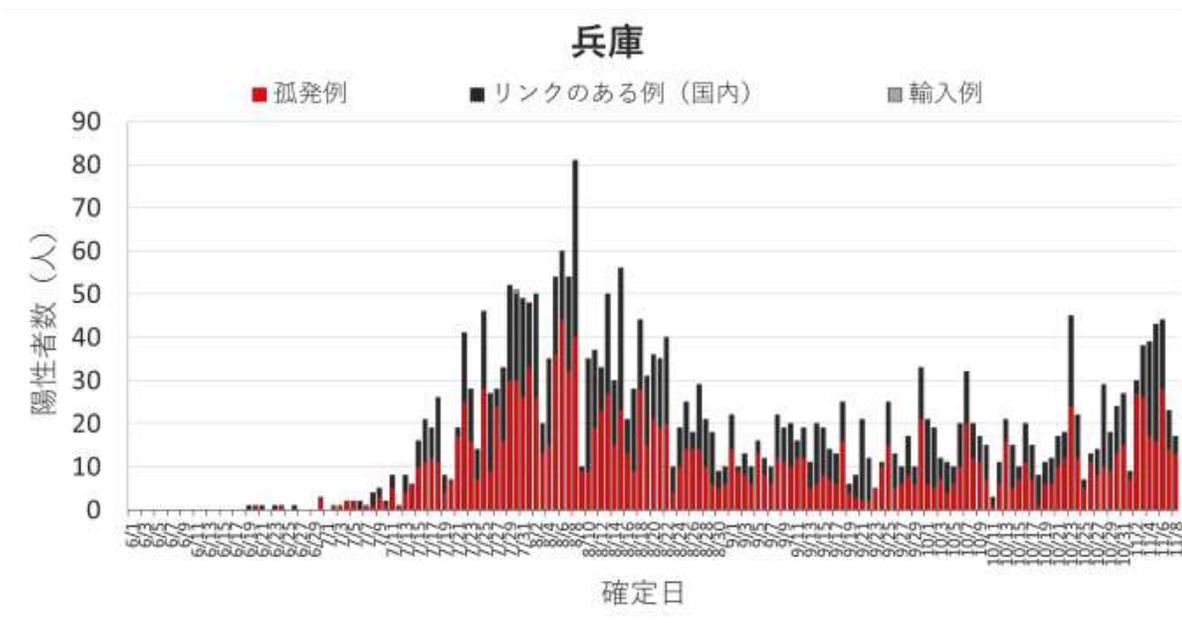
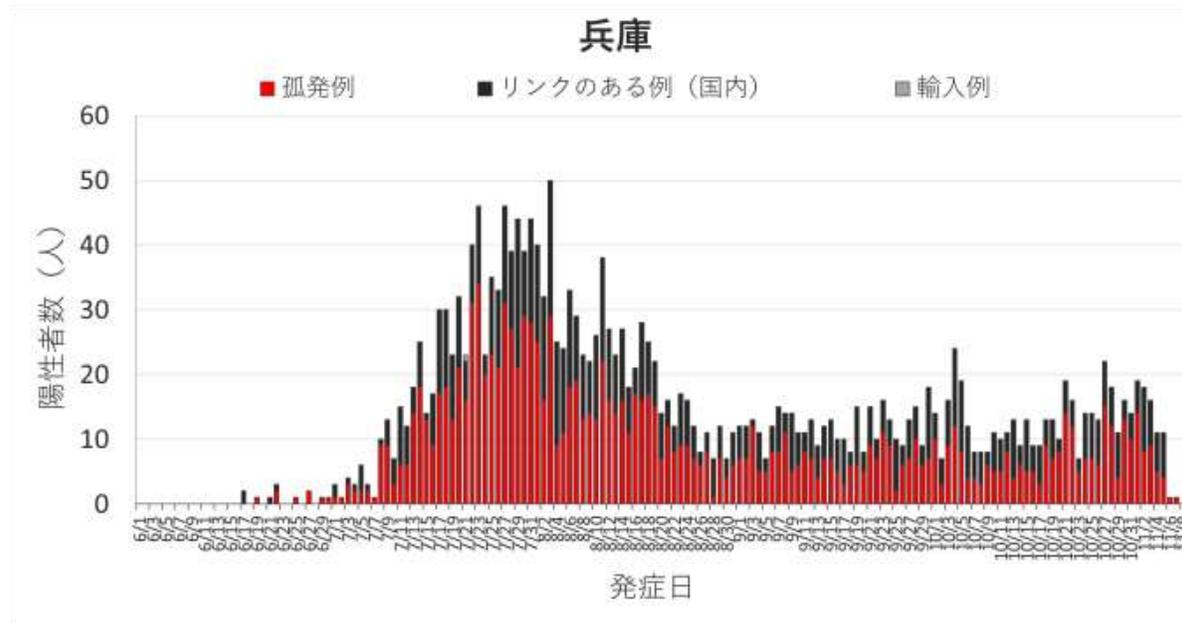


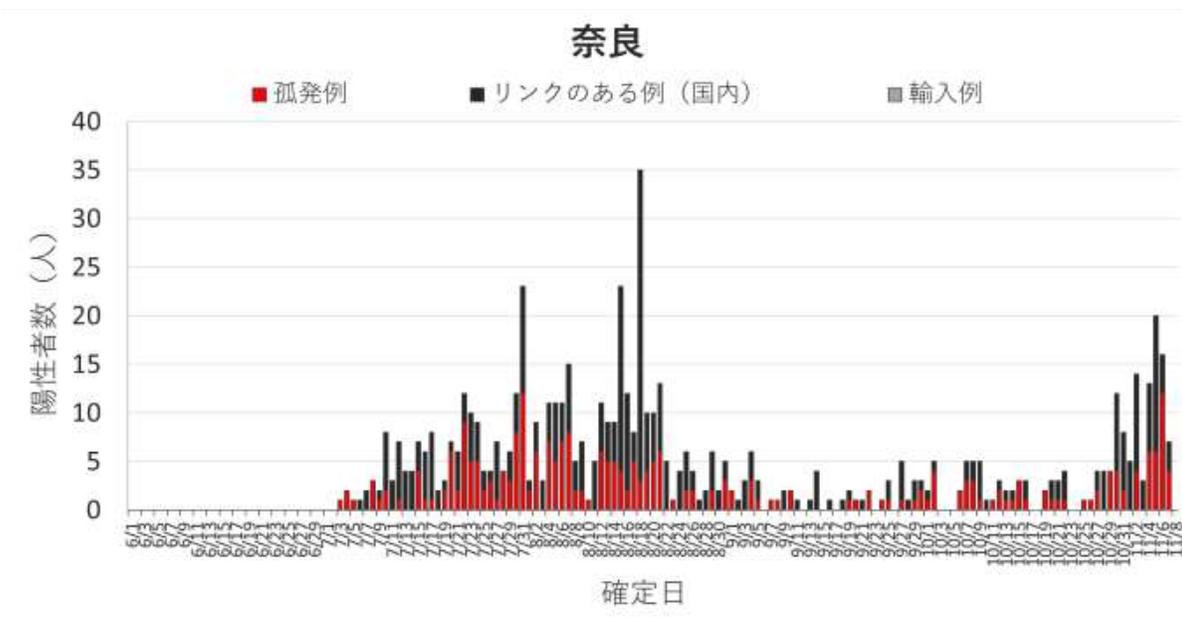
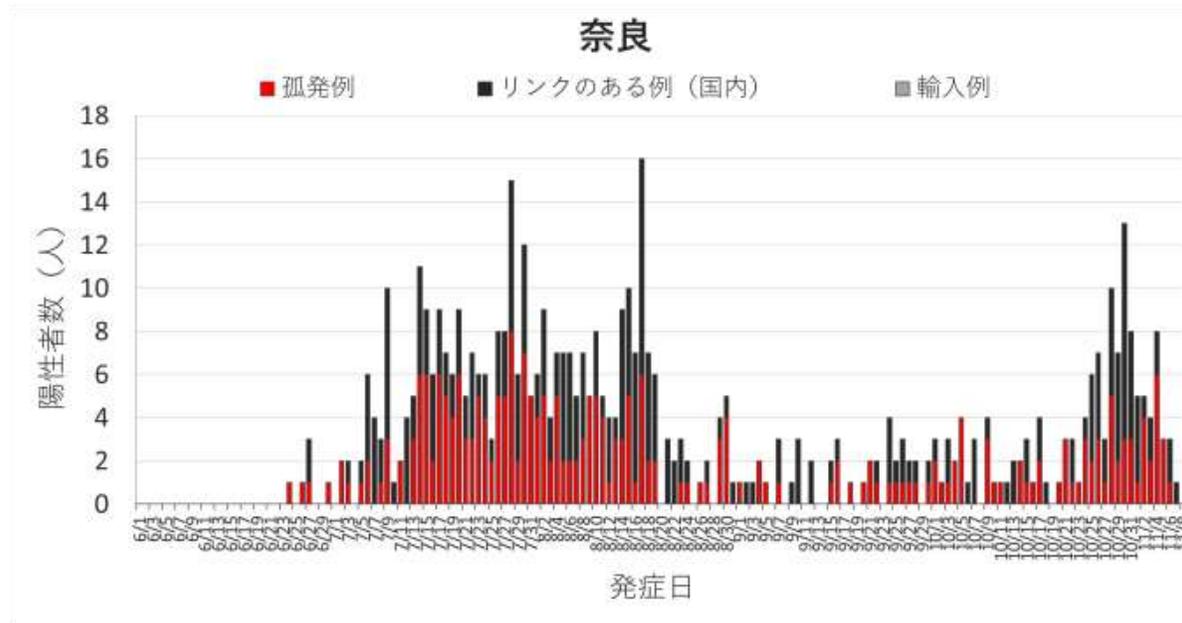


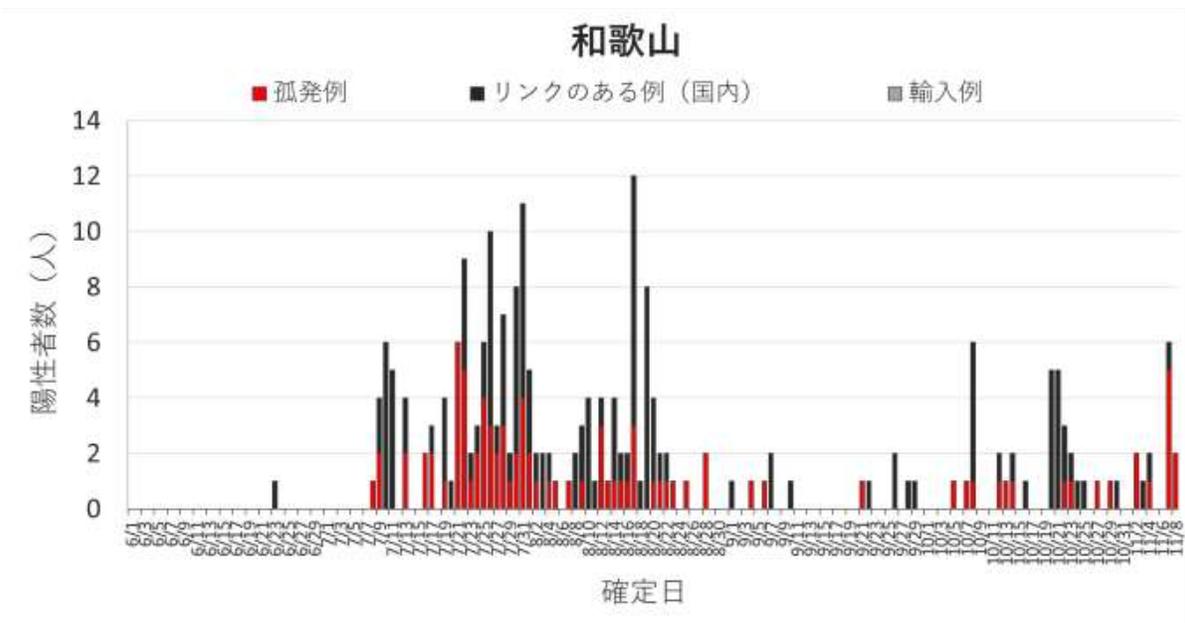
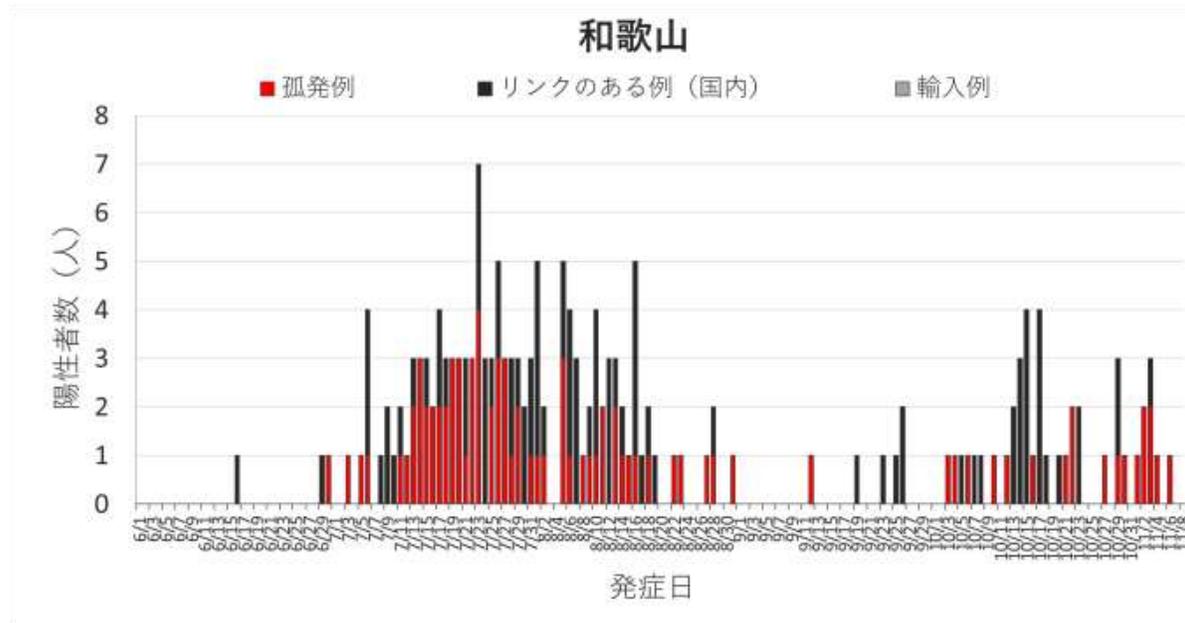


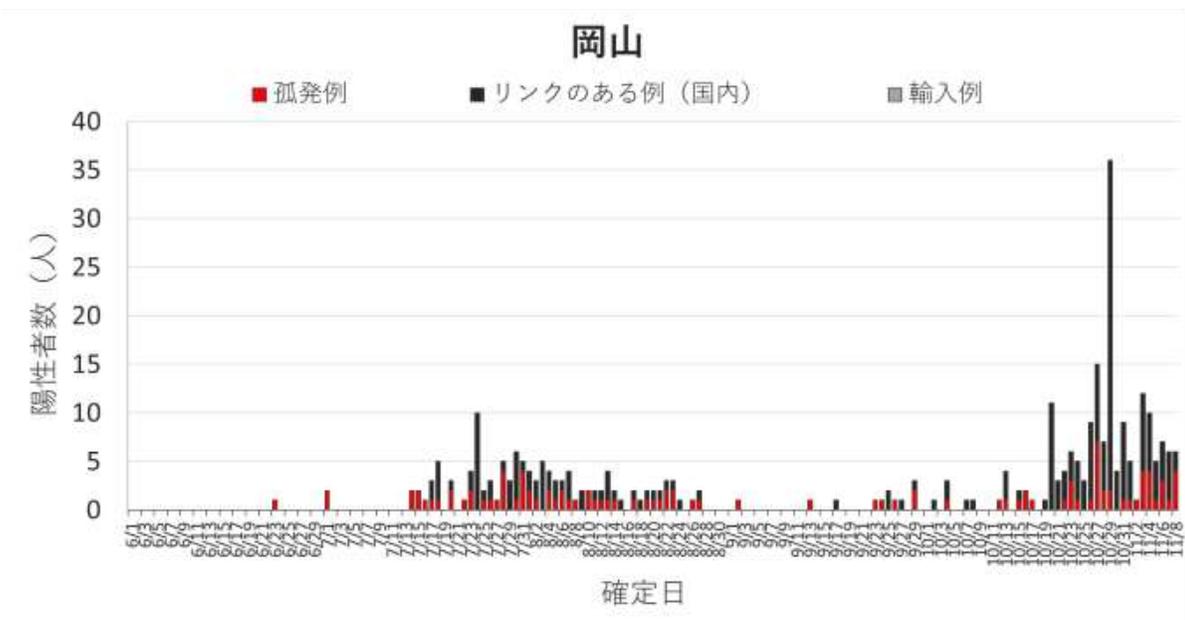
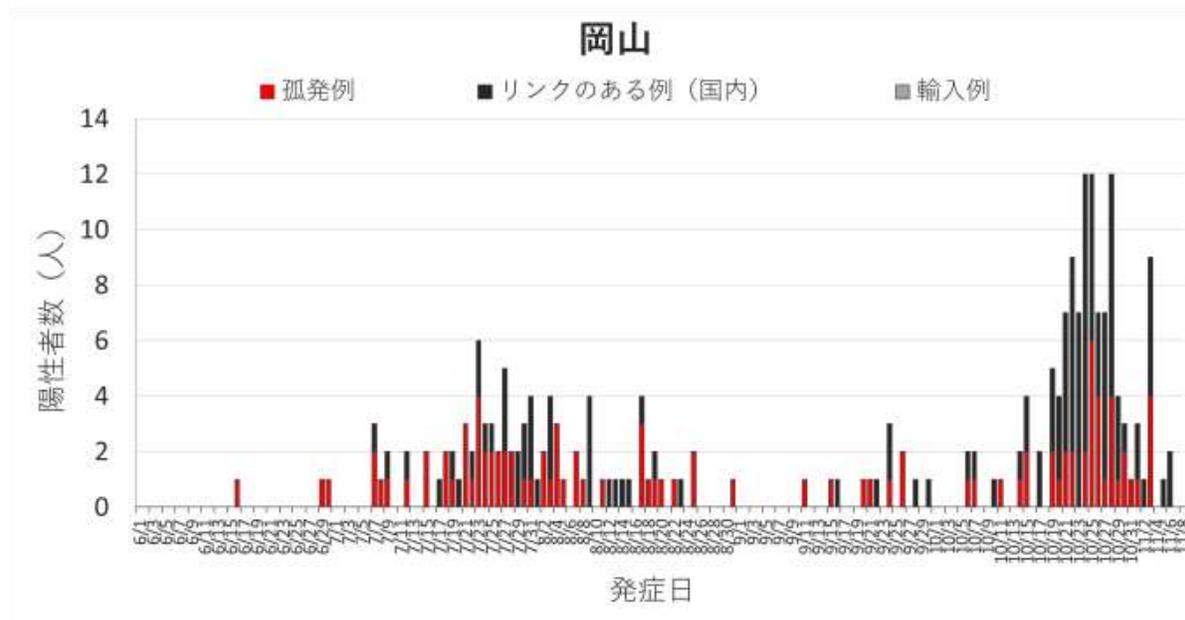


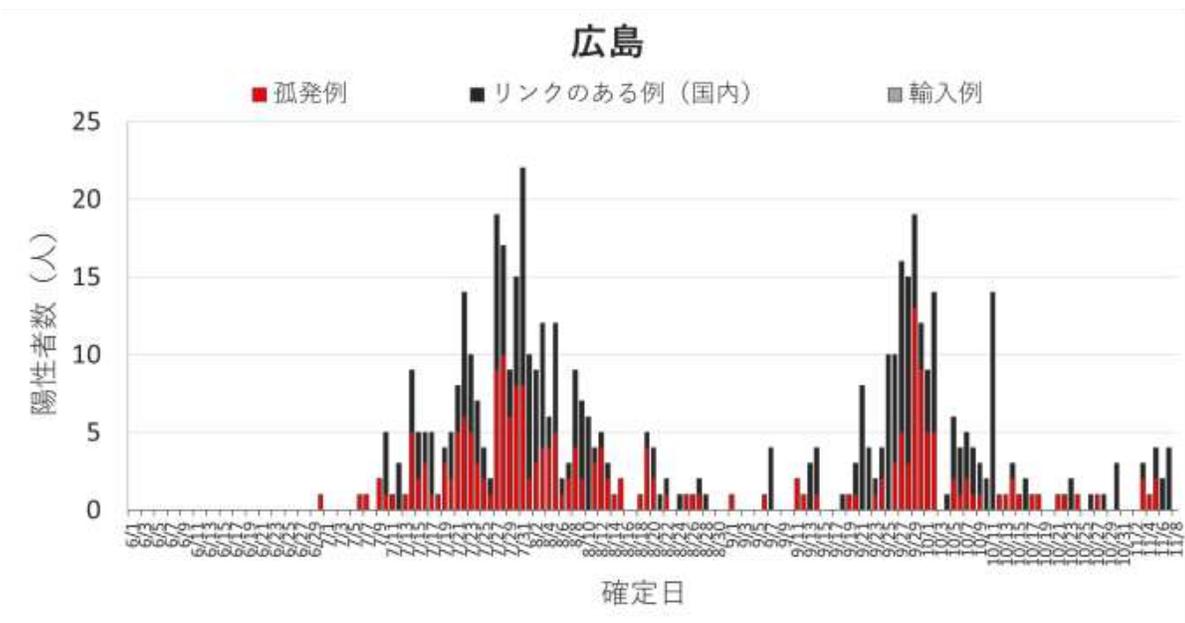
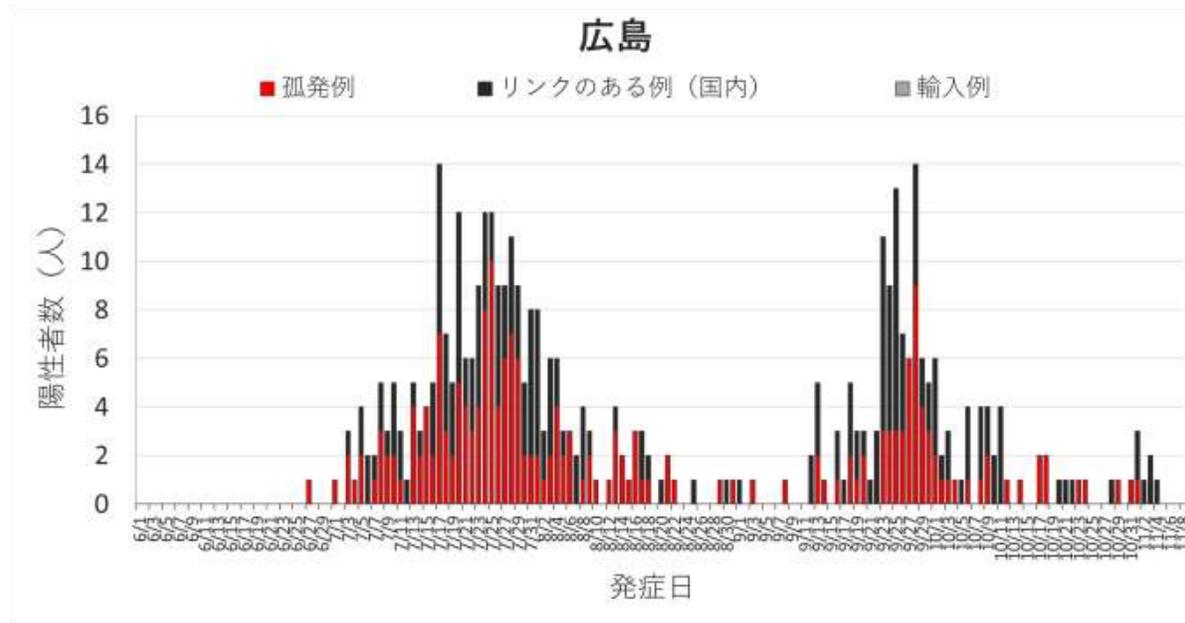


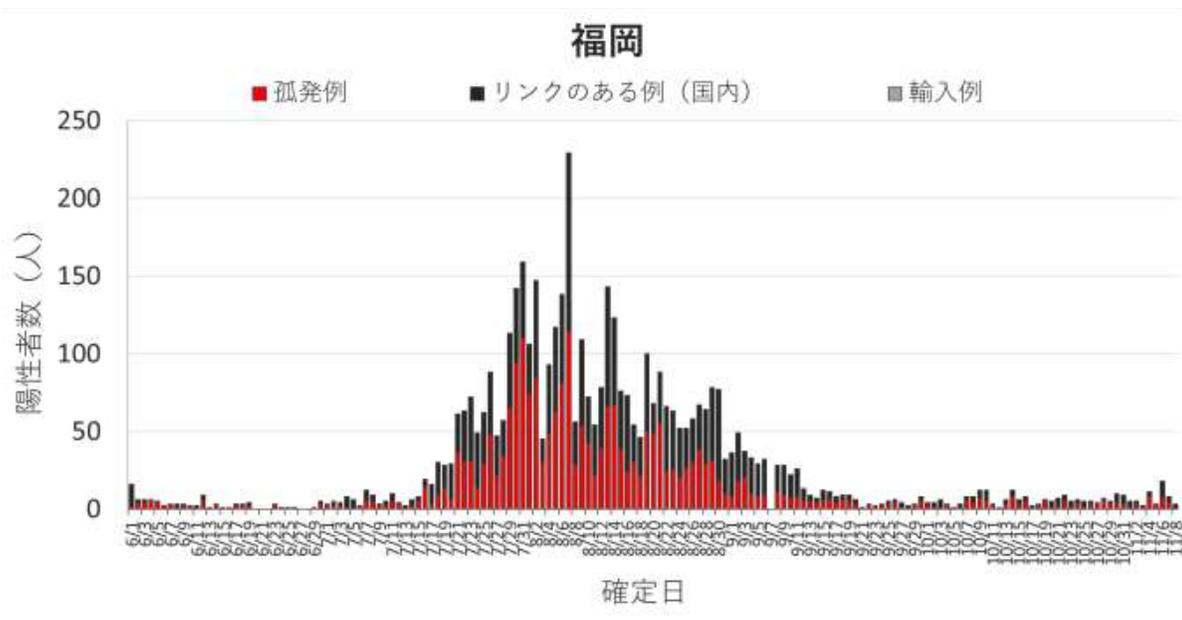
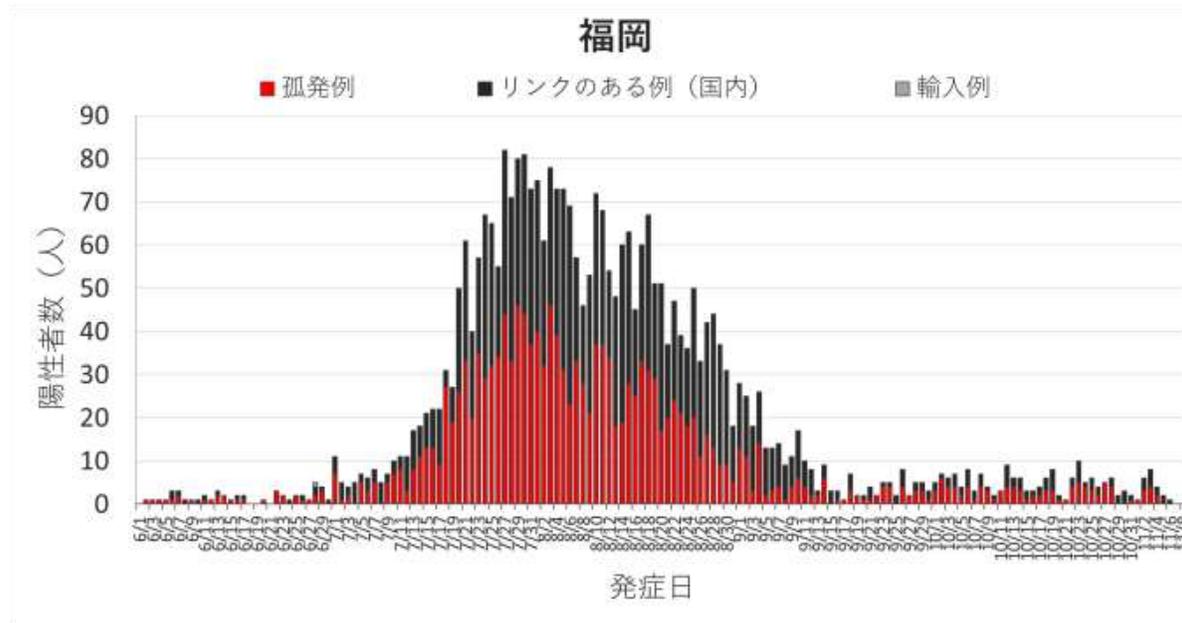


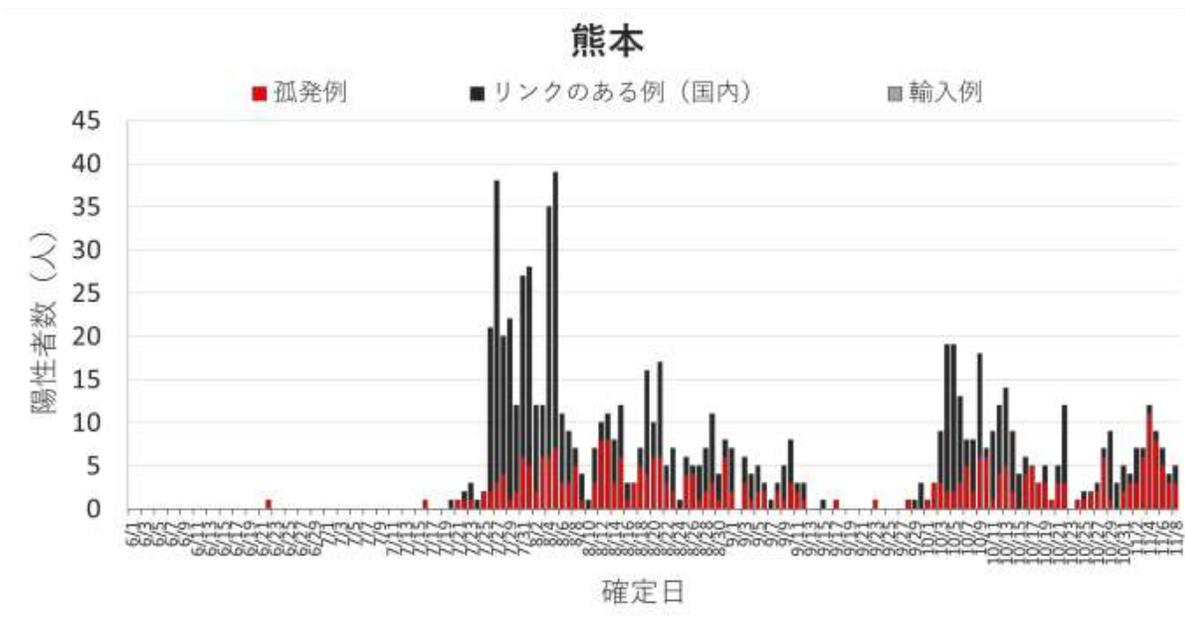
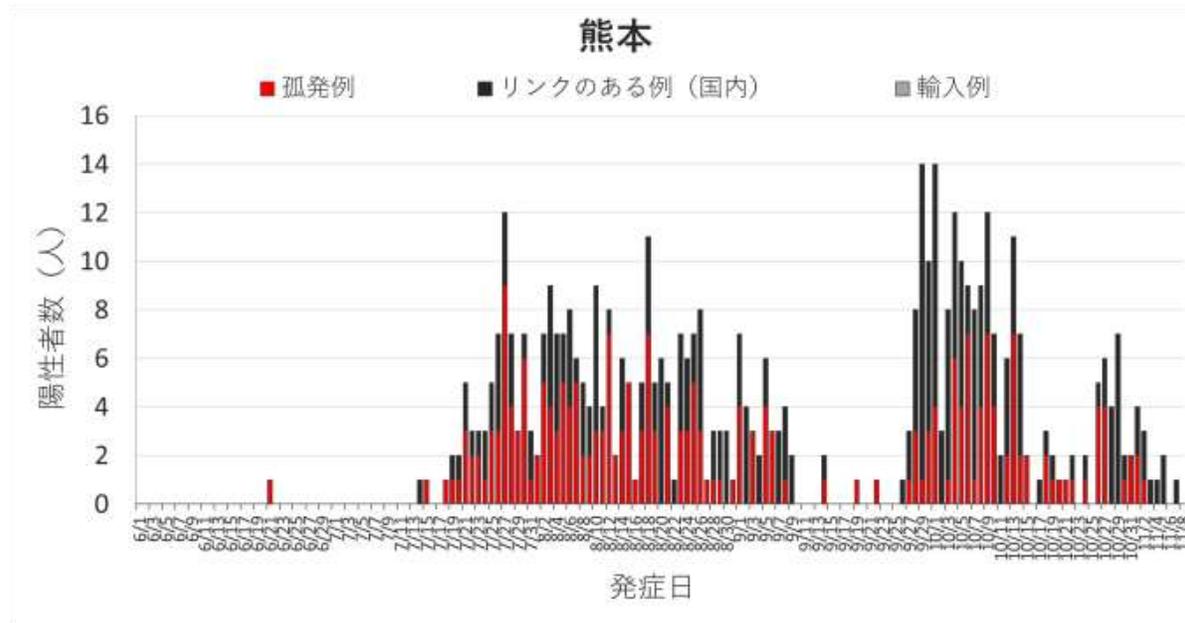




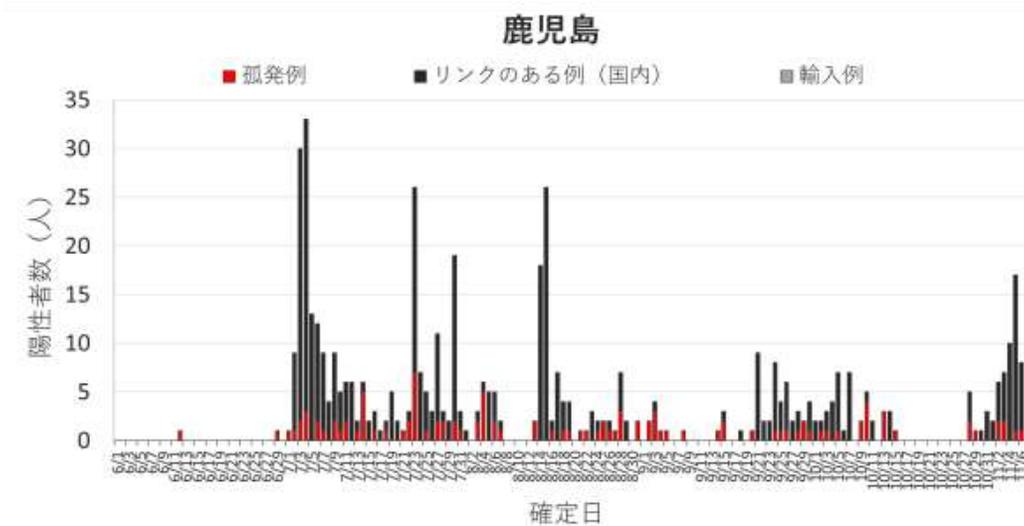


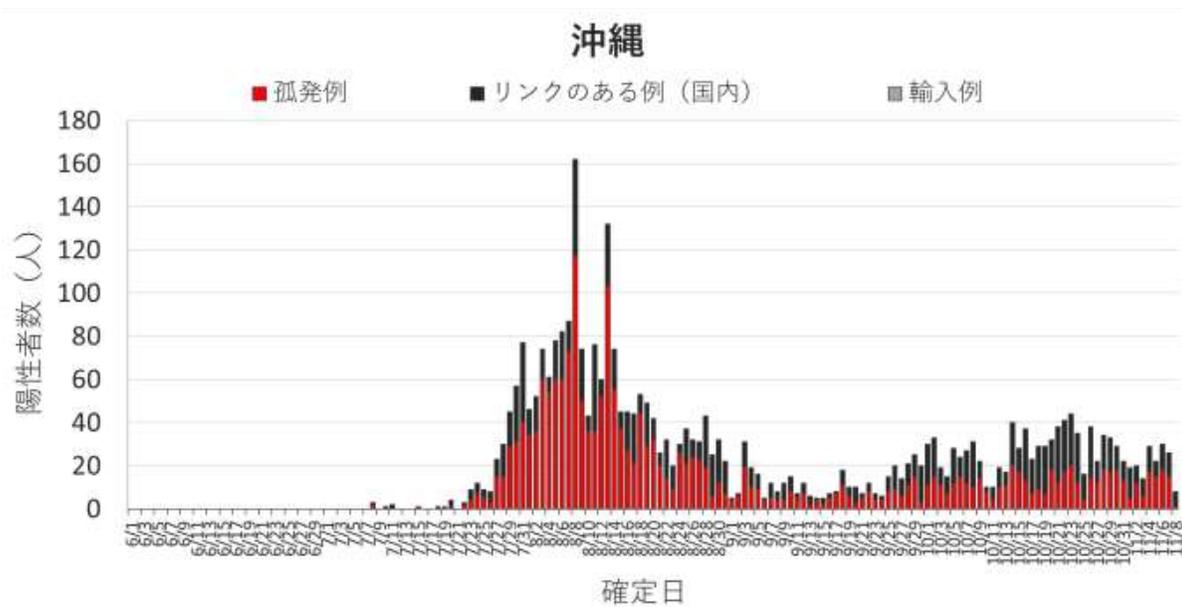
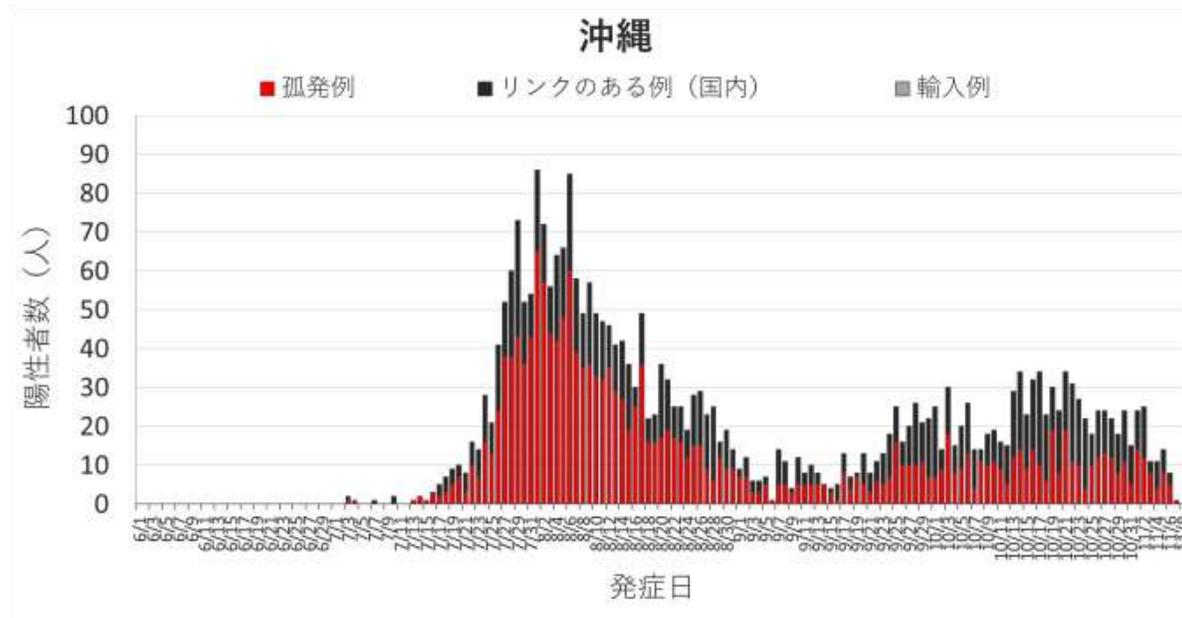






鹿児島県は発症日のデータをほとんどの症例について公開していないため発症日別の解析はしていない





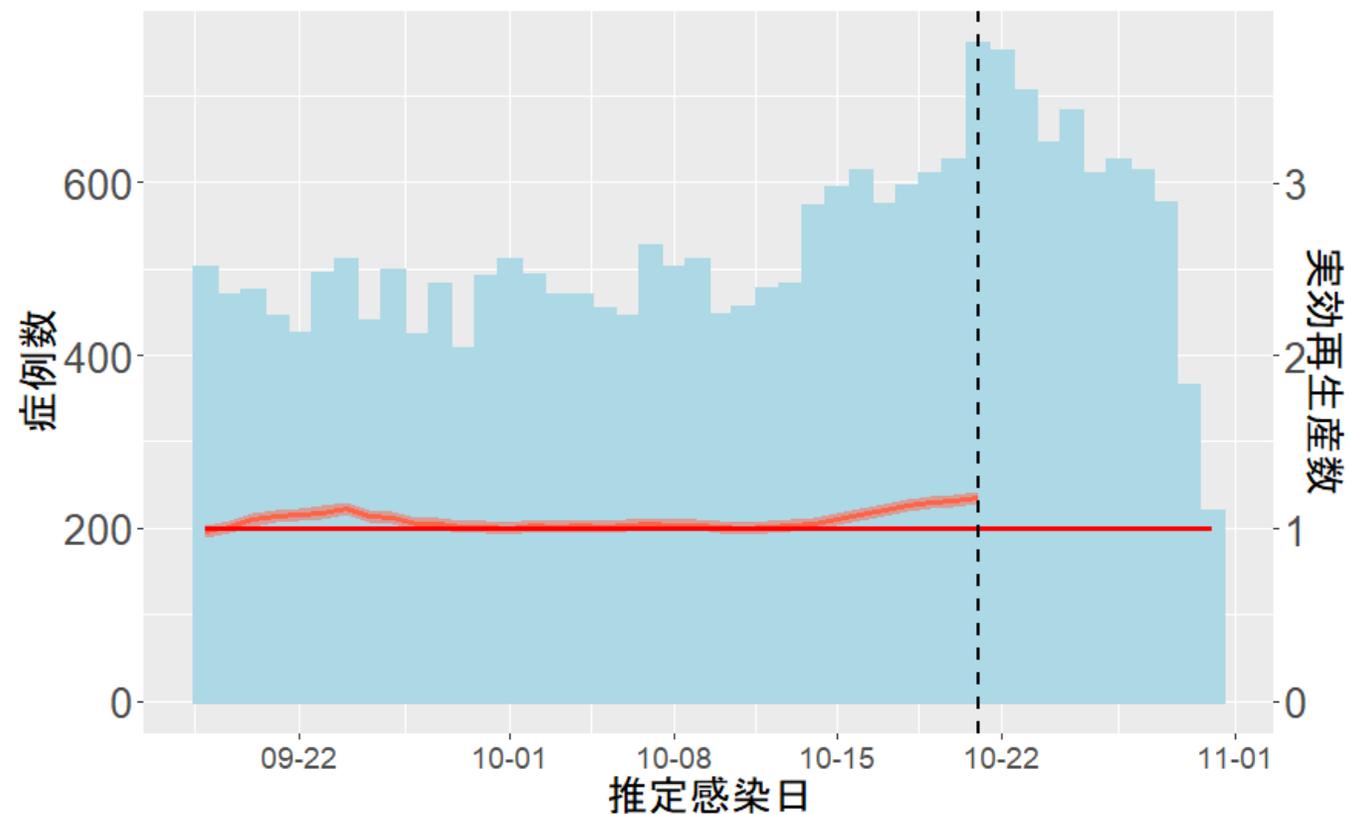
国内のCOVID-19流行状況の評価：11月8日時点

圏域	対象自治体	実効再生産数* (95%CI)	最近の代表的クラスター事例	流行状況	FETPの活動
北海道	札幌市、北海道	1.36 (1.22-1.50)	接待を伴う飲食店、医療機関、高齢者施設	流行の拡大	対応中
東北地方	青森、宮城、福島	1.38 (1.19-1.58)	繁華街、病院、高齢者施設、専門学校	流行の拡大傾向	対応中
関東圏	東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木	1.06 (1.01-1.11)	学校、会食、ホームパーティー、飲食店、劇団、病院、高齢者施設	流行の拡大傾向	対応中
中京圏	愛知、岐阜、三重	1.55 (1.39-1.71)	接待を伴う飲食店、サークル、ホームパーティー、病院、介護事業所	流行の拡大	対応中
関西圏	大阪、兵庫、京都、奈良	1.38 (1.29-1.47)	劇団、病院、高齢者施設、スポーツチーム、旅行関係	流行の拡大	待機中
中四国	岡山、広島	NA	学校、事業所、病院、高齢者施設	クラスターの散発から流行の持続	待機中
九州地方	福岡、佐賀、熊本、鹿児島	NA	繁華街、病院、学校、離島	流行の持続	対応中
沖縄県	沖縄県	0.92 (0.79-1.05)	繁華街、劇団、病院、県議団	流行の持続	待機中

自治体公表データに基づく。実効再生産数は推定感染日（発症日マイナス5日、発症日不明例については推定発症日マイナス5日）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。表中の値は10月21日時点のもの。

全国の実効再生産数

10月21日時点推定値
1.18 (95%CI: 1.15-1.22)



自治体公表データに基づく。実効再生産数は推定感染日（発症日マイナス5日、発症日不明例については推定発症日マイナス5日）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。

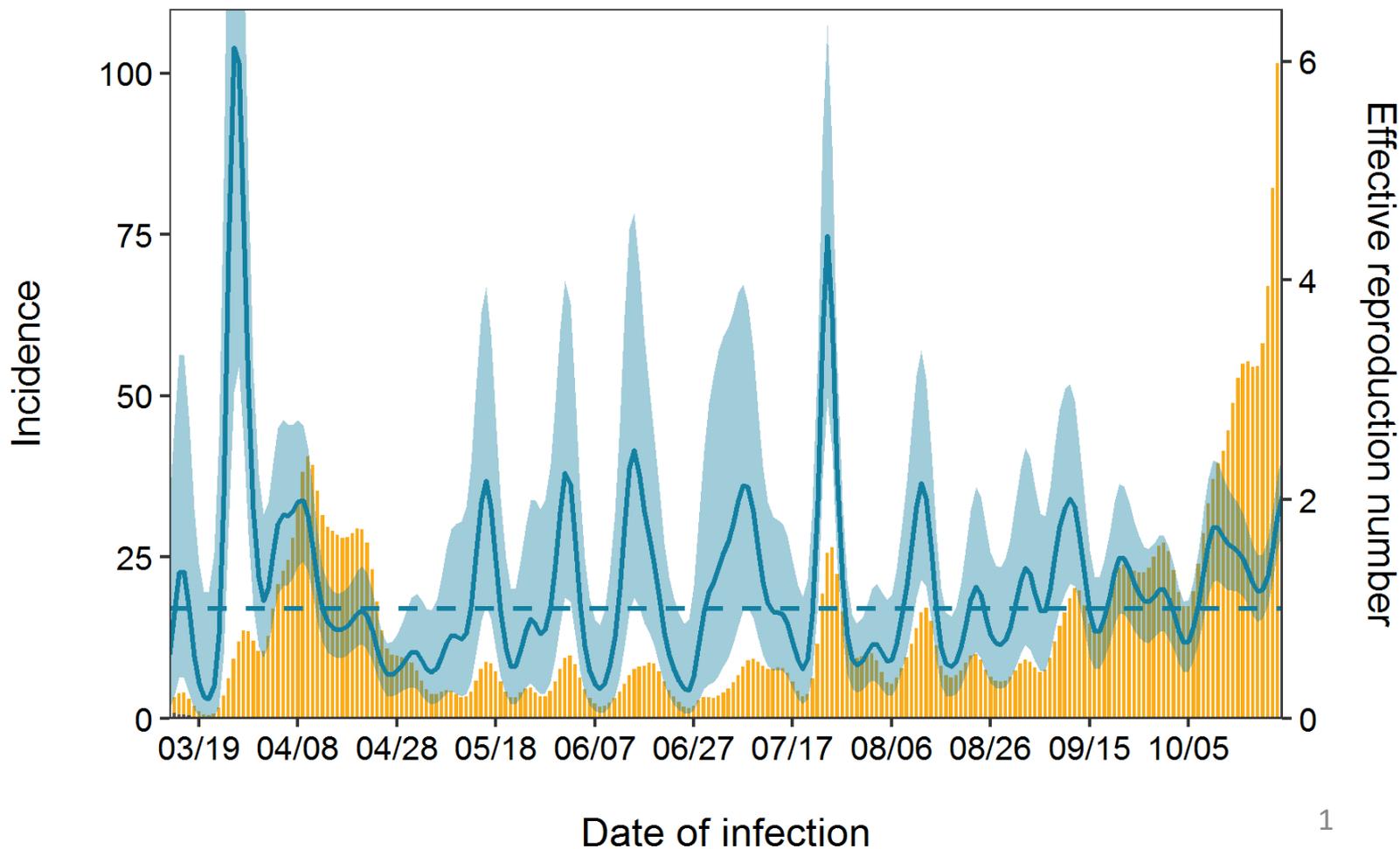
直近（44週：10/26～11/1）のインフルエンザ動向

サーベイランス指標（情報源）	レベル	トレンド	コメント
定点当たりのインフルエンザ受診患者報告数 （NESID、約5000定点）	低 （0.01 [患者報告数32例]）	微増	38週4例、39週7例、40週7例、41週17例、42週20例、43週30例、44週32例
全国の医療機関を1週間に受診した推計患者数 （NESID、推計）	低 （0万人）	横ばい	0万人（95%信頼区間：0～0.1万人）
基幹定点からのインフルエンザ入院患者報告数 （NESID、約500定点）	低 （4例）	前週より微増	8月以降、累積8例（8月1例、9月1例、41週1例、42週4例、43週1例、44週4例）
病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・検出報告数（NESID、約500の病原体定点）	低 （0例）	横ばい	36週以降、11/5現在、インフルエンザウイルス分離・検出報告はまだ0
インフルエンザ様疾患発生報告数（全国の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校に於けるインフルエンザ様症状の患者による臨時休業報告数）	低 （学級閉鎖が1）	横ばい	36週以降、37週に学年閉鎖1、43週に学級閉鎖1（北海道）、44週に学級閉鎖1（福岡県）
国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動向 （全国141の国立病院機構各病院による隔週報告）	低 （10/16～10/31： 迅速抗原検査件数1060、 陽性数2例）	微増	6月以降、10月後半に初めてインフルエンザ陽性（A型1例、B型1例）（検査は、診察医師の判断によるもの）
MLインフルエンザ流行前線情報データベース（主に小児科の有志医師による自主的なインフルエンザ患者報告数 [迅速診断検査]）	低 （8月にインフルエンザ1例の報告以降は0例）	横ばい	11/9現在：8月にインフルエンザA患者1例の報告以降は0例（データは毎日自動アップデート）

推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

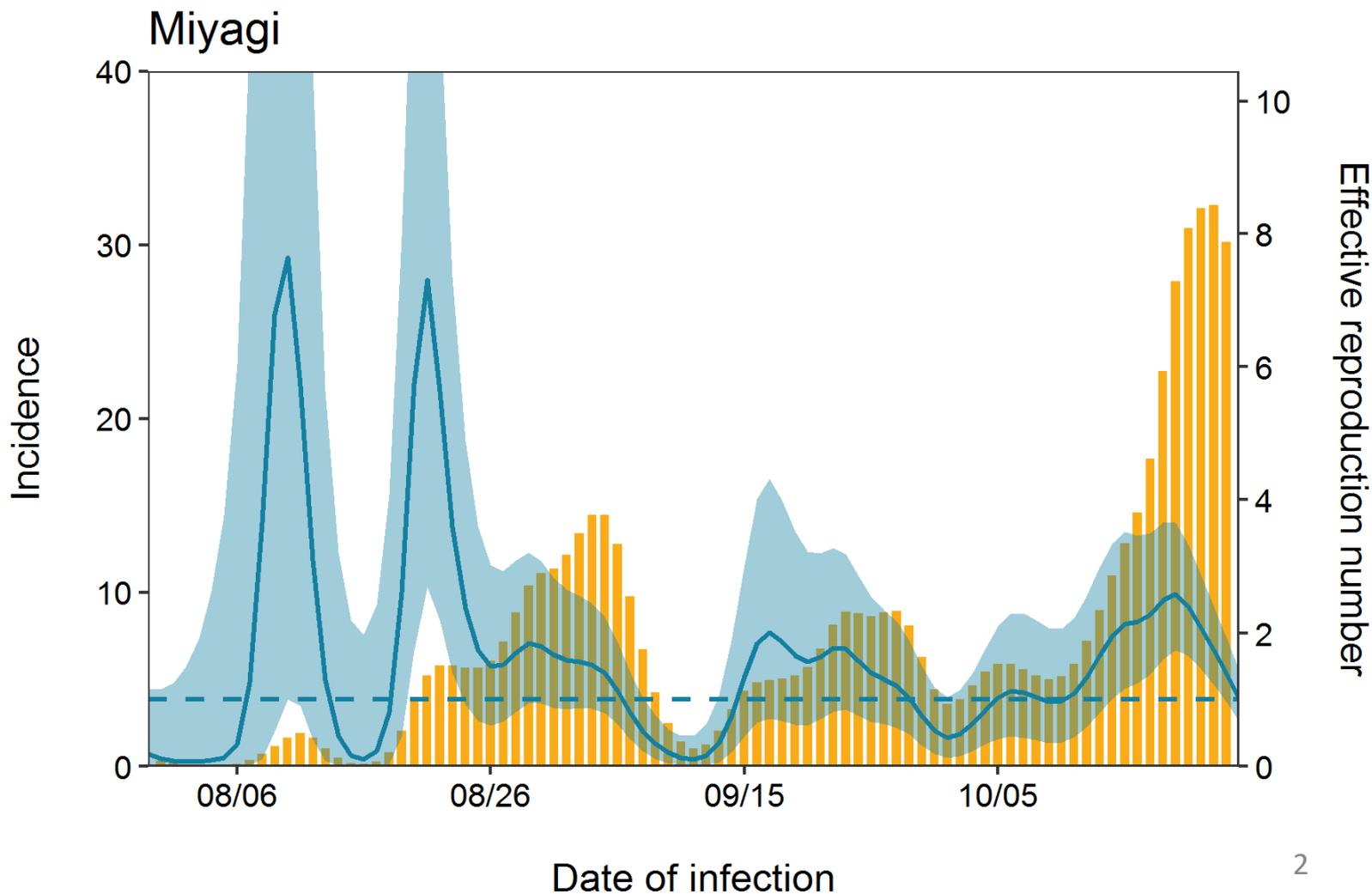
推定値 95%下限 95%上限
2.026726 1.7 2.4
直近1週平均 1.47

Hokkaido



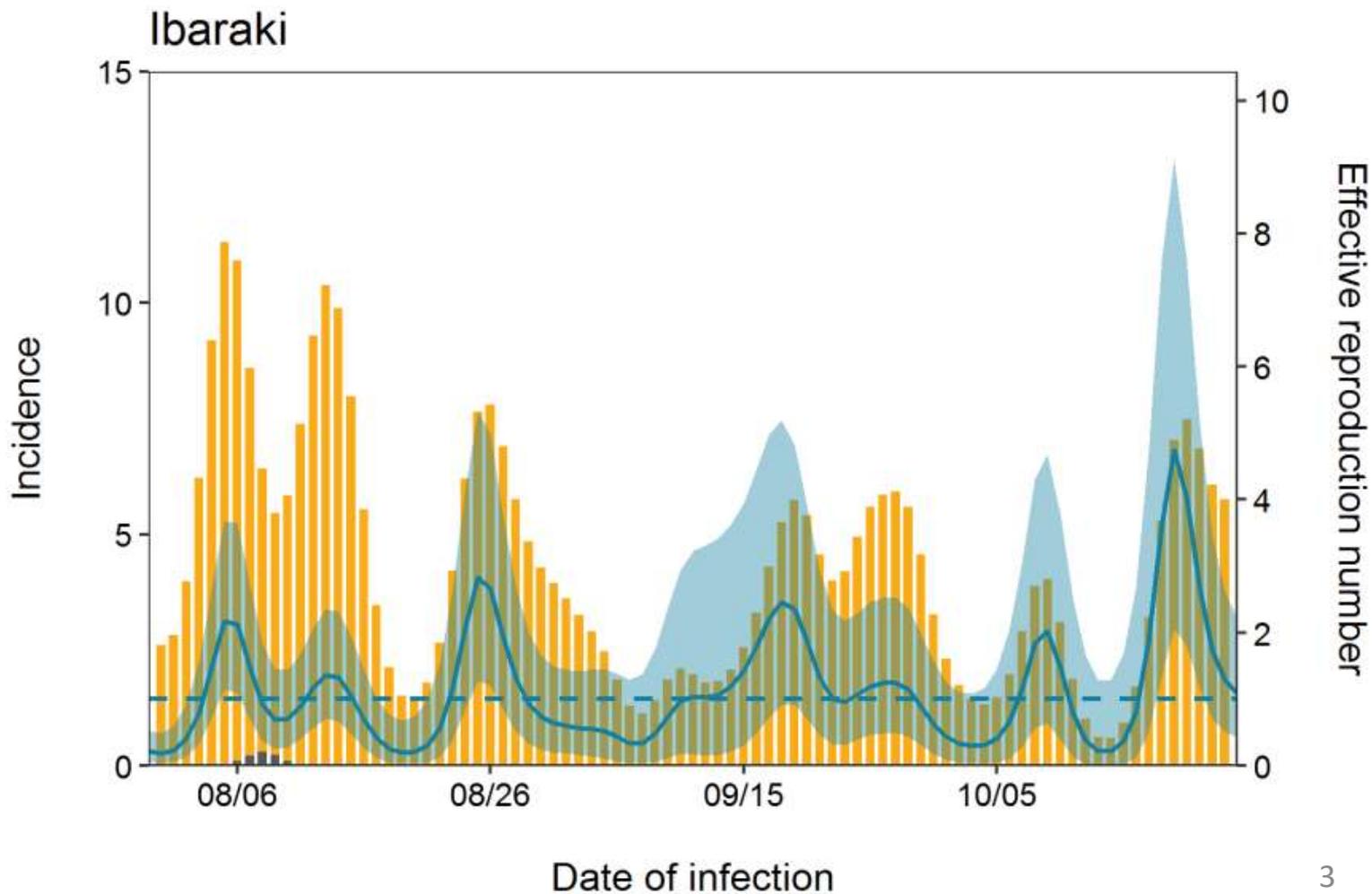
推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
1.014585 0.68 1.45
直近1週平均 1.96



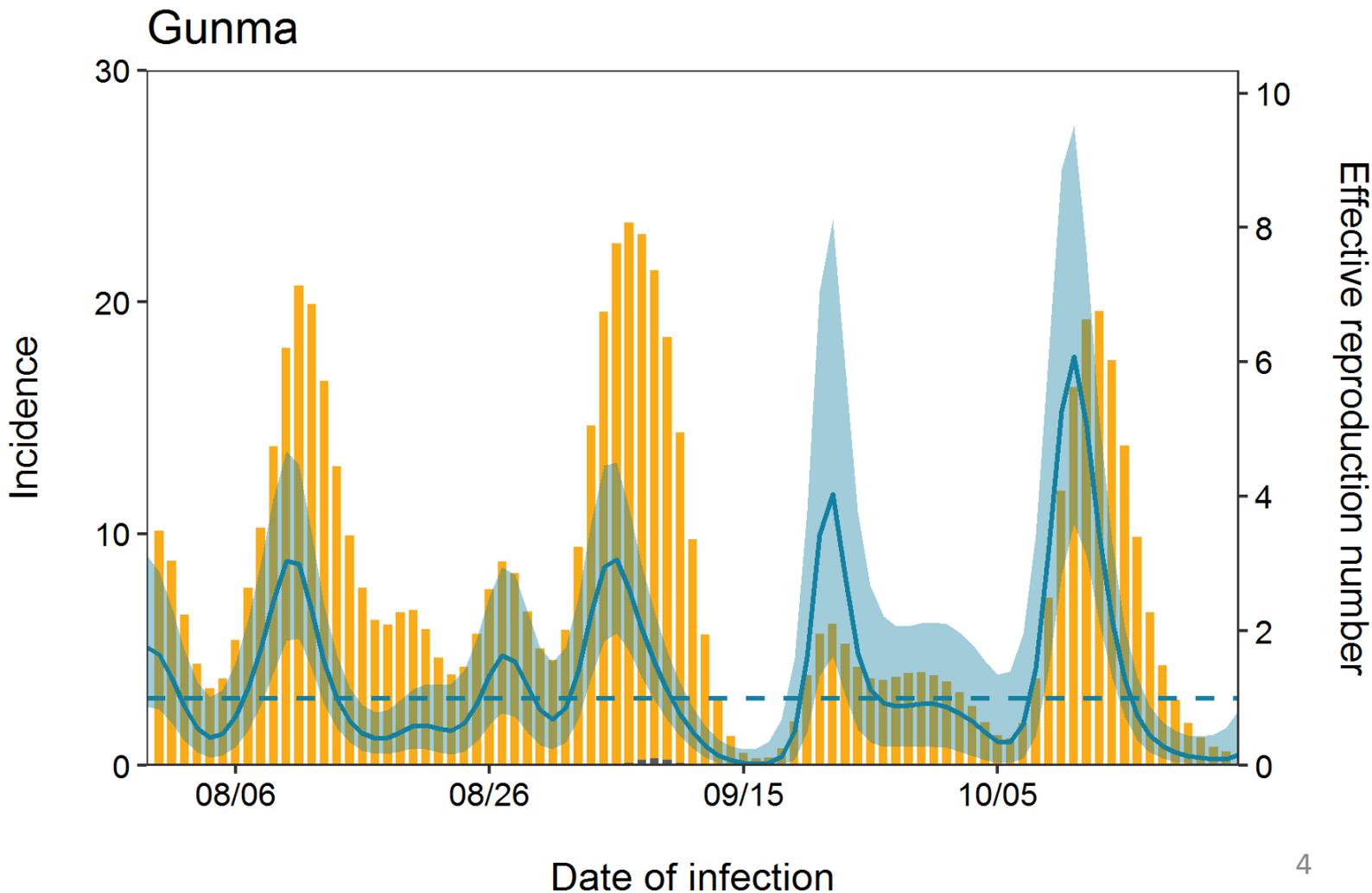
推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
1.089164 0.43 2.21
直近1週平均 2.74



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

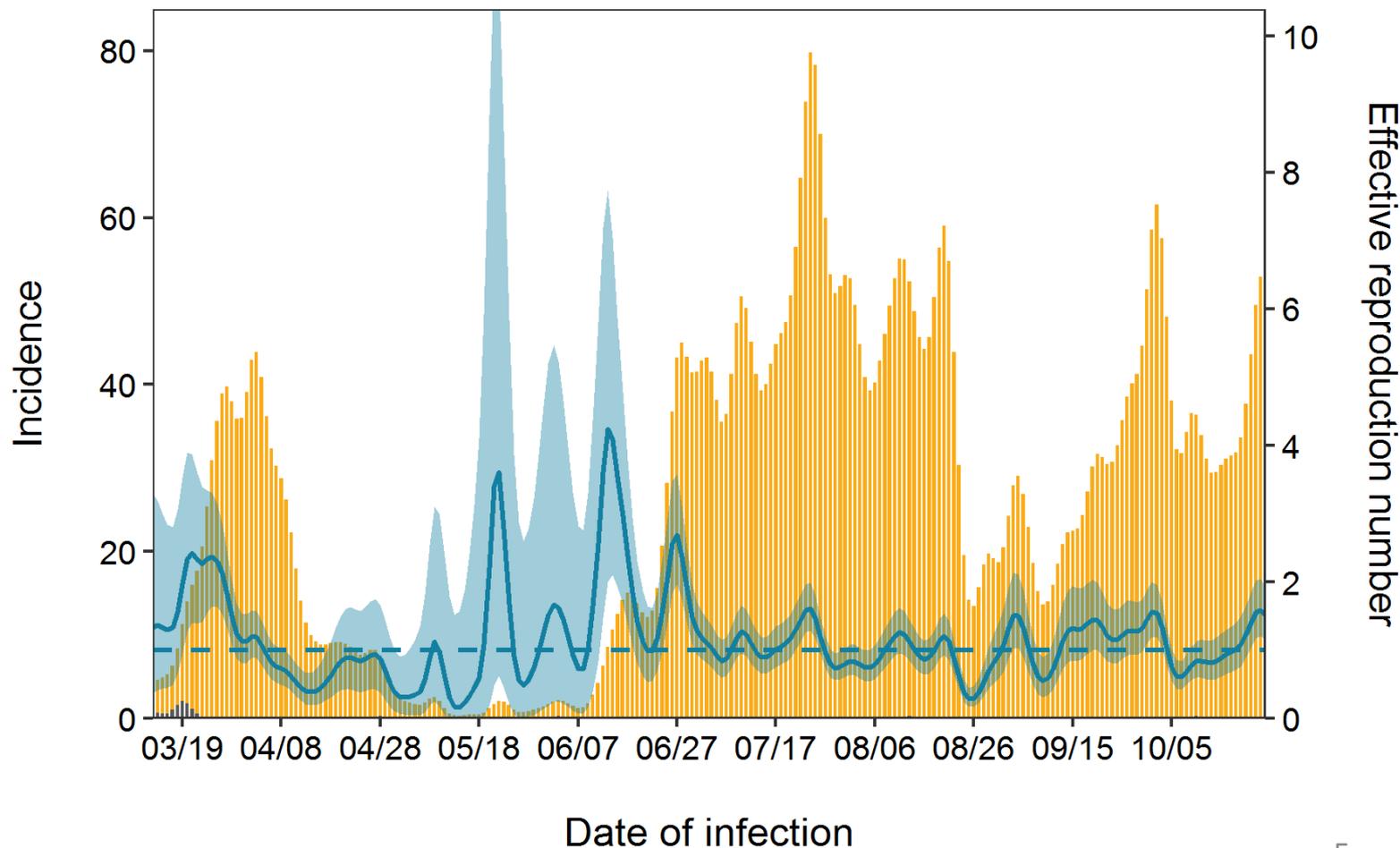
推定値 95%下限 95%上限
0.156435 0.01 0.82
直近1週平均 0.15



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
1.504415 1.15 1.93
直近1週平均 1.34

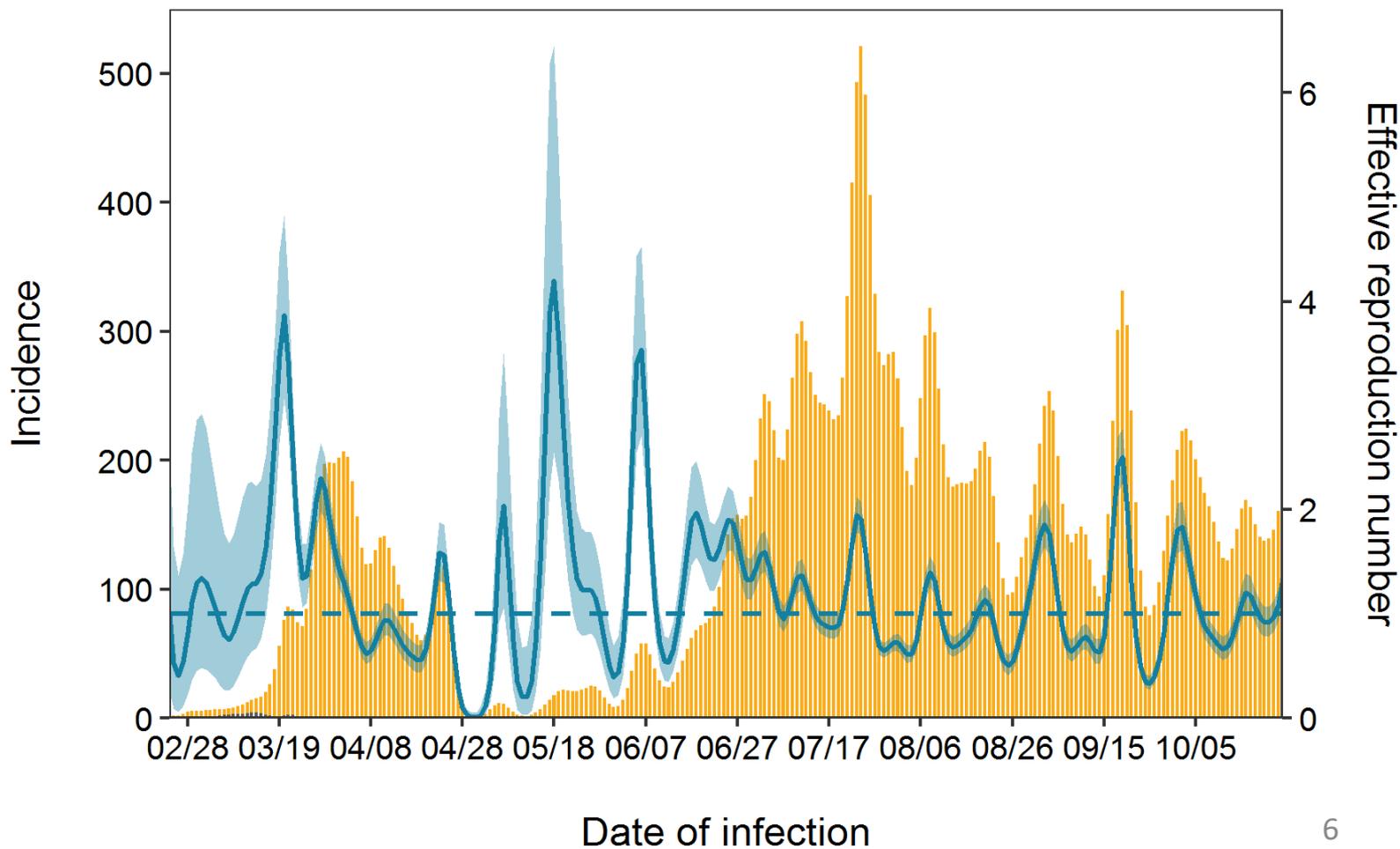
Saitama



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

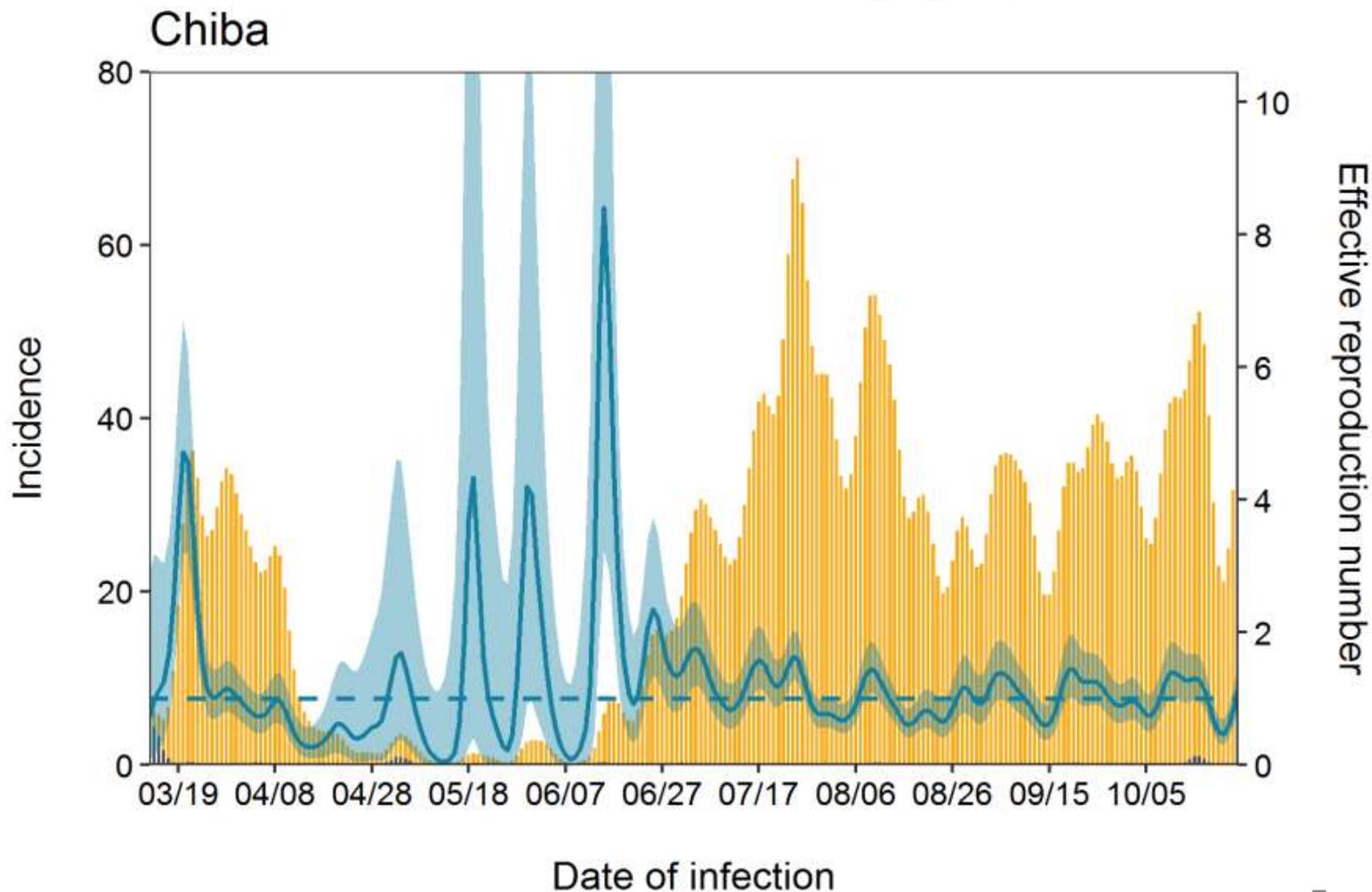
推定値 95%下限 95%上限
1.297551 1.13 1.48
直近1週平均 1.03

Tokyo



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

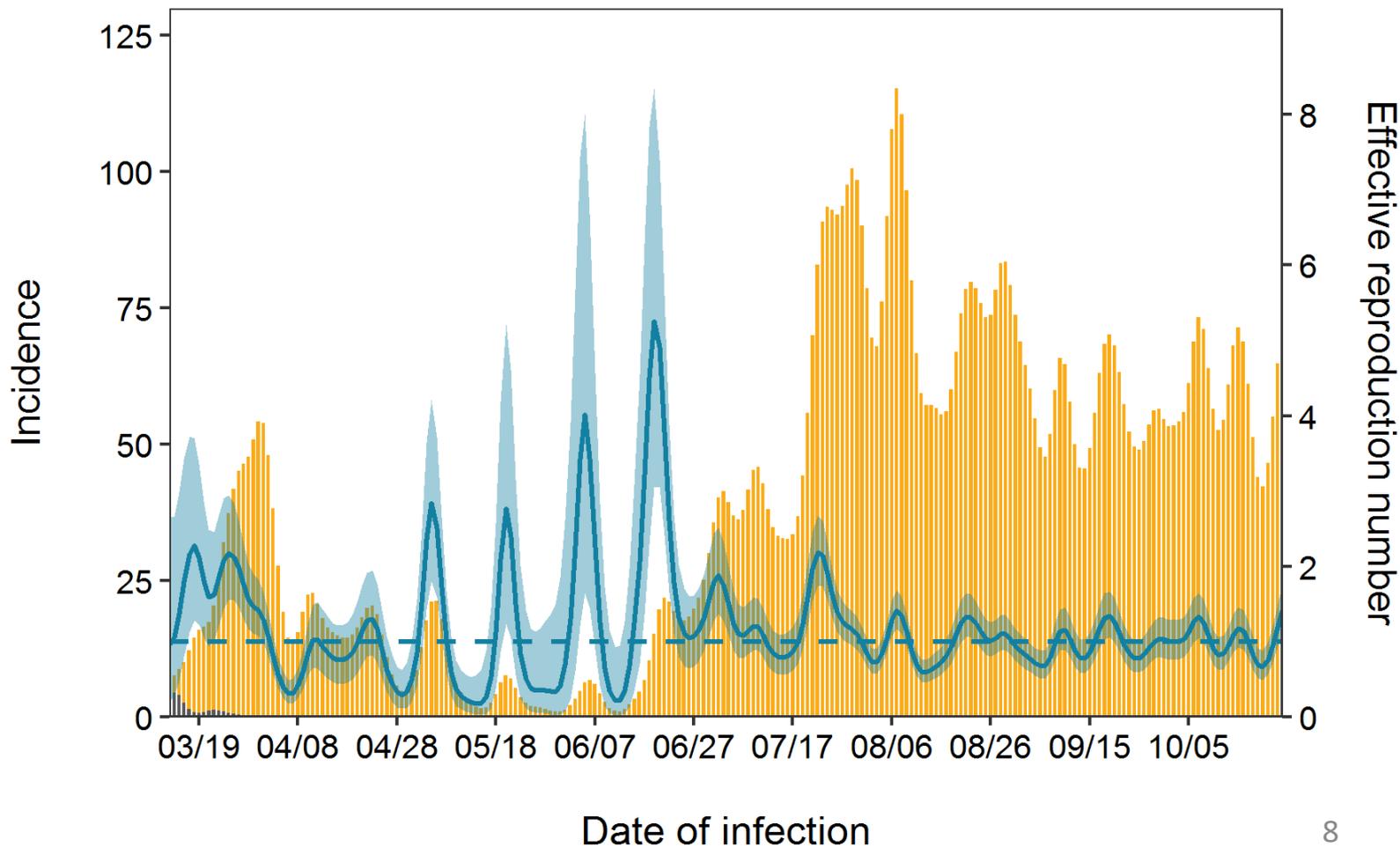
推定値 95%下限 95%上限
1.128423 0.82 1.51
直近1週平均 0.72



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

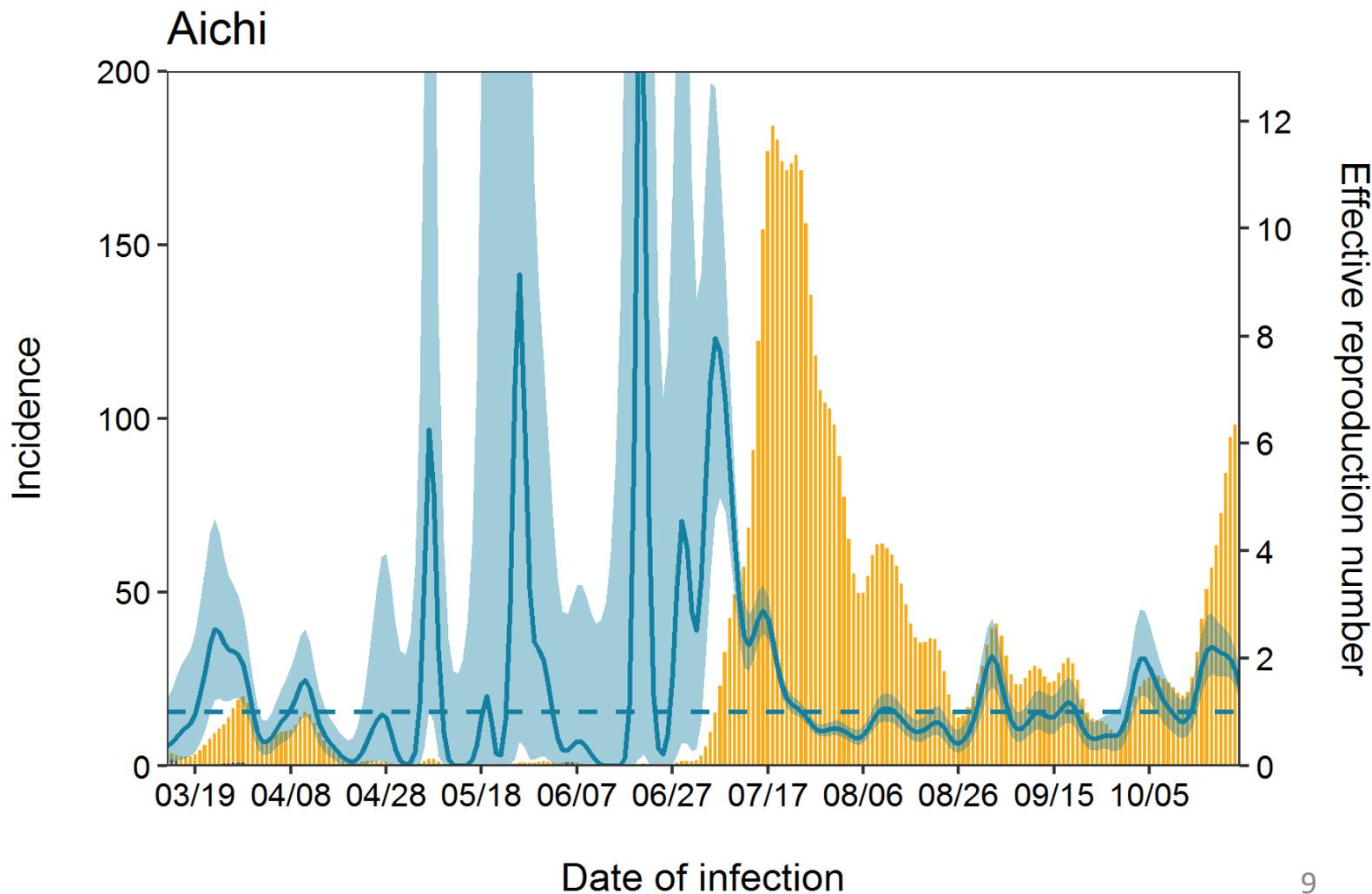
推定値 95%下限 95%上限
1.419108 1.13 1.76
直近1週平均 0.93

Kanagawa



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

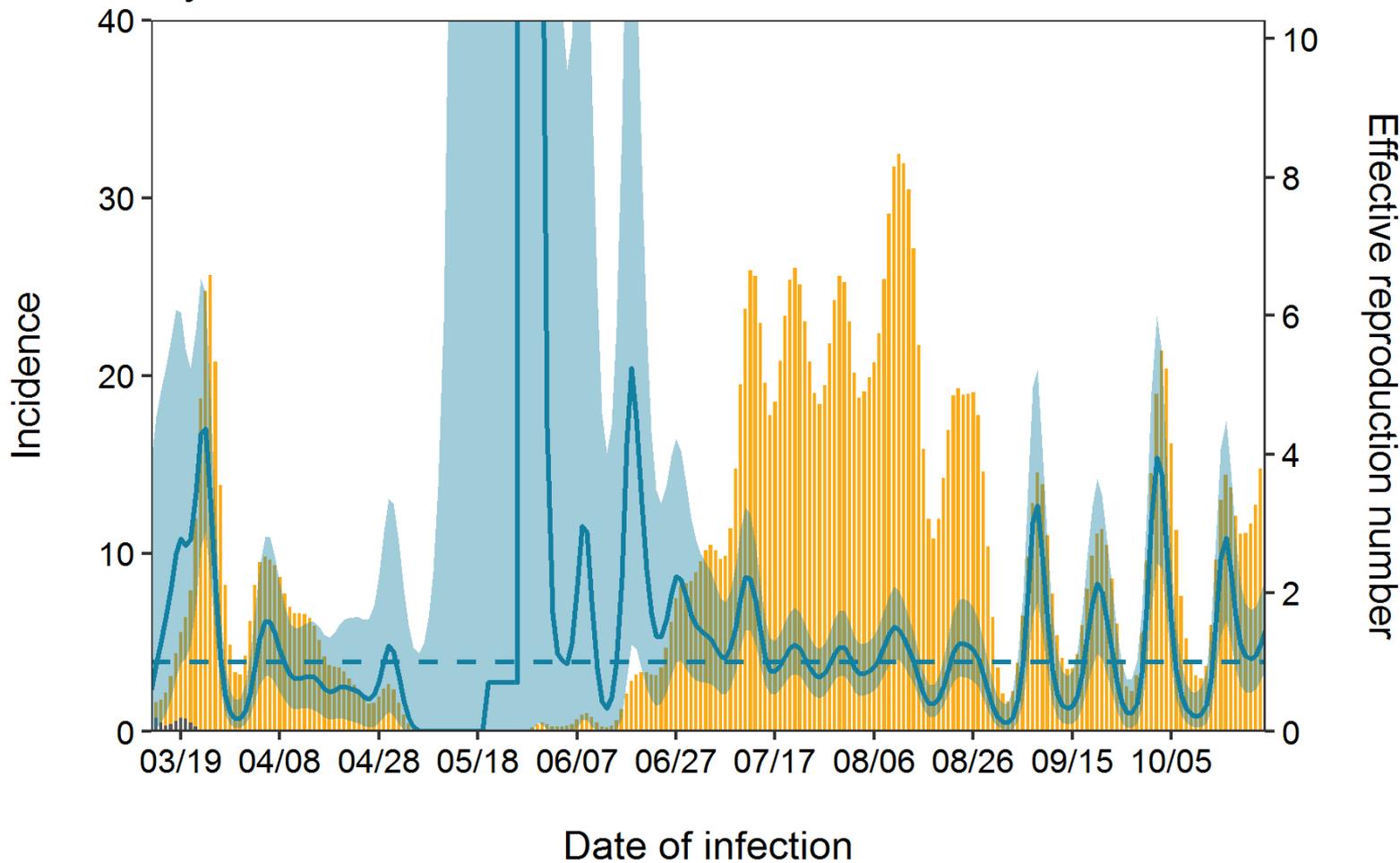
推定値 95%下限 95%上限
1.471364 1.2 1.78
直近1週平均 1.97



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
1.448736 0.88 2.22
直近1週平均 1.26

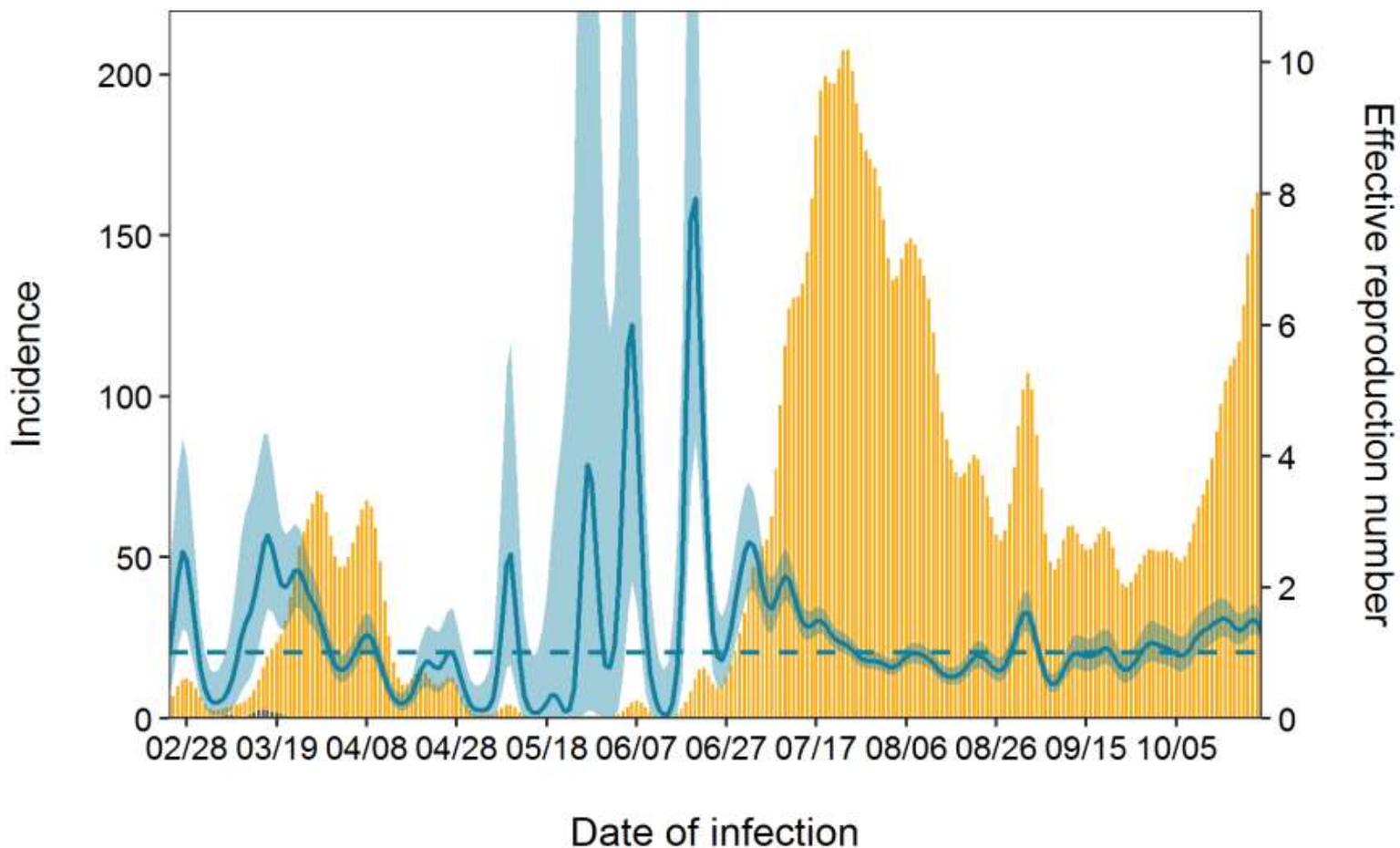
Kyoto



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

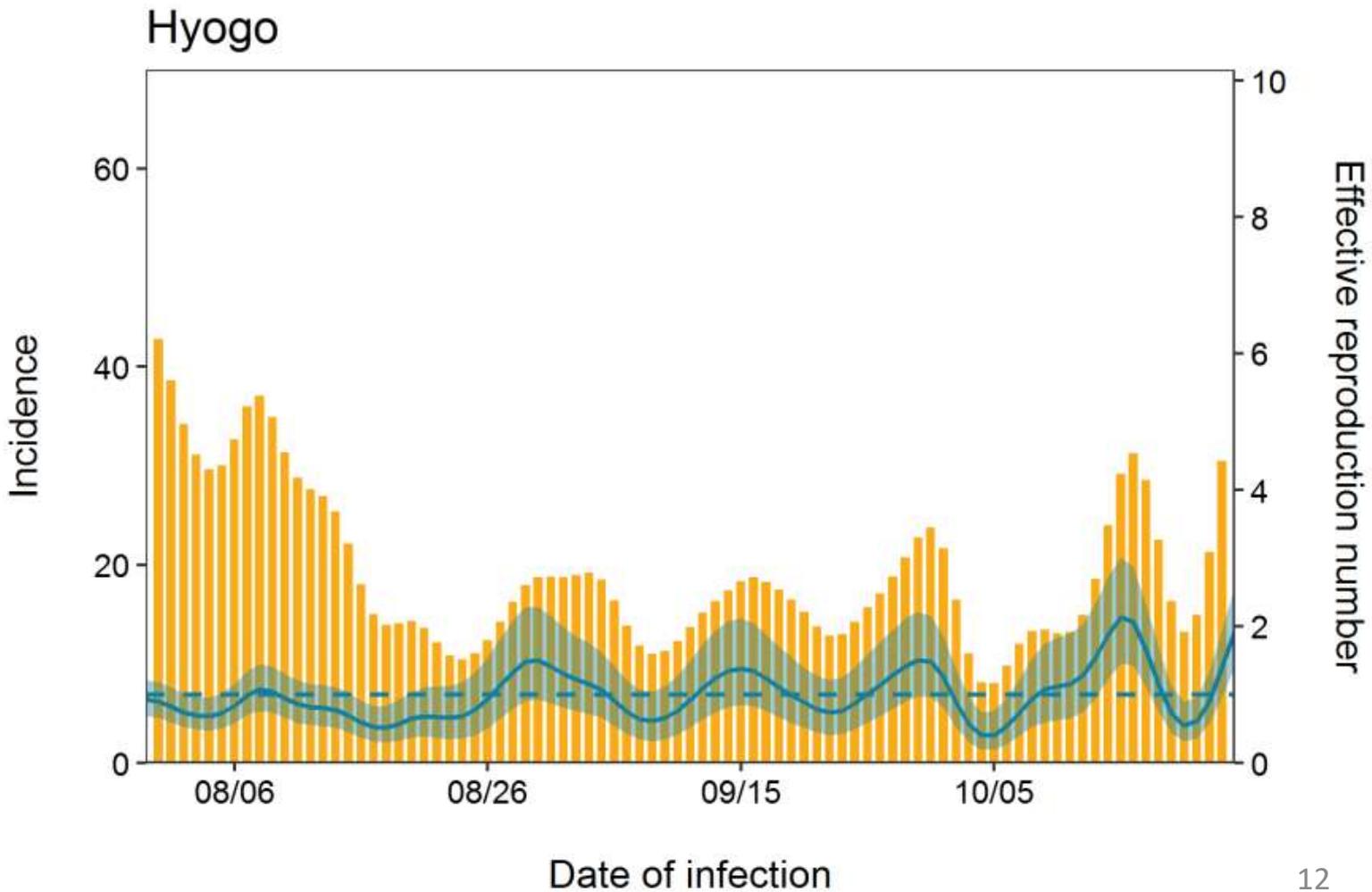
推定値 95%下限 95%上限
1.300618 1.12 1.51
直近1週平均 1.40

Osaka



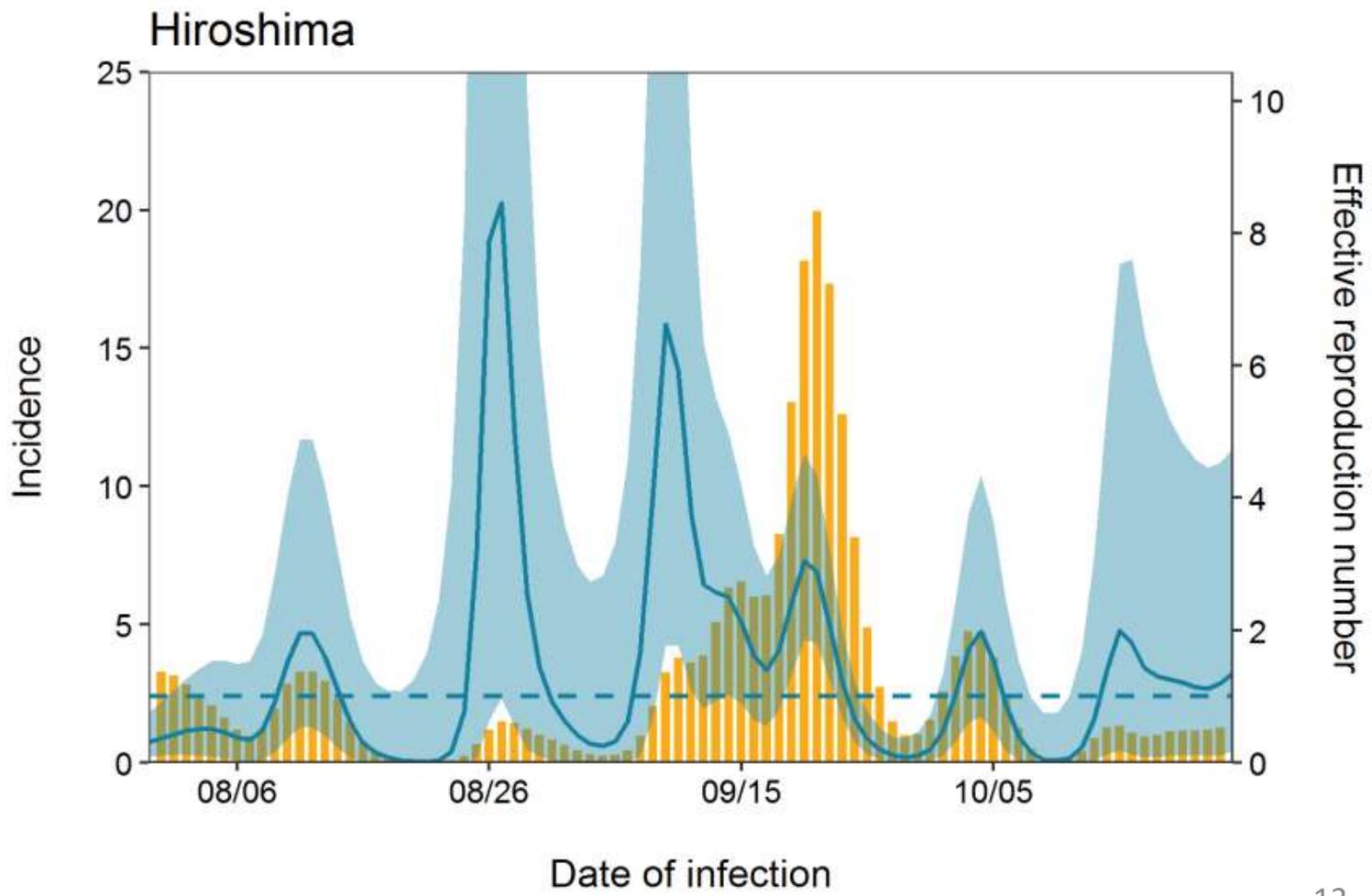
推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
1.927078 1.4 2.58
直近1週平均 1.04



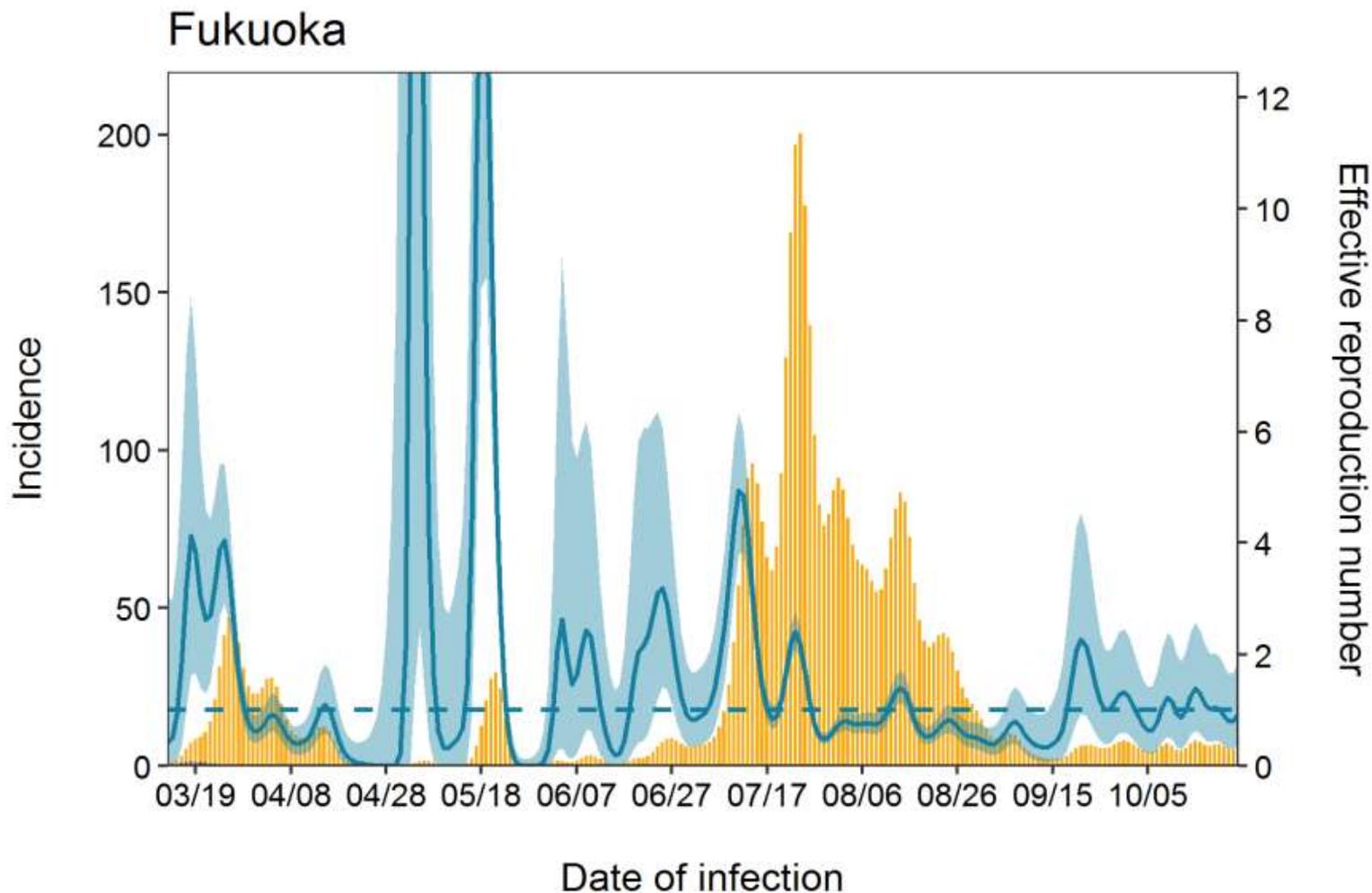
推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
1.353079 0.17 4.74
直近1週平均 1.23



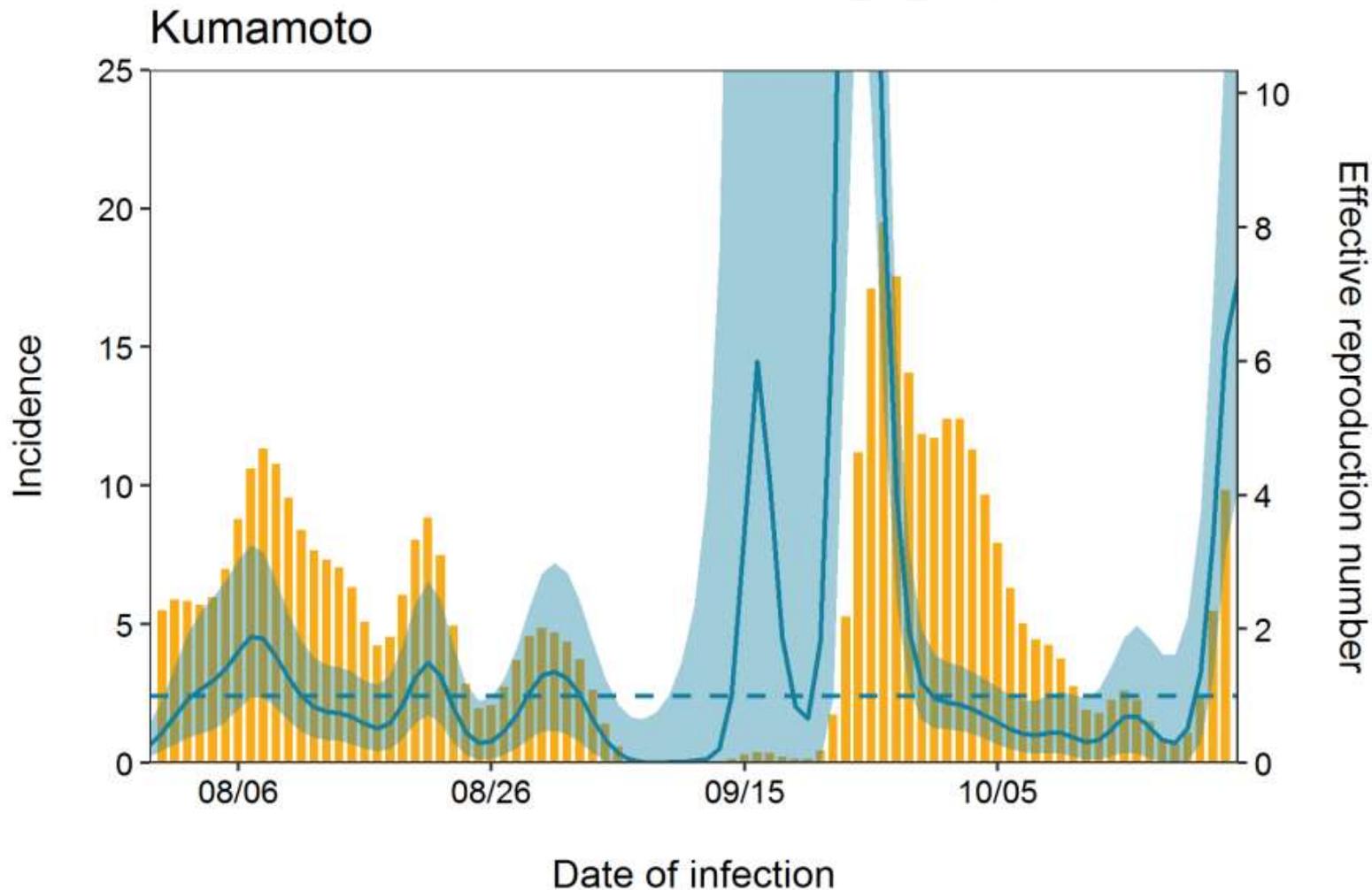
推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
0.928531 0.38 1.85
直近1週平均 0.93



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

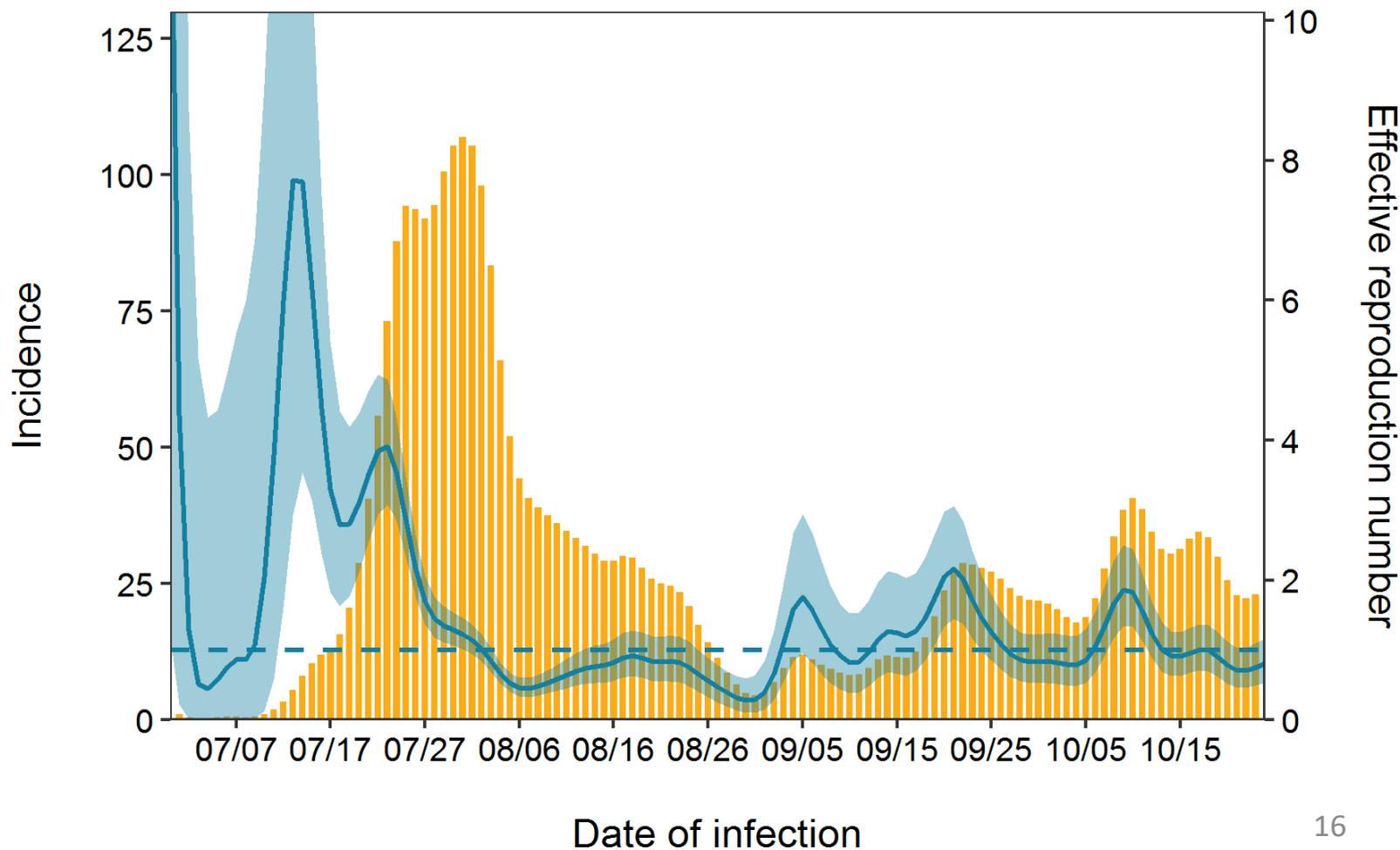
推定値 95%下限 95%上限
7.238246 4.11 11.65
直近1週平均 2.77



推定日 11月10日
最新推定感染日付 10月24日

推定値 95%下限 95%上限
0.810887 0.53 1.17
直近1週平均 0.81

Okinawa



在日外国人対策の課題

日本公衆衛生学会感染症対策委員長
前田 秀雄

- ◆経済面からの医療アクセス不良
 - ・ 確定診断前の検査以外の医療費には公費負担がないため、受診をためらう。
 - ・ 様々な事情で保険未加入者も多い。
 - ・ 医療機関を受診せず、市販薬で対応することが多く、診断が遅れる。
 - ・ かかりつけ医はなく、また、受診できる近隣医療機関も知らない。

- ◆海外からの感染伝播
 - ・ 出入国規制の緩和により、無症状病原体保有者の入国が増加する懸念
 - ・ 2週間の待機への理解は不十分で、家族、同僚等への感染が増加
 - ・ 多言語での健康観察業務に保健所は十分対応できる体制にない。
 - ・ 全国的には検疫体制は脆弱

- ◆生活習慣、行動様式のリスク
 - ・ 固有の宗教行事等による集会での感染機会の増加
 - ・ 民族コミュニティでの集会・会食等による感染機会の増加
 - ・ 宿舍や寮生活での狭隘な居室での接触等による感染機会の増加
 - ・ 手づかみでの食事、キス・ハグ等の生活習慣による感染機会の増加

- ◆リスクコミュニケーション
 - ・ 日本の新型コロナ対策についての多言語での情報提供は不十分
 - ・ 多言語でのCOVID-19相談窓口設置自治体は少数
 - ・ 医療機関、宿泊療養施設は、希少言語の外国人の利用困難。
 - ・ 医療通訳は高額で、一部医療機関では患者負担としているため利用少ない。



当面の方策は多様なチャンネルでのリスクミの強化

外国人のCOVID-19クラスター対策

当面の方策

- 多言語での普及啓発資料・帳票類の作成
- 自治体の外国人相談窓口との連携
- NPO等外国人支援団体と連携した支援
- Facebook 等のSNSを活用した普及啓発
- 外国人コミュニティ及びエスニック系商店との連携
- グッドプラクティス共有のための研修会開催
- 入国検疫時の実効性ある情報提供

本格的対策

- 自治体の外国人相談事業の強化と国による支援
- NPOとの恒常的連携体制の強化
- 医療通訳に係る経済負担の軽減
- 検疫情報の公開・共有による政策への活用
- 自治体の外国人コミュニティとの共生アプローチ
- 在日各外国人協会組織との連携体制の構築
- 外国人医療制度の充実
- 外国人労働者制度の整備

東京都外国人新型コロナ生活相談センター概要

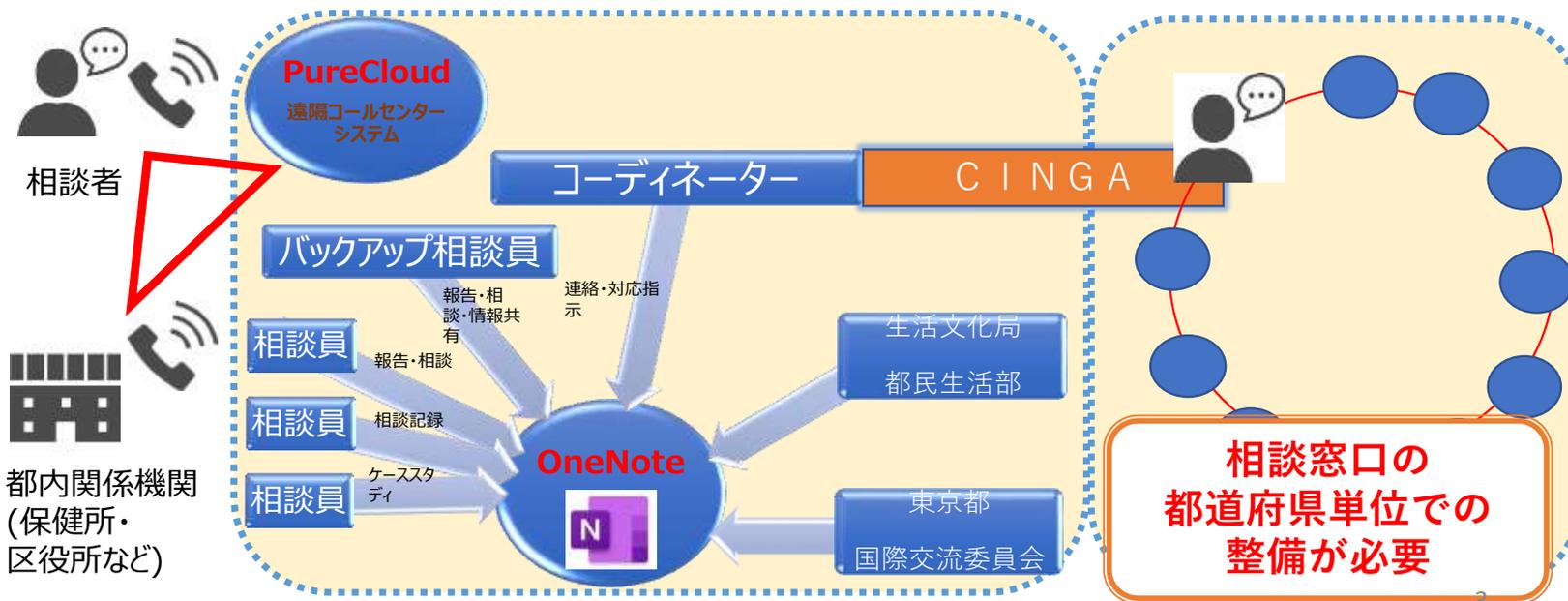
(略称 TOCOS トコス) Tokyo Coronavirus Support Center for Foreign Residents

<開設日時>受付時間：平日 10時～17時

<対応言語 (14言語)>やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、カンボジア語、ミャンマー語

情報提供・相談対応・通訳・コーディネート

市民活動



ネパール人感染者への対応

ネパールの祭礼 **ダサイン**：10月中旬 ➡ **ティハール**：11月中旬

☆ネパール語資料の作成

- **普及啓発資料**（入国後自宅待機時の注意事項、家庭内感染予防、医療・検査受診方法、COVID-19医療の流れ、等）
普及方法：在日ネパール人協会、ネパール人コミュニティへの配布
- **感染症法行政資料**（発生届、疫学調査票、等）
配布方法：日本公衆衛生学会及び全国保健所長会のホームページ及びメーリングリスト

☆グッドプラクティス研修会の開催

1～2週間に1回程度実施

第1回 11月11日（試行・都内保健所限定）

☆SNSを活用したネパール人向け普及啓発

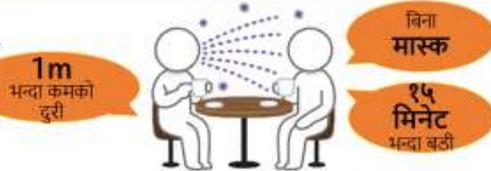
11月10日に収録、12日にFacebookに搭載予定、順次更新

協力：国立国際医療研究センター、帝京大学、在日ネパール人協会、*SHERE*、*CINGA*、*MINNA*、全国保健所長会、在日ネパール人医師、他₄

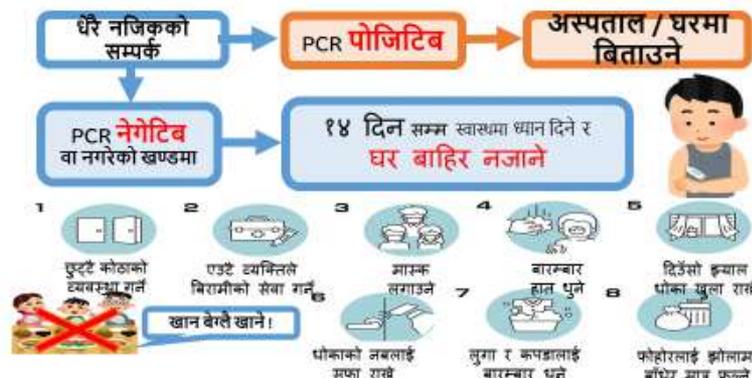
धेरै नजिकको सम्पर्क भएको खण्ड

धेरै नजिकको सम्पर्क भन्नाले

धेरै नजिकको सम्पर्कमा पर्नु भएमा होकेनज्योबाट सम्पर्क गरिन्छ



धेरै नजिकको सम्पर्कमा पर्नु भएमा



स्वास्थ्यमा समस्या आएको खण्डमा परामर्श दिने ठाउँ (ज्वरो > 38°C, खोकी, स्वाँस्वी हुने, जित गरुनु हुने, रुघाको लक्षण हुँदा)

टोकियोमा बस्ने हरुलाई

स्वास्थ्यमा समस्या आएको खण्डमा

東京都外国人新型コロナウイルス相談センター (नेपाली, 平日 10~17時) 0120-296-004

東京都発熱相談センター (日本語のみ, 平日夜間, 土日祝) 03-5320-4592

परेको खण्डमा PCR टेस्ट

कोरोन लागेको खण्डमा

होकेनज्योबाट अस्पताल जानेकि घरमै बस्ने बारे सल्लाह गरिनेछ



अस्पतालबाट डिस्चार्ज हुनु जरुरी कुरा र डिस्चार्ज भए पछि ध्यान दिने कुरा हरु

डिस्चार्ज हुनुको लागि जरुरी

① लक्षण सुरु भएको दिनबाट १४ दिन पुरा भएको र लक्षण सकेको ३ दिन भन्दा बढी भएको

② लक्षण १० दिन भन्दा धेरै मात्र देखिएको खण्डमा, लक्षण सकेको १ दिन भन्दा बढी भएको र २४ घण्टा नाघी २ चोटी PCR नेगेटिब देखिएको

घरैमा सेल्फ क्वारेन्टिन सकाउनुको लागि जरुरी

लक्षण सुरु भएको दिनबाट १४ दिन पुरा भएको र लक्षण सकेको ३ दिन भन्दा बढी भएको

स्वास्थ्यमा समस्या आएको खण्डमा परामर्श दिने ठाउँ (ज्वरो > 38°C, खोकी, स्वाँस्वी हुने, जित गरुनु हुने, रुघाको लक्षण हुँदा)

टोकियोमा बस्ने हरुलाई

स्वास्थ्यमा समस्या आएको खण्डमा

東京都外国人新型コロナウイルス相談センター (नेपाली, 平日 10~17時) 0120-296-004

東京都発熱相談センター (日本語のみ, 平日夜間, 土日祝) 03-5320-4592

परेको खण्डमा PCR टेस्ट

厚労省・新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード
11月11日（水）15：00-17：00

資料 2 - 5



新型コロナウイルスSARS-CoV-2の ゲノム分子疫学調査

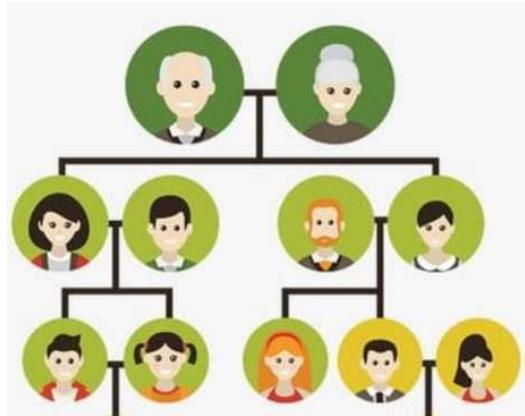
国立感染症研究所
病原体ゲノム解析研究センター
黒田 誠

Genealogy 系図 (Family tree 家系図)

時間経過

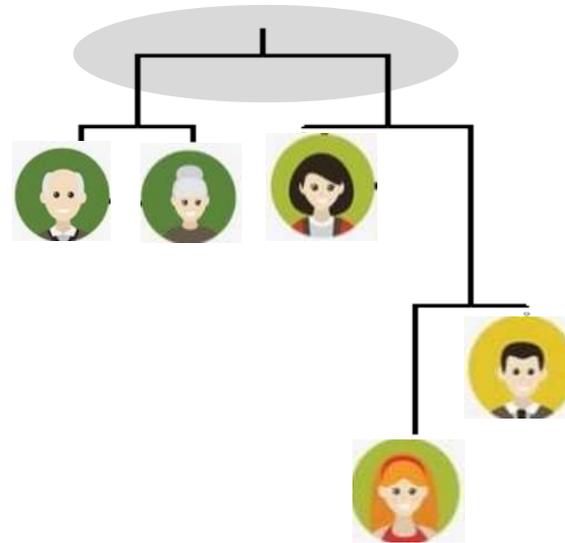


Family tree



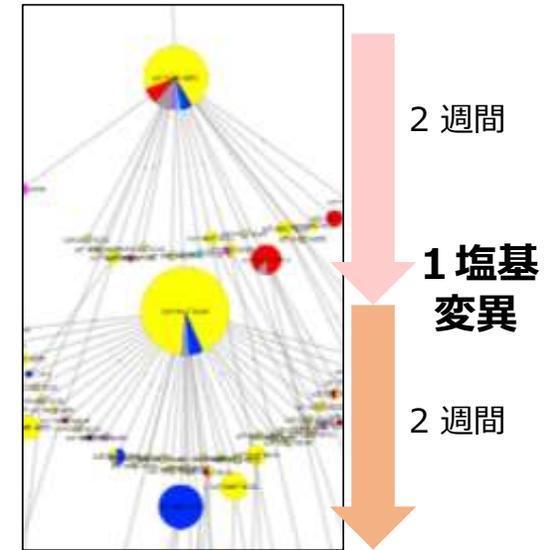
家系図は親子関係が明確

Phylogenetic tree



系統樹は枝分かれして、親子関係を示すには不向き

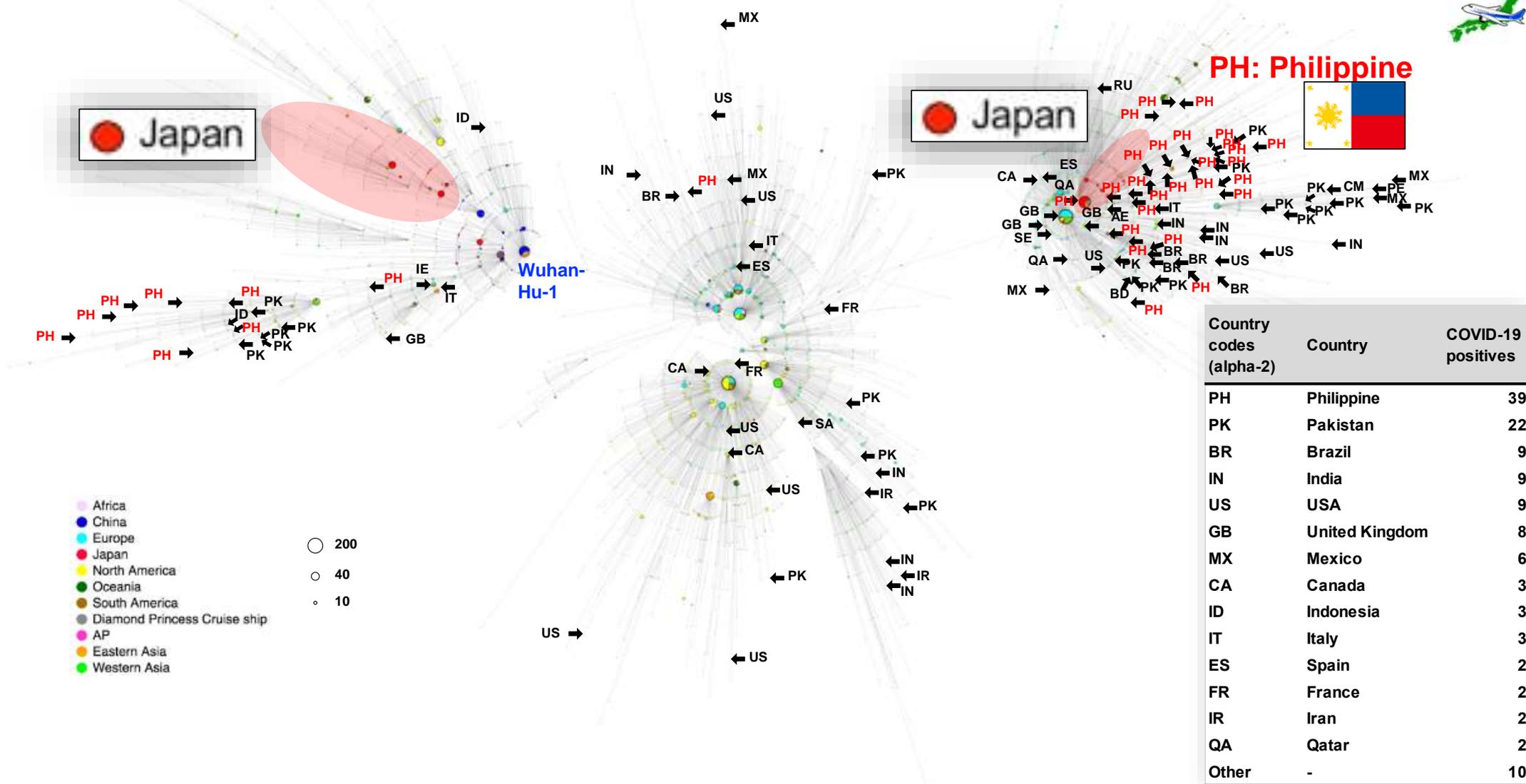
Haplotype network



(修復や組換えが無いことを前提)
変異の積み重ねを時系列でつなぐ

〈 本邦・空港検疫所で捕捉した新型コロナウイルスの実態把握 〉

複数の海外流入を受けているが、空港検疫所の水際で阻止できている（と思われる）

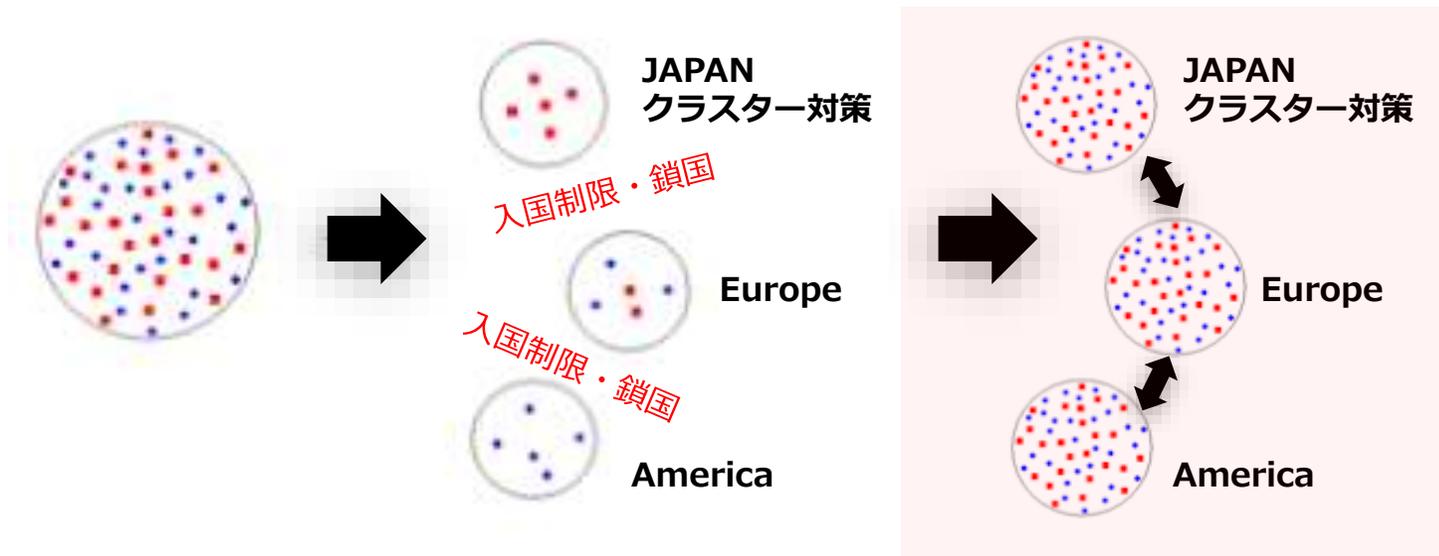


創始者効果（そうししゃこうか、Founder effect）

「隔離された個体群が新しく作られるときに、新個体群の個体数が少ない場合、元になった個体群とは異なった遺伝子頻度の個体群が出来ること」を指す。

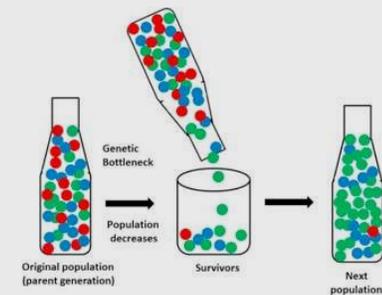
生態学・集団遺伝学の用語。始祖効果（しそこうか）、入植者効果（にゅうしょくしゃこうか）とも呼ぶ。

最初に入ったものが勝ち！（理論）



引用: Wikipedia 創始者効果

強いものが勝つ！（理論）
ボトルネック効果



生物集団の個体数が激減して子孫が繁殖し、元とは異なる集団ができること。

Genomic epidemiology of novel coronavirus - Asia-focused subsampling

Maintained by the Nextstrain team. Enabled by data from GISAID

Showing 5793 of 5793 genomes sampled between Dec 2019 and Aug 2020.

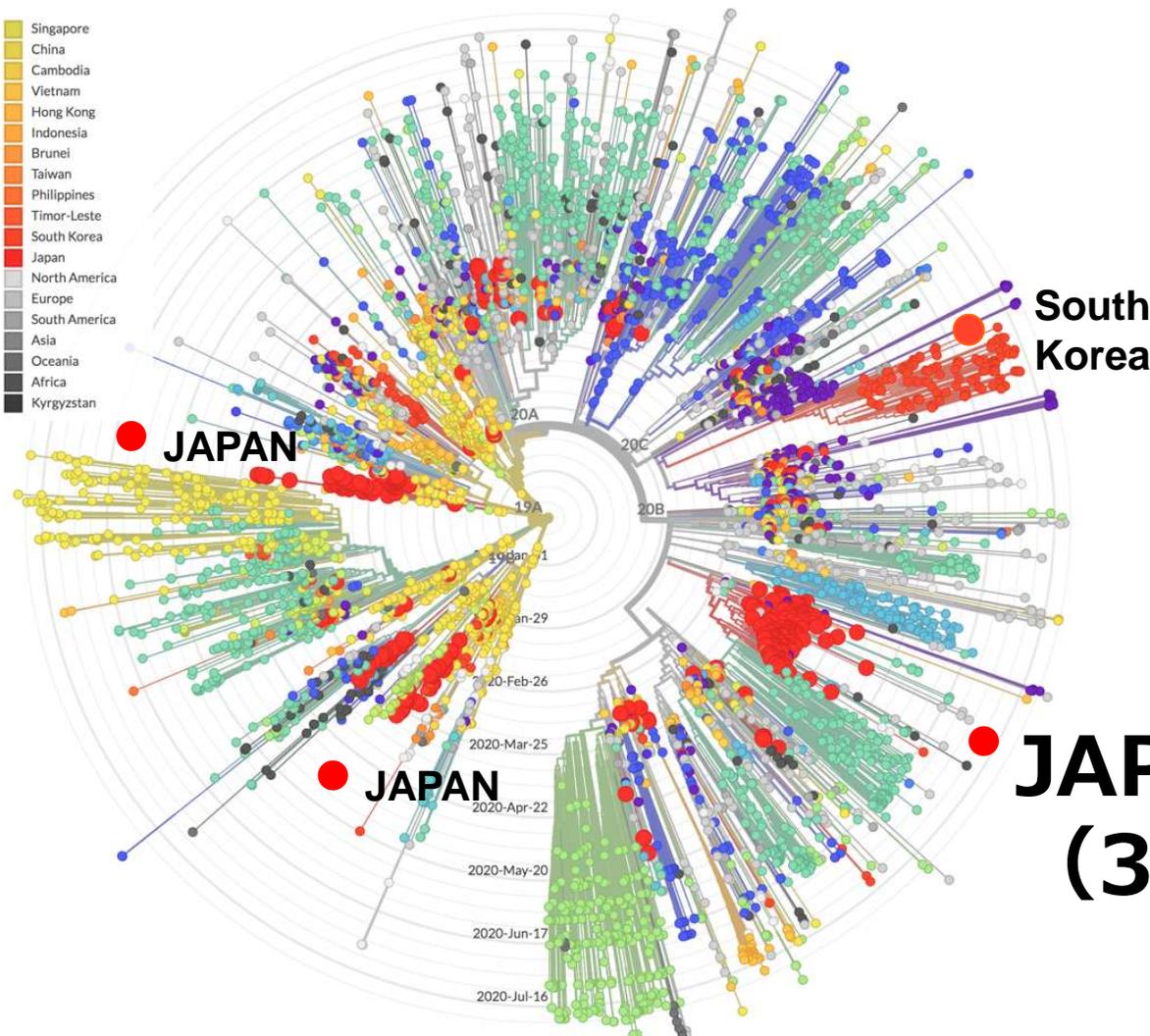
Nextstrain web siteから ASIA データのみ表記 (2020/08/20)

<https://nextstrain.org/ncov/asia?l=radial>

Phylogeny

Country ^

Israel	Singapore
Lebanon	China
Jordan	Cambodia
Georgia	Vietnam
Saudi Arabia	Hong Kong
Kuwait	Indonesia
Bahrain	Brunei
Iran	Taiwan
United Arab Emirat	Philippines
Oman	Timor-Leste
Kazakhstan	South Korea
Pakistan	Japan
India	North America
Sri Lanka	Europe
Nepal	South America
Bangladesh	Asia
Myanmar	Oceania
Thailand	Africa
Malaysia	Kyrgyzstan



● お隣の韓国とも明らかに系統関係が違う

● 創始者効果による系統の違いと見られる

JAPAN
(3月から現在)

ゲノム情報を俯瞰的に見て感じること

- 1つの大きなインパクト（ヨーロッパ帰国・入国者）で一気に拡散する。
- 地方へ拡散しても、保健所行政によるクラスター探知が効果的に実施できている模様。
（現実的に限界はあります、十分に理解できます）
- ほんの1つの火種を残しても、その後、大規模拡散へつながるリスクがある。
 - ➡ 5月下旬～6月中旬の起点2つを捕捉できていれば、7-9月の感染ピークは無かったかも。
 - ➡ クラスターとして顕在化する “およそ2ヶ月前に” その火種が存在していたと推定される。
 - ➡ もう少し努力すれば、ゼロ作戦を達成できていた可能性あり。
- 無症候・軽症で検査しない対象（若年層）でウイルス排泄量が多く、拡大の起点になっているのではないか。
- 空港検疫所の水際対策は順調……（現状の入国者数のままであれば）

緊急提言
最近の感染状況を踏まえた、
より一層の対策強化について
令和2年11月9日（月）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

【はじめに：緊急提言の基本的考え方】

社会経済活動が徐々に戻る中、適切な感染防止策が講じられなければ、感染の「増加要因」が強まり、その力が人々の基本的な感染防止策や自治体によるクラスター対策などの感染の「減少要因」を上まわることになる。最近になって、クラスターの数も増え、しかも、多様化しつつある。そうした中、「減少要因」を早急に強めなければ、急速な感染拡大に至る可能性が高い。社会の中で国民や医療現場、保健所、事業者等における取り組みが積み重ねられ、また、治療法の標準化などもあり、致死率や重症化率がこれまで抑えられてきたが、医療提供体制への負荷を過大にしないためにも、可及的速やかに感染を減少方向に向かわせる必要がある。

今回の緊急提言は、これまでの分科会提言や政府が示してきた大きな方向性（※）を踏まえ、今回初めて経験する冬場においても社会経済活動と両立できるよう、国民、自治体、国等のそれぞれに求められる具体的な5つのアクションをまとめたものである。

分科会として政府に対してここに提言する。

※「新型コロナウイルス感染症への対応について」（第44回新型コロナウイルス感染症対策本部報告 令和2年10月30日）

【求められる5つのアクション】

アクションNo 1. 今までよりも踏み込んだクラスター対応

背景

クラスターの数が増え、しかも、多様化している。そうした中で、「早期探知しにくい」又は「閉じにくい」クラスターが増加している。これまでは、PCR検査等で感染が確認されて初めて濃厚接触者への対応などが行われてきたが、検査による確認の前に、クラスター発生の予兆をとらえることが、これまで以上に求められる。

これまでの分析によれば、クラスターはその特徴によっていくつかのカテゴリーに分けられる。

- 「早期検知しにくい」クラスター：感染の事実そのものが現状のシステムでは探知されにくいクラスターである。具体例としては、①一部の外国人コミュニティや②大学生の課外活動など若年層を中心としたクラスターが挙げられる。①については言葉や受診行動の違いがあることなどから、また、②については感染しても無症状の人が多いことなどから、探知されにくいことが原因と考えられる。
- 「閉じにくい」クラスター：感染者が不特定多数に接触し、濃厚接触者の把握が難しく、「閉じにくい」クラスターである。具体例としては、接待を伴う飲食店などが挙げられる。

アクションNo 1. 今までよりも踏み込んだクラスター対応（つづき）

具体的アクション

- (1) それぞれのクラスターの特徴に応じた効果的かつ効率的な対策を行うこと。
 - **接待を伴う飲食店**：第13回分科会（令和2年10月29日）でまとめられた大都市の歓楽街における感染拡大防止対策ワーキンググループで提案された対策（具体的には、信頼関係に基づいたネットワークの構築や相談・検査体制の拡充など）を地方都市の歓楽街も含めて迅速かつ確実に進めていくこと。
 - **外国人コミュニティ**：外国人コミュニティを支援し、多言語・やさしい日本語での情報の発信及び伝達、相談体制を多元的なチャンネルで進めていくこと。そのために、各国大使館等との連携や自治体による周知に加え、コミュニティとのネットワークや経験を有する国際交流協会やNPO、NGO等と連携すること。
 - **高等教育機関（大学、専門学校等）**：大学等では、授業そのものよりは、むしろ飲み会や寮生活、課外活動等でクラスターが発生している。感染防止と学修機会の確保の両立を図ることが極めて重要である。そのために、自治体は、域内の大学等の学生の相談を受けている健康管理センターなどと協力して、感染防止に関する啓発やクラスター感染が起きた場合の迅速な情報の共有を進めること。さらに、必要な場合に速やかに受診・検査につながる取り組みを進めていくこと。
 - **職場**：職場でも、仕事そのものよりは、むしろ仕事後の飲み会や喫煙などの休憩等でクラスターが発生している。このことから、事業者は、産業医等と連携し、感染防止策を今まで以上に進めること。特に、具合が悪い人が休めるようにすることやクラスターの発生が疑われた場合に迅速に保健所に協力すること。
- (2) 「早期探知しにくい」クラスターを探知するためには、原因が明らかではないが、普段とは何か違う状況が発生した場合に探知する仕組みが必要である。これは、いわば「異常事象検知サーベイランス」ともいうべきものであり、国際的にも、Event-based surveillance（EBS）として推奨されている。そのため、自治体は、既に各都道府県等において設置されている新型コロナウイルス感染症対策のための協議会を活用し、高齢者施設及び医療機関等と協力すること。また、学校等欠席者・感染症情報システム及びSNS上のデータを分析する仕組み等を活用すること。
- (3) これまでも度々指摘されてきた、①感染者の発症日、②クラスターの発生状況に関する最新の情報、③クラスター対策の好事例について、自治体間及び国との間でより迅速に情報共有する仕組みを早急に設けること。

アクションNo 2. 対話のある情報発信

背景

これまでも、三密や大声が感染リスクを高めるというメッセージは繰り返し発信してきた。さらに、最近では、感染リスクが高まる「5つの場面」や「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」なども政府に提言した。しかし、最近の感染状況を見ると、こうしたメッセージが人々の実際の行動変容及びその維持につながるようには必ずしも十分には伝わってこなかった可能性がある。

具体的アクション

- (1) 感染リスクが高まる「5つの場面」や「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」（例えば、会食時に食べるときだけマスクを外し、会話の時はマスクをする。）などを、特に若年層や忘年会・新年会を含め飲み会などの参加者を中心に興味を持ってもらえる方法で伝えること。その際には、動画投稿サイト等のSNSをはじめ、様々な媒体も活用すること。
- (2) メッセージの受け手の気持ちや受け止め方を理解した上で情報発信し、その効果や影響を確認し、次の発信に役立てること。

アクションNo 3. 店舗や職場などでの感染防止策の確実な実践

背景

業種別ガイドラインの策定が現場でも進んできたが、引き続き、クラスターが発生している。

具体的アクション

- (1) 事業者は、店舗や職場などで、感染リスクが高まる「5つの場面」が具体的にどこにあるのかについて考え、業種別ガイドラインを現場で確実に実践していくこと。その際、自治体や地元の商店街・組合などが連携すること。なお、これまでの経験や新たな知見等に基づいて、業種別ガイドラインの実効性をより高めていくこと。
- (2) 冬に向けて、換気の問題をはじめとした寒冷地における感染防止策のために、例えば特に飲食店などが二酸化炭素濃度をモニターするなどの具体的な指針を示すこと。

アクションNo 4. 国際的な人の往来の再開に伴う取り組みの強化

背景

海外との交流が徐々に再開されていく中で、水際対策と地域での感染対策を連携して行う必要がある。また、国内地域に入った後に保健所が行う健康監視等に関しては、多言語対応などの必要もあり、個別の保健所では極めて困難である。フォローすべき人数が増えると多大な事務負担につながり、保健所の業務に支障をきたすと考えられる。また、輸入症例が増えると、必要となる病床数も増加する。

具体的アクション

- (1) 水際対策と地域での感染対策を連携して行うため、国は、①検疫所における滞在国・地域別検疫実施人数及び検査実施人数やその中の陽性者数などの情報を迅速に整理し、公表していくこと。また、②自治体に検疫に係る情報を迅速に提供すること。
- (2) 国において、自治体での外国人のフォローアップを支援できる仕組みを早急に検討すること。また、検疫時に健康監視等に関する基本的な情報を多言語化して情報提供すること。
- (3) さらに、外国人を受け入れる医療機関等に対する支援を強化すること。

アクションNo 5. 感染対策検証のための遺伝子解析の推進

背景

ウイルスの遺伝子配列を調べることは、感染の伝播の状況が見えなくなっている地域の感染の由来を調べる上で有効である。地域における感染例でリンクが追えないものも多くなっている。さらに、最近、外国人コミュニティのクラスターも複数県で報告されており、その一部は国内由来ウイルスによるものであることが分かっているが、由来が不明なクラスターも多い。

具体的アクション

- (1) ウイルスの遺伝子配列を調べることは、クラスターの由来を明確にするためのみならず、感染対策を検証するためにも有効である。このことから、①地方衛生研究所を通じて国立感染症研究所に検体を着実に送付すること。または、②地方衛生研究所で遺伝子配列の情報を解析したうえで国立感染症研究所に結果を共有すること。さらに、③その際には実地疫学情報も共有すること。

【おわりに】

1. 以上の5つのアクションに加えて、これまでも分科会で提言してきた

- 年末年始の休暇を分散すること
- 小規模分散型旅行を推進していくこと
- 保健所機能及び医療提供体制の強化

などについては、当然のことながら、これまで以上に推進していくことが必須である。

2. 以上の5つのアクションを実施しても、第5回分科会（令和2年8月7日）で提言されたステージⅢ相当以上と国や自治体によって判断された場合には、社会経済活動に一定の制約を求めるような強い対策を行う必要があることから、そうした事態を回避するためにも、国民が一丸となって対策を進めていく必要がある。

新型コロナウイルス感染症対策分科会 緊急提言
「最近の感染状況を踏まえた、より一層の対策強化について」
への政府の具体的なアクションについて
令和2年11月10日（火）

内閣官房、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省

アクションNo 1. 今までよりも踏み込んだクラスター対応

求められている具体的なアクション

- (1) それぞれのクラスター（接待を伴う飲食店、外国人コミュニティ、高等教育機関（大学、専門学校等）、職場）の特徴に応じた効果的かつ効率的な対策を行うこと。
- (2) 「早期探知しにくい」クラスターを探知するため、「Event-based surveillance（EBS）」といった仕組みが必要。自治体は、各都道府県等の協議会を活用し、高齢者施設及び医療機関等と協力するとともに、学校等欠席者・感染症情報システム及びSNS上のデータを分析する仕組み等を活用すること。
- (3) ①感染者の発症日、②クラスターの発生状況に関するリアルタイムの情報、③クラスター対策の好事例について、自治体間及び国との間でより迅速に情報共有する仕組みを早急に設けること。

➡①それぞれのクラスターの特徴に応じた対応

【接待を伴う飲食店】

- ・今後の取組方針を示した歓楽街WG報告書を全国の自治体に周知済み。今後、この取組方針に沿った対応を推進するとともに、内閣官房及び歓楽街WGにおいて自治体の取組に対し助言等を実施。特に、地方都市も含めて歓楽街においてクラスターが発生した場合には、大規模・地域集中的なPCR検査の実施を推進

【外国人コミュニティ】

- ・在留外国人の感染を予防し、感染拡大を抑制するとの観点から、国・自治体による多言語・やさしい日本語での発信に加え、各国大使館等と連携し、またSNS等も活用した情報提供を行い、在留外国人による適切な感染防止策の取組を推進。また、一元的相談窓口等において、保健所やNPO等と連携しつつ必要な助言を行い、在留外国人が早期に医療機関を受診できるよう支援（今月中に分科会で議論予定）

【高等教育機関（大学、専門学校）】

- ・自治体に対して、域内の大学等の学生の相談を受けている健康管理センターなどと協力して、各大学等における感染防止と学修機会の確保の両立が図られるよう、大学等の学生への啓発やクラスター感染が起きた場合の迅速な情報の共有を進めるとともに、必要な場合に速やかに検査につながる取り組みを進めていくよう要請する。
- ・感染リスクを高める行動（会食やいわゆる飲み会等）への注意を徹底し、リスクが高まる「5つの場面」等を学生等に対して改めて周知・啓発するよう、大学等の高等教育機関に対して要請する。

【職場】

- ・職場の状況に応じた感染対策が図られるよう、日本産業衛生学会等の専門家の知見を踏まえ、冬期における感染対策の留意事項を取りまとめ、労使団体、業界団体を通じて周知啓発を行う

➡②イベントベーストサーベイランス

- ・自治体が「イベントベーストサーベイランス」を円滑に実施できるよう、専門家の意見を踏まえ、自治体に具体的な内容等を提示し共有を図る
- ・SNS上のデータの分析等によって、感染拡大の兆候の早期探知、予測等を行う

➡③自治体間及び国との間でより迅速に情報共有する仕組みの構築

- ・クラスターを早期に制御することになった事例等について収集し、定期的に自治体に事務連絡又は会議を通じて横展開を図る
また、HER-SYSの活用に向けて、引き続き取組を進める。
- ・今後、全国知事会においても、クラスターの発生状況や制御に関する好事例について、自治体間で情報共有がなされる取組が推進されるよう、引き続き連携していく

アクションNo 2. 対話のある情報発信

求められている具体的アクション

- (1) 感染リスクが高まる「5つの場面」や「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」などを、特に若年層や忘年会・新年会を含め飲み会などの参加者を中心に興味を持ってもらえる方法で伝えること。その際には、動画投稿サイト等のSNSも活用すること。
- (2) メッセージの受け手の気持ちや受け止め方を理解した上で情報発信し、その効果や影響を確認すること。

- ⇒・コロナ特設サイト (corona.go.jp) 等において、引き続き、「5つの場面」や「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」などを広報するとともに、年末年始など、節目節目に特設ページを開設し、より効果的な広報を実施する
- ・SNS、コロナ対策サポーター、チラシを活用し、若年層を含む国民に興味を持ってもらえるような媒体で広報を実施する
 - ・リスクコミュニケーション等の専門家に御協力いただき、若者等の動向を把握するための助言をいただきながら、メッセージの受け手の気持ちや受け止め方を理解した情報発信を行う

アクションNo 3. 店舗や職場などでの感染防止策の確実な実践

求められている具体的アクション

- (1) 事業者は、店舗や職場などで、感染リスクが高まる「5つの場面」が具体的にどこにあるのかについて考え、業種別ガイドラインを現場で確実に実践していくこと。その際、自治体や地元の商店街・組合などが連携すること。なお、これまでの経験や新たな知見等に基づいて、業種別ガイドラインの実効性をより高めていくこと。
- (2) 冬に向けて、換気の問題をはじめ寒冷地における感染防止策のために、例えば特に飲食店などでは二酸化炭素濃度をモニターするなど、具体的な指針を示すこと。

- ⇒・業種別ガイドラインについては、事業に係る感染発生状況を踏まえ、産業界の遵守徹底に向けた取組を強化するとともに、クラスター発生時等の再発防止を図る観点から、ガイドラインの徹底・改定に係るPDCAの体制を構築する
- ・寒冷地における感染防止策については、冬期を迎えるにあたり、経済社会活動の維持と感染防止策の両立を図るため、専門家の知見を踏まえながら、適切な換気、湿度管理等のあり方について取りまとめ、幅広く周知する

アクションNo 4. 国際的な人の往来の再開に伴う取り組みの強化

求められている具体的アクション

- (1) 水際対策と地域での感染対策を連携して行うため、国は、① 検疫所における滞在国・地域別検疫実施人数及び検査実施人数やその中の陽性者数などの情報を迅速に整理し、公表していくこと。また、② 自治体に検疫に係る情報を迅速に提供すること。
- (2) 国において、自治体での外国人のフォローアップを支援できる仕組みを早急に検討すること。また、検疫時に健康監視等に関する基本的な情報を多言語化して情報提供すること。
- (3) さらに、外国人を受け入れる医療機関等に対する支援を強化すること。

- ➡ 検疫における滞在国・地域別検疫実施数、検査実施数、陽性者数について、HP上で公表する。また、現在行っている、検疫で把握した各入国者の質問票情報の自治体への提供について、運用の改善等により迅速化に取り組む。
- ・現在、入国者に対して、14日間の待機期間中に保健所から健康フォローアップを行うこと等について、多言語で周知しているところ、更なる周知啓発など必要な改善を行う。
- ・電話通訳サービスの拡充を検討するなど、外国人を受け入れる医療機関に対して外国人対応の更なる支援に取り組む。
- ・多言語の電話通訳サービスについて、保健所の業務でも活用できるようにするための支援を行う。

アクションNo 5. 感染対策検証のための遺伝子解析の推進

求められている具体的アクション

ウイルスの遺伝子配列を調べることは、クラスターの由来を明確にするためのみならず、感染対策を検証するためにも有効である。このことから、① 地方衛生研究所で遺伝子配列の情報を解析したうえで国立感染症研究所に結果を共有すること。または、② 地方衛生研究所を通じて国立感染症研究所に検体を着実に送付すること。さらに、③ その際には実地疫学情報も共有すること。

- ➡ 各自治体の検体収集状況等の実態を踏まえ、着実に検体が国立感染症研究所に送付されるよう、自治体に対して要請。さらに、民間検査機関等に対し協力を要請し、より幅広く検体を収集する。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



1. 基本的な感染防止対策の実施
 - マスクを着用
 - 人と人の距離を確保
 - 3密を避ける

2. 寒い環境でも換気の実施

- 機械換気による常時換気を
- 機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で **常時窓開け**（窓を少し開け、室温は18℃以上を目安！）

3. 適度な保湿（湿度40%以上を目安）

- 換気しながら加湿を
（加湿器使用や洗濯物の室内干し）
- こまめな拭き掃除を



CO2センサー

<感染状況について>

- 新規感染者数は、全国的に見ると、8月第1週をピークとして減少が続いた後、ほぼ横ばいであったが10月以降増加傾向となり、11月以降その傾向が強まっている。特に、北海道や大阪、愛知を中心に増加がみられ、全国的な感染増加につながっている。
実効再生産数:全国的には1を超える水準が続いている。北海道、大阪、愛知などで概ね1を超える水準が続いており、東京では1を挟んで前後している。
- 感染拡大の原因となるクラスターについては、地方都市の歓楽街に加え、会食や職場及び外国人コミュニティー、医療機関や福祉施設などにおける事例など多様化や地域への広がりがみられる。一部の地域では感染拡大のスピードが増しており、感染の「減少要因」を早急に強める必要がある。このまま放置すれば、更に急速な感染拡大に至る可能性がある。
- 一方で、感染者に占める60歳以上の割合は横ばいで推移している。また、病床占有率は、微増の動きとなっているものの、入院患者全体、重症者とも10%前後となっている。ただし、入院者数、重症者数は10月末から上昇に転じているとともに、一部地域では、病床占有率が高まってきており、留意が必要。

<今後の対応について>

- 社会の中で国民や医療現場、保健所、事業者等における取り組みが積み重ねられ、また、治療法の標準化などもあり、致死率や重症化率がこれまで抑えられてきたが、公衆衛生体制や医療提供体制への負荷を過大にしないためにも、可及的速やかに減少方向に向かわせる必要がある。
- 感染が拡大している地域や拡大の兆しがみられる地域では、地域によって異なるクラスター発生の要因を分析し、早急な対応が必要。また、急速な感染拡大に伴う検査や保健所機能、医療提供体制の確保のための各地域の取組やそれへの支援が必要である。
- クラスターの多様化や地域への広がりがみられる中、感染の「減少要因」を強めるためには、①今までよりも踏み込んだクラスター対策及び②基本的な感染予防対策の徹底(「5つの場面」などを活用した実際の行動変容につながるよう情報発信の強化)が求められる。
- 分科会の緊急提言【別添】も踏まえ、接待を伴う飲食店への取組の徹底や、医療が受けにくいなどの困難を抱える外国人コミュニティーへの支援等クラスターの特徴に応じた対応を着実に行うとともに、医療機関等における検査の徹底等の速やかな対応、クラスター情報等の迅速な共有を進める必要がある。
- また、海外からの入国に関しては、検疫での対応や自治体への必要な情報の共有、発症時の受診方法等必要な情報について、入国する方の特性に応じた情報提供、自治体や医療機関への支援等の対応が必要である。
- こうした取組によっても、感染の急拡大や病床のひっ迫が見られる等の場合には、社会経済活動に一定の制約を求めるような強い対策を行う必要があることから、そうした事態を回避するためにも、国民が一丸となって対策を進めていく必要がある。

直近の感染状況等

○新規感染者数の動向(対人口10万人(人))

・全国的に見ると、8月第1週をピークとして減少が続いた後、ほぼ横ばいであったが10月以降増加傾向となり、11月以降その傾向が強まっている。

	10/20~10/26	10/27~11/2	11/3~11/9
全国	3.21人(4,045人) ↑	3.89人(4,902人) ↑	5.29人(6,674人) ↑
東京	7.79人(1,084人) ↓	8.42人(1,172人) ↑	10.65人(1,482人) ↑
神奈川	4.61人(424人) ↓	4.49人(413人) ↓	6.37人(586人) ↑
愛知	2.73人(206人) ↑	5.47人(413人) ↑	7.28人(550人) ↑
大阪	6.06人(534人) ↑	9.79人(862人) ↑	10.72人(944人) ↑
北海道	5.62人(295人) ↑	8.51人(447人) ↑	17.52人(920人) ↑
福岡	0.84人(43人) ↑	0.92人(47人) ↑	0.96人(49人) ↑
沖縄	16.59人(241人) ↑	12.59人(183人) ↓	11.22人(163人) ↓

○入院患者数の動向(入院者数(対受入確保病床数))

・8月下旬以降減少傾向となっていたが、直近では上昇に転じている。受入確保病床に対する割合は、微増しており、一部地域ではやや高水準となっている。

	10/21	10/28	11/4
全国	2,982人(11.2%) ↓	3,121人(11.6%) ↑	3,592人(13.4%) ↑
東京	1,008人(25.2%) ↓	960人(24.0%) ↓	1,042人(26.1%) ↑
神奈川	267人(13.8%) ↑	261人(13.5%) ↓	245人(12.6%) ↓
愛知	82人(9.5%) ↓	98人(11.4%) ↑	148人(17.2%) ↑
大阪	187人(13.7%) ↓	266人(19.3%) ↑	366人(26.6%) ↑
北海道	110人(6.1%) ↓	151人(8.3%) ↑	215人(11.9%) ↑
福岡	47人(8.5%) ↑	43人(7.8%) ↓	39人(7.1%) ↓
沖縄	192人(43.5%) ↑	207人(47.6%) ↑	187人(43.1%) ↓

○検査体制の動向(検査数、陽性者割合)

・直近の検査件数に対する陽性者の割合は3.5%であり、上昇している。
※ 過去最高は緊急事態宣言時(4/6~4/12)の8.8%。7,8月の感染者増加時では、7/27~8/2に6.7%であった。

	10/19~10/25	10/26~11/1	11/2~11/8
検査件数	131,595件 ↑	138,332件 ↑	146,467件 ↑
陽性者割合	3.0% ↑	3.5% ↑	4.4% ↑
検査件数	35,157件 ↓	35,496件 ↑	35,724件 ↑
陽性者割合	3.0% ↓	3.3% ↑	4.0% ↑
検査件数	12,954件 ↑	12,069件 ↓	15,348件 ↑
陽性者割合	3.3% ↓	3.4% ↑	3.7% ↑
検査件数	4,429件 ↑	5,532件 ↑	7,246件 ↑
陽性者割合	4.2% ↑	7.3% ↑	7.4% ↑
検査件数	10,358件 ↑	11,049件 ↑	10,821件 ↓
陽性者割合	5.1% ↑	7.5% ↑	8.7% ↑
検査件数	6,324件 ↑	5,878件 ↓	7,653件 ↑
陽性者割合	4.1% ↑	6.8% ↑	10.7% ↑
検査件数	5,482件 ↓	5,825件 ↑	4,458件 ↓
陽性者割合	0.8% ↑	0.8% →	1.1% ↑
検査件数	3,281件 ↓	3,756件 ↑	2,986件 ↓
陽性者割合	7.5% ↑	5.3% ↓	5.3% →

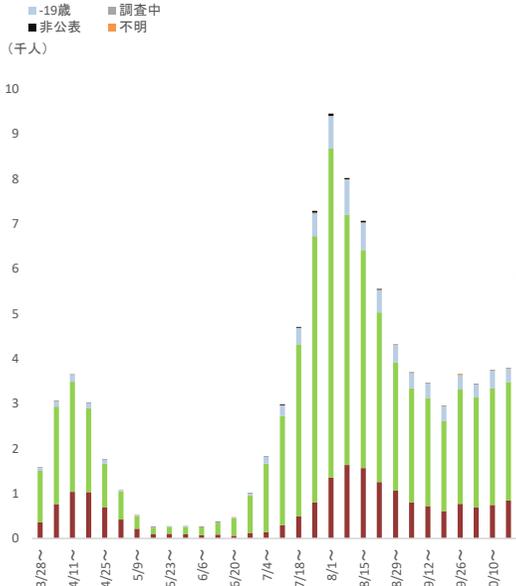
○重症者数の動向(入院者数(対受入確保病床数))

・入院患者数同様、直近では上昇に転じている。受入確保病床に対する割合は微増しており、一部地域ではやや高水準となっている。

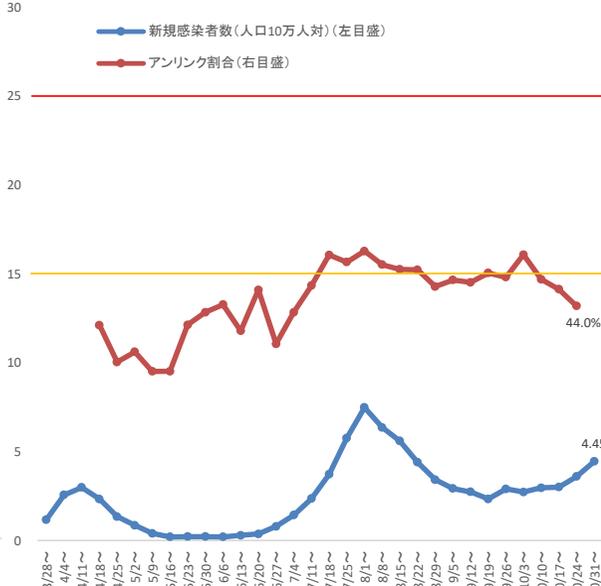
	10/21	10/28	11/4
重症者数	279人(8.1%) ↓	290人(8.4%) ↑	319人(9.2%) ↑
割合	8.1% ↓	8.4% ↑	9.2% ↑
重症者数	116人(23.2%) ↓	121人(24.2%) ↑	128人(25.6%) ↑
割合	23.2% ↓	24.2% ↑	25.6% ↑
重症者数	23人(11.5%) →	24人(12.0%) ↑	24人(12.0%) →
割合	11.5% →	12.0% ↑	12.0% →
重症者数	10人(14.3%) →	10人(14.3%) →	11人(15.7%) ↑
割合	14.3% →	14.3% →	15.7% ↑
重症者数	35人(9.9%) ↓	39人(11.0%) ↑	50人(14.1%) ↑
割合	9.9% ↓	11.0% ↑	14.1% ↑
重症者数	2人(1.1%) ↑	2人(1.1%) →	6人(3.3%) →
割合	1.1% ↑	1.1% →	3.3% →
重症者数	5人(5.6%) ↓	4人(4.4%) ↓	4人(4.4%) →
割合	5.6% ↓	4.4% ↓	4.4% →
重症者数	21人(39.6%) ↓	24人(45.3%) ↑	19人(35.8%) ↓
割合	39.6% ↓	45.3% ↑	35.8% ↓

※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。重症者数については、8月14日公表分以前とは対象者の基準が異なる。↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

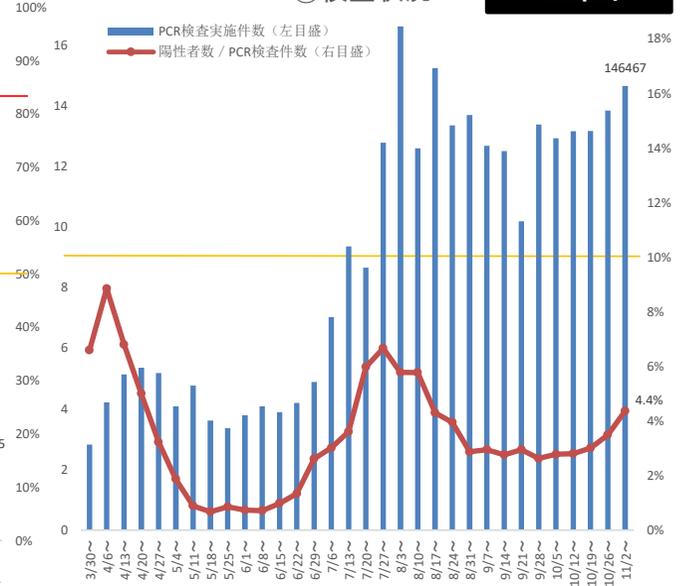
①新規感染者報告数



②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合

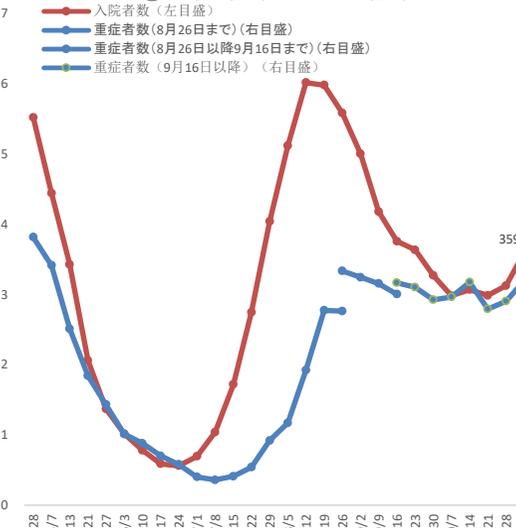


③検査状況

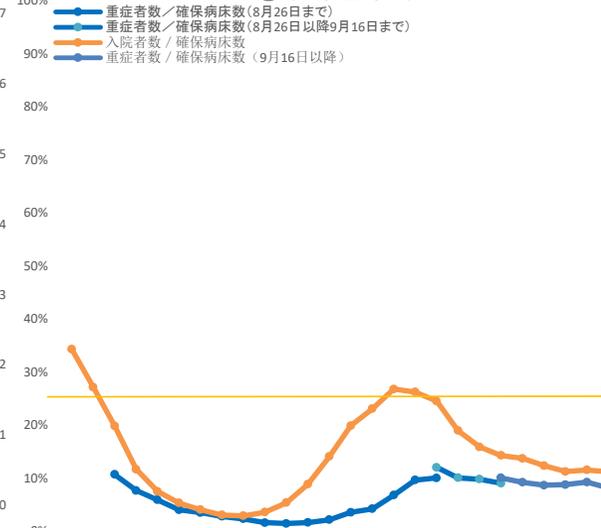


全国 20%

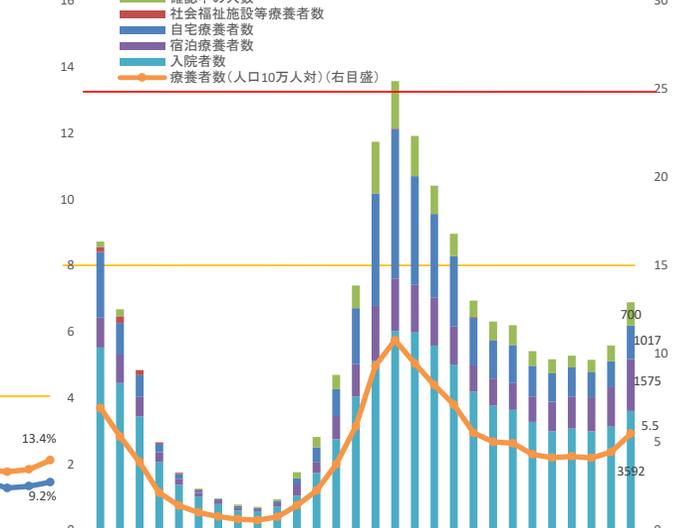
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率

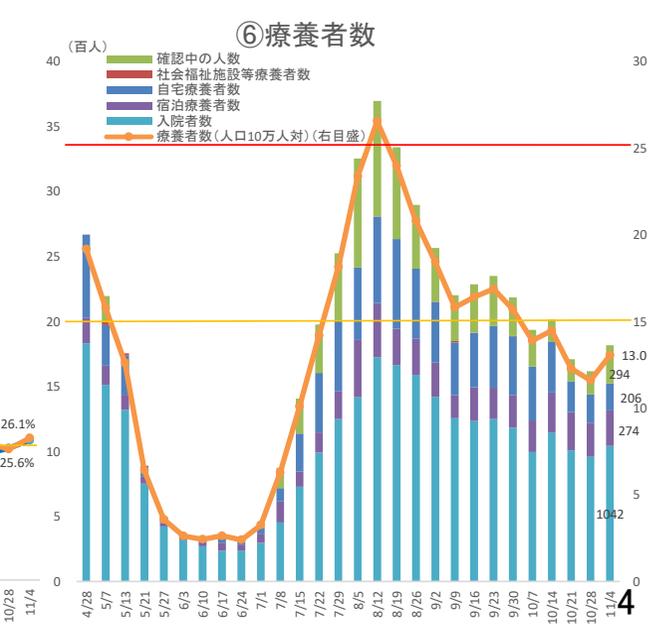
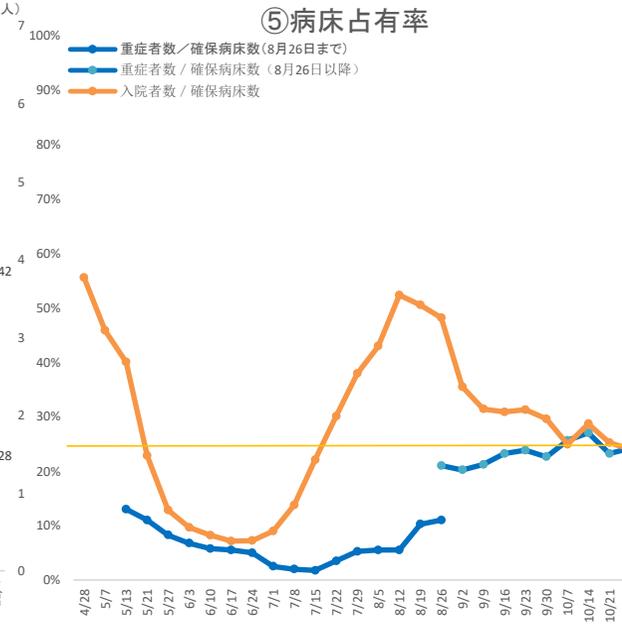
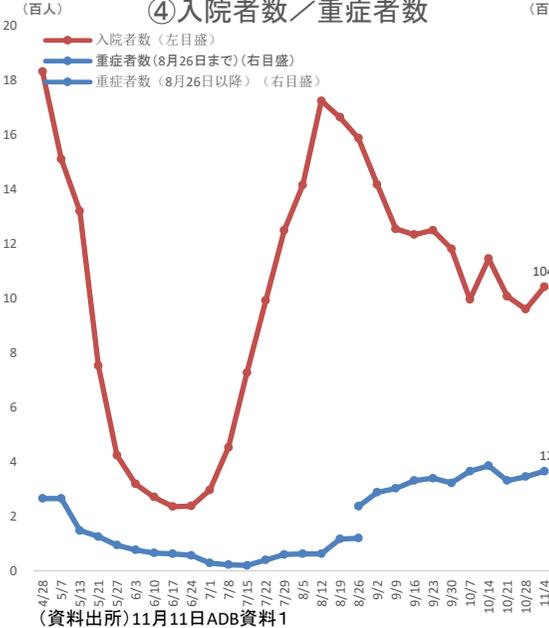
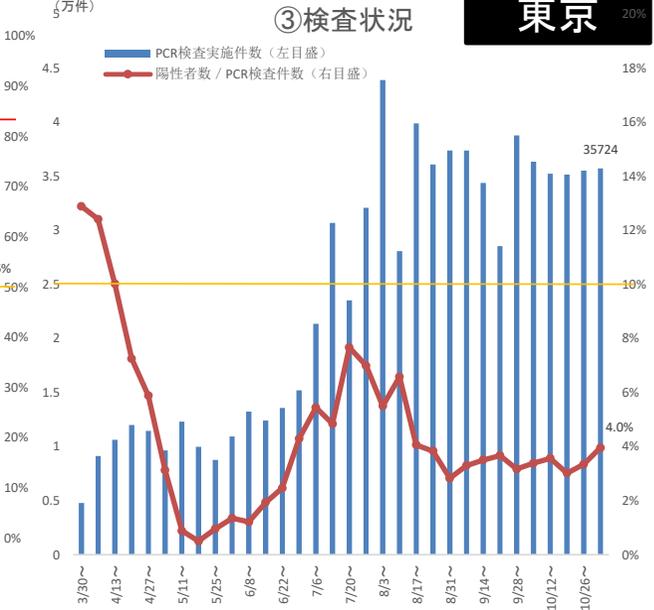
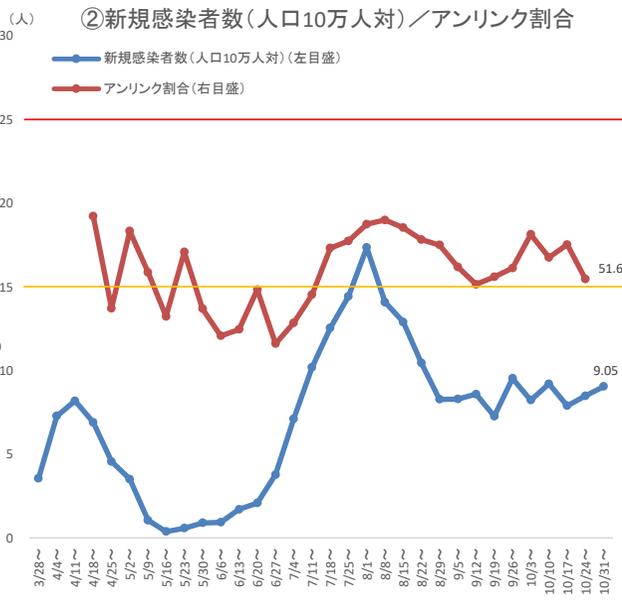
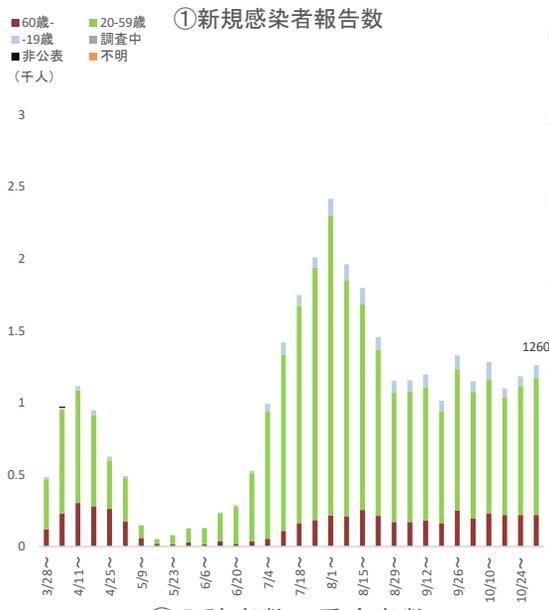


⑥療養者数

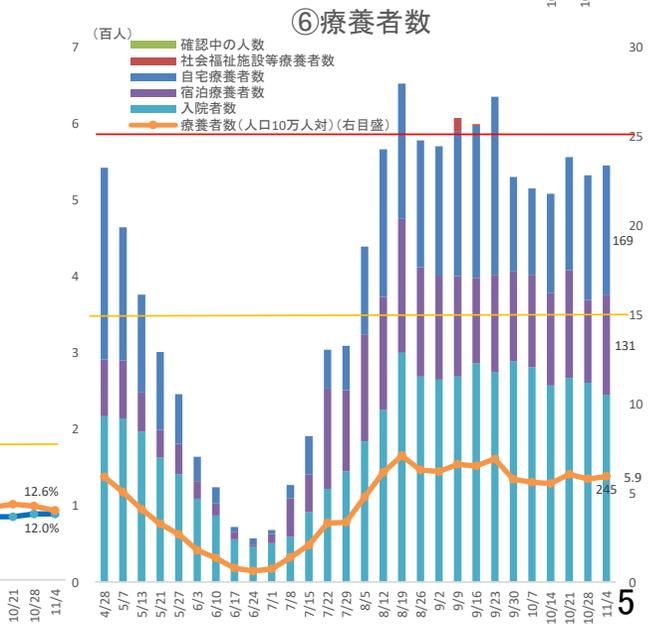
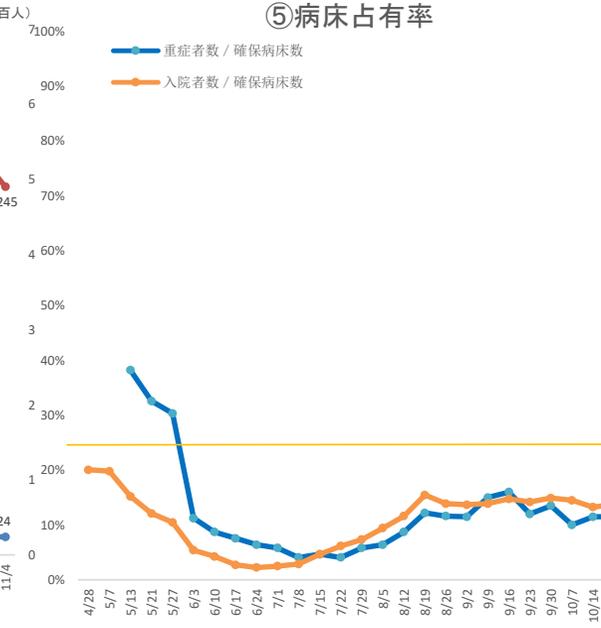
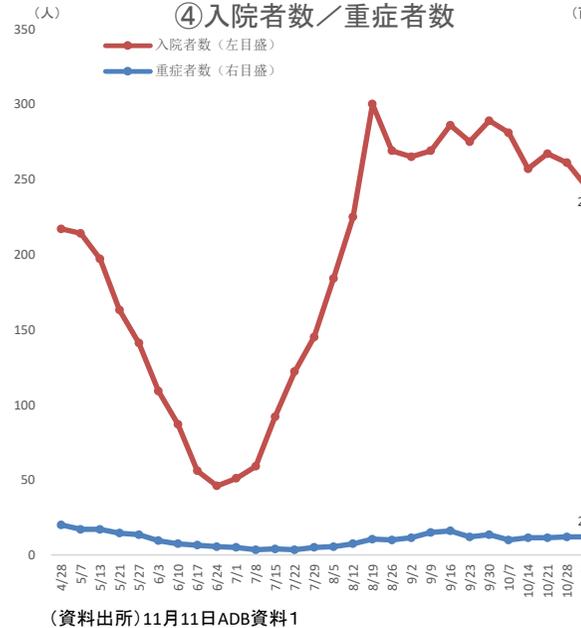
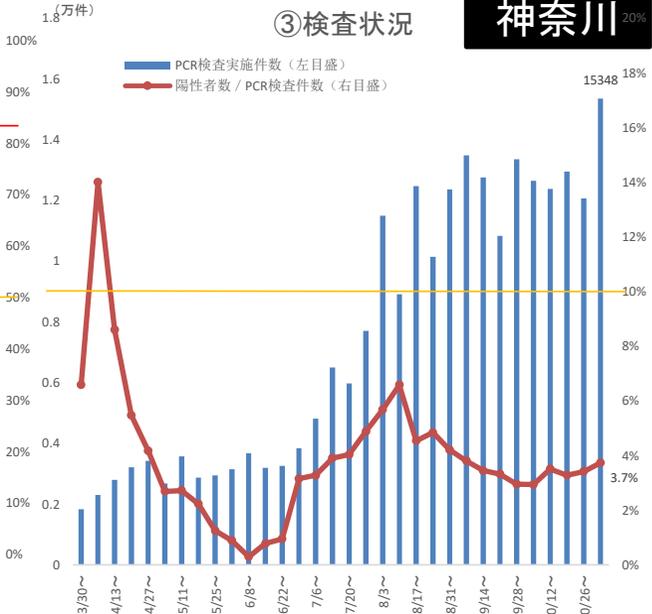
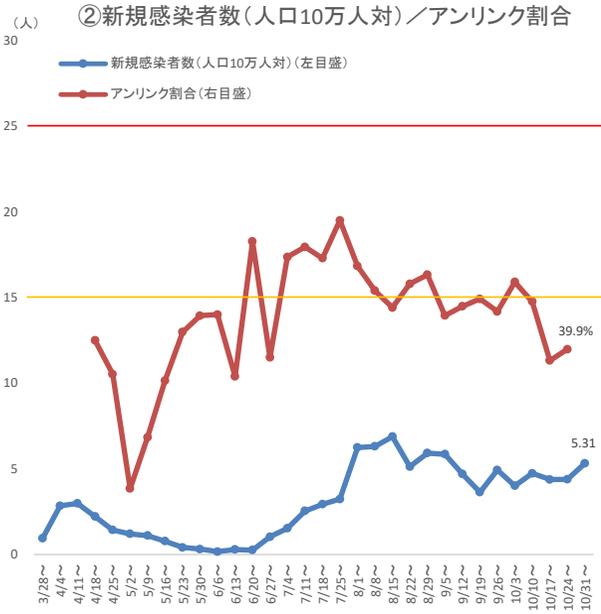
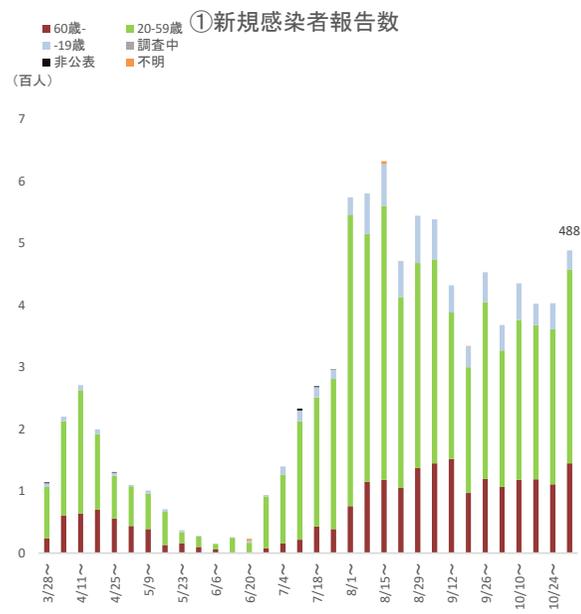


(資料出所)11月11日ADB資料1

東京 20%

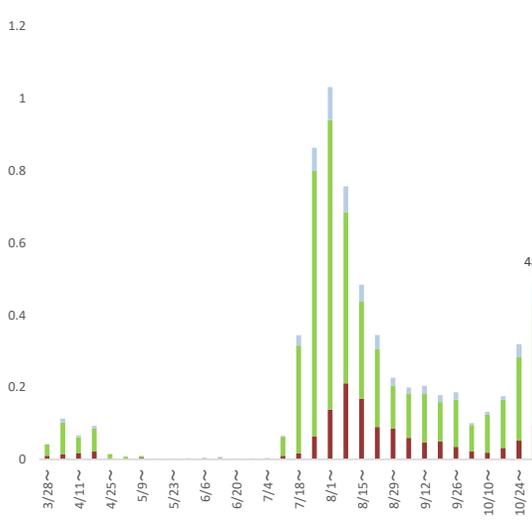


(資料出所) 11月11日ADB資料1

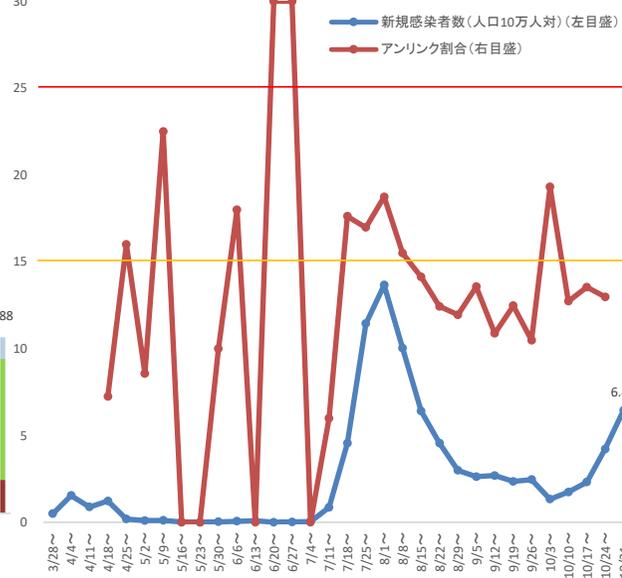


(資料出所)11月11日ADB資料1

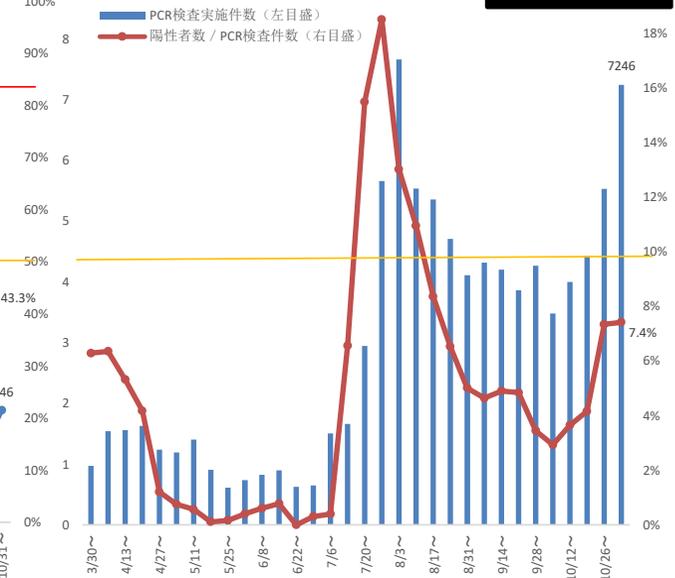
①新規感染者報告数



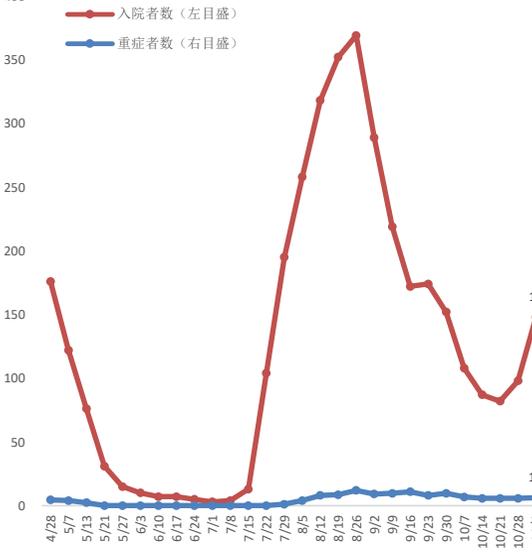
②新規感染者数(人口10万人対)／アリンク割合



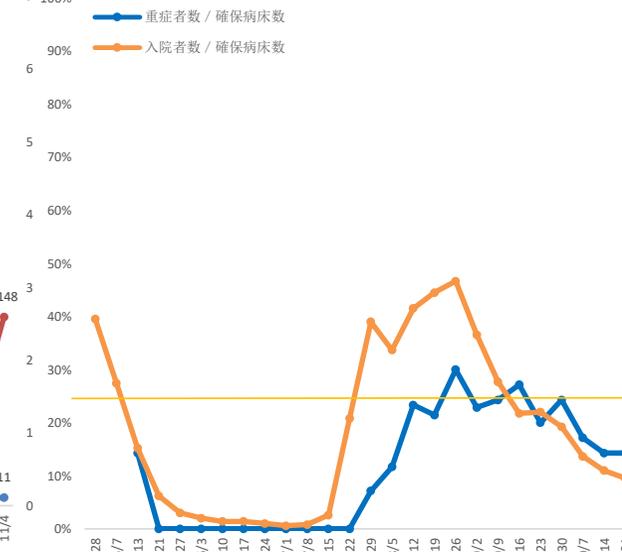
③検査状況



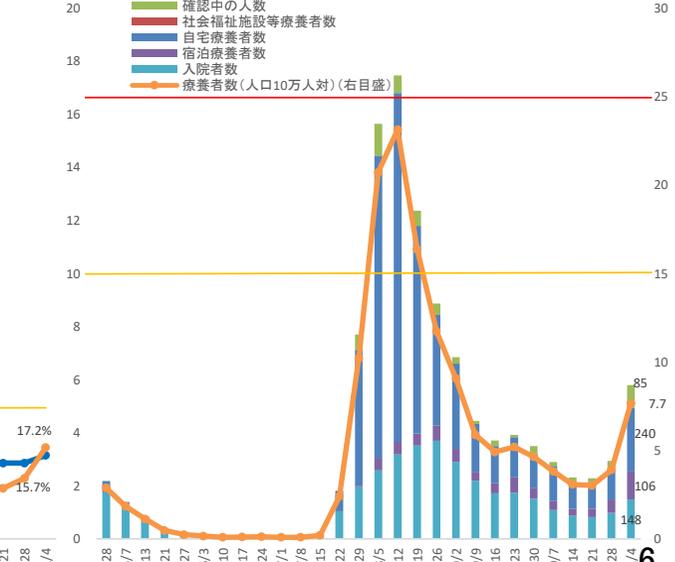
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率

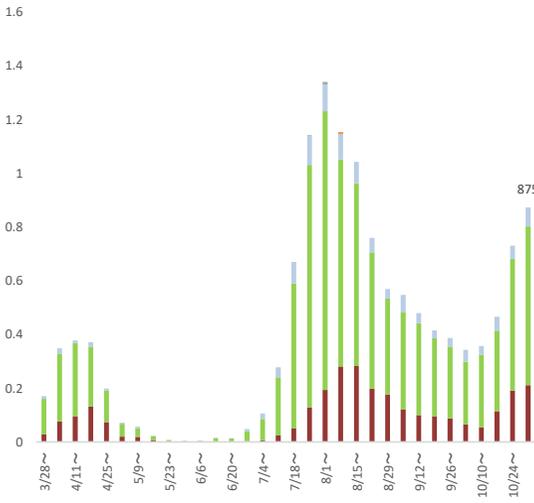


⑥療養者数



(資料出所)11月11日ADB資料1

①新規感染者報告数



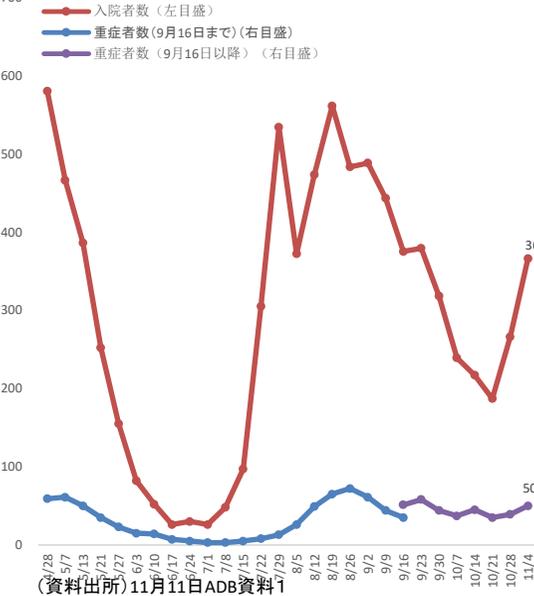
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



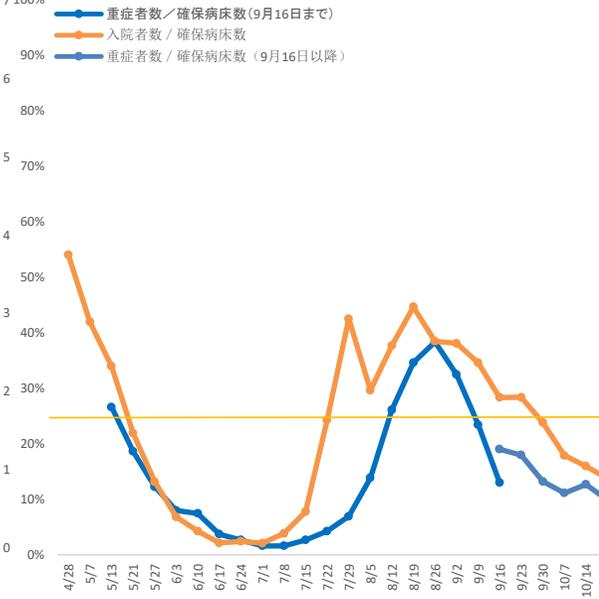
③検査状況



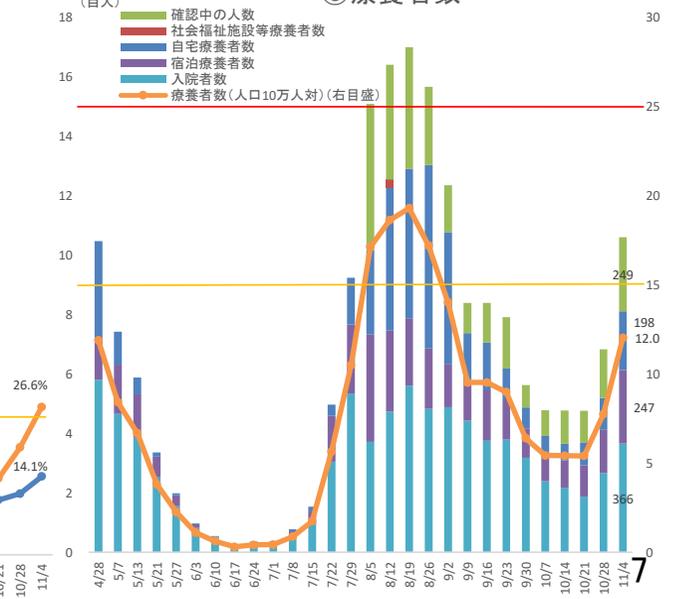
④入院者数／重症者数



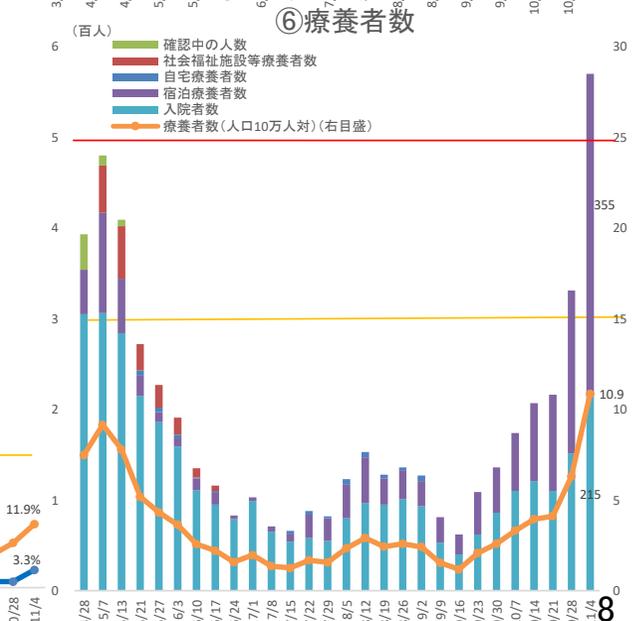
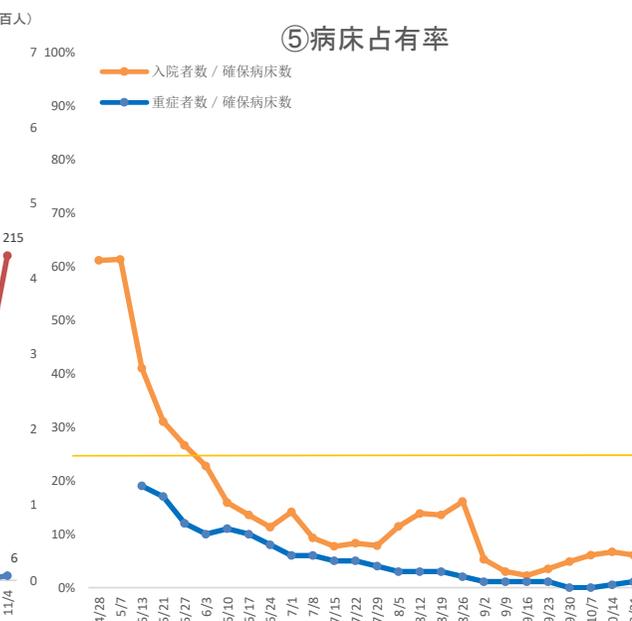
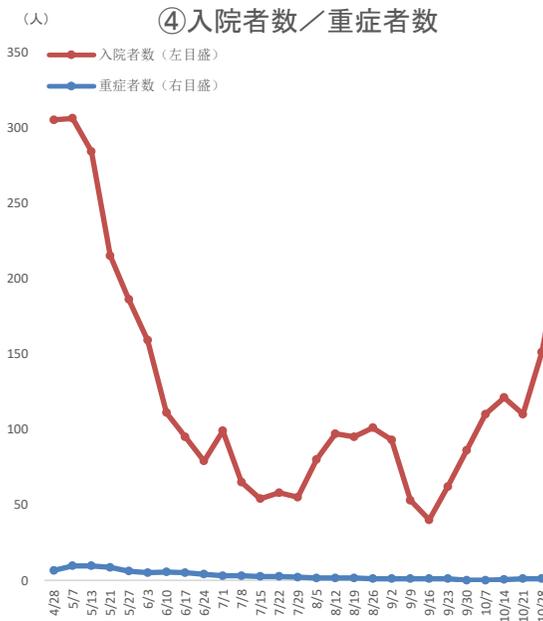
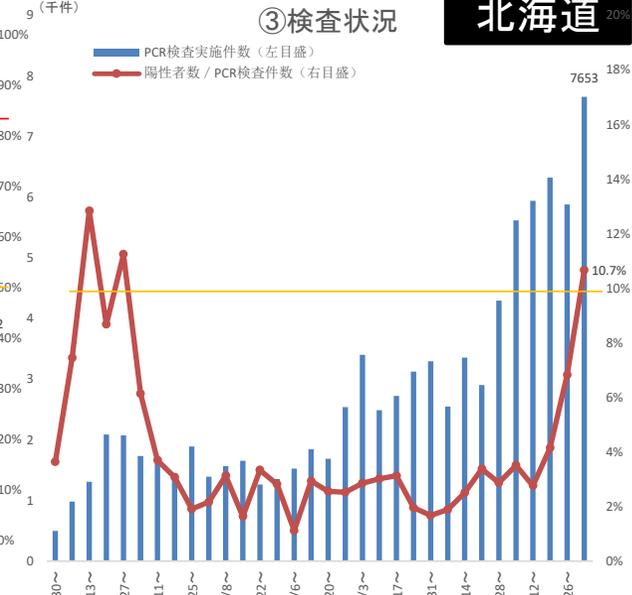
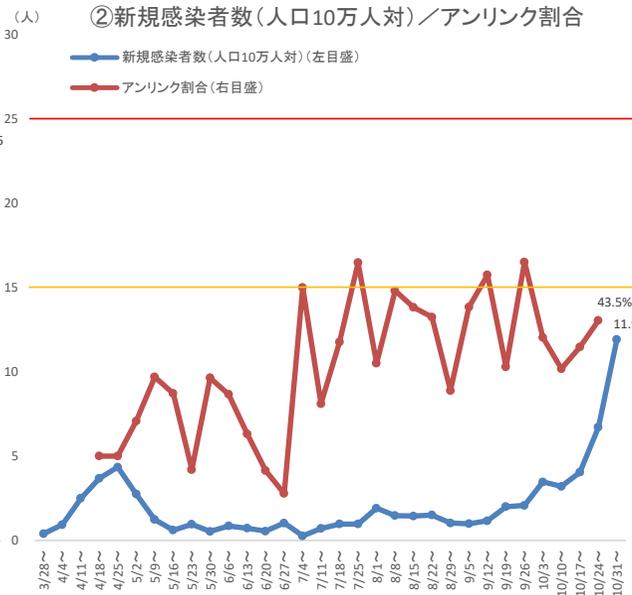
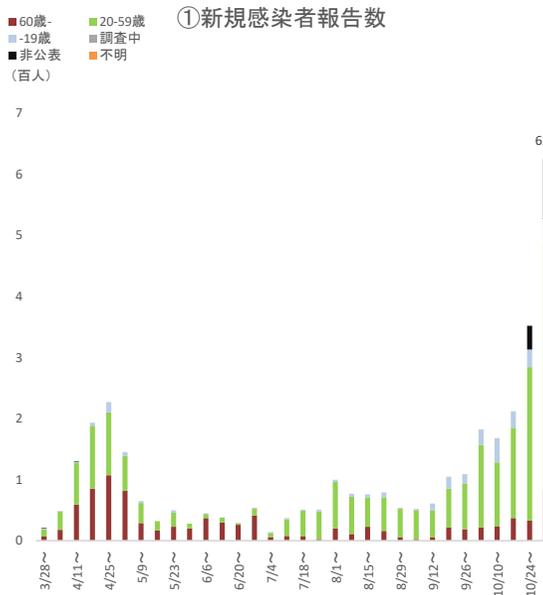
⑤病床占有率



⑥療養者数

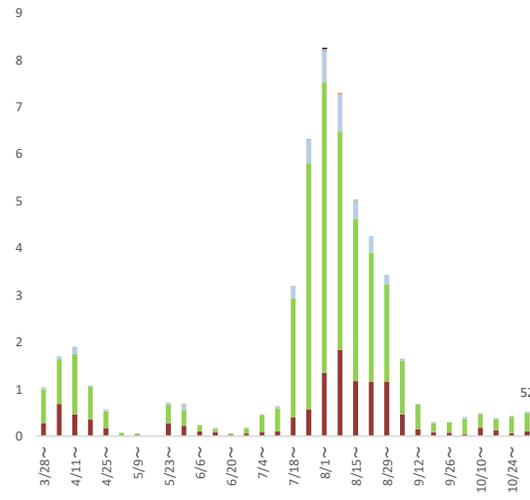


(資料出所)11月11日ADB資料1

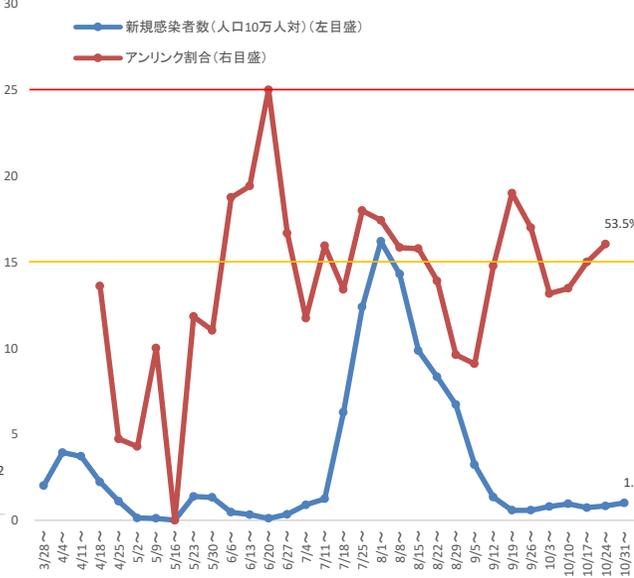


(資料出所) 11月11日 ADB資料 1

①新規感染者報告数



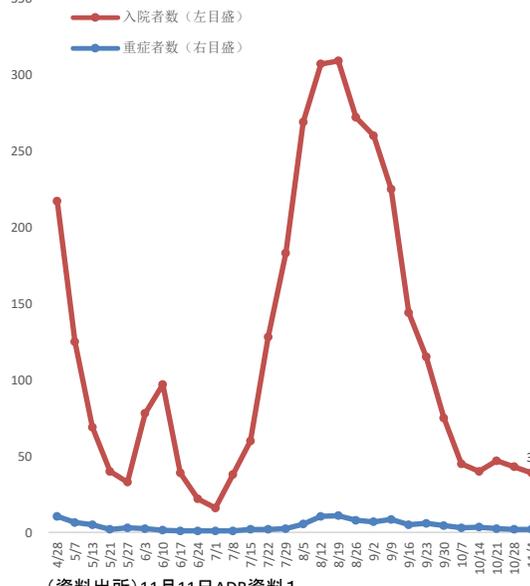
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



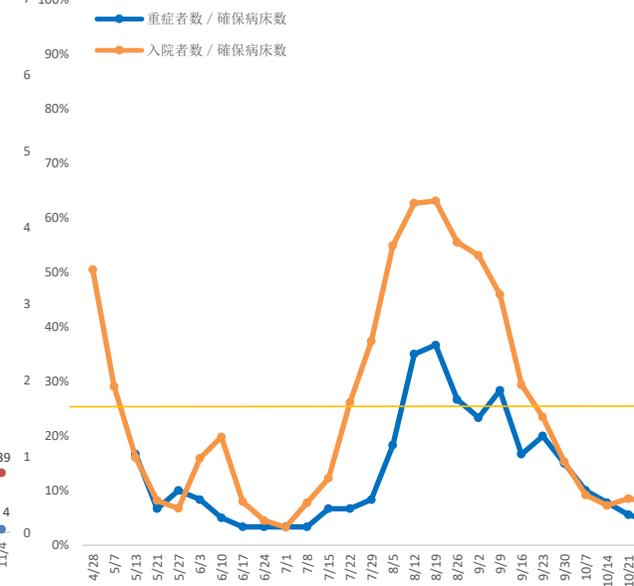
③検査状況



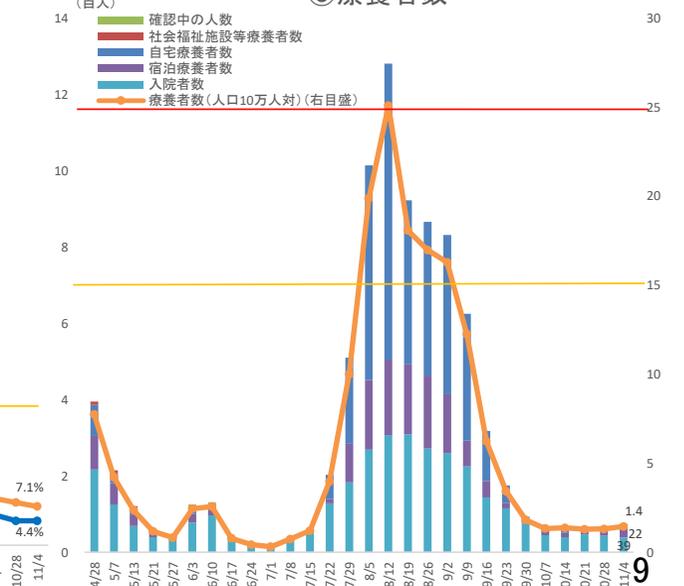
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率

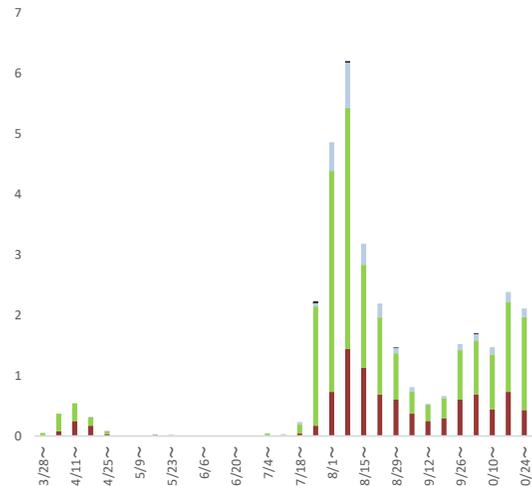


⑥療養者数

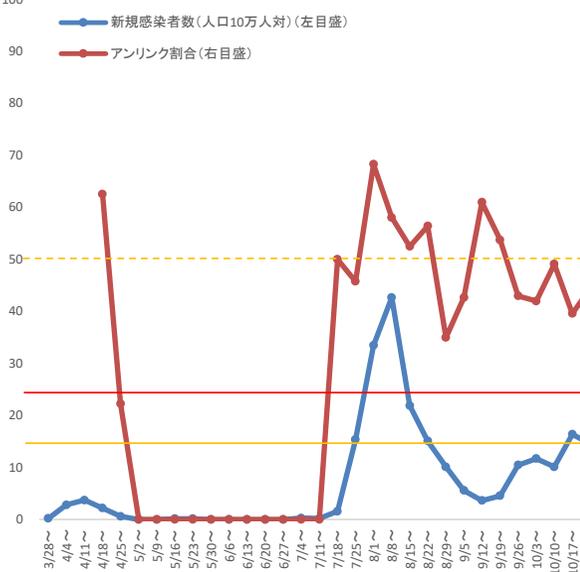


(資料出所) 11月11日ADB資料1

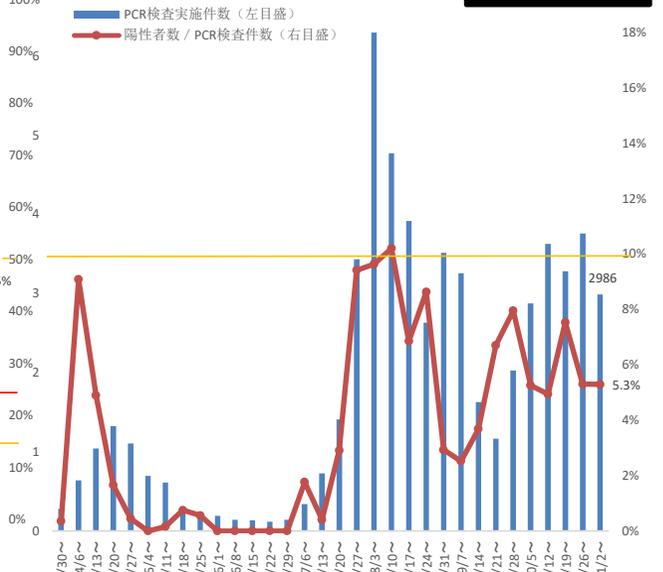
①新規感染者報告数



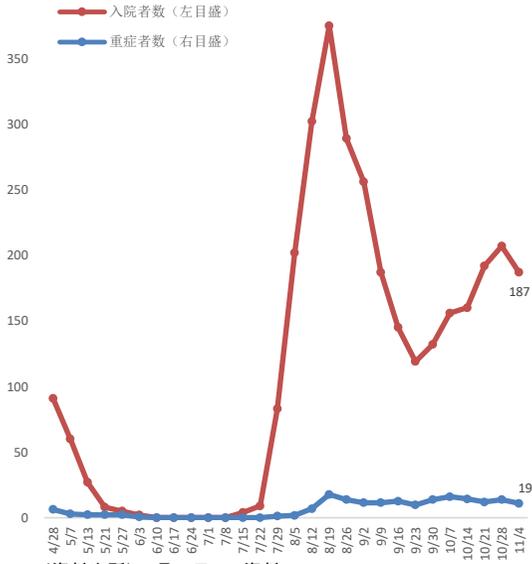
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



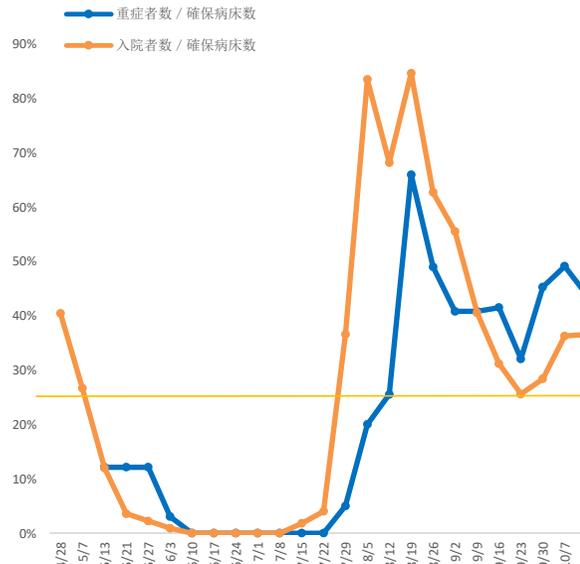
③検査状況



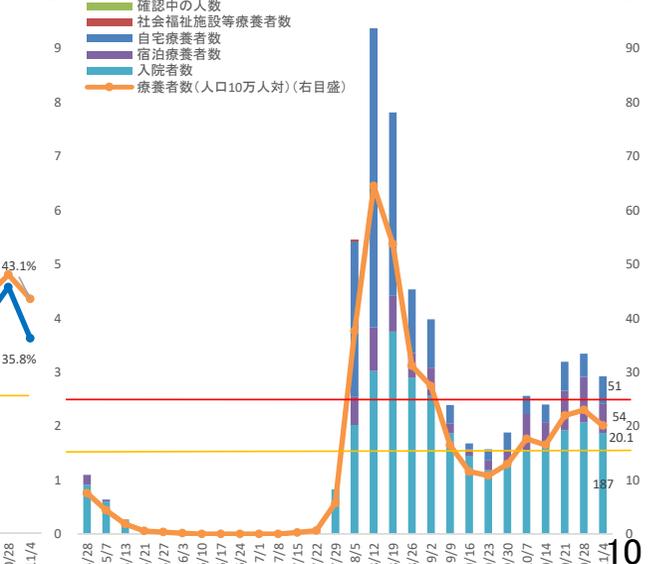
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率



⑥療養者数



(資料出所)11月11日ADB資料1

【はじめに：緊急提言の基本的考え方】

社会経済活動が徐々に戻る中、適切な感染防止策が講じられなければ、感染の「増加要因」が強まり、その力が人々の基本的な感染防止策や自治体によるクラスター対策などの感染の「減少要因」を上まわることになる。最近になって、クラスターの数も増え、しかも、多様化しつつある。そうした中、「減少要因」を早急に強めなければ、急速な感染拡大に至る可能性が高い。社会の中で国民や医療現場、保健所、事業者等における取り組みが積み重ねられ、また、治療法の標準化などもあり、致死率や重症化率がこれまで抑えられてきたが、医療提供体制への負荷を過大にしないためにも、可及的速やかに感染を減少方向に向かわせる必要がある。

今回の緊急提言は、これまでの分科会提言や政府が示してきた大きな方向性（※）を踏まえ、今回初めて経験する冬場においても社会経済活動と両立できるよう、国民、自治体、国等のそれぞれに求められる具体的な5つのアクションをまとめたものである。

分科会として政府に対してここに提言する。

※「新型コロナウイルス感染症への対応について」（第44回新型コロナウイルス感染症対策本部報告 令和2年10月30日）

【求められる5つのアクション】

アクションNo 1. 今までよりも踏み込んだクラスター対応

背景

クラスターの数が増え、しかも、多様化している。そうした中で、「早期探知しにくい」又は「閉じにくい」クラスターが増加している。これまでは、PCR検査等で感染が確認されて初めて濃厚接触者への対応などが行われてきたが、検査による確認の前に、クラスター発生の予兆をとらえることが、これまで以上に求められる。

これまでの分析によれば、クラスターはその特徴によっていくつかのカテゴリーに分けられる。

- 「早期検知しにくい」クラスター：感染の事実そのものが現状のシステムでは探知されにくいクラスターである。具体例としては、①一部の外国人コミュニティや②大学生の課外活動など若年層を中心としたクラスターが挙げられる。①については言葉や受診行動の違いがあることなどから、また、②については感染しても無症状の人が多いことなどから、探知されにくいことが原因と考えられる。
- 「閉じにくい」クラスター：感染者が不特定多数に接触し、濃厚接触者の把握が難しく、「閉じにくい」クラスターである。具体例としては、接待を伴う飲食店などが挙げられる。

アクションNo 1. 今までよりも踏み込んだクラスター対応（つづき）

具体的アクション

- (1) それぞれのクラスターの特徴に応じた効果的かつ効率的な対策を行うこと。
 - **接待を伴う飲食店**：第13回分科会（令和2年10月29日）でまとめられた大都市の歓楽街における感染拡大防止対策ワーキンググループで提案された対策（具体的には、信頼関係に基づいたネットワークの構築や相談・検査体制の拡充など）を地方都市の歓楽街も含めて迅速かつ確実に進めていくこと。
 - **外国人コミュニティ**：外国人コミュニティを支援し、多言語・やさしい日本語での情報の発信及び伝達、相談体制を多元的なチャンネルで進めていくこと。そのために、各国大使館等との連携や自治体による周知に加え、コミュニティとのネットワークや経験を有する国際交流協会やNPO、NGO等と連携すること。
 - **高等教育機関（大学、専門学校等）**：大学等では、授業そのものよりは、むしろ飲み会や寮生活、課外活動等でクラスターが発生している。感染防止と学修機会の確保の両立を図ることが極めて重要である。そのために、自治体は、域内の大学等の学生の相談を受けている健康管理センターなどと協力して、感染防止に関する啓発やクラスター感染が起きた場合の迅速な情報の共有を進めること。さらに、必要な場合に速やかに受診・検査につながる取り組みを進めていくこと。
 - **職場**：職場でも、仕事そのものよりは、むしろ仕事後の飲み会や喫煙などの休憩等でクラスターが発生している。このことから、事業者は、産業医等と連携し、感染防止策を今まで以上に進めること。特に、具合が悪い人が休めるようにすることやクラスターの発生が疑われた場合に迅速に保健所に協力すること。
- (2) 「早期探知しにくい」クラスターを探知するためには、原因が明らかではないが、普段とは何か違う状況が発生した場合に探知する仕組みが必要である。これは、いわば「異常事象検知サーベイランス」ともいうべきものであり、国際的にも、Event-based surveillance（EBS）として推奨されている。そのため、自治体は、既に各都道府県等において設置されている新型コロナウイルス感染症対策のための協議会を活用し、高齢者施設及び医療機関等と協力すること。また、学校等欠席者・感染症情報システム及びSNS上のデータを分析する仕組み等を活用すること。
- (3) これまでも度々指摘されてきた、①感染者の発症日、②クラスターの発生状況に関する最新の情報、③クラスター対策の好事例について、自治体間及び国との間でより迅速に情報共有する仕組みを早急に設けること。

アクションNo 2. 対話のある情報発信

背景

これまでも、三密や大声が感染リスクを高めるといったメッセージは繰り返し発信してきた。さらに、最近では、感染リスクが高まる「5つの場面」や「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」なども政府に提言した。しかし、最近の感染状況を見ると、こうしたメッセージが人々の実際の行動変容及びその維持につながるようには必ずしも十分には伝わってこなかった可能性がある。

具体的アクション

- (1) 感染リスクが高まる「5つの場面」や「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」（例えば、会食時に食べる時だけマスクを外し、会話の時はマスクをする。）などを、特に若年層や忘年会・新年会を含め飲み会などの参加者を中心に興味を持ってもらえる方法で伝えること。その際には、動画投稿サイト等のSNSをはじめ、様々な媒体も活用すること。
- (2) メッセージの受け手の気持ちや受け止め方を理解した上で情報発信し、その効果や影響を確認し、次の発信に役立てること。

アクションNo 3. 店舗や職場などでの感染防止策の確実な実践

背景

業種別ガイドラインの策定が現場でも進んできたが、引き続き、クラスターが発生している。

具体的アクション

- (1) 事業者は、店舗や職場などで、感染リスクが高まる「5つの場面」が具体的にどこにあるのかについて考え、業種別ガイドラインを現場で確実に実践していくこと。その際、自治体や地元の商店街・組合などが連携すること。なお、これまでの経験や新たな知見等に基づいて、業種別ガイドラインの実効性をより高めていくこと。
- (2) 冬に向けて、換気の問題をはじめとした寒冷地における感染防止策のために、例えば特に飲食店などが二酸化炭素濃度をモニターするなどの具体的な指針を示すこと。

アクションNo4. 国際的な人の往来の再開に伴う取り組みの強化

背景

海外との交流が徐々に再開されていく中で、水際対策と地域での感染対策を連携して行う必要がある。
また、国内地域に入った後に保健所が行う健康監視等に関しては、多言語対応などの必要もあり、個別の保健所では極めて困難である。フォローすべき人数が増えると多大な事務負担につながり、保健所の業務に支障をきたすと考えられる。また、輸入症例が増えると、必要となる病床数も増加する。

具体的アクション

- (1) 水際対策と地域での感染対策を連携して行うため、国は、①検疫所における滞在国・地域別検疫実施人数及び検査実施人数やその中の陽性者数などの情報を迅速に整理し、公表していくこと。また、②自治体に検疫に係る情報を迅速に提供すること。
- (2) 国において、自治体での外国人のフォローアップを支援できる仕組みを早急に検討すること。また、検疫時に健康監視等に関する基本的な情報を多言語化して情報提供すること。
- (3) さらに、外国人を受け入れる医療機関等に対する支援を強化すること。

アクションNo5. 感染対策検証のための遺伝子解析の推進

背景

ウイルスの遺伝子配列を調べることは、感染の伝播の状況が見えなくなっている地域の感染の由来を調べる上で有効である。地域における感染例でリンクが追えないものも多くなっている。さらに、最近、外国人コミュニティのクラスターも複数県で報告されており、その一部は国内由来ウイルスによるものであることが分かっているが、由来が不明なクラスターも多い。

具体的アクション

- (1) ウイルスの遺伝子配列を調べることは、クラスターの由来を明確にするためのみならず、感染対策を検証するためにも有効である。このことから、①地方衛生研究所を通じて国立感染症研究所に検体を着実に送付すること。または、②地方衛生研究所で遺伝子配列の情報を解析したうえで国立感染症研究所に結果を共有すること。さらに、③その際には実地疫学情報も共有すること。

【おわりに】

1. 以上の5つのアクションに加えて、これまでも分科会で提言してきた

- 年末年始の休暇を分散すること
- 小規模分散型旅行を推進していくこと
- 保健所機能及び医療提供体制の強化

などについては、当然のことながら、これまで以上に推進していくことが必須である。

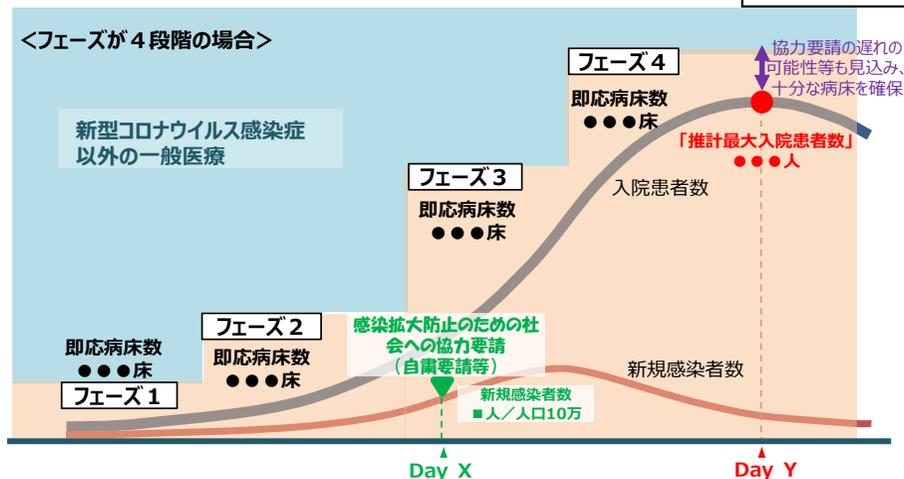
2. 以上の5つのアクションを実施しても、第5回分科会（令和2年8月7日）で提言されたステージⅢ相当以上と国や自治体によって判断された場合には、社会経済活動に一定の制約を求めるような強い対策を行う必要があることから、そうした事態を回避するためにも、国民が一丸となって対策を進めていく必要がある。

1. 病床・宿泊療養施設の確保

- **全都道府県で病床・宿泊療養施設確保計画を策定し、一般医療との両立を目指して、感染ピーク時のみならず、感染拡大の経過や収束時期も見据え、時間軸を踏まえたフェーズに応じた病床確保等の実施。**

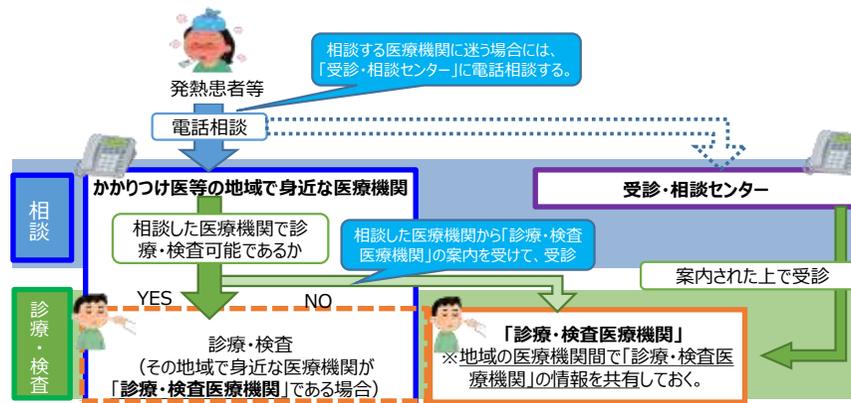
【病床・宿泊療養施設確保計画（最終フェーズ）】

- ・ 即応病床（計画）数：27,646床（うち重症者向け3,678床）
- ・ 宿泊療養施設居室（計画）数：22,730室
- <11月4日時点における確保数>
- ・ 確保病床数：26,901床（うち重症者向け3,467床）
- ・ 確保居室数：23,042室



2. 季節性インフルエンザ流行期に備えた医療提供体制の整備

- 季節性インフルエンザ流行期が到来し、発熱患者等が大幅に増えて検査や医療の需要が急増することが見込まれるため、これまでの仕組みを改め、**電話で身近な医療機関に直接相談し、診療・検査医療機関を受診し必要な検査や治療を受ける仕組みを整備。**



3. 医療機関の体制整備への支援

- 一次・二次補正の1.8兆円に加え、**9月15日に予備費1.2兆円の使用を閣議決定。**
- 緊急包括支援交付金を増額し、**病床確保料を更に引き上げるとともに、新たに発熱外来診療体制確保支援を実施。**
- **診療報酬**について、**一般病床で呼吸器不全管理を要する者**に対し、**救急医療管理加算の3倍相当から5倍相当に引上げ。**
- **現下の状況に対応した地域の医療提供体制を維持・確保するための取組・支援**については、感染状況や地域医療の実態等を踏まえ、類型ごとの医療機関等の経営状況等も把握し、そのあり方も含め、**引き続き検討。**

参考資料

今後の感染拡大を見据えた医療体制整備の再構築について（概要）

医療体制整備の再構築に当たっての基本的な考え方

- 新たな医療提供体制整備は、これまで同様、**都道府県が主体となって推進**し、達成することを基本とする。
- **都道府県は、保健所・保健所設置市との連携を平時から構築**する。
- 医療提供体制を再構築するに当たっては、「**新型コロナウイルス感染症との共存**」も見据えた**中長期的な目線で体制を整備**。
- **新型コロナウイルス感染症患者に対する医療と、他の疾患等の患者に対する必要な医療を両立して確保**することを目指す。
- 医療提供体制の整備は、**国内実績を踏まえた新たな患者推計**をもとに、感染ピーク時のみならず、感染拡大の経過や収束時期も見据え、**時間軸を踏まえたフェーズに応じた病床確保等の実施**。
- **感染拡大防止のための社会への協力要請（自粛要請等）を行う時期の違い**によって、その後の**患者数や必要となる医療資源だけではなく、収束するまでの時間にも影響**を及ぼすことを踏まえた対応を行う。

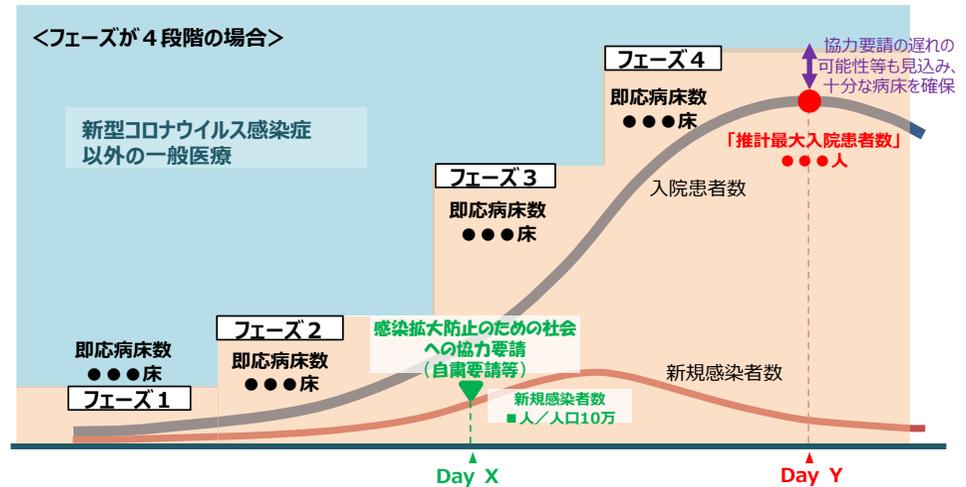
更なる後押し

第二次補正予算と連動 ● 新型コロナ緊急包括支援交付金の増額及び対象拡大、診療報酬の特例的な対応、PCR等の検査体制のさらなる強化 等

新たな患者推計を踏まえた医療体制整備のイメージ

- 都道府県は、**国内の感染実績を踏まえた新たな患者推計モデル**に基づき、都道府県ごとの実状を加味した**患者推計の結果及び必要な病床数を算出**。国は、推計に必要な推計ツールや基本的考え方を提示。
- 今回の推計では、**時間軸を考慮し**、ある時点を基点に、その後の経過日数時点(フェーズ)における**入院患者数**等を予測可能。
- 各フェーズで必要な病床数を確保することにより、それ以外の病床において**他の疾患等の患者に対する一般医療の提供を確保**。

⇒ **本年6月末に、事務連絡を發出し都道府県に対し、病床確保計画策定を依頼。全都道府県において策定完了。**



【病床・宿泊療養施設確保計画（最終フェーズ）】

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・即応病床（計画）数：27,646床（うち重症者向け3,678床） ・宿泊療養施設居室（計画）数：22,730室 | <p><11月4日時点における確保数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確保病床数：26,901床（うち重症者向け3,467床） ・確保居室数：23,042室 |
|---|---|

一次・二次補正予算及び予備費による医療機関等への支援(概要)

一次・二次補正による医療機関等支援(約1.78兆円)に加え、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関の安定的な経営を図るとともに、インフルエンザ流行期に備えた医療提供体制を確保するため、予備費(約1.2兆円)を活用し、緊急的に更なる支援を行う。

一次補正(令和2年4月30日成立)等での対応 医療提供体制整備等の緊急対策

- ① **新型コロナ緊急包括支援交付金の創設** (1490億円)
 - ・ 診療報酬では対応が困難な、空床確保、宿泊療養の体制整備、応援医師等派遣などを支援
- ② **診療報酬の特例的な対応**
 - ・ 重症の新型コロナ患者への一定の診療の評価を2倍に引き上げ
 - ・ 医療従事者に危険手当が支給されることを念頭に、人員配置に応じて診療報酬を引き上げ
 - ・ 一般の医療機関でも、新型コロナ疑い患者に感染予防策を講じた上で診療を行った場合に特例的な評価
- ③ **マスク、ガウン、フェイスシールド、消毒用エタノール等の確保、医療機関への配布、人工呼吸器の輸入・国内増産による確保**
- ④ **福祉医療機構の優遇融資の拡充**
 - ・ 償還期間の更なる延長(10年→15年)
(予備費(第二弾)で措置)
 - ・ 貸付限度額の引上げ(病院:貸付対象外→7.2億円、診療所300万円→4000万円)
 - ・ 無利子・無担保融資の創設(利子・担保あり→無利子枠:病院1億円、診療所4000万円、無担保枠:病院3億円、診療所4000万円)等

二次補正(令和2年6月12日成立)等での対応 事態長期化・次なる流行の波への対応

- ① **新型コロナ緊急包括支援交付金の増額及び対象拡大** (16,279億円)
 - ・ 既存の事業メニューについて、事態長期化・次なる流行の波への対応として増額 (3,000億円)
 - ・ 新規の事業メニューとして、以下の事業を追加(11,788億円)
※この他、一次補正の都道府県負担分を国費で措置
 - ① 重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)の病床確保等
 - ② 患者と接する医療従事者等への慰労金の支給
 - ③ 新型コロナ疑い患者受入れのための救急・周産期・小児医療機関の院内感染防止対策
 - ④ 医療機関・薬局等における感染拡大防止等の支援
- ② **診療報酬の特例的な対応**
 - ・ 重症・中等症の新型コロナ患者への診療の評価の見直し (3倍に引き上げ)
 - ・ 重症・中等症の新型コロナ患者の範囲の見直し 等
- ③ **マスク、ガウン、フェイスシールド、手袋等の確保、医療機関等への配布** (4,379億円)
 - ※この他、新型コロナ感染症対策予備費で1,680億円を措置
- ④ **PCR等の検査体制のさらなる強化**
 - ・ 地域外来・検査センターの設置、研修推進、PCR・抗原検査の実施 (366億円)
 - ・ PCR検査機器の整備、相談センターの強化 [新型コロナ緊急包括支援交付金の内数]
 - ・ 検査試薬・検査キットの確保 (179億円)
 - ・ 抗体検査による感染の実態把握 (14億円)
- ⑤ **福祉医療機構の優遇融資の拡充等** (貸付原資として1.27兆円を財政融資)
 - ・ 貸付限度額の引上げ
 - ・ 無利子・無担保融資の拡大
 - ・ 6月の資金繰り対策としての診療報酬の概算前払い

予備費(令和2年9月15日閣議決定)等での対応 インフルエンザ流行期に備えた医療提供体制確保等

- ① **新型コロナ患者の病床・宿泊療養体制の整備** (7,394億円)
 - ・ 新型コロナ緊急包括支援交付金を増額し、**10月以降分の病床や宿泊療養施設**を確保するための経費を補助
- ② **新型コロナ患者を受け入れる特定機能病院等の診療報酬・病床確保料の引上げ** (1,690億円)
 - ・ 呼吸不全管理を要する**中等症の新型コロナ患者等への診療の評価の見直し**
 - ・ 新型コロナ緊急包括支援交付金を増額し、手厚い人員で対応する特定機能病院等である**重点医療機関の病床確保料等**を引き上げ
- ③ **インフルエンザ流行期への備え** 国による直接執行
 - ・ **インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援** (2,170億円)
 - ・ **インフルエンザ流行期に新型コロナ疑い患者を受け入れる救急医療機関等の支援** (682億円)
- ④ **医療資格者等の労災給付の上乗せを行う医療機関への補助** 国による直接執行 (10億円)
 - ・ 新型コロナへの対応を行う医療機関において、医療資格者等が感染した際に**労災給付の上乗せ補償**を行う民間保険に加入した場合に、保険料の一部を補助
- ⑤ **福祉医療機構の優遇融資の拡充等**
 - ・ 前年同月比3割以上減収の月がある医療機関に対する**貸付限度額の引上げ**
 - ・ **無利子・無担保融資の拡大**
 - ・ 地域経済活性化支援機構(REVIC)と福祉医療機構との連携・協力による事業再生支援
- ⑥ **必要な受診・健診・予防接種の広報**
 - ・ **医療機関の感染防止対策の周知**(日医・日歯「安心マーク」)
 - ・ 政府広報(テレビ、新聞等)等により、国民に**必要な受診や健診・予防接種を行うよう呼びかけ**

- 11月9日付で事務連絡を発出し、以下の好事例を都道府県等に共有。
- 今後も継続して、各地域の好事例を収集し、都道府県等への共有を図る。

1. 発熱等診療予約センター【神奈川県】

- インフルエンザ流行期の発熱等風邪症状の患者増加に対応する診療体制を確立するため、症状のある方にはまずは医師の診療を受けてもらうことを重視して診療可能な医療機関の指定を増やすとともに、神奈川県の情報基盤を活用して、県全体で、発熱患者等からアプリや電話で受診予約の申込を受け、医療機関との調整を行う「発熱等診療予約センター」を設置し、患者と医療機関を迅速につなげる体制を確保する。

2. 歓楽街に対する地域に密着した包括的かつ継続的な取組【福岡県】

- 福岡県において、5月の緊急事態宣言解除後以降の歓楽街における感染防止策として、早期検知のための戦略的な検査の実施、感染防止策徹底の普及啓発、県民や業者への要請等を、感染状況に応じながら取り組んだ。

3. 県独自のクラスター対策チーム【滋賀県】

- 滋賀県は、健康医療福祉部新型コロナウイルス感染症対策本部感染症対策班の1つのチームとして「滋賀県クラスター対策チーム」を設置し、病院や介護関連事業所で患者クラスター（集団）が発生した場合に、保健所等からの依頼により、病院勤務の感染管理認定看護師や厚生労働省疫学・データ班と共に、感染源調査、濃厚接触者の確認、ゾーニングや感染管理の評価および改善助言、積極的疫学調査等の施設支援を行っている。また、各クラスター事例の分析および取りまとめを保健所とともに実施し、事例で得られた教訓等を広く県民や事業者へ情報提供している。

4. 広域的な連携に関する取組【中国5県、関西広域連合】

- 鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県（以下「中国5県」という。）は、健康危機が発生した際の協定を締結していたが、令和2年4月に新型コロナウイルス感染症に特化して新たに、中国5県で自県域内の医療体制では対応しきれない場合において、迅速かつ円滑な支援を行うことを目的として協定を締結している。

- 令和2年3月に関西広域連合において「第1回 新型コロナウイルス・感染症対策本部会議（3月15日）」を開催し、新型コロナウイルス感染症対策について、地域の医療資源を有効に活用し、関西圏域において、効率的・効果的に医療を提供できる体制を構築することを目的に「広域的な医療連携に関する申し合わせ事項」を合意した。これに基づき、これまでに県域を越えた個人防護具の支援や検体検査の受入れ等の連携実績がある。また、少なくとも月1回は「新型コロナウイルス・感染症対策本部会議」を開催し、構成府県市の医療・検査体制の状況を共有するなど、広域的な連携に即応できる体制を維持している。

5. 沖縄県の感染拡大時における様々な取組【沖縄県】

- 沖縄県において7月～9月にかけての感染拡大時に、地域における感染の拡大を察知して県民への自粛要請や飲食店等への休業要請、今後1週間の患者の推計に基づいた病床の更なる確保、流行地域における面的な検査の実施、検査分析能力の向上、状況や課題に応じた検査戦略を企画、関係者間における情報管理方法の確立、保健師・看護師等の派遣・支援の受援体制の調整等の様々な取組を行った。